

沖縄県しまくとうば県民意識調査 報告書

令和 6 年 3 月



沖縄県

目 次

調査の設計と実施概要	4
1. 本調査の目的	4
2. 調査方法	4
3. 調査結果の見方	4
調査結果の総括	5
1. 調査結果のポイント	5
(1) 「しまくとうば」に対する親しみ	5
(2) 「しまくとうば」に対するイメージ	7
(3) 「しまくとうば」に対する理解度	8
(4) 「しまくとうば」に対する使用頻度	10
(5) 「しまくとうば」に対する使う相手	12
(6) ビジネスや公共の場での「しまくとうば」の使用に関する意識	13
(7) 普段の生活の中での「しまくとうば」の必要性	15
(8) 子どもたちが「しまくとうば」を使うようになることへの意識	17
(9) 学校の授業項目に「しまくとうば」を加えることについて	19
(10) 家庭内での「しまくとうば」への取組状況	21
(11) 自身が住んでいる地域への愛着について	23
(12) 普及継承の取り組みについての認知度	25
(13) 「しまくとうば」の普及に必要なこと	27
(14) 自身の出身地の「しまくとうば」の認知度	28
(15) 自身の出身地の「しまくとうば」の継承について	30
調査結果 32	
1. 回答者の基本属性	32
2. 調査結果の詳細	34
(1) 問 1. 「しまくとうば」に親しみを持っていますか。	34
(2) 問 2_1. 「しまくとうば」にどのようなイメージを持っていますか。	35
(3) 問 3. 「しまくとうば」を聞いて、どの程度わかりますか。	40
(4) 問 4. 人と話すとき「しまくとうば」を使いますか。	41
(5) 問 5. 「しまくとうば」を使う相手は誰ですか。	42
(6) 問 6. ビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思いますか。	43
(7) 問 6-1. ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。	44
(8) 問 7. 普段の生活の中で「しまくとうば」は必要だと思いますか。	45
(9) 問 7-1. 生活での必要性について、その理由を教えてください。	46
(10) 問 8. 子どもたちに「しまくとうば」を使えるようになって欲しいですか。	47

(11)	問 9. 授業科目に「しまくとうば」を加えることについてどう思いますか。	48
(12)	問 10. 家庭内で子どもに対して「しまくとうば」を教えるようにしていますか。	49
(13)	問 10-1. 家庭内でほとんど教えることはない理由はなんですか。	50
(14)	問 11. ご自身が住んでいる地域（市町村）にどの程度愛着や誇りがありますか。	51
(15)	問 12. ご自身の出身地の「しまくとうば」を知っていますか。	52
(16)	問 13. ご自身の出身地の「しまくとうば」が将来に渡って残ってほしいと思いますか。 .	53
(17)	問 14. 「しまくとうば」に触れる機会（聞く・話す）はどの程度ありますか。	54
(18)	問 15. 「しまくとうば」を聞く機会はどの程度ありますか。	55
(19)	問 15-1. 「しまくとうば」を聞く機会はどのような時ですか。	56
(20)	問 16. 「しまくとうば」を話す機会はどの程度ありますか。	57
(21)	問 16-1. 「しまくとうば」を話す機会はどのような時ですか。	58
(22)	問 16-2. 「しまくとうば」を話さない理由について教えてください。	59
(23)	問 17. 今後、普及継承していくため取組で「知っている」ものをお答えください。 . . .	60
(24)	問 18. 今後、普及継承していくため取組で「すべきと思うもの」をお答えください。 .	82
(25)	問 19. 意見・感想	93
3.	令和 4 年・令和 5 年調査結果の比較	129
(1)	問 1. 「しまくとうば」に親しみを持っていますか。	129
(2)	問 2_1. 「しまくとうば」にどのようなイメージを持っていますか。	129
(3)	問 3. 「しまくとうば」を聞いて、どの程度わかりますか。	134
(4)	問 4. 人と話すとき「しまくとうば」を使いますか。	134
(5)	問 5. 「しまくとうば」を使う相手は誰ですか。	135
(6)	問 6. ビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思いますか。	136
(7)	問 6_1. 問 6-1. ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。	136
(8)	問 7. 普段の生活の中で「しまくとうば」は必要だと思いませんか。	137
(9)	問 7-1. 生活での必要性について、その理由	137
(10)	問 8. 子どもたちに「しまくとうば」を使えるようになって欲しいですか。	138
(11)	問 9. 学校の授業科目に「しまくとうば」を加えることをどう思いますか。	138
(12)	問 10. 家庭内で子どもに対して「しまくとうば」を教えるようにしていますか。	139
(13)	問 10-1. 家庭内でほとんど教えることはない理由	139
(14)	問 11. ご自身が住んでいる地域（市町村）にどの程度愛着や誇りがありますか。	140
(15)	問 12. ご自身の出身地の「しまくとうば」を知っていますか。	140
(16)	問 13. ご自身の出身地の「しまくとうば」が将来に渡って残ってほしいですか。	141
(17)	問 14. 「しまくとうば」に触れる機会（聞く・話す）はどの程度ありますか。	141
(18)	問 15. 「しまくとうば」を聞く機会はどの程度ありますか。	142
(19)	問 15-1. 「しまくとうば」を聞く機会はどのような時ですか。	142
(20)	問 16. 「しまくとうば」を話す機会はどの程度ありますか。	143
(21)	問 16-1. 「しまくとうば」を話す機会はどのような時ですか。	143
(22)	問 16-2. 「しまくとうば」を話さない理由について教えてください。	144

(23) 問 17.	今後、普及継承していくため取組を「知っている」ものをお答えください。 .	145
(24) 問 18.	今後、普及継承の取組について「すべきと思うもの」をお答えください。 ...	157
4.	参考資料	164

調査の設計と実施概要

1. 本調査の目的

県民における「しまくとうば」に対する意識の調査を行うことで、その実態を把握し、今後の「しまくとうば」の普及継承に向けた課題と効果的な施策の検討に資することを目的とする。

2. 調査方法

調査方法	層化二段無作為抽出法による郵送配布、郵送回収/WEB 回収
対象者数	沖縄県内：3,000 件
調査実施日	2024 年 1 月 31 日～2 月 25 日
回収有効票	1,028 票（調査票回収：748 票、WEB 回収：280 票）
回収率	34.3%
対象者	沖縄県内に在住する、18 歳以上の男女

3. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の「回収有効票」を基数（n）とした百分率（%）で表し、小数第 2 位を四捨五入している。このため、百分率の合計が 100%にならない場合がある。また、2 つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- 性別・年齢、圏域等の基本属性等とのクロス集計においては、原則として、表側の各属性等の「無回答」を表示していない。ただし、「全体」は属性の「無回答」も含んでいる。
- クロス集計等において、基数（n）となる調査数（ $n < 30$ ）が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。

調査結果の総括

1. 調査結果のポイント

(1) 「しまくとぅば」に対する親しみ

【全体】

- ・ 親しみを持っている 45.4%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 37.4%
- ・ 合計 82.8%

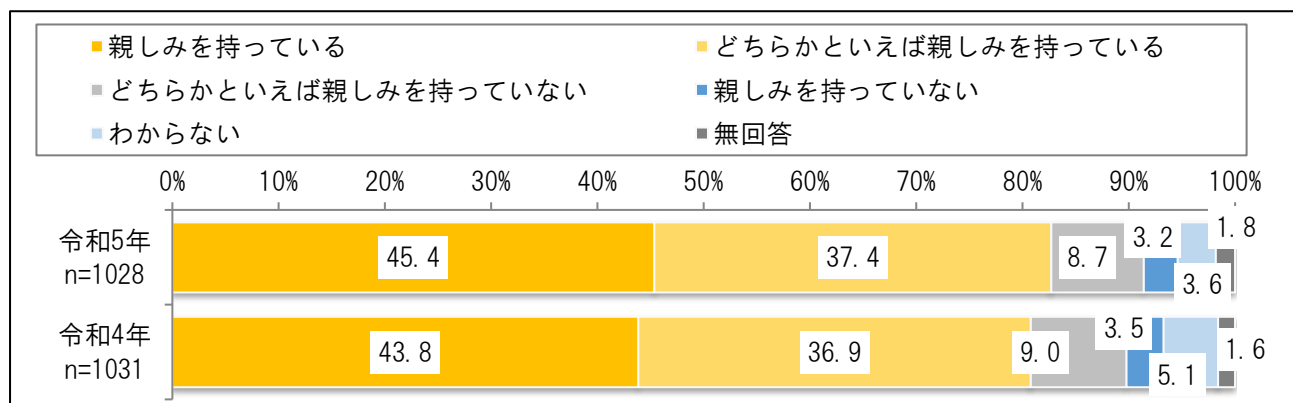
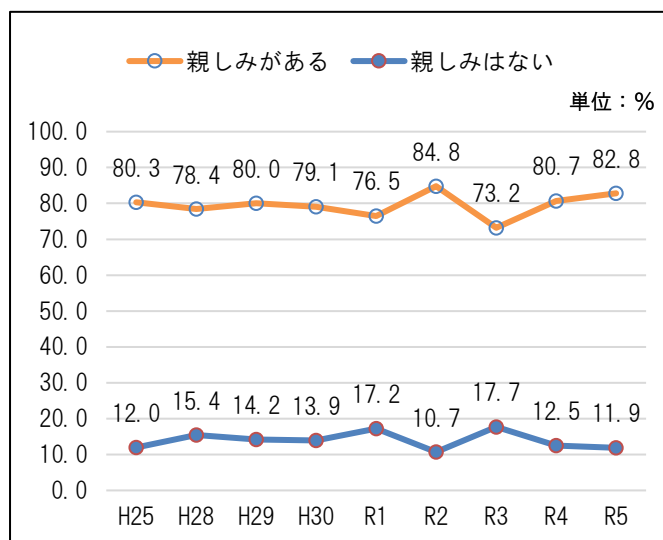
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和3年度）

- ・ 親しみを持っている 34.0%、
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 39.2%
- ・ 合計 73.2%

○前回調査（令和4年度）

- ・ 親しみを持っている 43.8%
- ・ どちらかといえば親しみを持っている 36.9%
- ・ 合計 80.7%



【性別】

○男性

・親しみを持っている 48.3% ・どちらかといえ
ば親しみを持っている 36.9% ・合計 85.2%

○女性

・親しみを持っている 41.3% ・どちらかといえ
ば親しみを持っている 40.2% ・合計 81.5%

【年代別】

○最も高い→60代

・親しみを持っている 54.1% ・どちらかといえ
ば親しみを持っている 37.2% ・合計 91.3%

○最も低い→10代

・親しみを持っている 31.0% ・どちらかといえ
ば親しみを持っている 37.9% ・合計 68.9%

【地域別】

○最も高い→北部

・親しみを持っている 49.3% ・どちらかといえ
ば親しみを持っている 35.8% ・合計 85.1%

○最も低い→中部

・親しみを持っている 46.6% ・どちらかといえ
ば親しみを持っている 36.0% ・合計 82.6%

ポイント

・過去数年間の比較から、「しまくとうば」に親しみを持つ県民の割合が増加している。特に男性と60代以上の年代で親しみを感じる割合が高く、地域別では北部が最も高い。

(%)

		親しみを持 っている	どちらかとい えば親しみを 持っている	どちらかとい えば親しみを 持っていない	親しみを持 ていない	わからない	無回答
性別	男性 n=290	 48.3	 36.9	 8.3	 3.1	 2.8	 0.7
	女性 n=438	 41.3	 40.2	 10.0	 3.7	 3.4	 1.4
年齢	10代 n=29	 31.0	 37.9	 17.2	 10.3	 3.4	 -
	20代 n=76	 34.2	 38.2	 19.7	 2.6	 5.3	 -
	30代 n=129	 23.3	 48.8	 14.7	 6.2	 7.0	 -
	40代 n=173	 37.0	 42.2	 11.6	 4.6	 4.0	 0.6
	50代 n=202	 49.5	 38.6	 5.9	 1.5	 3.5	 1.0
	60代 n=231	 54.1	 37.2	 3.9	 2.2	 1.7	 0.9
	70歳以上 n=174	 62.6	 24.7	 4.6	 2.3	 2.9	 2.9
地域別	北部 n=148	 49.3	 35.8	 4.1	 3.4	 5.4	 2.0
	中部 n=264	 46.6	 36.0	 10.2	 3.0	 3.8	 0.4
	南部 n=432	 43.3	 40.5	 8.8	 3.9	 2.5	 0.9
	宮古 n=35	 51.4	 31.4	 8.6	 2.9	 2.9	 2.9
	八重山 n=68	 47.1	 36.8	 11.8	 -	 2.9	 1.5
	その他の離島 n=66	 48.5	 36.4	 7.6	 3.0	 3.0	 1.5

(2) 「しまくとぅば」に対するイメージ

【肯定的な回答が多いもの（非常に+やや）】

・ 明るい (62.3%)、誇らしい (64.9%)、面白い (71.1%)、身近に感じる (64.6)

【肯定的な回答が少ないもの（非常に+やや）】

・ 丁寧 (31.8%)、さわやか (35.9%)、明瞭 (28.9%)

ポイント

・ 肯定的な回答が少ないものであっても、「どちらでもない」の回答が多いため、否定的な回答は少ない。

例、明瞭：「非常に」、「やや」の合計 28.9% ⇔ 不明瞭：「非常に」、「やや」の合計 20.8%

※ 「どちらでもない」の回答 43.2%

(%)

	非常に	やや	どちらでもない	やや	非常に		無回答
n=1028							
やわらかい	18.1	35.4	28.6	9.8	1.9	硬い	6.1
明るい	24.8	37.5	25.7	4.7	0.9	暗い	6.5
丁寧	11.7	20.1	40.2	18.4	2.2	乱暴	7.4
誇らしい	39.4	25.5	24.7	3.3	1.2	恥ずかしい	5.9
豪快	17.0	31.8	35.5	6.3	1.8	繊細	7.5
さわやか	10.4	25.5	50.4	6.2	0.7	うっとうしい	6.8
カッコいい	17.1	24.8	45.5	4.5	1.1	カッコ悪い	7.0
面白い	33.7	37.4	18.6	2.8	1.2	面白くない	6.4
身近に感じる	27.6	37.0	15.6	10.2	3.9	身近に感じない	5.7
感情的	20.4	32.7	35.4	3.6	0.7	理論的	7.2
田舎っぽい	16.6	28.3	43.4	4.0	0.9	都会的	6.8
明瞭	9.4	19.5	43.2	13.9	6.9	不明瞭	7.1

(3) 「しまくとぅば」に対する理解度

【全体】

・よくわかる 13.7% ・ある程度わかる 53.6% ・合計 67.3%

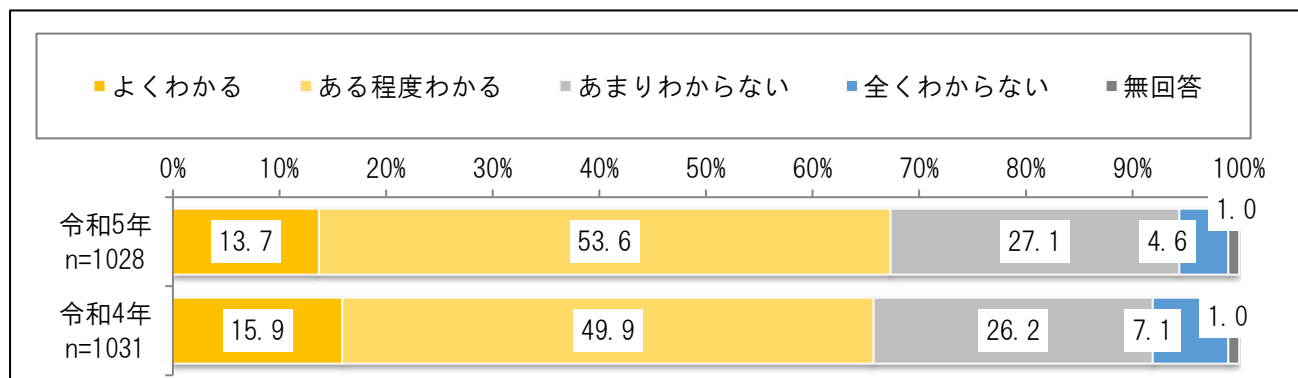
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和3年度）

・よくわかる 10.2%
 ・ある程度わかる 45.1%
 ・合計 55.3%

○前回調査（令和4年度）

・よくわかる 15.9%
 ・ある程度わかる 49.9%
 ・合計 65.8%



【性別】

○男性

- ・よくわかる 14.1%
- ・ある程度わかる 55.9%
- ・合計 70.0%

○女性

- ・よくわかる 8.7%
- ・ある程度わかる 51.4%
- ・合計 60.1%

【年代別】

○最も低い→20代

- ・よくわかる 3.9%
- ・ある程度わかる 34.2%
- ・合計 38.1%

○最も高い→70歳以上

- ・よくわかる 33.9%
- ・ある程度わかる 58.0%
- ・合計 91.9%

【地域別】

○最も低い→八重山

- ・よくわかる 10.3%
- ・ある程度わかる 47.1%
- ・合計 57.4%

○最も高い→その他の離島

- ・よくわかる 22.7%
- ・ある程度わかる 57.6%
- ・合計 80.3%

ポイント

- ・令和4年度との比較では「よくわかる」「ある程度分かる」の合算値が1.5ポイント増加。
- ・全体の約3分の2が「しまくとぅば」を理解していると回答。特に70歳以上の高齢層で理解度が高く、地域別ではその他の離島が最も高い。

		(%)				
		よくわかる	ある程度わかる	あまりわからない	全くわからない	無回答
性別	男性 n=290	14.1	55.9	26.6	3.1	0.3
	女性 n=438	8.7	51.4	33.6	6.4	-
年齢	10代 n=29	3.4	37.9	41.4	17.2	-
	20代 n=76	3.9	34.2	53.9	7.9	-
	30代 n=129	-	41.1	48.8	10.1	-
	40代 n=173	3.5	49.7	41.6	4.6	0.6
	50代 n=202	7.9	63.9	23.8	4.0	0.5
	60代 n=231	22.1	62.3	13.0	1.7	0.9
	70歳以上 n=174	33.9	58.0	6.3	1.7	-
地域別	北部 n=148	14.9	56.8	23.6	4.1	0.7
	中部 n=264	15.5	53.0	25.4	6.1	-
	南部 n=432	10.9	54.4	30.1	3.9	0.7
	宮古 n=35	25.7	48.6	20.0	5.7	-
	八重山 n=68	10.3	47.1	38.2	4.4	-
	その他の離島 n=66	22.7	57.6	15.2	4.5	-

(4) 「しまくとぅば」に対する使用頻度

【全体】

- ・しまくとぅばを主に使う 3.8%
- ・しまくとぅばと共通語を同じくらい使う 11.6%
- ・挨拶程度使う 21.4%
- ・合計 36.8%（しまくとぅばを「挨拶程度以上使う」）

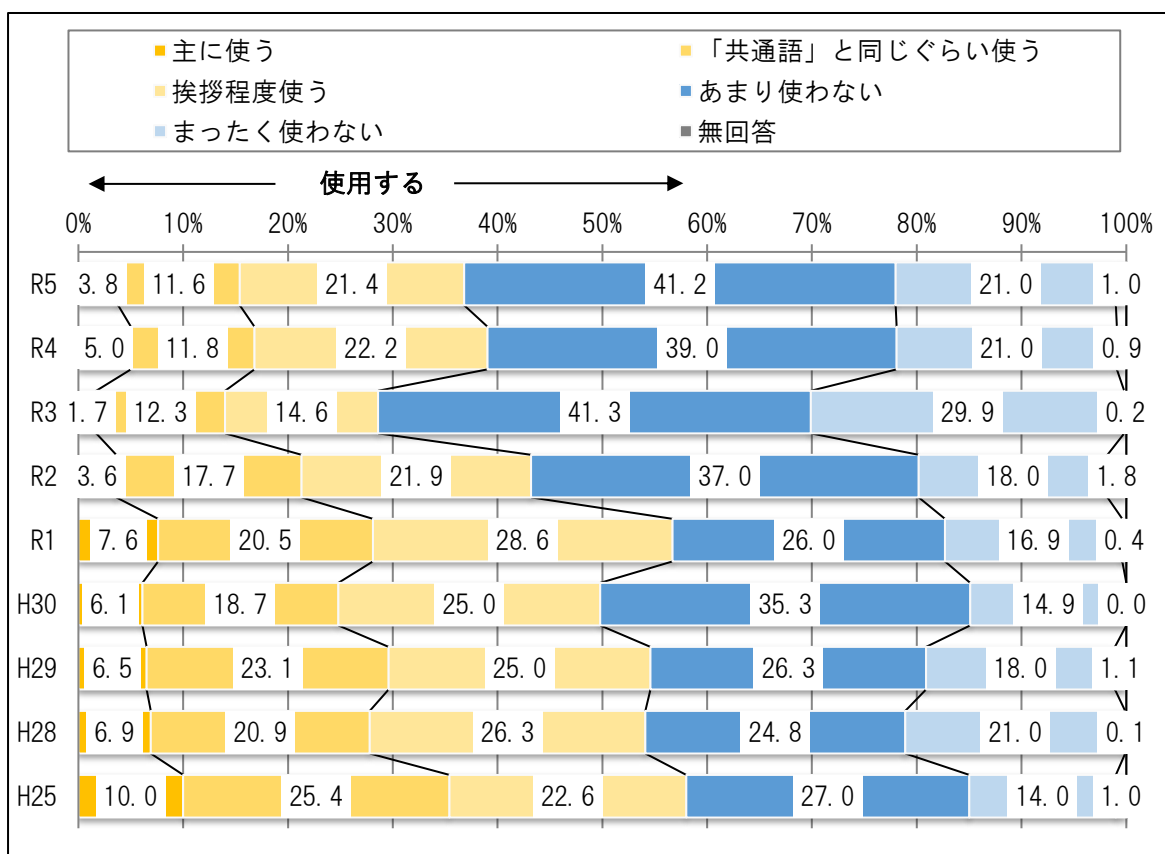
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和3年度）

- ・しまくとぅばを「挨拶程度以上使う」28.6%

○前回調査（令和4年度）

- ・しまくとぅばを「挨拶程度以上使う」39.0%



【性別】

○男性

- ・しまくとうばを主に使う 4.8%
- ・共通語と同じくらい使う 17.2%
- ・挨拶程度使う 23.1%
- ・合計 45.1%

○女性

- ・しまくとうばを主に使う 1.1%
- ・共通語と同じくらい使う 6.8%
- ・挨拶程度使う 21.7%
- ・合計 29.6%

【年代別】

○最も低い→30代

- ・しまくとうばを主に使う 0.8%
- ・共通語と同じくらい使う 3.9%
- ・挨拶程度使う 22.5%
- ・合計 27.2%

○最も高い→70歳以上

- ・しまくとうばを主に使う 11.5%
- ・共通語と同じくらい使う 21.3%
- ・挨拶程度使う 22.4%
- ・合計 55.2%

【地域別】

○最も高い→宮古

- ・しまくとうばを主に使う 2.9%
- ・共通語と同じくらい使う 28.6%
- ・挨拶程度使う 20.0%
- ・合計 51.5%

○最も低い→南部

- ・しまくとうばを主に使う 3.7%
- ・共通語と同じくらい使う 7.6%
- ・挨拶程度使う 19.7%
- ・合計 31.0%

ポイント

- ・全体の 36.8%が「しまくとうば」を挨拶程度以上に使用しており、前年度と比較して 2.2 ポイント減少している。

		(%)					
		主に使う	「共通語」と同じくらい使う	挨拶程度使う	あまり使わない	まったく使わない	無回答
性別	男性 n=290	4.8	17.2	23.1	40.0	14.1	0.7
	女性 n=438	1.1	6.8	21.7	43.8	26.3	0.2
年齢	10代 n=29	3.4	-	27.6	37.9	31.0	-
	20代 n=76	1.3	9.2	18.4	40.8	30.3	-
	30代 n=129	0.8	3.9	22.5	46.5	26.4	-
	40代 n=173	1.2	5.2	25.4	44.5	23.1	0.6
	50代 n=202	2.0	8.9	20.3	47.5	20.3	1.0
	60代 n=231	3.5	17.3	19.5	40.7	19.0	-
	70歳以上 n=174	11.5	21.3	22.4	30.5	13.8	0.6
地域別	北部 n=148	3.4	14.2	25.7	40.5	15.5	0.7
	中部 n=264	4.2	12.5	20.5	42.0	20.1	0.8
	南部 n=432	3.7	7.6	19.7	44.0	24.8	0.2
	宮古 n=35	2.9	28.6	20.0	25.7	22.9	-
	八重山 n=68	4.4	10.3	29.4	38.2	17.6	-
	その他の離島 n=66	4.5	22.7	21.2	34.8	16.7	-

(5) 「しまくとぅば」に対する使う相手

【全体】

【割合が高いもの】・友達（38.7%）、父母（29.6%）、親戚（21.6%）

【割合が低いもの】・夫・妻（16.1%）、職場の同僚（12.5%）、子供（10.2%）

【過去調査との比較】

○前々回調査（令和3年度）

【割合が高いもの】・友達（39.8%）、父母（32.6%）、親戚（24.4%）

【割合が低いもの】・子供（11.0%）、職場の同僚（14.5%）、夫・妻（18.5%）

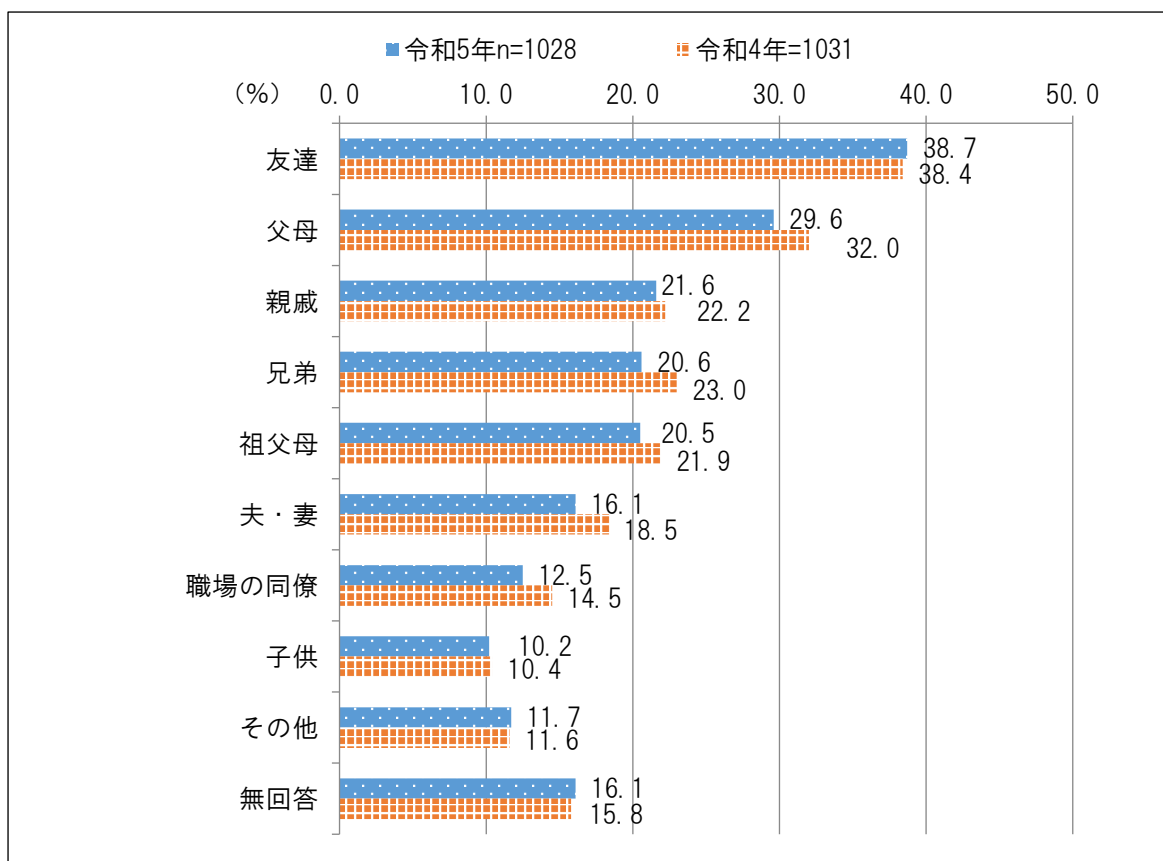
○前回調査（令和4年度）

【割合が高いもの】・友達（38.4%）、父母（32.0%）、兄弟（22.2%）

【割合が低いもの】・夫・妻（18.5%）、職場の同僚（14.5%）、子供（10.4%）、

ポイント

- ・友達、父母、親戚が主な使用相手であり、家族や親しい間柄での使用が多い。



(6) ビジネスや公共の場での「しまくとうば」の使用に関する意識

【全体】

- ・ そう思う 15.1%
- ・ ややそう思う 24.9%
- ・ 合計 40.0%

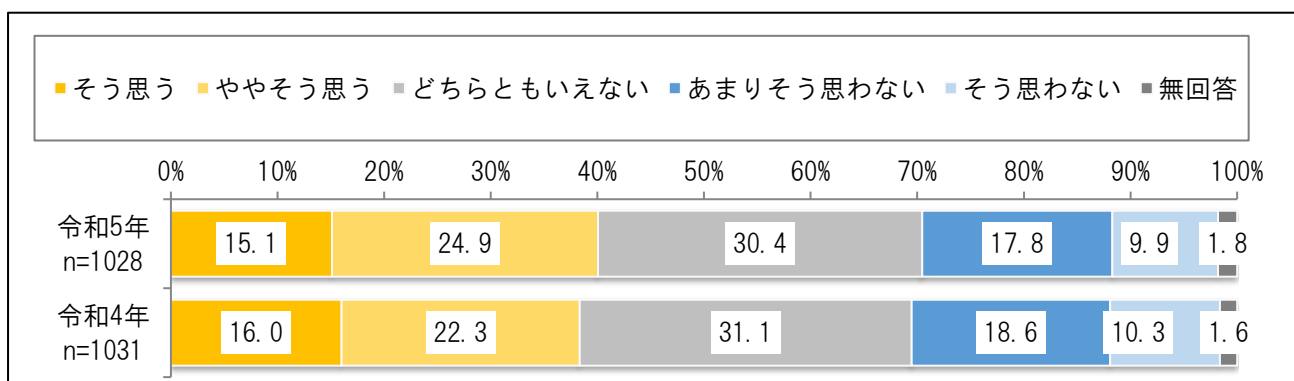
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和3年度）

- ・ そう思う 13.6%
- ・ ややそう思う 20.8%
- ・ 合計 34.4%

○前回調査（令和4年度）

- ・ そう思う 16.0%
- ・ ややそう思う 22.3%
- ・ 合計 38.3%



【性別】

○男性

- ・ そう思う 15.9%
- ・ ややそう思う 24.5%
- ・ 合計 40.4%

○女性

- ・ そう思う 13.2%
- ・ ややそう思う 26.5%
- ・ 合計 39.7%

【年代】

○最も低い→60代

- ・ そう思う 12.6%
- ・ ややそう思う 22.9%
- ・ 合計 35.5%

○最も高い→10代

- ・ そう思う 17.2%
- ・ ややそう思う 31.0%
- ・ 合計 48.2%

【地域別】

○最も低い→南部

- ・ そう思う 13.2%
- ・ ややそう思う 22.5%
- ・ 合計 35.7%

○最も高い→北部

- ・ そう思う 21.6%
- ・ ややそう思う 27.0%
- ・ 合計 48.6%

ポイント

・ ビジネスや公共の場での使用に肯定的な意識を持つ割合が40.0%となっており、前年度と比較して増加している。特に10代で肯定的な意識が高く、地域別では北部が最も肯定的。

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性 n=290	15.9	24.5	30.0	18.3	10.0	1.4
	女性 n=438	13.2	26.5	32.9	18.0	8.2	1.1
年齢	10代 n=29	17.2	31.0	24.1	10.3	17.2	-
	20代 n=76	18.4	22.4	21.1	19.7	17.1	1.3
	30代 n=129	17.1	24.0	27.9	21.7	8.5	0.8
	40代 n=173	12.7	26.0	29.5	18.5	11.6	1.7
	50代 n=202	10.4	29.2	30.2	21.3	6.4	2.5
	60代 n=231	12.6	22.9	37.2	15.6	10.8	0.9
	70歳以上 n=174	23.0	23.0	31.6	14.4	7.5	0.6
地域別	北部 n=148	21.6	27.0	25.0	13.5	10.1	2.7
	中部 n=264	15.2	27.3	33.3	17.0	5.7	1.5
	南部 n=432	13.2	22.5	31.7	20.6	11.3	0.7
	宮古 n=35	8.6	28.6	34.3	14.3	11.4	2.9
	八重山 n=68	17.6	27.9	29.4	11.8	11.8	1.5
	その他の離島 n=66	13.6	25.8	27.3	21.2	12.1	-

(7) 普段の生活の中での「しまくとぅば」の必要性

【全体】

- ・ 非常に必要 12.3%
- ・ ある程度必要 64.6%
- ・ 合計 76.9%

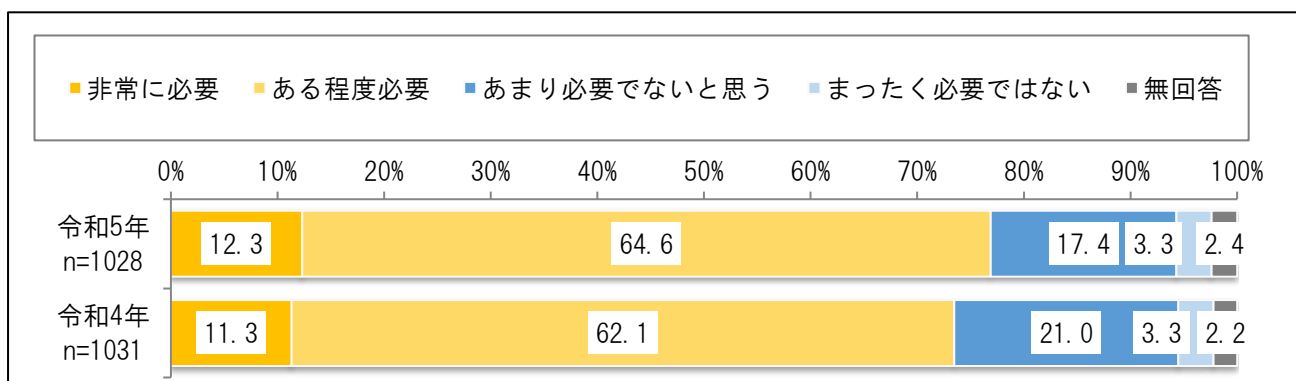
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和3年度）

- ・ 非常に必要 10.9%
- ・ ある程度必要 51.0%
- ・ 合計 61.9%

○前回調査（令和4年度）

- ・ 非常に必要 11.3%
- ・ ある程度必要 62.1%
- ・ 合計 73.4%



【性別】

○男性

- ・ 非常に必要 12.4%
- ・ ある程度必要 66.2%
- ・ 合計 78.6%

○女性

- ・ 非常に必要 11.2%
- ・ ある程度必要 65.5%
- ・ 合計 76.7%

【年代別】

○最も低い→20代

- ・ 非常に必要 17.1%
- ・ ある程度必要 48.7%
- ・ 合計 65.8%

○最も高い→70代以上

- ・ 非常に必要 13.2%
- ・ ある程度必要 67.8%
- ・ 合計 81.0%

ポイント

- ・ 非常に必要と感じる人とある程度必要と感じる人を合わせた割合が76.9%と高く、必要性を感じている人が多い。

(%)

		非常に必要	ある程度必要	あまり必要でないと思う	まったく必要ではない	無回答
性別	男性 n=290	12.4	66.2	16.2	2.1	3.1
	女性 n=438	11.2	65.5	18.3	3.4	1.6
年齢	10代 n=29	17.2	58.6	20.7	3.4	-
	20代 n=76	17.1	48.7	28.9	3.9	1.3
	30代 n=129	11.6	62.0	17.1	7.0	2.3
	40代 n=173	12.1	65.9	17.3	1.7	2.9
	50代 n=202	9.4	66.3	19.3	3.0	2.0
	60代 n=231	11.7	68.8	15.6	1.7	2.2
	70歳以上 n=174	13.2	67.8	12.1	4.6	2.3
地域別	北部 n=148	14.9	60.8	16.2	6.1	2.0
	中部 n=264	10.6	67.0	18.2	1.9	2.3
	南部 n=432	10.9	65.7	17.4	3.7	2.3
	宮古 n=35	17.1	62.9	17.1	-	2.9
	八重山 n=68	19.1	60.3	16.2	1.5	2.9
	その他の離島 n=66	15.2	65.2	15.2	4.5	-

(8) 子どもたちが「しまくとぅば」を使うようになることへの意識

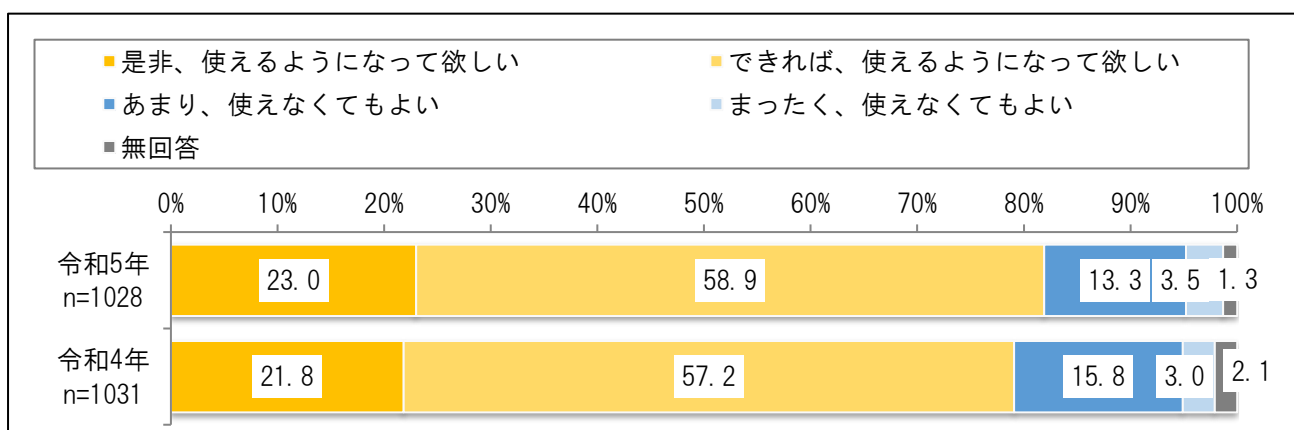
【全体】

- ・是非、使えるようになって欲しい 23.0%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 58.9%
- ・合計 81.9%

【過去調査との比較】

○前回調査（令和4年度）

- ・是非、使えるようになって欲しい 21.8%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 57.2%
- ・合計 79.0%



【性別】

○男性

- ・是非、使えるようになって欲しい 24.1%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 60.3%
- ・合計 84.4%

○女性

- ・是非、使えるようになって欲しい 23.3%
- ・できれば、使えるようになって欲しい 58.4%
- ・合計 81.7%

ポイント

- ・全体では子どもたちに「しまくとうば」を使えるようになってほしいと考える割合 81.9%で高い。

(%)

		是非、使えるようになって欲しい	できれば、使えるようになって欲しい	あまり、使えなくてもよい	まったく、使えなくてもよい	無回答
性別	男性 n=290	 24.1	 60.3	 10.3	 4.1	1.0
	女性 n=438	 23.3	 58.4	 14.4	 3.2	0.7
年齢	10代 n=29	 31.0	 48.3	 13.8	 6.9	-
	20代 n=76	 26.3	 47.4	 17.1	 7.9	1.3
	30代 n=129	 22.5	 51.2	 21.7	 4.7	-
	40代 n=173	 22.0	 63.0	 13.3	 0.6	1.2
	50代 n=202	 20.8	 65.8	 10.4	 2.5	0.5
	60代 n=231	 23.4	 60.2	 11.7	 3.5	1.3
	70歳以上 n=174	 23.0	 59.2	 11.5	 4.6	1.7
地域別	北部 n=148	 21.6	 62.2	 8.8	 6.1	1.4
	中部 n=264	 22.3	 62.9	 11.4	 3.0	0.4
	南部 n=432	 22.5	 58.3	 14.8	 3.5	0.9
	宮古 n=35	 25.7	 54.3	 17.1	 2.9	-
	八重山 n=68	 33.8	 52.9	 13.2	-	-
	その他の離島 n=66	 22.7	 53.0	 19.7	 3.0	1.5

(9) 学校の授業項目に「しまくとぅば」を加えることについて

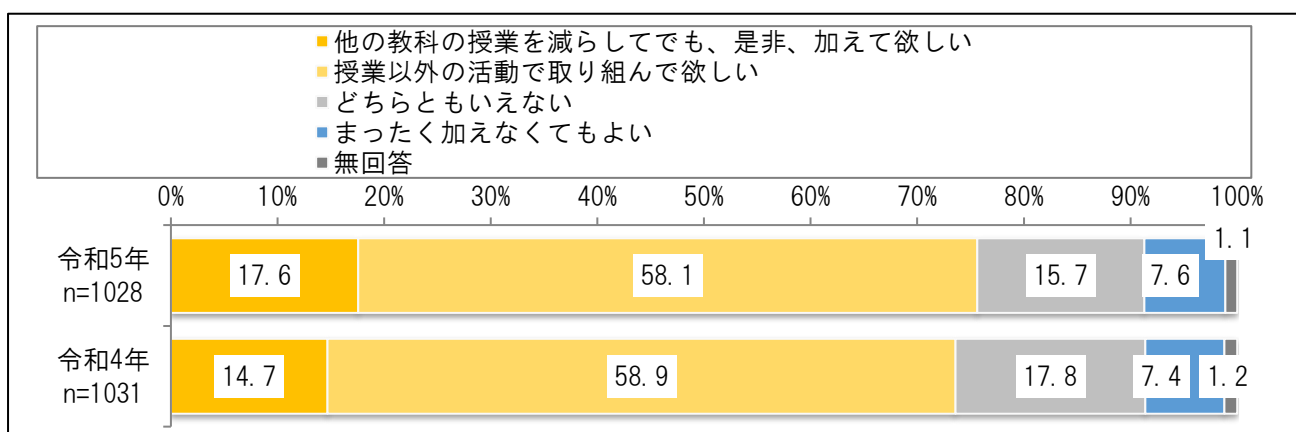
【全体】

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えてほしい 17.6%
- ・授業以外での活動に取り組んでほしい 58.1%
- ・合計 75.7%

【過去調査との比較】

○前回調査（令和4年度）

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えてほしい 14.7%
- ・授業以外での活動に取り組んでほしい 58.9%
- ・合計 73.6%



【性別】

○男性

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えてほしい 20.3%
- ・授業以外での活動に取り組んでほしい 55.5%
- ・合計 75.8%

○女性

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えてほしい 16.4%
- ・授業以外での活動に取り組んでほしい 61.2%
- ・合計 77.6%

【年代別】

○最も低い→10代

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えてほしい 13.8%
- ・授業以外での活動に取り組んでほしい 51.7%
- ・合計 65.5%

○最も高い→60代

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えてほしい 16.9%
- ・授業以外での活動に取り組んでほしい 63.2%
- ・合計 80.1%

【地域別】

○最も低い→宮古

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えてほしい 11.4%
- ・授業以外での活動に取り組んでほしい 57.1%
- ・合計 68.5%

○最も高い→その他の離島

- ・他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えてほしい 21.2%
- ・授業以外での活動に取り組んでほしい 56.1%
- ・合計 77.3%

ポイント

- ・授業以外の活動で取り組むべきとの意見が多く、授業科目として加えることには慎重な意見が目立つ。

		(%)				
		他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい	授業以外の活動で取り組んで欲しい	どちらともいえない	まったく加えなくてもよい	無回答
性別	男性 n=290	20.3	55.5	14.8	9.0	0.3
	女性 n=438	16.4	61.2	14.4	7.1	0.9
年齢	10代 n=29	13.8	51.7	20.7	13.8	-
	20代 n=76	26.3	51.3	13.2	7.9	1.3
	30代 n=129	11.6	62.8	14.0	11.6	-
	40代 n=173	19.1	56.1	17.3	6.4	1.2
	50代 n=202	17.8	54.0	19.3	8.9	-
	60代 n=231	16.9	63.2	12.1	7.4	0.4
	70歳以上 n=174	17.8	59.8	16.1	4.0	2.3
地域別	北部 n=148	21.6	54.1	14.9	6.8	2.7
	中部 n=264	19.3	56.4	16.3	8.0	-
	南部 n=432	16.4	60.4	14.6	8.1	0.5
	宮古 n=35	11.4	57.1	25.7	5.7	-
	八重山 n=68	13.2	63.2	17.6	4.4	1.5
	その他の離島 n=66	21.2	56.1	13.6	9.1	-

(10) 家庭内での「しまくとうば」への取組状況

【全体】

- ・積極的に教えている 4.1%
- ・時々教えている 42.3%
- ・合計 46.4%

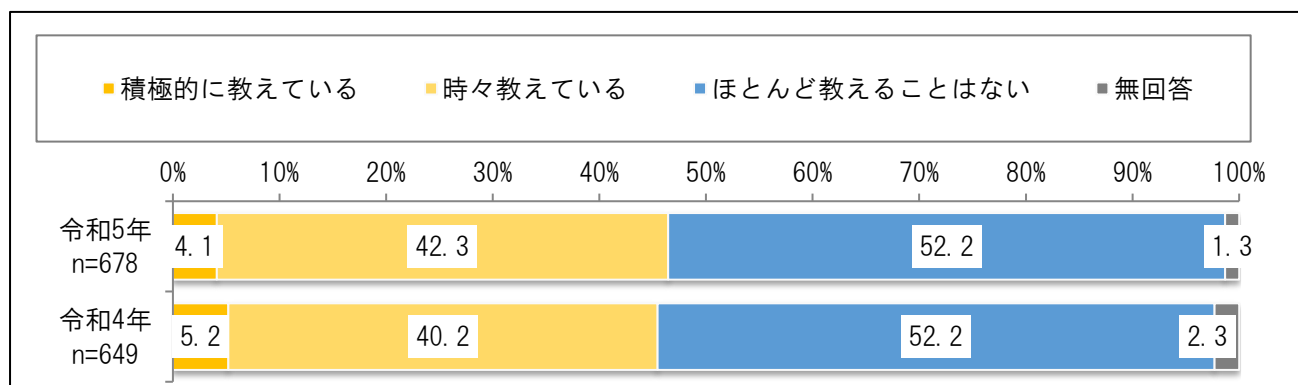
【過去調査との比較】

○前々回調査（令和3年度）

- ・積極的に教えている 3.2%
- ・時々教えている 31.9%
- ・合計 35.1%

○前回調査（令和4年度）

- ・積極的に教えている 5.2%
- ・時々教えている 40.2%
- ・合計 45.4%



【性別】

○男性

- ・積極的に教えている 4.4%
- ・時々教えている 41.7%
- ・合計 46.1%

○女性

- ・積極的に教えている 3.5%
- ・時々教えている 42.9%
- ・合計 46.4%

【年代別】

○最も低い→20代

- ・積極的に教えている 9.1%
- ・時々教えている 18.2%
- ・合計 27.3%

○最も高い→60代

- ・積極的に教えている 3.4%
- ・時々教えている 45.4%
- ・合計 48.8%

【地域別】

○最も低い→その他の離島

- ・積極的に教えている 2.4%
- ・時々教えている 38.1%
- ・合計 40.5%

○最も高い→宮古

- ・積極的に教えている 4.3%
- ・時々教えている 47.8%
- ・合計 52.1%

ポイント

- ・家庭内で積極的に教えている割合は低いものの、時々教えている家庭が多いことがわかる。

(%)

		積極的に教えている	時々教えている	ほとんど教えることはない	無回答
性別	男性 n=180	4.4	41.7	53.3	0.6
	女性 n=287	3.5	42.9	51.9	1.7
年齢	10代 n=-	-	-	-	-
	20代 n=11	9.1	18.2	72.7	-
	30代 n=71	2.8	45.1	52.1	-
	40代 n=128	5.5	39.1	53.9	1.6
	50代 n=142	1.4	45.1	53.5	-
	60代 n=174	3.4	45.4	48.9	2.3
	70歳以上 n=149	6.7	38.3	53.0	2.0
地域別	北部 n=102	4.9	44.1	47.1	3.9
	中部 n=175	3.4	48.0	48.6	-
	南部 n=287	3.5	40.4	55.1	1.0
	宮古 n=23	4.3	47.8	47.8	-
	八重山 n=46	10.9	30.4	58.7	-
	その他の離島 n=42	2.4	38.1	54.8	4.8

(11) 自身が住んでいる地域への愛着について

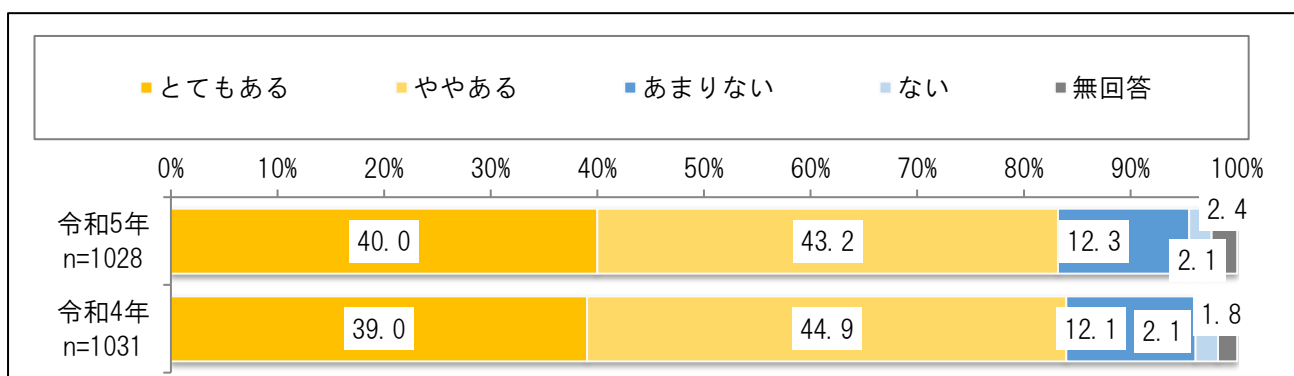
【全体】

- ・ とともある 40.0%
- ・ ややある 43.2%
- ・ 合計 83.2%

【過去調査との比較】

○前回調査（令和4年度）

- ・ とともある 39.0%
- ・ ややある 44.9%
- ・ 合計 83.9%



【性別】

○男性

- ・とてもある 43.4%
- ・ややある 41.4%
- ・合計 84.8%

○女性

- ・とてもある 41.6%
- ・ややある 41.3%
- ・合計 82.9%

【年代別】

○最も低い→20代

- ・とてもある 40.8%
- ・ややある 30.3%
- ・合計 71.1%

○最も高い→60代

- ・とてもある 39.4%
- ・ややある 48.5%
- ・合計 87.9%

【地域別】

○最も低い→北部・南部

- ・とてもある 43.2%（北部）・36.6%（南部）
- ・ややある 38.5%（北部）・45.1%（南部）
- ・合計 81.7%

○最も高い→八重山

- ・とてもある 54.4%
- ・ややある 42.6%
- ・合計 97.0%

ポイント

- ・多くの回答者が自身の住む地域に強い愛着を持っている。特に八重山で愛着の割合が高い。

(%)

		とてもある	ややある	あまりない	ない	無回答
性別	男性 n=290	43.4	41.4	11.7	2.1	1.4
	女性 n=438	41.6	41.3	12.6	2.3	2.3
年齢	10代 n=29	37.9	48.3	13.8	-	-
	20代 n=76	40.8	30.3	18.4	7.9	2.6
	30代 n=129	42.6	38.8	15.5	2.3	0.8
	40代 n=173	41.0	42.8	12.7	1.7	1.7
	50代 n=202	39.1	43.1	14.4	2.5	1.0
	60代 n=231	39.4	48.5	8.2	1.3	2.6
	70歳以上 n=174	38.5	46.6	9.2	1.1	4.6
地域別	北部 n=148	43.2	38.5	12.2	1.4	4.7
	中部 n=264	37.9	44.3	13.6	3.0	1.1
	南部 n=432	36.6	45.1	14.4	2.3	1.6
	宮古 n=35	51.4	37.1	5.7	2.9	2.9
	八重山 n=68	54.4	42.6	1.5	-	1.5
	その他の離島 n=66	47.0	43.9	7.6	-	1.5

(12) 普及継承の取り組みについての認知度

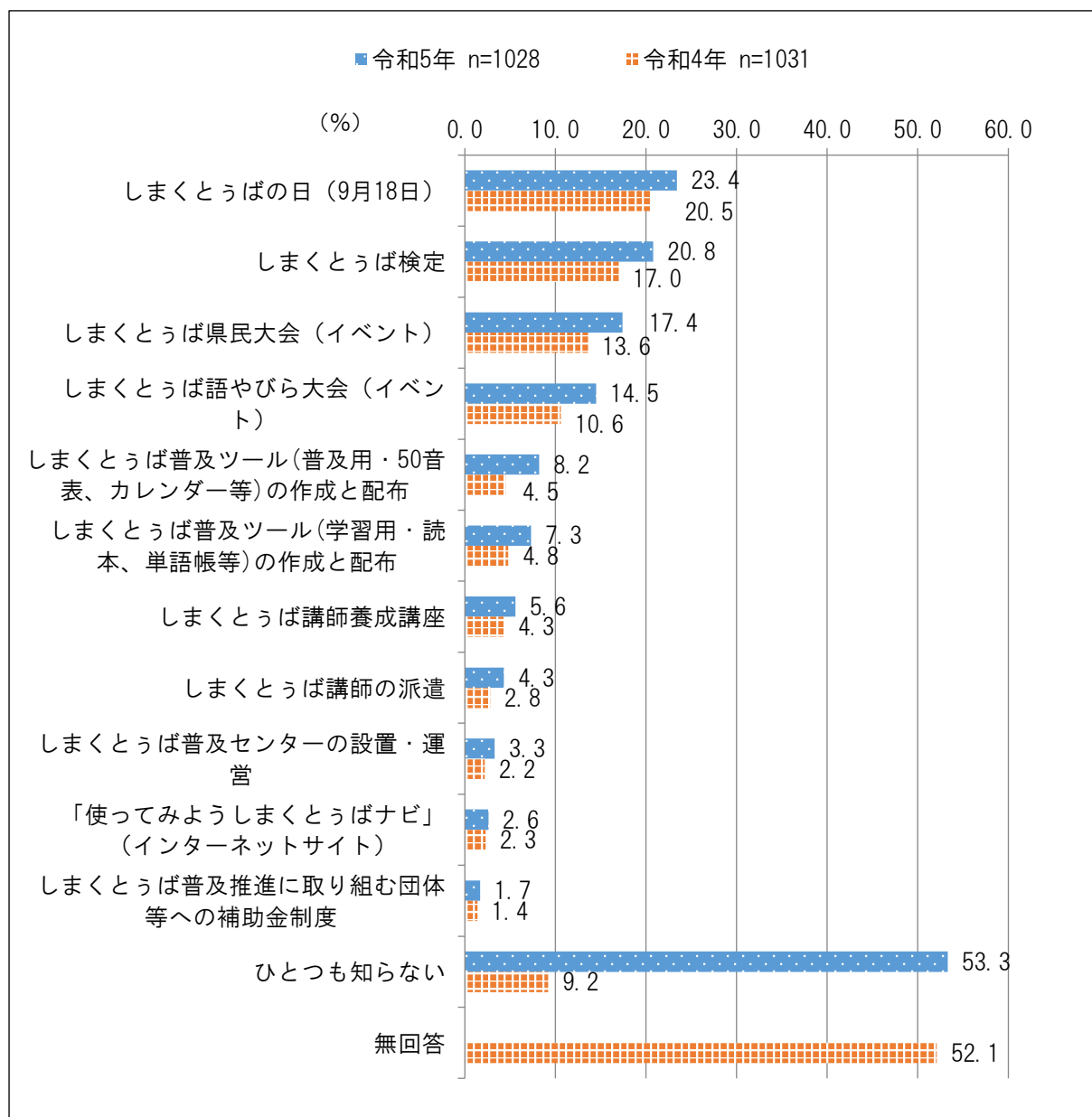
【全体】

○最も高い

「しまくとうばの日(9月18日)」→ 23.4%

○最も低い

「効果度_しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」→1.7%



【性別】

○男性

最も低い→「しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」2.4%

最も高い→「ひとつも知らない」51.4%

○女性

最も低い→「しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」1.4%

最も高い→「ひとつも知らない」46.1%

【年代別】

○30代

最も低い→「しまくとうば講師の派遣」1.6%

最も高い→「ひとつも知らない」45.7%

【地域別】

○北部

最も低い→「しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度」「使ってみようしまくとうばナビ」(インターネットサイト)」0.7%

最も高い→「ひとつも知らない」54.1%

ポイント

・特定のイベントを除き、普及継承の取り組みについての認知度は全体的に低い。特に補助金制度などの具体的な支援策の認知度が低い。

(%)

		しまくとうばの日 (9月18日)	しまくとうば県民 大会(イベント)	しまくとうば語や びら大会(イベント)	しまくとうば普及 推進に取り組む団 体等への補助金制 度	しまくとうば普及 センターの設置・ 運営	しまくとうば講師 養成講座
性別	男性 n=290	25.2	17.2	14.5	2.4	5.9	4.8
	女性 n=438	24.7	18.7	15.5	1.4	2.7	6.4
年齢	10代 n=29	41.4	31.0	6.9	-	-	6.9
	20代 n=76	27.6	18.4	11.8	-	5.3	1.3
	30代 n=129	24.8	20.9	13.2	3.1	5.4	4.7
	40代 n=173	23.7	17.3	14.5	1.2	2.3	4.6
	50代 n=202	24.3	16.3	11.4	2.0	2.5	6.4
	60代 n=231	21.2	17.3	14.7	0.9	3.0	6.1
	70歳以上 n=174	18.4	13.8	21.3	2.3	3.4	6.3
地域別	北部 n=148	21.6	20.3	18.2	0.7	3.4	5.4
	中部 n=264	26.9	17.0	18.6	0.8	2.3	3.4
	南部 n=432	20.6	14.8	11.1	2.3	3.2	6.3
	宮古 n=35	20.0	28.6	17.1	2.9	2.9	5.7
	八重山 n=68	36.8	23.5	10.3	-	2.9	8.8
	その他の離島 n=66	22.7	16.7	15.2	1.5	6.1	4.5

(%)

		しまくとうば講師 の派遣	しまくとうば検定	「使ってみようし まくとうばナビ」 (インターネット サイト)	しまくとうば普及 ツール(普及用・50 音表、カレンダー 等)の作成と配布	しまくとうば普及 ツール(学習用・読 本、単語帳等)の作 成と配布	ひとつも知らない
性別	男性 n=290	4.1	20.3	2.8	6.6	6.6	51.4
	女性 n=438	5.0	23.7	2.1	10.5	9.8	46.1
年齢	10代 n=29	3.4	24.1	-	6.9	17.2	34.5
	20代 n=76	-	19.7	3.9	11.8	10.5	47.4
	30代 n=129	1.6	22.5	3.1	7.0	8.5	45.7
	40代 n=173	4.6	26.0	2.3	11.0	8.7	49.1
	50代 n=202	5.4	21.8	2.5	6.9	7.9	55.0
	60代 n=231	5.2	19.9	2.2	6.1	5.2	54.1
	70歳以上 n=174	4.6	14.4	2.9	8.6	4.6	65.5
地域別	北部 n=148	2.7	20.3	0.7	6.1	4.7	54.1
	中部 n=264	2.7	21.2	1.5	7.6	4.2	50.0
	南部 n=432	4.2	20.6	3.7	6.9	8.1	55.8
	宮古 n=35	2.9	8.6	2.9	5.7	8.6	51.4
	八重山 n=68	10.3	35.3	4.4	14.7	14.7	44.1
	その他の離島 n=66	7.6	13.6	-	13.6	12.1	54.5

(13) 「しまくとうば」の普及に必要なこと

【全体】

・最も高い

「テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用」→52.2%

・最も低い

「官公庁等でのしまくとうば使用」→18.0%

【過去調査との比較】

○前々回調査（令和3年度）

・最も高い

「学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施」→49.9%

・最も低い

「官公庁等でのしまくとうば使用」→11.5%

○前回調査（令和4年度）

・最も高い

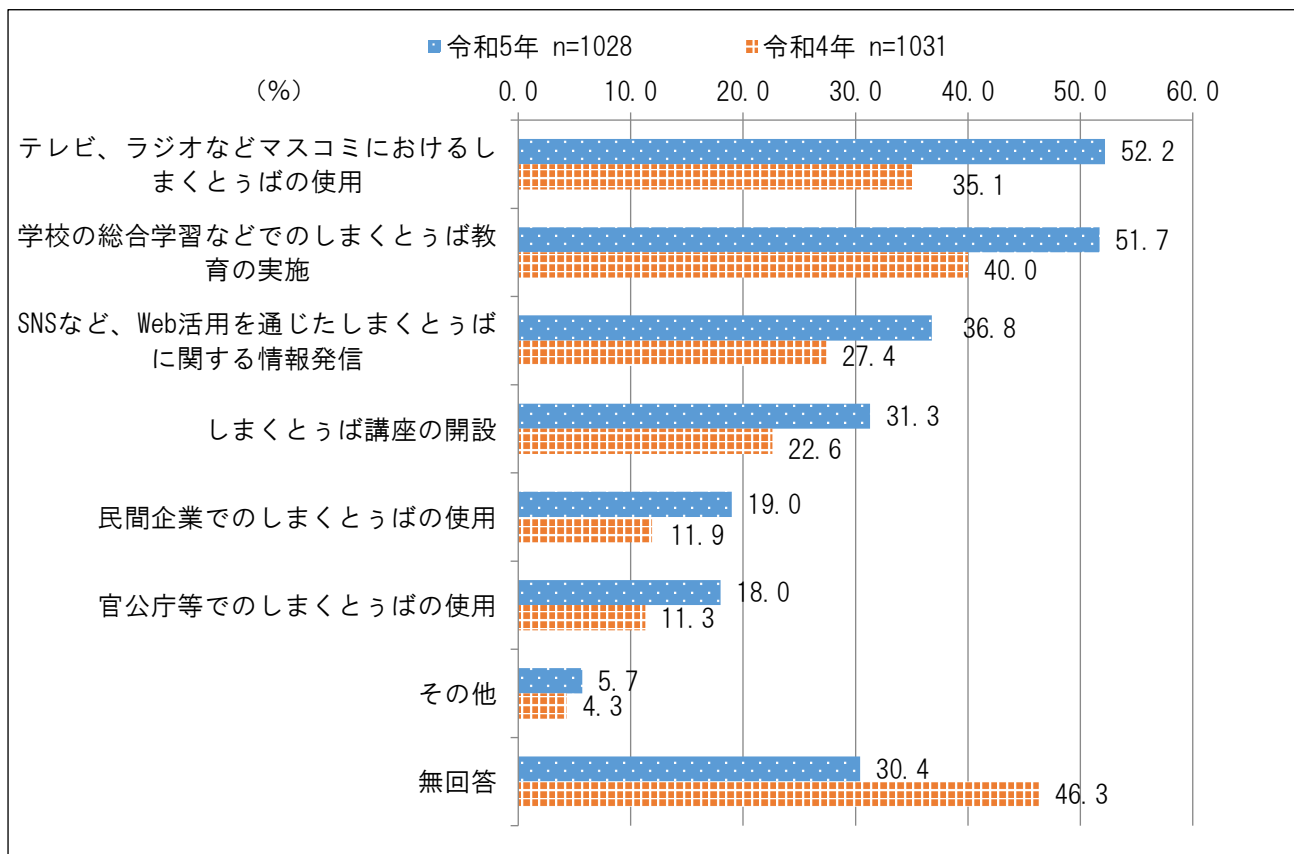
「学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施」→40.0%

・最も低い

「官公庁等でのしまくとうば使用」→11.3%

ポイント

・マスコミと教育を通じた「しまくとうば」の使用が最も必要とされており、5割を超えている。



(14) 自身の出身地の「しまくとぅば」の認知度

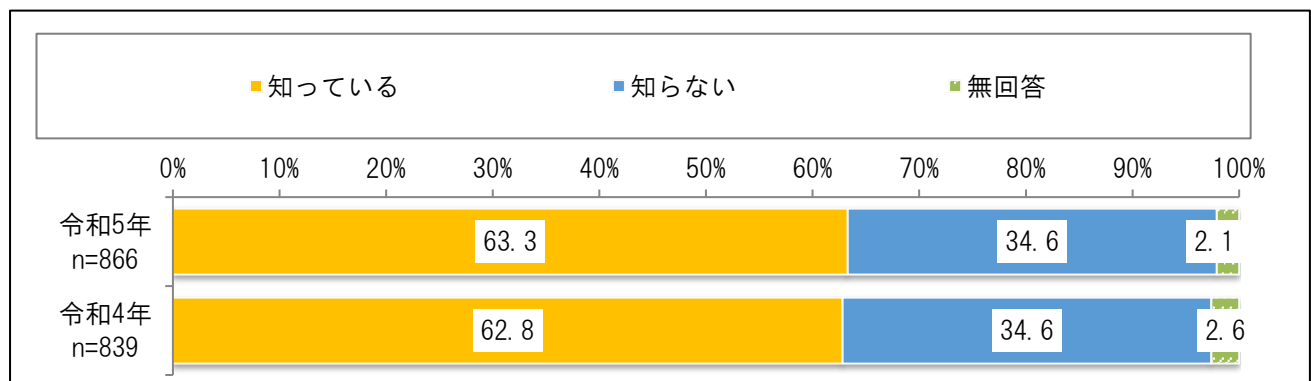
【全体】

- ・知っている 63.3%
- ・知らない 34.6%

【過去調査との比較】

○前回調査（令和4年度）

- ・知っている 62.8%
- ・知らない 34.6%



【性別】

○男性

- ・知っている 66.2%
- ・知らない 31.9%

○女性

- ・知っている 59.6%
- ・知らない 38.5%

【年代】

○最も低い→20代

- ・知っている 38.8%
- ・知らない 59.7%

○最も高い→70歳以上

- ・知っている 81.6%
- ・知らない 14.9%

【地域別】

○最も低い→南部

- ・知っている 58.4%
- ・知らない 39.7%

○最も高い→宮古

- ・知っている 89.7%
- ・知らない 6.9%

ポイント

- ・多くの県民が自身の出身地の「しまくとぅば」を知っており、特に宮古での認知度が高い。

(%)

		知っている	知らない	無回答
性別	男性 n=260	66.2	31.9	1.9
	女性 n=384	59.6	38.5	1.8
年齢	10代 n=28	46.4	46.4	7.1
	20代 n=67	38.8	59.7	1.5
	30代 n=112	56.3	43.8	-
	40代 n=141	55.3	43.3	1.4
	50代 n=177	61.0	36.7	2.3
	60代 n=196	71.9	26.0	2.0
	70歳以上 n=141	81.6	14.9	3.5
地域別	北部 n=127	66.9	29.9	3.1
	中部 n=234	58.5	40.2	1.3
	南部 n=380	58.4	39.7	1.8
	宮古 n=29	89.7	6.9	3.4
	八重山 n=42	85.7	11.9	2.4
	その他の離島 n=50	80.0	18.0	2.0

(15) 自身の出身地の「しまくとぅば」の継承について

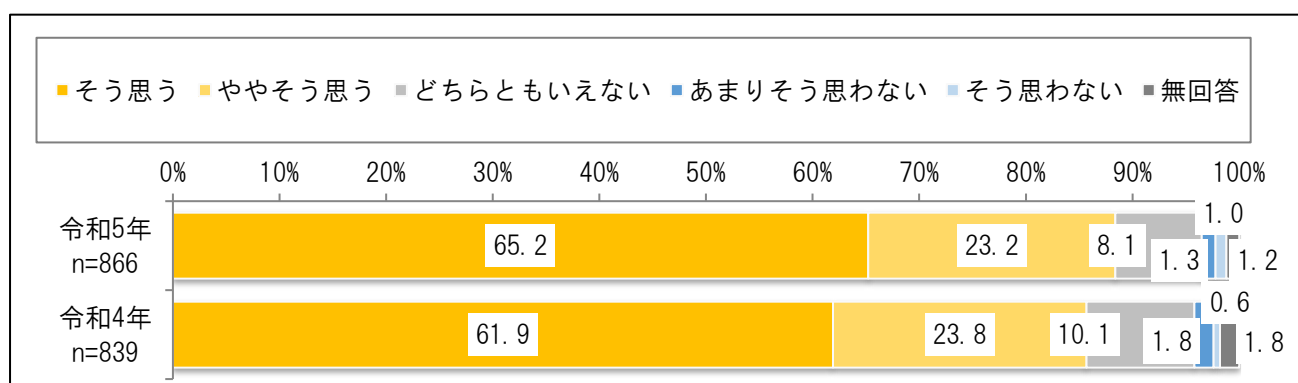
【全体】

- ・ と思う 65.2%
- ・ ややと思う 23.2%
- ・ 合計 88.4%

【過去調査との比較】

○前回調査（令和4年度）

- ・ と思う 61.9%
- ・ ややと思う 23.8%
- ・ 合計 85.7%



【性別】

○男性

- ・ と思う 64.2%
- ・ ややと思う 24.6%
- ・ 合計 88.8%

○女性

- ・ と思う 61.5%
- ・ ややと思う 27.6%
- ・ 合計 89.1%

【年代別】

○最も低い→10代

- ・ と思う 50.0%
- ・ ややと思う 25.0%
- ・ 合計 75.0%

○最も高い→20代

- ・ と思う 44.8%
- ・ ややと思う 46.3%
- ・ 合計 91.1%

【地域別】

○最も低い→その他の離島

- ・ と思う 64.0%
- ・ ややと思う 14.0%
- ・ 合計 78.0%

○最も高い→八重山

- ・ と思う 85.7%
- ・ ややと思う 11.9%
- ・ 合計 97.6%

ポイント

- ・ 大多数が自身の出身地の「しまくとぅば」の継承を望んでおり、特に八重山でその願望が強い。

(%)

		と思う	ややと思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性 n=260	64.2	24.6	7.7	1.2	1.5	0.8
	女性 n=384	61.5	27.6	8.6	0.8	0.3	1.3
年齢	10代 n=28	50.0	25.0	17.9	-	-	7.1
	20代 n=67	44.8	46.3	4.5	-	3.0	1.5
	30代 n=112	58.0	26.8	14.3	-	0.9	-
	40代 n=141	64.5	24.8	8.5	0.7	-	1.4
	50代 n=177	64.4	24.3	6.2	1.7	2.3	1.1
	60代 n=196	73.5	15.8	8.2	1.0	1.0	0.5
	70歳以上 n=141	73.0	17.0	5.0	3.5	-	1.4
地域別	北部 n=127	63.0	27.6	3.1	2.4	2.4	1.6
	中部 n=234	67.5	22.2	7.7	0.9	0.9	0.9
	南部 n=380	63.2	24.7	9.5	0.8	1.1	0.8
	宮古 n=29	62.1	24.1	6.9	-	-	6.9
	八重山 n=42	85.7	11.9	2.4	-	-	-
	その他の離島 n=50	64.0	14.0	14.0	6.0	-	2.0

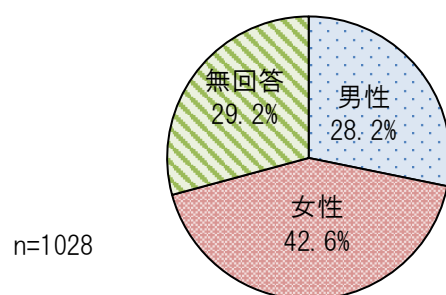
調査結果

1. 回答者の基本属性

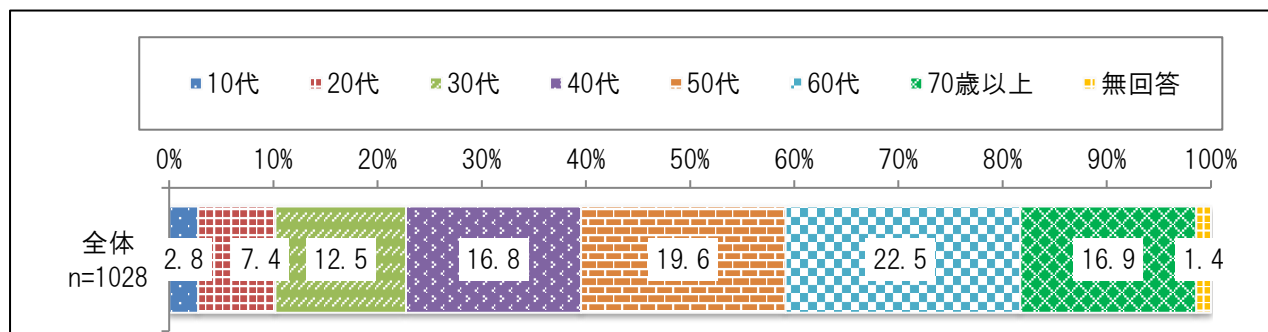
性別は、「男性」が28.2%、「女性」が42.6%である。

年齢について、「60代」が22.5%と高く、次いで「50代」が19.6%と続く。

図表1. 性別



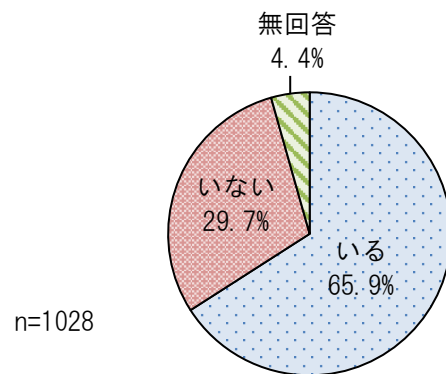
図表2. 年齢



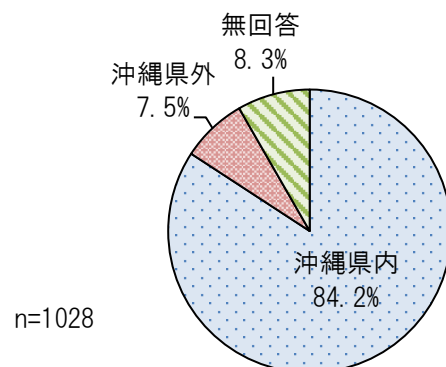
子供の有無は「いる」が65.9%で高い。

出身地は、「沖縄県内」が84.2%で高い。

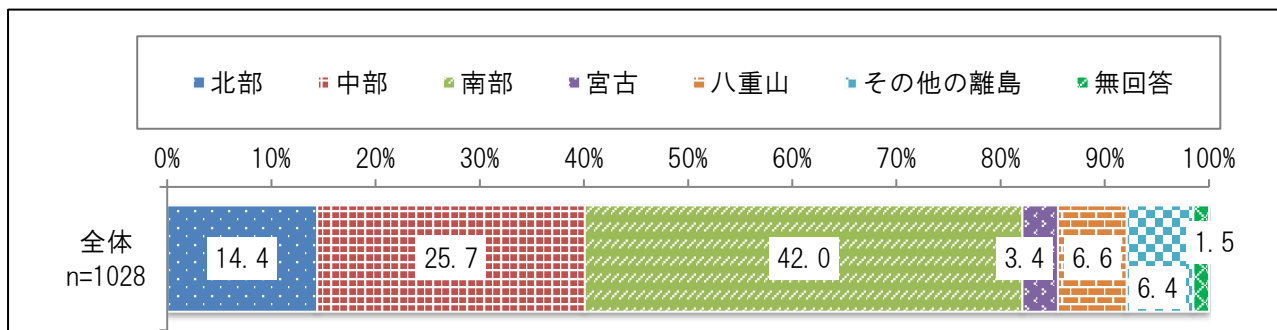
図表3. 子供の有無



図表4. 出身地



図表5. 地域別



2. 調査結果の詳細

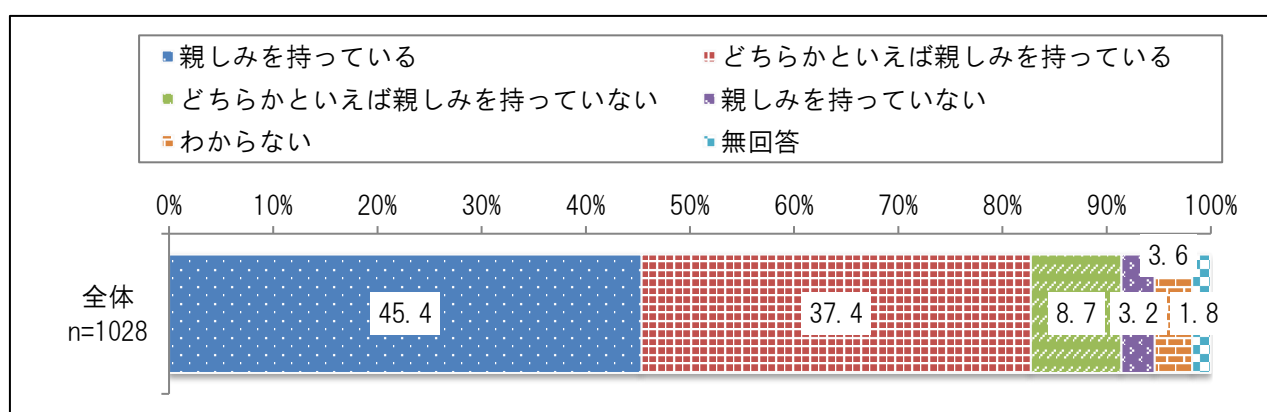
(1) 問1.「しまくとうば」に親しみを持っていますか。

「しまくとうば」に対する親しみは「親しみを持っている」が45.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば親しみを持っている」が37.4%、「どちらかといえば親しみを持っていない」が8.7%である。

「親しみを持っている」（「親しみをもっている」+「どちらかといえば親しみを持っている」を合わせる）と回答した人は、82.8%である。

性別では、「親しみを持っている」は男性が48.3%で女性の41.3%より7.0ポイント高い。

図表6. 「しまくとうば」に対する親しみ



		(%)					
		親しみを持っている	どちらかといえば親しみを持っている	どちらかといえば親しみを持っていない	親しみを持っていない	わからない	無回答
性別	男性 n=290	48.3	36.9	8.3	3.1	2.8	0.7
	女性 n=438	41.3	40.2	10.0	3.7	3.4	1.4
年齢	10代 n=29	31.0	37.9	17.2	10.3	3.4	-
	20代 n=76	34.2	38.2	19.7	2.6	5.3	-
	30代 n=129	23.3	48.8	14.7	6.2	7.0	-
	40代 n=173	37.0	42.2	11.6	4.6	4.0	0.6
	50代 n=202	49.5	38.6	5.9	1.5	3.5	1.0
	60代 n=231	54.1	37.2	3.9	2.2	1.7	0.9
	70歳以上 n=174	62.6	24.7	4.6	2.3	2.9	2.9
地域別	北部 n=148	49.3	35.8	4.1	3.4	5.4	2.0
	中部 n=264	46.6	36.0	10.2	3.0	3.8	0.4
	南部 n=432	43.3	40.5	8.8	3.9	2.5	0.9
	宮古 n=35	51.4	31.4	8.6	2.9	2.9	2.9
	八重山 n=68	47.1	36.8	11.8	-	2.9	1.5
	その他の離島 n=66	48.5	36.4	7.6	3.0	3.0	1.5

(2) 問 2.1.「しまくとうば」にどのようなイメージを持っていますか。

「しまくとうば」のイメージは「誇らしい」の「非常に」が39.4%で最も高く、「非常に」と「やや」を合わせると、64.9%となる。次いで「面白い」は、「非常に」が33.7%と、「やや」が37.4%と最も高い割合となる。

図表7. 「しまくとうば」に対するイメージ

(%)

	非常に	やや	どちらでもない	やや	非常に		無回答
n=1028							
やわらかい	18.1	35.4	28.6	9.8	1.9	硬い	6.1
明るい	24.8	37.5	25.7	4.7	0.9	暗い	6.5
丁寧	11.7	20.1	40.2	18.4	2.2	乱暴	7.4
誇らしい	39.4	25.5	24.7	3.3	1.2	恥ずかしい	5.9
豪快	17.0	31.8	35.5	6.3	1.8	繊細	7.5
さわやか	10.4	25.5	50.4	6.2	0.7	うっとうしい	6.8
カッコいい	17.1	24.8	45.5	4.5	1.1	カッコ悪い	7.0
面白い	33.7	37.4	18.6	2.8	1.2	面白くない	6.4
身近に感じる	27.6	37.0	15.6	10.2	3.9	身近に感じない	5.7
感情的	20.4	32.7	35.4	3.6	0.7	理論的	7.2
田舎っぽい	16.6	28.3	43.4	4.0	0.9	都会的	6.8
明瞭	9.4	19.5	43.2	13.9	6.9	不明瞭	7.1

2. 調査結果の詳細

(%)

		非常にやわらかい	やややわらかい	どちらでもない	やや硬い	非常に硬い	無回答
性別	男性 n=290	17.9	39.7	28.6	6.9	1.7	5.2
	女性 n=438	18.0	37.0	29.2	9.6	2.3	3.9
年齢	10代 n=29	20.7	31.0	27.6	10.3	6.9	3.4
	20代 n=76	18.4	31.6	22.4	18.4	6.6	2.6
	30代 n=129	13.2	32.6	36.4	14.0	3.9	-
	40代 n=173	12.1	42.8	35.8	8.1	-	1.2
	50代 n=202	18.8	42.1	30.2	5.0	1.0	3.0
	60代 n=231	20.8	33.3	26.4	10.8	0.9	7.8
	70歳以上 n=174	24.1	30.5	19.5	9.2	2.3	14.4
地域別	北部 n=148	18.2	33.1	27.7	10.8	3.4	6.8
	中部 n=264	17.8	34.5	34.8	8.0	1.5	3.4
	南部 n=432	20.8	37.7	25.2	8.6	2.1	5.6
	宮古 n=35	5.7	37.1	22.9	17.1	-	17.1
	八重山 n=68	14.7	36.8	27.9	17.6	1.5	1.5
	その他の離島 n=66	13.6	33.3	28.8	12.1	1.5	10.6

(%)

		非常に明るい	やや明るい	どちらでもない	やや暗い	非常に暗い	無回答
性別	男性 n=290	24.1	36.6	29.0	4.5	0.7	5.2
	女性 n=438	24.4	42.9	23.5	4.3	0.9	3.9
年齢	10代 n=29	31.0	27.6	34.5	3.4	-	3.4
	20代 n=76	31.6	42.1	19.7	2.6	2.6	1.3
	30代 n=129	23.3	39.5	30.2	3.9	2.3	0.8
	40代 n=173	22.0	45.7	27.7	4.0	-	0.6
	50代 n=202	26.2	38.6	29.2	3.0	0.5	2.5
	60代 n=231	25.1	38.5	22.9	6.9	0.9	5.6
	70歳以上 n=174	24.7	27.0	21.3	5.7	0.6	20.7
地域別	北部 n=148	25.0	36.5	23.0	4.7	2.7	8.1
	中部 n=264	25.4	41.7	23.9	4.2	0.8	4.2
	南部 n=432	24.8	37.7	26.9	4.4	0.5	5.8
	宮古 n=35	28.6	22.9	31.4	5.7	-	11.4
	八重山 n=68	30.9	30.9	29.4	5.9	1.5	1.5
	その他の離島 n=66	18.2	40.9	21.2	7.6	-	12.1

(%)

		非常に丁寧	やや丁寧	どちらでもない	やや乱暴	非常に乱暴	無回答
性別	男性 n=290	10.7	22.4	41.7	17.6	1.7	5.9
	女性 n=438	11.2	19.2	42.0	20.5	2.5	4.6
年齢	10代 n=29	6.9	10.3	41.4	34.5	3.4	3.4
	20代 n=76	6.6	11.8	39.5	32.9	6.6	2.6
	30代 n=129	3.9	11.6	45.0	34.9	3.9	0.8
	40代 n=173	3.5	24.9	45.7	24.3	0.6	1.2
	50代 n=202	10.9	22.3	47.5	13.9	1.5	4.0
	60代 n=231	19.5	22.9	39.0	9.1	1.7	7.8
	70歳以上 n=174	19.5	22.4	25.9	10.3	1.7	20.1
地域別	北部 n=148	14.9	18.2	40.5	15.5	2.0	8.8
	中部 n=264	10.2	20.1	41.7	20.5	1.9	5.7
	南部 n=432	12.0	19.0	41.2	19.7	2.1	6.0
	宮古 n=35	5.7	25.7	34.3	17.1	2.9	14.3
	八重山 n=68	16.2	25.0	38.2	14.7	2.9	2.9
	その他の離島 n=66	7.6	28.8	31.8	15.2	3.0	13.6

2. 調査結果の詳細

(%)

		非常に誇らしい	やや誇らしい	どちらでもない	やや恥ずかしい	非常に恥ずかしい	無回答
性別	男性 n=290	37.9	30.3	23.4	2.1	0.7	5.5
	女性 n=438	40.2	26.3	25.3	3.7	1.1	3.4
年齢	10代 n=29	37.9	31.0	27.6	-	-	3.4
	20代 n=76	44.7	19.7	27.6	5.3	1.3	1.3
	30代 n=129	39.5	27.9	27.9	3.1	1.6	-
	40代 n=173	45.1	22.5	28.3	2.9	-	1.2
	50代 n=202	41.1	30.2	22.8	2.5	1.5	2.0
	60代 n=231	39.4	27.3	22.5	3.0	0.4	7.4
	70歳以上 n=174	31.0	22.4	22.4	5.2	2.3	16.7
地域別	北部 n=148	35.8	30.4	21.6	4.1	1.4	6.8
	中部 n=264	43.2	25.4	23.1	3.0	0.8	4.5
	南部 n=432	38.4	26.4	26.2	3.0	1.6	4.4
	宮古 n=35	34.3	20.0	34.3	-	-	11.4
	八重山 n=68	50.0	19.1	22.1	4.4	-	4.4
	その他の離島 n=66	37.9	22.7	25.8	4.5	-	9.1

(%)

		非常に豪快	やや豪快	どちらでもない	やや繊細	非常に繊細	無回答
性別	男性 n=290	13.8	31.7	39.7	4.8	2.4	7.6
	女性 n=438	16.2	35.8	32.0	9.4	1.6	5.0
年齢	10代 n=29	17.2	27.6	41.4	10.3	-	3.4
	20代 n=76	22.4	39.5	26.3	5.3	3.9	2.6
	30代 n=129	24.0	42.6	26.4	7.0	-	-
	40代 n=173	16.8	39.3	33.5	5.8	3.5	1.2
	50代 n=202	17.8	28.2	41.1	8.4	1.5	3.0
	60代 n=231	13.4	28.6	42.0	4.3	1.7	10.0
	70歳以上 n=174	14.4	24.1	33.3	6.9	0.6	20.7
地域別	北部 n=148	17.6	29.7	32.4	8.1	3.4	8.8
	中部 n=264	17.8	33.7	33.7	7.6	1.9	5.3
	南部 n=432	17.1	30.8	38.9	6.5	0.9	5.8
	宮古 n=35	17.1	28.6	37.1	2.9	-	14.3
	八重山 n=68	19.1	36.8	30.9	2.9	5.9	4.4
	その他の離島 n=66	12.1	37.9	31.8	3.0	1.5	13.6

(%)

		非常にさわやか	ややさわやか	どちらでもない	ややうっとうしい	非常にうっとうしい	無回答
性別	男性 n=290	9.7	27.2	49.0	6.9	0.7	6.6
	女性 n=438	8.9	25.3	54.3	6.8	0.2	4.3
年齢	10代 n=29	3.4	17.2	62.1	13.8	-	3.4
	20代 n=76	11.8	14.5	60.5	10.5	-	2.6
	30代 n=129	5.4	19.4	63.6	10.9	0.8	-
	40代 n=173	6.4	24.9	61.8	5.8	-	1.2
	50代 n=202	11.9	25.2	55.0	4.5	1.0	2.5
	60代 n=231	11.7	32.0	41.1	4.8	1.3	9.1
	70歳以上 n=174	14.9	30.5	31.6	4.0	0.6	18.4
地域別	北部 n=148	12.2	24.3	45.9	6.8	2.0	8.8
	中部 n=264	11.7	25.4	52.3	6.4	0.4	3.8
	南部 n=432	9.5	25.2	52.8	6.3	0.7	5.6
	宮古 n=35	8.6	20.0	48.6	8.6	-	14.3
	八重山 n=68	11.8	36.8	45.6	2.9	-	2.9
	その他の離島 n=66	7.6	25.8	45.5	7.6	-	13.6

2. 調査結果の詳細

		(%)					
		非常にかっこいい	ややかっこいい	どちらでもない	ややかっこ悪い	非常にかっこ悪い	無回答
性別	男性 n=290	14.8	26.2	48.3	3.8	1.0	5.9
	女性 n=438	17.4	28.8	45.0	4.3	0.2	4.3
年齢	10代 n=29	17.2	20.7	55.2	3.4	-	3.4
	20代 n=76	18.4	28.9	44.7	3.9	-	3.9
	30代 n=129	19.4	28.7	42.6	6.2	3.1	-
	40代 n=173	17.3	25.4	52.0	2.9	0.6	1.7
	50代 n=202	16.8	25.7	50.0	4.0	1.0	2.5
	60代 n=231	16.9	24.2	44.2	4.3	0.9	9.5
	70歳以上 n=174	15.5	21.8	37.4	6.3	1.1	17.8
地域別	北部 n=148	20.9	25.7	36.5	7.4	2.0	7.4
	中部 n=264	16.7	26.9	47.3	3.4	0.8	4.9
	南部 n=432	15.7	23.8	48.8	4.4	1.4	5.8
	宮古 n=35	8.6	20.0	54.3	2.9	-	14.3
	八重山 n=68	29.4	26.5	38.2	2.9	-	2.9
	その他の離島 n=66	15.2	24.2	42.4	6.1	-	12.1

		(%)					
		非常に面白い	やや面白い	どちらでもない	やや面白くない	非常に面白くない	無回答
性別	男性 n=290	30.7	41.0	20.0	1.7	0.7	5.9
	女性 n=438	37.4	38.4	16.0	3.0	1.1	4.1
年齢	10代 n=29	37.9	41.4	17.2	-	-	3.4
	20代 n=76	38.2	38.2	18.4	2.6	-	2.6
	30代 n=129	38.0	43.4	13.2	3.9	1.6	-
	40代 n=173	34.1	41.6	22.0	1.7	-	0.6
	50代 n=202	37.6	32.7	23.3	3.0	2.0	1.5
	60代 n=231	31.2	39.8	15.6	3.0	1.7	8.7
	70歳以上 n=174	27.6	32.2	17.8	2.9	1.1	18.4
地域別	北部 n=148	37.8	29.7	16.2	5.4	2.0	8.8
	中部 n=264	34.1	40.2	18.2	2.7	0.8	4.2
	南部 n=432	33.1	38.7	19.7	2.1	1.6	4.9
	宮古 n=35	28.6	31.4	31.4	-	-	8.6
	八重山 n=68	44.1	32.4	17.6	2.9	-	2.9
	その他の離島 n=66	18.2	48.5	15.2	4.5	-	13.6

		(%)					
		非常に身近に感じる	やや身近に感じる	どちらでもない	やや身近に感じない	非常に身近に感じない	無回答
性別	男性 n=290	27.9	39.0	14.8	9.0	3.4	5.9
	女性 n=438	23.5	42.5	13.9	12.6	4.8	2.7
年齢	10代 n=29	24.1	44.8	13.8	6.9	6.9	3.4
	20代 n=76	26.3	31.6	14.5	18.4	6.6	2.6
	30代 n=129	17.8	51.2	10.9	13.2	6.2	0.8
	40代 n=173	19.7	45.7	18.5	10.4	4.6	1.2
	50代 n=202	27.7	40.6	17.3	11.4	1.0	2.0
	60代 n=231	30.3	33.8	16.5	7.8	4.8	6.9
	70歳以上 n=174	40.8	21.3	13.8	7.5	2.3	14.4
地域別	北部 n=148	25.7	40.5	10.8	10.1	5.4	7.4
	中部 n=264	28.0	40.2	13.6	9.5	4.9	3.8
	南部 n=432	24.1	37.0	19.7	12.0	3.2	3.9
	宮古 n=35	45.7	31.4	5.7	2.9	-	14.3
	八重山 n=68	41.2	30.9	17.6	4.4	4.4	1.5
	その他の離島 n=66	34.8	28.8	9.1	12.1	3.0	12.1

2. 調査結果の詳細

(%)

		非常に感情的	やや感情的	どちらでもない	やや理論的	非常に理論的	無回答
性別	男性 n=290	17.6	37.2	34.8	2.4	1.0	6.9
	女性 n=438	20.8	35.4	35.8	3.4	0.2	4.3
年齢	10代 n=29	24.1	34.5	34.5	-	-	6.9
	20代 n=76	28.9	36.8	26.3	3.9	1.3	2.6
	30代 n=129	31.0	41.9	24.8	1.6	-	0.8
	40代 n=173	20.2	42.8	32.9	2.3	0.6	1.2
	50代 n=202	18.8	31.7	43.1	3.5	1.5	1.5
	60代 n=231	15.6	28.6	42.9	3.0	0.9	9.1
	70歳以上 n=174	17.8	23.0	31.6	7.5	-	20.1
地域別	北部 n=148	24.3	29.7	31.8	4.7	1.4	8.1
	中部 n=264	19.7	35.6	34.8	4.5	0.8	4.5
	南部 n=432	20.1	34.3	37.3	2.1	0.5	5.8
	宮古 n=35	34.3	14.3	31.4	2.9	-	17.1
	八重山 n=68	22.1	32.4	33.8	8.8	-	2.9
	その他の離島 n=66	10.6	33.3	37.9	3.0	1.5	13.6

(%)

		非常に田舎っぽい	やや田舎っぽい	どちらでもない	やや都会的	非常に都会的	無回答
性別	男性 n=290	12.8	30.7	44.1	4.5	1.7	6.2
	女性 n=438	18.9	31.5	42.0	3.7	0.2	3.7
年齢	10代 n=29	34.5	27.6	31.0	-	3.4	3.4
	20代 n=76	26.3	39.5	27.6	1.3	2.6	2.6
	30代 n=129	24.8	34.1	38.8	2.3	-	-
	40代 n=173	13.3	37.6	44.5	2.3	1.2	1.2
	50代 n=202	13.9	23.8	54.0	5.0	-	3.5
	60代 n=231	12.1	24.7	47.6	6.1	1.7	7.8
	70歳以上 n=174	15.5	21.8	39.1	4.6	-	19.0
地域別	北部 n=148	15.5	28.4	41.2	4.1	2.7	8.1
	中部 n=264	14.0	30.7	46.2	4.5	0.4	4.2
	南部 n=432	16.4	30.1	43.8	3.5	0.2	6.0
	宮古 n=35	37.1	20.0	28.6	2.9	-	11.4
	八重山 n=68	20.6	14.7	51.5	4.4	4.4	4.4
	その他の離島 n=66	16.7	28.8	37.9	6.1	-	10.6

(%)

		非常に明瞭	やや明瞭	どちらでもない	やや不明瞭	非常に不明瞭	無回答
性別	男性 n=290	7.2	20.3	44.1	15.5	6.2	6.6
	女性 n=438	9.4	17.4	45.4	14.8	8.2	4.8
年齢	10代 n=29	3.4	17.2	51.7	17.2	6.9	3.4
	20代 n=76	9.2	13.2	38.2	26.3	10.5	2.6
	30代 n=129	6.2	8.5	46.5	27.9	10.9	-
	40代 n=173	4.6	23.1	48.6	11.0	11.6	1.2
	50代 n=202	10.9	19.8	48.5	11.9	5.9	3.0
	60代 n=231	12.1	21.2	44.2	9.1	3.9	9.5
	70歳以上 n=174	12.6	24.7	30.5	10.3	2.9	19.0
地域別	北部 n=148	10.1	22.3	40.5	12.2	5.4	9.5
	中部 n=264	8.7	22.0	43.9	15.9	4.9	4.5
	南部 n=432	10.0	17.1	45.6	14.6	6.9	5.8
	宮古 n=35	14.3	20.0	34.3	5.7	11.4	14.3
	八重山 n=68	8.8	19.1	42.6	11.8	14.7	2.9
	その他の離島 n=66	6.1	21.2	39.4	13.6	7.6	12.1

2. 調査結果の詳細

(3) 問3.「しまくとうば」を聞いて、どの程度わかりますか。

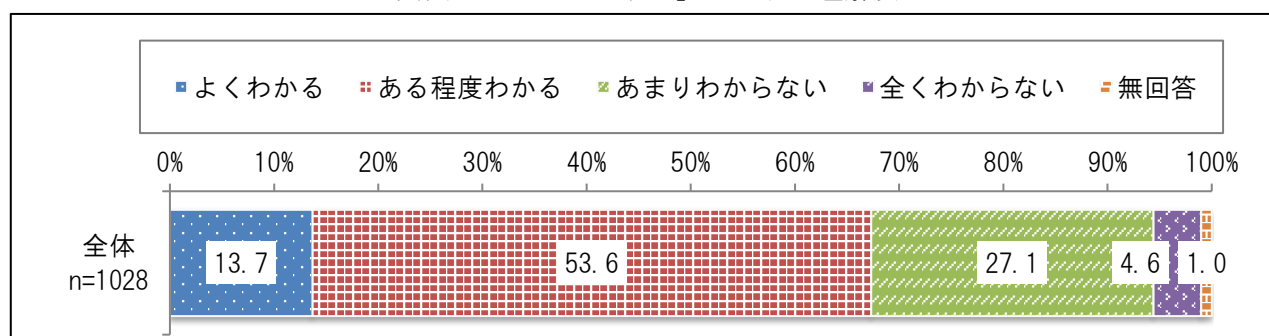
「しまくとうば」に対する理解度は「ある程度わかる」が53.6%で最も高く、次いで「あまりわからない」が27.1%、「よくわかる」が13.7%である。

「わかる」（「よくわかる」＋「ある程度わかる」）を合わせると67.3%と半数以上がしまくとうばについて理解している。

性別では、男性の14.1%が「よくわかる」、女性では8.7%で5.4ポイントの差がある。

年代では、20代の「あまりわからない」が53.9%で高い。

図表8. 「しまくとうば」に対する理解度



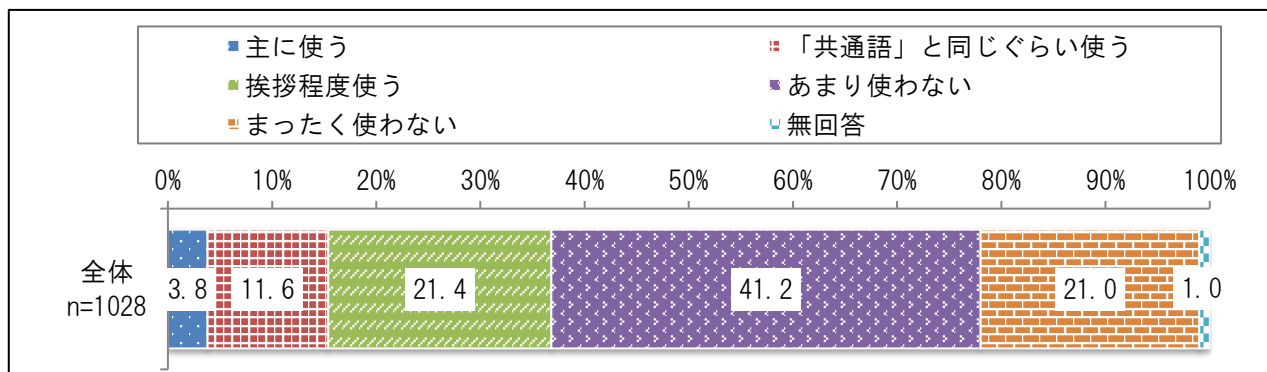
		(%)				
		よくわかる	ある程度わかる	あまりわからない	全くわからない	無回答
性別	男性 n=290	14.1	55.9	26.6	3.1	0.3
	女性 n=438	8.7	51.4	33.6	6.4	-
年齢	10代 n=29	3.4	37.9	41.4	17.2	-
	20代 n=76	3.9	34.2	53.9	7.9	-
	30代 n=129	-	41.1	48.8	10.1	-
	40代 n=173	3.5	49.7	41.6	4.6	0.6
	50代 n=202	7.9	63.9	23.8	4.0	0.5
	60代 n=231	22.1	62.3	13.0	1.7	0.9
	70歳以上 n=174	33.9	58.0	6.3	1.7	-
地域別	北部 n=148	14.9	56.8	23.6	4.1	0.7
	中部 n=264	15.5	53.0	25.4	6.1	-
	南部 n=432	10.9	54.4	30.1	3.9	0.7
	宮古 n=35	25.7	48.6	20.0	5.7	-
	八重山 n=68	10.3	47.1	38.2	4.4	-
	その他の離島 n=66	22.7	57.6	15.2	4.5	-

(4) 問 4. 人と話すとき「しまくとうば」を使いますか。

人と話すとき「しまくとうば」を使うかは「あまり使わない」が41.2%で最も高く、次いで「挨拶程度使う」が21.4%、「まったく使わない」が21.0%である。

性別では、男性がしまくとうばを使う割合が（「主に使う」+「共通語と同じくらい使う」と合わせると）28.3%と女性の8.6%より高い。

図表9. 人と話すとき「しまくとうば」を使うか



		(%)					
		主に使う	「共通語」と同じくらい使う	挨拶程度使う	あまり使わない	まったく使わない	無回答
性別	男性 n=290	4.8	17.2	23.1	40.0	14.1	0.7
	女性 n=438	1.1	6.8	21.7	43.8	26.3	0.2
年齢	10代 n=29	3.4	-	27.6	37.9	31.0	-
	20代 n=76	1.3	9.2	18.4	40.8	30.3	-
	30代 n=129	0.8	3.9	22.5	46.5	26.4	-
	40代 n=173	1.2	5.2	25.4	44.5	23.1	0.6
	50代 n=202	2.0	8.9	20.3	47.5	20.3	1.0
	60代 n=231	3.5	17.3	19.5	40.7	19.0	-
	70歳以上 n=174	11.5	21.3	22.4	30.5	13.8	0.6
地域別	北部 n=148	3.4	14.2	25.7	40.5	15.5	0.7
	中部 n=264	4.2	12.5	20.5	42.0	20.1	0.8
	南部 n=432	3.7	7.6	19.7	44.0	24.8	0.2
	宮古 n=35	2.9	28.6	20.0	25.7	22.9	-
	八重山 n=68	4.4	10.3	29.4	38.2	17.6	-
	その他の離島 n=66	4.5	22.7	21.2	34.8	16.7	-

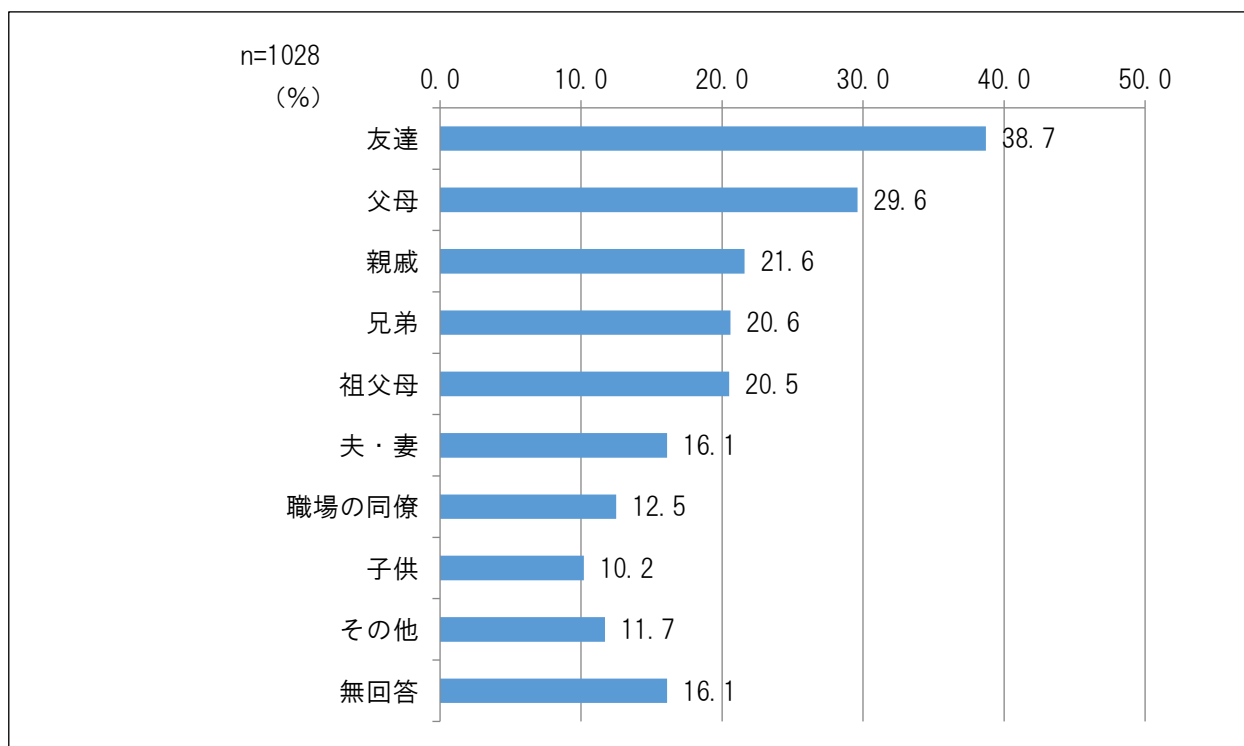
2. 調査結果の詳細

(5) 問 5. 「しまくとうば」を使う相手は誰ですか。

「しまくとうば」を使う相手は誰かでは「友達」が38.7%で最も高く、次いで「父母」が29.6%、「親戚」が21.6%である。

10代では「祖父母」に対して55.2%が使うとの結果であるが、それ以外の世代では「友達」が高い割合となる。

図表10. 「しまくとうば」を使う相手



		(%)									
		祖父母	父母	夫・妻	兄弟	子供	友達	親戚	職場の同僚	その他	無回答
性別	男性 n=290	22.8	34.1	13.1	20.3	6.2	51.0	23.4	14.8	8.3	10.3
	女性 n=438	23.3	31.7	15.5	19.2	11.0	28.5	20.8	10.5	14.2	20.3
年齢	10代 n=29	55.2	37.9	3.4	10.3	3.4	44.8	10.3	3.4	6.9	20.7
	20代 n=76	43.4	35.5	7.9	18.4	5.3	34.2	14.5	10.5	9.2	21.1
	30代 n=129	31.0	41.1	18.6	15.5	8.5	30.2	16.3	15.5	10.9	17.8
	40代 n=173	23.1	32.4	15.0	17.9	17.3	35.3	16.8	11.6	13.3	19.1
	50代 n=202	18.3	35.1	11.4	16.8	9.9	35.1	18.8	16.3	14.4	15.3
	60代 n=231	11.3	29.0	15.6	24.7	8.2	41.6	23.4	13.0	9.5	13.9
	70歳以上 n=174	9.2	10.9	26.4	29.3	10.9	51.1	35.6	8.6	13.2	10.3
地域別	北部 n=148	20.9	31.8	20.9	23.6	12.2	50.0	25.7	15.5	10.1	11.5
	中部 n=264	25.8	35.6	15.5	20.5	8.3	36.4	18.9	15.9	9.5	15.2
	南部 n=432	19.4	26.2	13.9	17.4	10.6	33.8	16.9	9.3	12.5	17.1
	宮古 n=35	14.3	40.0	25.7	48.6	14.3	45.7	45.7	17.1	11.4	20.0
	八重山 n=68	7.4	17.6	14.7	20.6	13.2	50.0	32.4	13.2	22.1	14.7
	その他の離島 n=66	25.8	33.3	19.7	25.8	6.1	43.9	33.3	10.6	9.1	16.7

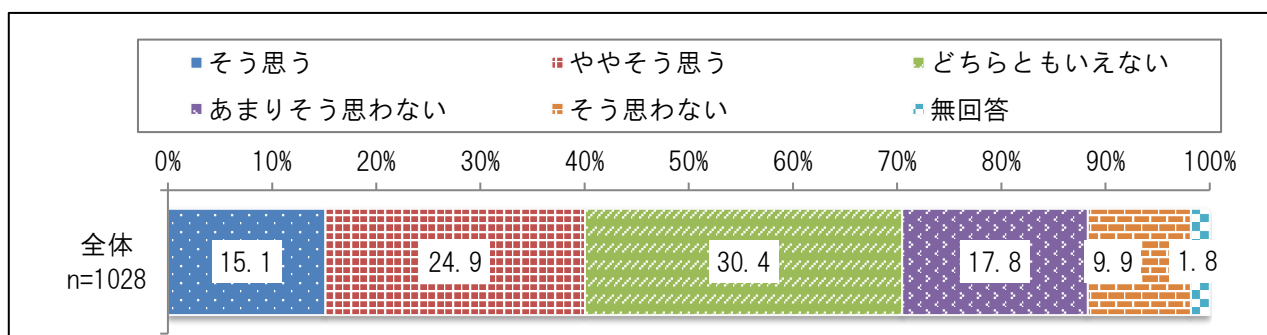
(6) 問 6. ビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思いますか。

ビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思うかは「どちらともいえない」が30.4%で最も高く、次いで「ややそう思う」が24.9%、「あまりそう思わない」が15.1%である。

男性、女性共にビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使うことに対し、「(「そう思う」+「ややそう思う」)を合わせると約4割の人が「しまくとうば」を使っていいと思っている。

年代では、10代の17.2%が「そう思わない」と最も高い割合である。

図表11. ビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思うか



		(%)					
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性 n=290	15.9	24.5	30.0	18.3	10.0	1.4
	女性 n=438	13.2	26.5	32.9	18.0	8.2	1.1
年齢	10代 n=29	17.2	31.0	24.1	10.3	17.2	-
	20代 n=76	18.4	22.4	21.1	19.7	17.1	1.3
	30代 n=129	17.1	24.0	27.9	21.7	8.5	0.8
	40代 n=173	12.7	26.0	29.5	18.5	11.6	1.7
	50代 n=202	10.4	29.2	30.2	21.3	6.4	2.5
	60代 n=231	12.6	22.9	37.2	15.6	10.8	0.9
	70歳以上 n=174	23.0	23.0	31.6	14.4	7.5	0.6
地域別	北部 n=148	21.6	27.0	25.0	13.5	10.1	2.7
	中部 n=264	15.2	27.3	33.3	17.0	5.7	1.5
	南部 n=432	13.2	22.5	31.7	20.6	11.3	0.7
	宮古 n=35	8.6	28.6	34.3	14.3	11.4	2.9
	八重山 n=68	17.6	27.9	29.4	11.8	11.8	1.5
	その他の離島 n=66	13.6	25.8	27.3	21.2	12.1	-

2. 調査結果の詳細

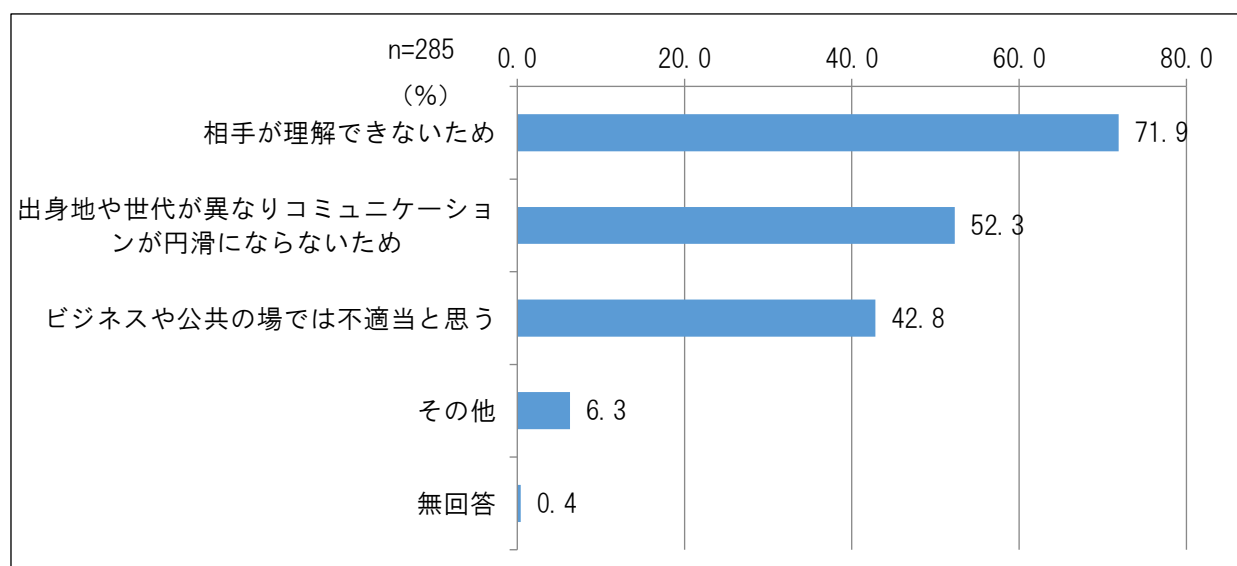
(7) 問 6-1. ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。

(問 6 で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答)

ビジネスや公共の場で使うべきでないと思う理由は「相手が理解できないため」が 71.9%で最も高く、次いで「出身地や世代が異なりコミュニケーションが円滑にならないため」が 52.3%、「ビジネスや公共の場では不適當と思う」が 42.8%である。

年代では、30 代以上では「ビジネスや公共の場では不適當と思う」の割合が他の年代より低くなっている。

図表12. ビジネスや公共の場で使うべきでないと思う理由



		ビジネスや公共の場では不適當と思う	相手が理解できないため	出身地や世代が異なりコミュニケーションが円滑にならないため	その他	無回答
性別	男性 n=82	41.5	64.6	52.4	8.5	-
	女性 n=115	39.1	79.1	60.9	4.3	0.9
年齢	10代 n=8	87.5	62.5	50.0	-	-
	20代 n=28	60.7	75.0	53.6	10.7	-
	30代 n=39	20.5	84.6	71.8	-	-
	40代 n=52	44.2	65.4	53.8	3.8	1.9
	50代 n=56	44.6	75.0	44.6	5.4	-
	60代 n=61	44.3	70.5	41.0	8.2	-
	70歳以上 n=38	34.2	65.8	63.2	13.2	-
地域別	北部 n=35	57.1	71.4	48.6	2.9	-
	中部 n=60	41.7	75.0	46.7	10.0	-
	南部 n=138	40.6	73.2	59.4	5.8	-
	宮古 n=9	55.6	66.7	44.4	-	11.1
	八重山 n=16	31.3	62.5	37.5	18.8	-
	その他の離島 n=22	36.4	68.2	45.5	-	-

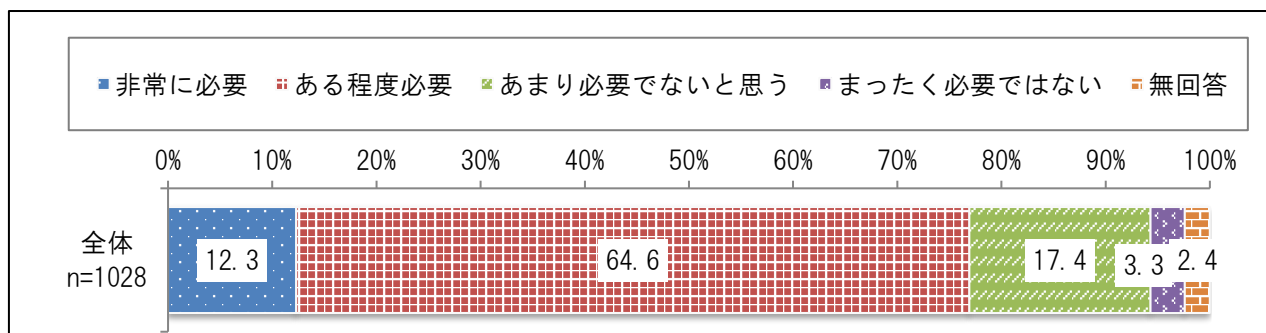
(8) 問 7. 普段の生活の中で「しまくとうば」は必要だと思いますか。

(○はひとつ) (問7で「非常に必要」「ある程度必要」と回答)

「しまくとうば」の必要性は「ある程度必要」が64.6%で最も高く、次いで「あまり必要でないと思う」が17.4%、「非常に必要」が12.3%である。

年代では、必要(「非常に必要」+「ある程度必要」を合わせる)と10代を含む30代以上の年代で7割を超える。

図表13. 「しまくとうば」の必要性



(%)

		非常に必要	ある程度必要	あまり必要でないと思う	まったく必要ではない	無回答
性別	男性 n=290	12.4	66.2	16.2	2.1	3.1
	女性 n=438	11.2	65.5	18.3	3.4	1.6
年齢	10代 n=29	17.2	58.6	20.7	3.4	-
	20代 n=76	17.1	48.7	28.9	3.9	1.3
	30代 n=129	11.6	62.0	17.1	7.0	2.3
	40代 n=173	12.1	65.9	17.3	1.7	2.9
	50代 n=202	9.4	66.3	19.3	3.0	2.0
	60代 n=231	11.7	68.8	15.6	1.7	2.2
	70歳以上 n=174	13.2	67.8	12.1	4.6	2.3
地域別	北部 n=148	14.9	60.8	16.2	6.1	2.0
	中部 n=264	10.6	67.0	18.2	1.9	2.3
	南部 n=432	10.9	65.7	17.4	3.7	2.3
	宮古 n=35	17.1	62.9	17.1	-	2.9
	八重山 n=68	19.1	60.3	16.2	1.5	2.9
	その他の離島 n=66	15.2	65.2	15.2	4.5	-

2. 調査結果の詳細

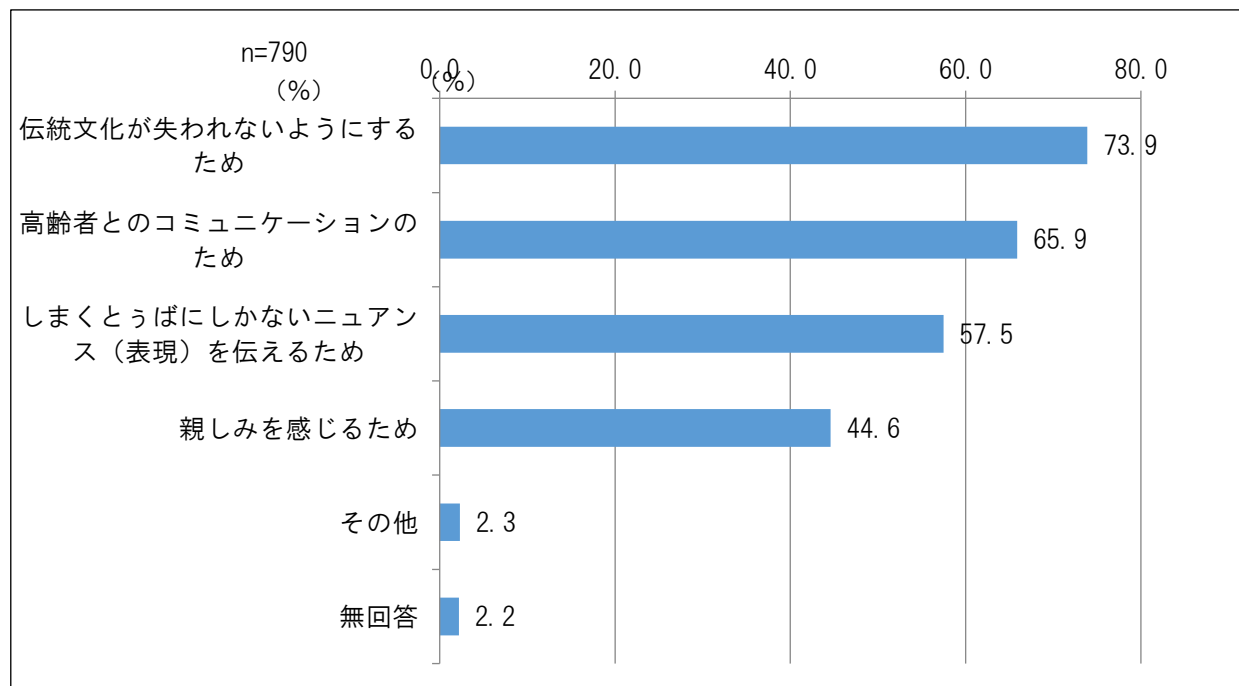
(9) 問 7-1. 生活での必要性について、その理由を教えてください。

(〇はいくつでも)

「しまくとうば」が必要な理由は「伝統文化が失われないようにするため」が73.9%で最も高く、次いで「高齢者とのコミュニケーションのため」が65.9%、「しまくとうばにしかないニュアンス（表現）を伝えるため」が57.5%である。

地域別では、八重山が「伝統文化が失われないようにするため」で74.1%と最も高い。

図表14. 「しまくとうば」が必要な理由



		(%)					
		伝統文化が失われないようにするため	高齢者とのコミュニケーションのため	しまくとうばにしかないニュアンス（表現）を伝えるため	親しみを感ずるため	その他	無回答
性別	男性 n=228	70.2	67.5	49.6	48.2	2.6	3.1
	女性 n=336	80.7	70.5	63.7	45.5	1.8	1.2
年齢	10代 n=22	81.8	72.7	22.7	50.0	-	-
	20代 n=50	78.0	70.0	56.0	36.0	8.0	-
	30代 n=95	75.8	68.4	58.9	36.8	2.1	1.1
	40代 n=135	83.0	63.7	58.5	46.7	3.7	-
	50代 n=153	77.8	65.4	57.5	50.3	2.0	2.6
	60代 n=186	69.4	65.1	58.6	43.0	-	4.8
	70歳以上 n=141	63.1	67.4	60.3	46.1	2.8	2.1
地域別	北部 n=112	67.9	75.0	61.6	44.6	3.6	3.6
	中部 n=205	78.0	63.4	62.9	44.9	1.5	2.0
	南部 n=331	76.4	62.5	55.6	45.0	1.5	1.8
	宮古 n=28	53.6	85.7	46.4	46.4	7.1	-
	八重山 n=54	74.1	57.4	50.0	44.4	3.7	3.7
	その他の離島 n=53	67.9	79.2	54.7	39.6	3.8	1.9

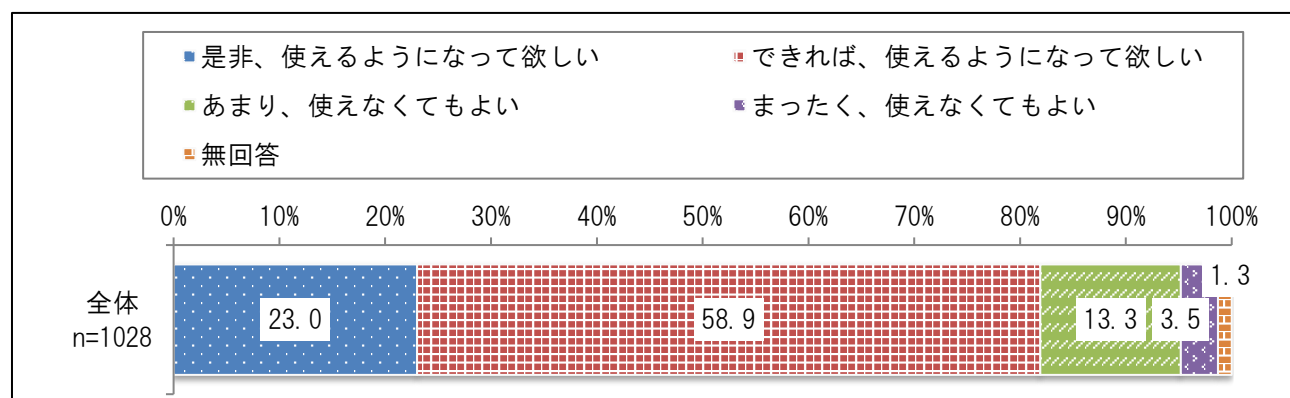
(10) 問 8. 子どもたちに「しまくとうば」を使えるようになって欲しいですか。

(○はひとつ)

子供たちの「しまくとうば」の使用は「できれば、使えるようになって欲しい」が58.9%で最も高く、次いで「是非、使えるようになって欲しい」が23.0%、「あまり、使えなくてもよい」が13.3%である。

性別では、男性の24.1%が「是非、使えるようになって欲しい」が女性の23.3%より0.8ポイント高い。

図表15. 子供たちの「しまくとうば」の使用



		(%)				
		是非、使えるようになって欲しい	できれば、使えるようになって欲しい	あまり、使えなくてもよい	まったく、使えなくてもよい	無回答
性別	男性 n=290	24.1	60.3	10.3	4.1	1.0
	女性 n=438	23.3	58.4	14.4	3.2	0.7
年齢	10代 n=29	31.0	48.3	13.8	6.9	-
	20代 n=76	26.3	47.4	17.1	7.9	1.3
	30代 n=129	22.5	51.2	21.7	4.7	-
	40代 n=173	22.0	63.0	13.3	0.6	1.2
	50代 n=202	20.8	65.8	10.4	2.5	0.5
	60代 n=231	23.4	60.2	11.7	3.5	1.3
	70歳以上 n=174	23.0	59.2	11.5	4.6	1.7
地域別	北部 n=148	21.6	62.2	8.8	6.1	1.4
	中部 n=264	22.3	62.9	11.4	3.0	0.4
	南部 n=432	22.5	58.3	14.8	3.5	0.9
	宮古 n=35	25.7	54.3	17.1	2.9	-
	八重山 n=68	33.8	52.9	13.2	-	-
	その他の離島 n=66	22.7	53.0	19.7	3.0	1.5

2. 調査結果の詳細

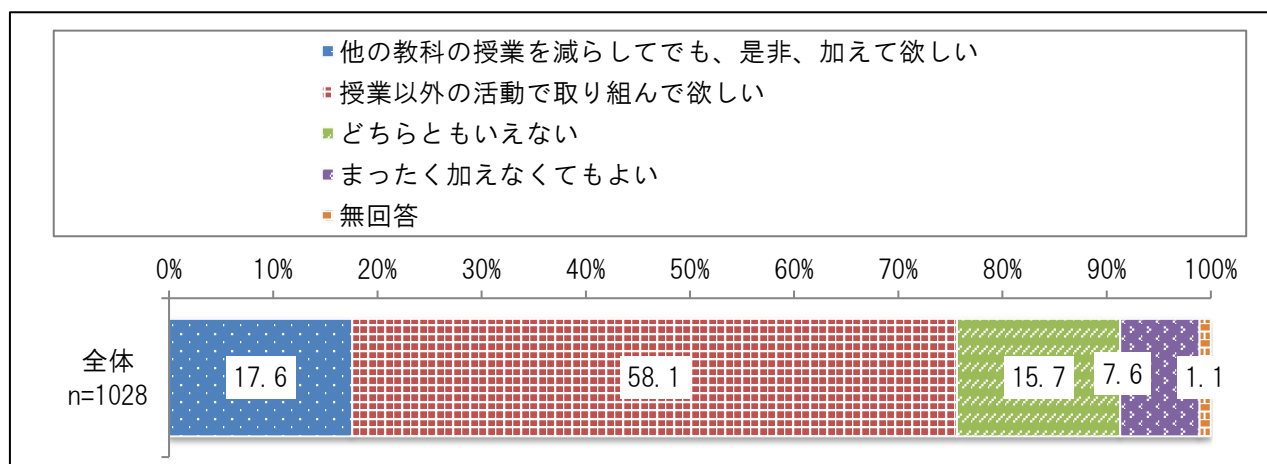
(11) 問 9. 授業科目に「しまくとぅば」を加えることについてどう思いますか。

(○はひとつ)

学校の授業科目に加えることは「授業以外の活動で取り組んで欲しい」が58.1%で最も高く、次いで「他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい」が17.6%、「どちらともいえない」が15.7%である。

性別では、女性の61.2%が「授業以外の活動で取り組んで欲しい」が男性の55.5%より5.7ポイント高い。

図表16. 学校の授業科目に加えること



		(%)				
		他の教科の授業を減らしてでも、 加えて欲しい	授業以外の活動で取 り組んで欲しい	どちらともいえない	まったく加えなくて もよい	無回答
性別	男性 n=290	20.3	55.5	14.8	9.0	0.3
	女性 n=438	16.4	61.2	14.4	7.1	0.9
年齢	10代 n=29	13.8	51.7	20.7	13.8	-
	20代 n=76	26.3	51.3	13.2	7.9	1.3
	30代 n=129	11.6	62.8	14.0	11.6	-
	40代 n=173	19.1	56.1	17.3	6.4	1.2
	50代 n=202	17.8	54.0	19.3	8.9	-
	60代 n=231	16.9	63.2	12.1	7.4	0.4
	70歳以上 n=174	17.8	59.8	16.1	4.0	2.3
	70歳以上 n=174	17.8	59.8	16.1	4.0	2.3
地域別	北部 n=148	21.6	54.1	14.9	6.8	2.7
	中部 n=264	19.3	56.4	16.3	8.0	-
	南部 n=432	16.4	60.4	14.6	8.1	0.5
	宮古 n=35	11.4	57.1	25.7	5.7	-
	八重山 n=68	13.2	63.2	17.6	4.4	1.5
	その他の離島 n=66	21.2	56.1	13.6	9.1	-

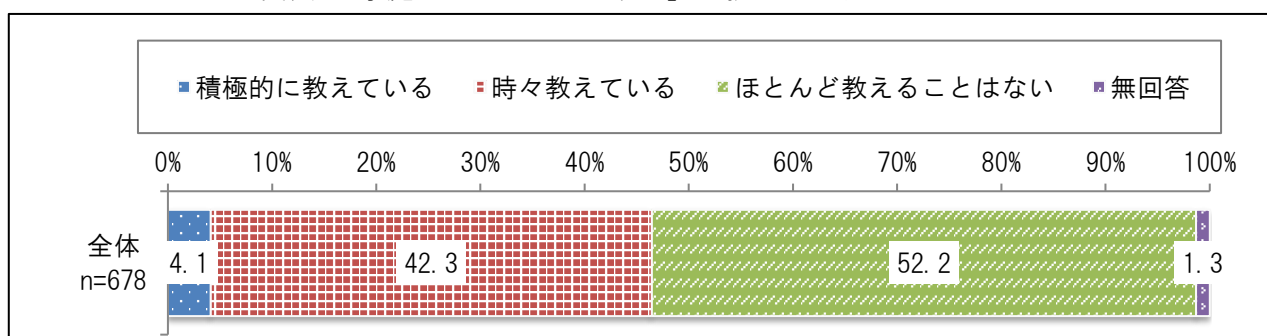
(12) 問 10. 家庭内で子どもに対して「しまくとうば」を教えるようにしていますか。

(○はひとつ) (※お子様がいると回答した方のみお答え下さい。)

家庭内で「しまくとうば」を教えるようにしているかは「ほとんど教えることはない」が52.2%で最も高く、次いで「時々教えている」が42.3%、「積極的に教えている」が4.1%である。

地域別では、教えている（「積極的に教えている」+「時々教えている」を合わせると）が宮古で52.1%と最も高い。

図表17. 家庭内で「しまくとうば」を教えるようにしているか



		(%)			
		積極的に教えている	時々教えている	ほとんど教えることはない	無回答
性別	男性 n=180	4.4	41.7	53.3	0.6
	女性 n=287	3.5	42.9	51.9	1.7
年齢	10代 n=-	-	-	-	-
	20代 n=11	9.1	18.2	72.7	-
	30代 n=71	2.8	45.1	52.1	-
	40代 n=128	5.5	39.1	53.9	1.6
	50代 n=142	1.4	45.1	53.5	-
	60代 n=174	3.4	45.4	48.9	2.3
	70歳以上 n=149	6.7	38.3	53.0	2.0
地域別	北部 n=102	4.9	44.1	47.1	3.9
	中部 n=175	3.4	48.0	48.6	-
	南部 n=287	3.5	40.4	55.1	1.0
	宮古 n=23	4.3	47.8	47.8	-
	八重山 n=46	10.9	30.4	58.7	-
	その他の離島 n=42	2.4	38.1	54.8	4.8

2. 調査結果の詳細

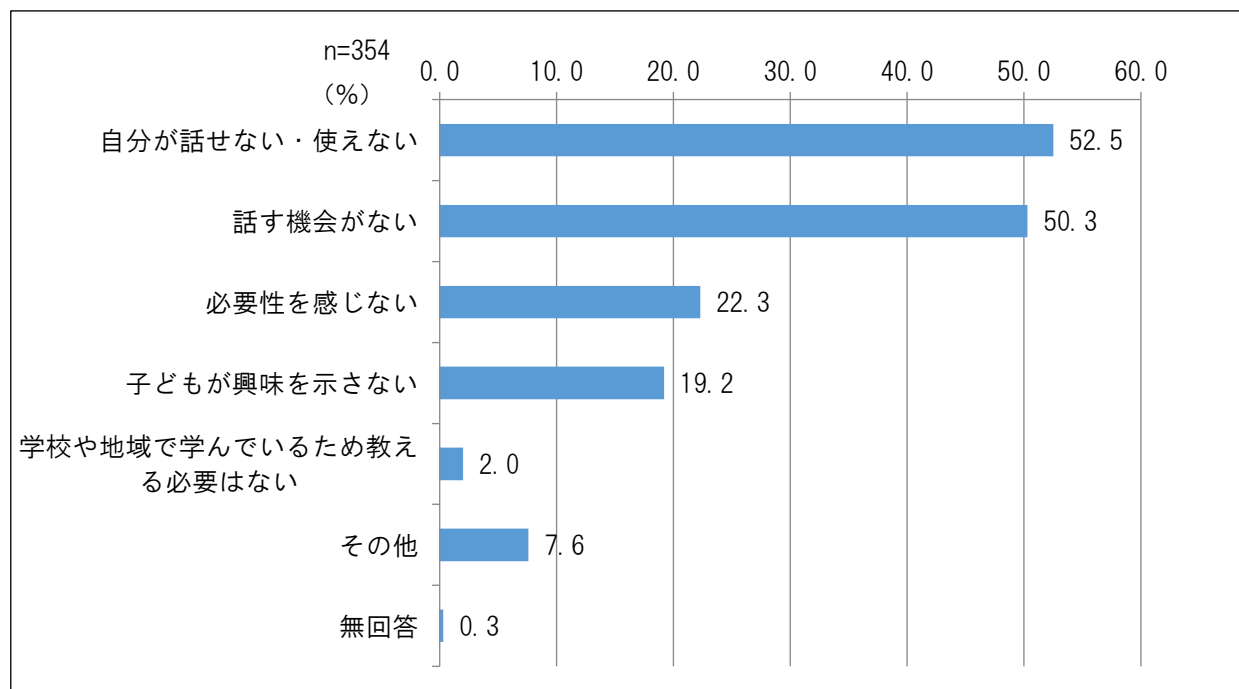
(13) 問 10-1. 家庭内でほとんど教えることはない理由はなんですか。

(○はいくつでも)(問 10 で「ほとんど教えることはない」と回答)

家庭内で教えることはない理由は「自分が話せない・使えない」が 52.5%で最も高く、次いで「話す機会がない」が 50.3%、「必要性を感じない」が 22.3%である。

年代では、「話す機会がない」が「20 代」で 75.0%と最も高い。70 歳以上では「子どもが興味を示さない」が 26.6%と他の年代より高い。

図表18. 家庭内で教えることはない理由



		自分が話せない・使えない	話す機会がない	必要性を感じない	子どもが興味を示さない	学校や地域で学んでいるため教える必要はない	その他	無回答
性別	男性 n=96	43.8	55.2	19.8	31.3	2.1	10.4	1.0
	女性 n=149	61.1	49.7	18.8	14.1	2.0	5.4	-
年齢	10代 n=0	-	-	-	-	-	-	-
	20代 n=8	75.0	75.0	12.5	-	12.5	-	-
	30代 n=37	73.0	48.6	27.0	5.4	-	2.7	-
	40代 n=69	68.1	50.7	15.9	15.9	4.3	4.3	-
	50代 n=76	63.2	43.4	11.8	15.8	2.6	7.9	-
	60代 n=85	43.5	48.2	31.8	25.9	-	10.6	1.2
	70歳以上 n=79	26.6	57.0	26.6	26.6	1.3	10.1	-
地域別	北部 n=48	41.7	45.8	35.4	20.8	-	6.3	-
	中部 n=85	55.3	48.2	16.5	18.8	2.4	5.9	1.2
	南部 n=158	53.2	58.9	20.3	19.0	1.3	7.6	-
	宮古 n=11	54.5	45.5	27.3	18.2	-	18.2	-
	八重山 n=27	51.9	29.6	11.1	22.2	3.7	14.8	-
	その他の離島 n=23	60.9	34.8	34.8	13.0	8.7	4.3	-

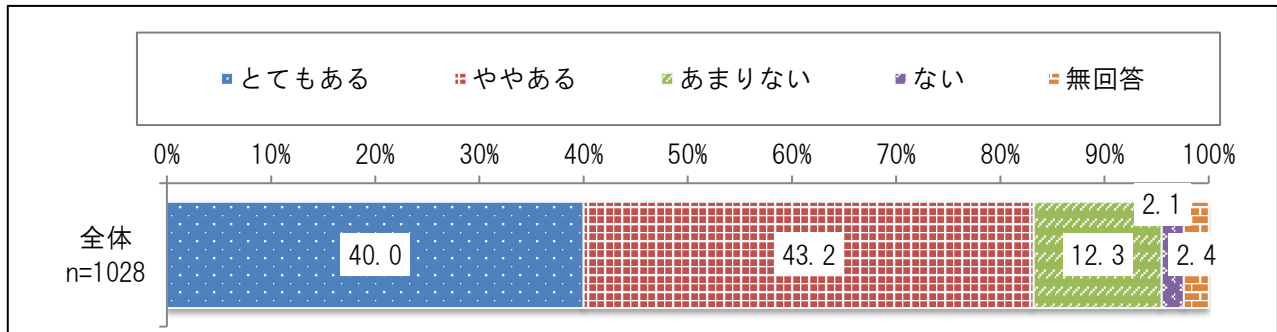
(14) 問 11. ご自身が住んでいる地域(市町村)にどの程度愛着や誇りがありますか。

(○はひとつ)

地域に対する愛着や誇りは「ややある」が43.2%で最も高く、次いで「とてもある」が40.0%、「あまりない」が12.3%である。

性別では、「とてもある」が男性43.4%で、女性の41.6%より1.8ポイント高い。

図表19. 地域に対する愛着や誇り



		(%)				
		とてもある	ややある	あまりない	ない	無回答
性別	男性 n=290	43.4	41.4	11.7	2.1	1.4
	女性 n=438	41.6	41.3	12.6	2.3	2.3
年齢	10代 n=29	37.9	48.3	13.8	-	-
	20代 n=76	40.8	30.3	18.4	7.9	2.6
	30代 n=129	42.6	38.8	15.5	2.3	0.8
	40代 n=173	41.0	42.8	12.7	1.7	1.7
	50代 n=202	39.1	43.1	14.4	2.5	1.0
	60代 n=231	39.4	48.5	8.2	1.3	2.6
	70歳以上 n=174	38.5	46.6	9.2	1.1	4.6
地域別	北部 n=148	43.2	38.5	12.2	1.4	4.7
	中部 n=264	37.9	44.3	13.6	3.0	1.1
	南部 n=432	36.6	45.1	14.4	2.3	1.6
	宮古 n=35	51.4	37.1	5.7	2.9	2.9
	八重山 n=68	54.4	42.6	1.5	-	1.5
	その他の離島 n=66	47.0	43.9	7.6	-	1.5

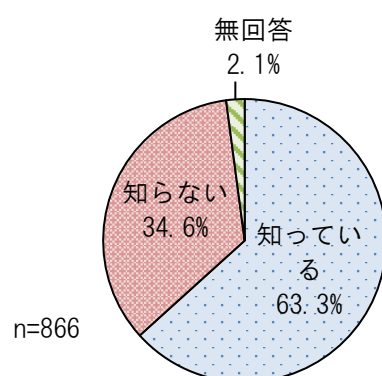
(15) 問 12. ご自身の出身地の「しまくとうば」を知っていますか。

(○はひとつ)

出身地の「しまくとうば」を「知っている」は63.3%で半数を超えている。

地域別では、沖縄本島より離島「宮古」、「八重山」の方が「知っている」の割合が高い。

図表20. 出身地の「しまくとうば」



		(%)		
		知っている	知らない	無回答
性別	男性 n=260	66.2	31.9	1.9
	女性 n=384	59.6	38.5	1.8
年齢	10代 n=28	46.4	46.4	7.1
	20代 n=67	38.8	59.7	1.5
	30代 n=112	56.3	43.8	—
	40代 n=141	55.3	43.3	1.4
	50代 n=177	61.0	36.7	2.3
	60代 n=196	71.9	26.0	2.0
	70歳以上 n=141	81.6	14.9	3.5
地域別	北部 n=127	66.9	29.9	3.1
	中部 n=234	58.5	40.2	1.3
	南部 n=380	58.4	39.7	1.8
	宮古 n=29	89.7	6.9	3.4
	八重山 n=42	85.7	11.9	2.4
	その他の離島 n=50	80.0	18.0	2.0

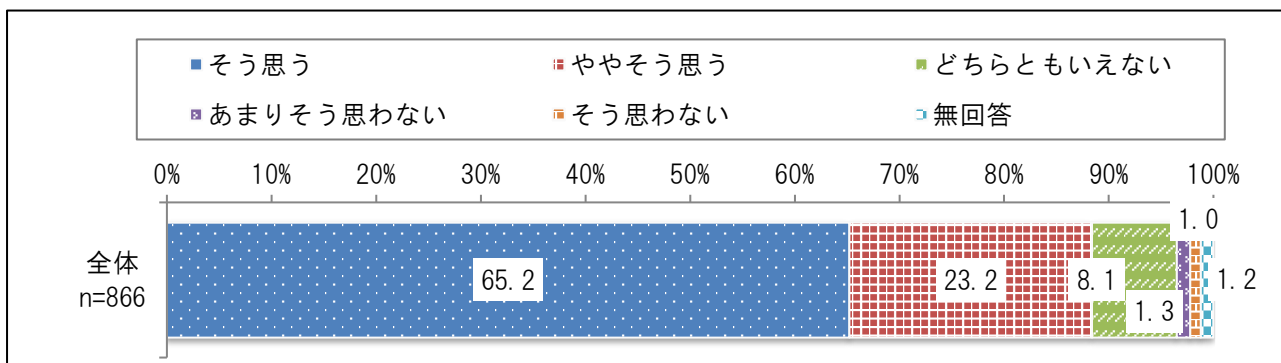
(16) 問 13. ご自身の出身地の「しまくとぅば」が将来に渡って残ってほしいと思いますか。

(○はひとつ)

「しまくとぅば」の継承は「そう思う」が65.2%で最も高く、次いで「ややそう思う」が23.2%である。残って欲しいと思う（「そう思う」＋「ややそう思う」を合わせる）は88.4%が継承することを望んでいる。

年代では、20代・70代以上の残って欲しいと思うは9割超えで、60代の「そう思う」が73.5%と最も高く、次いで70歳以上が73.0%である。

図表21. 「しまくとぅば」の継承



		(%)					
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
性別	男性 n=260	64.2	24.6	7.7	1.2	1.5	0.8
	女性 n=384	61.5	27.6	8.6	0.8	0.3	1.3
年齢	10代 n=28	50.0	25.0	17.9	-	-	7.1
	20代 n=67	44.8	46.3	4.5	-	3.0	1.5
	30代 n=112	58.0	26.8	14.3	-	0.9	-
	40代 n=141	64.5	24.8	8.5	0.7	-	1.4
	50代 n=177	64.4	24.3	6.2	1.7	2.3	1.1
	60代 n=196	73.5	15.8	8.2	1.0	1.0	0.5
	70歳以上 n=141	73.0	17.0	5.0	3.5	-	1.4
地域別	北部 n=127	63.0	27.6	3.1	2.4	2.4	1.6
	中部 n=234	67.5	22.2	7.7	0.9	0.9	0.9
	南部 n=380	63.2	24.7	9.5	0.8	1.1	0.8
	宮古 n=29	62.1	24.1	6.9	-	-	6.9
	八重山 n=42	85.7	11.9	2.4	-	-	-
	その他の離島 n=50	64.0	14.0	14.0	6.0	-	2.0

2. 調査結果の詳細

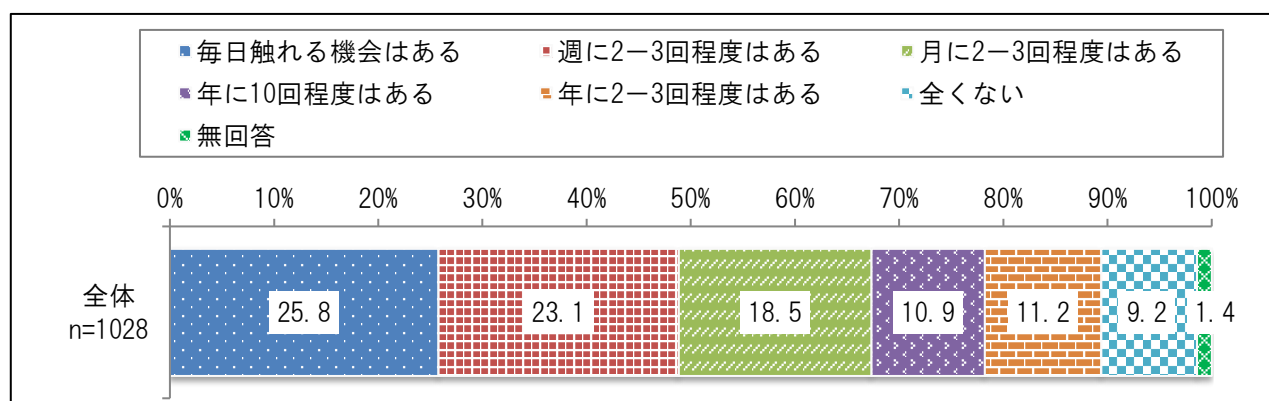
(17) 問 14. 「しまくとうば」に触れる機会(聞く・話す)はどの程度ありますか。

(○はひとつ)

「しまくとうば」に触れる機会は「毎日触れる機会はある」が25.8%で最も高く、次いで「週に2-3回程度はある」が23.1%、「月に2-3回程度はある」が18.5%である。

地域別では、沖縄本島より離島の「宮古」が「毎日触れる機会がある」割合が5割程度で高く、日常的に触れる機会が高い傾向にある。

図表22. 「しまくとうば」に触れる機会



		(%)						
		毎日触れる 機会はある	週に2-3回 程度はある	月に2-3回 程度はある	年に10回程 度はある	年に2-3回 程度はある	全くない	無回答
性 別	男性 n=290	30.7	24.8	17.9	10.7	10.3	5.2	0.3
	女性 n=438	21.5	21.7	19.9	11.9	12.1	11.6	1.4
年 齢	10代 n=29	17.2	20.7	34.5	6.9	6.9	13.8	-
	20代 n=76	30.3	9.2	21.1	13.2	11.8	13.2	1.3
	30代 n=129	21.7	32.6	12.4	11.6	11.6	9.3	0.8
	40代 n=173	25.4	23.1	22.5	5.8	15.6	6.4	1.2
	50代 n=202	20.8	26.7	19.3	11.9	11.9	8.9	0.5
	60代 n=231	26.0	24.2	16.9	11.7	10.0	10.8	0.4
	70歳以上 n=174	32.8	17.8	16.7	13.2	8.0	8.6	2.9
地 域 別	北部 n=148	29.1	26.4	11.5	13.5	12.8	4.7	2.0
	中部 n=264	25.4	22.3	21.2	8.3	11.7	10.2	0.8
	南部 n=432	19.0	22.9	20.8	12.5	12.3	11.6	0.9
	宮古 n=35	54.3	28.6	8.6	2.9	2.9	2.9	-
	八重山 n=68	27.9	22.1	19.1	11.8	10.3	7.4	1.5
	その他の離島 n=66	48.5	19.7	15.2	7.6	4.5	4.5	-

(18) 問 15. 「しまくとうば」を聞く機会はどの程度ありますか。

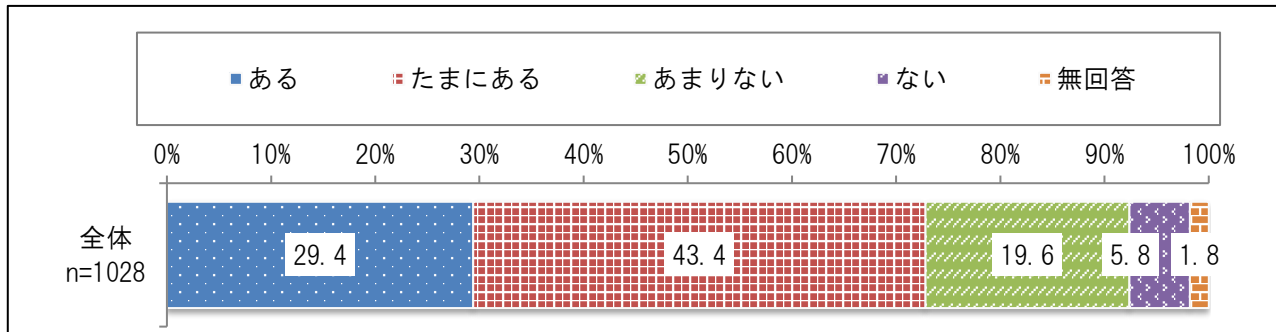
(○はひとつ)

「しまくとうば」を聞く機会は「たまにある」が43.4%で最も高く、次いで「ある」が29.4%、「あまりない」が19.6%である。聞く機会がある（「たまにある」＋「ある」を合わせる）は72.8%である。

性別では、男性が33.1%で「ある」、女性が27.9%で男性が5.2ポイント高い。

年代では、30代の聞く機会がある76.7%の割合が他の年代より高い。

図表23. 「しまくとうば」を聞く機会



(%)

		ある	たまにある	あまりない	ない	無回答
性別	男性 n=290	33.1	43.8	17.2	4.5	1.4
	女性 n=438	27.9	42.7	22.1	5.7	1.6
年齢	10代 n=29	24.1	48.3	20.7	6.9	-
	20代 n=76	28.9	38.2	19.7	11.8	1.3
	30代 n=129	33.3	43.4	14.7	7.8	0.8
	40代 n=173	28.3	45.1	22.5	2.3	1.7
	50代 n=202	26.2	44.1	23.8	5.0	1.0
	60代 n=231	30.3	42.9	19.5	6.1	1.3
	70歳以上 n=174	30.5	44.3	16.1	6.3	2.9
地域別	北部 n=148	34.5	43.2	18.9	1.4	2.0
	中部 n=264	28.8	41.3	22.3	6.4	1.1
	南部 n=432	23.6	44.9	22.0	7.9	1.6
	宮古 n=35	57.1	37.1	5.7	-	-
	八重山 n=68	29.4	51.5	13.2	4.4	1.5
	その他の離島 n=66	45.5	37.9	10.6	4.5	1.5

2. 調査結果の詳細

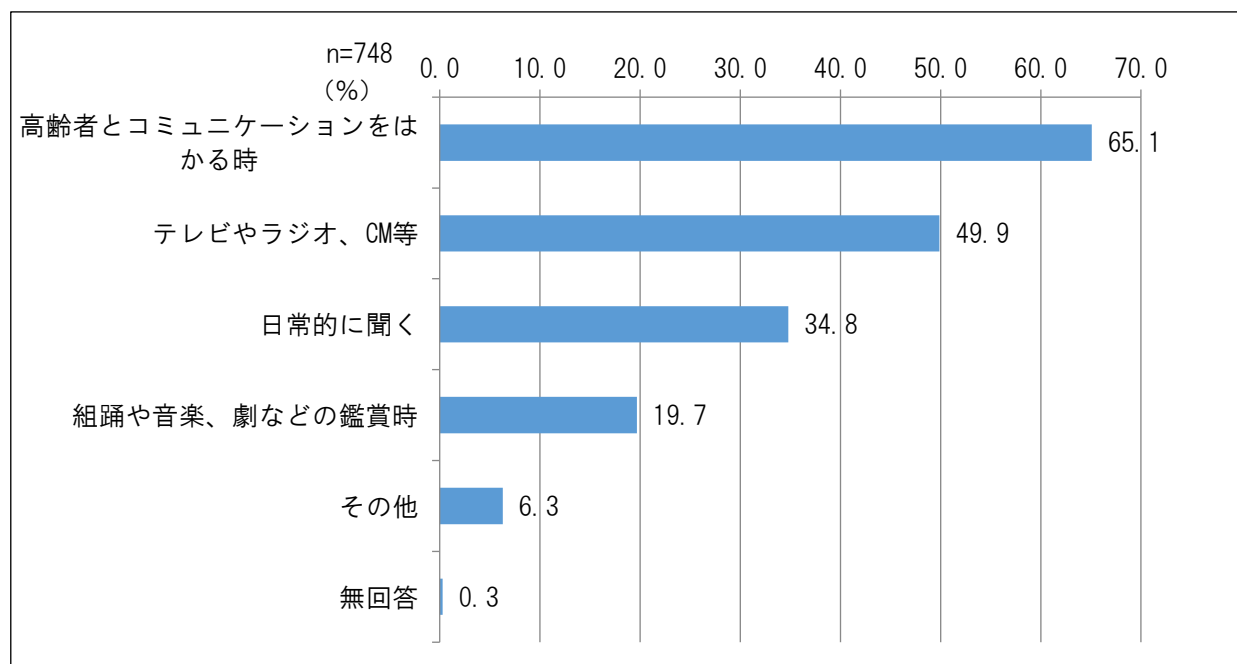
(19) 問 15-1.「しまくとぅば」を聞く機会はどのような時ですか。

(○はいくつでも) (問 15 で「ある」「たまにある」と回答)

「しまくとぅば」を聞く機会はどのような時かは「高齢者とコミュニケーションをはかる時」が 65.1%で最も高く、次いで「テレビやラジオ、CM等」が 49.9%、「日常的に聞く」が 34.8%である。

年代では、「日常的に聞く」が 70 歳以上で 38.5%と最も高く、次いで 30 代で 38.4%である。

図表24. 「しまくとぅば」を聞く機会はどのような時か



		(%)					
		日常的に聞く	高齢者とコミュニケーションをはかる時	テレビやラジオ、CM等	組踊や音楽、劇などの鑑賞時	その他	無回答
性別	男性 n=223	35.9	61.4	47.5	18.8	4.9	-
	女性 n=309	30.7	74.4	54.4	23.3	6.1	0.3
年齢	10代 n=21	38.1	81.0	42.9	28.6	-	-
	20代 n=51	23.5	74.5	37.3	11.8	7.8	-
	30代 n=99	38.4	65.7	47.5	13.1	5.1	-
	40代 n=127	32.3	65.4	51.2	14.2	10.2	-
	50代 n=142	31.7	70.4	49.3	16.2	6.3	-
	60代 n=169	37.3	63.3	53.3	22.5	3.6	0.6
	70歳以上 n=130	38.5	55.4	53.8	31.5	6.9	0.8
地域別	北部 n=115	41.7	62.6	49.6	24.3	7.0	0.9
	中部 n=185	34.1	64.3	49.7	17.8	7.0	-
	南部 n=296	27.7	64.2	58.1	17.9	4.4	0.3
	宮古 n=33	48.5	75.8	24.2	3.0	9.1	-
	八重山 n=55	34.5	67.3	34.5	29.1	14.5	-
	その他の離島 n=55	52.7	72.7	41.8	25.5	1.8	-

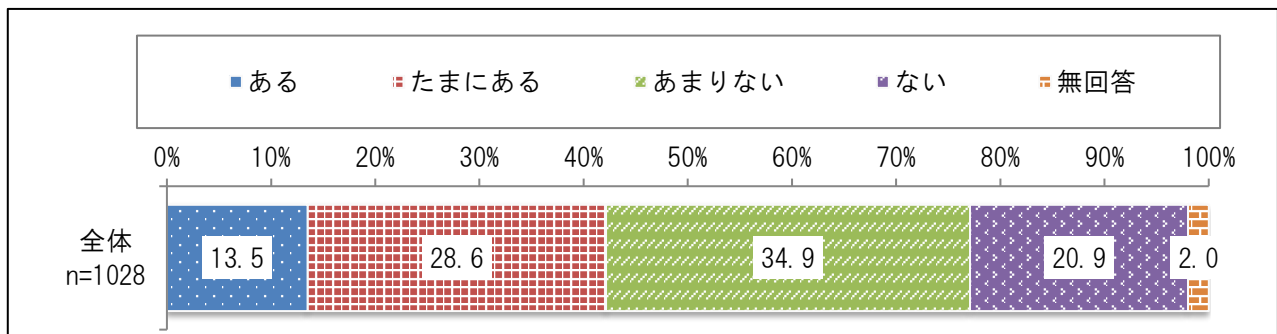
(20) 問 16. 「しまくとうば」を話す機会はどの程度ありますか。

(○はひとつ)

「しまくとうば」を話す頻度は「あまりない」が34.9%で最も高く、次いで「たまにある」が28.6%、「ない」が20.9%である。

年代では、「あまりない」が10代で48.3%と最も高く、40代の43.4%より4.9ポイント高い。

図表25. 「しまくとうば」を話す頻度



		(%)				
		ある	たまにある	あまりない	ない	無回答
性別	男性 n=290	19.0	30.7	34.1	14.5	1.7
	女性 n=438	8.2	25.3	40.6	24.4	1.4
年齢	10代 n=29	6.9	17.2	48.3	27.6	-
	20代 n=76	11.8	15.8	32.9	36.8	2.6
	30代 n=129	5.4	26.4	39.5	26.4	2.3
	40代 n=173	8.1	23.7	43.4	23.1	1.7
	50代 n=202	8.9	35.6	37.1	16.3	2.0
	60代 n=231	18.6	29.4	32.5	19.0	0.4
	70歳以上 n=174	24.1	32.8	24.7	15.5	2.9
地域別	北部 n=148	14.9	35.8	31.1	14.9	3.4
	中部 n=264	13.6	27.3	35.6	22.0	1.5
	南部 n=432	10.6	24.1	40.5	23.1	1.6
	宮古 n=35	22.9	34.3	25.7	14.3	2.9
	八重山 n=68	14.7	38.2	26.5	19.1	1.5
	その他の離島 n=66	24.2	34.8	19.7	21.2	-

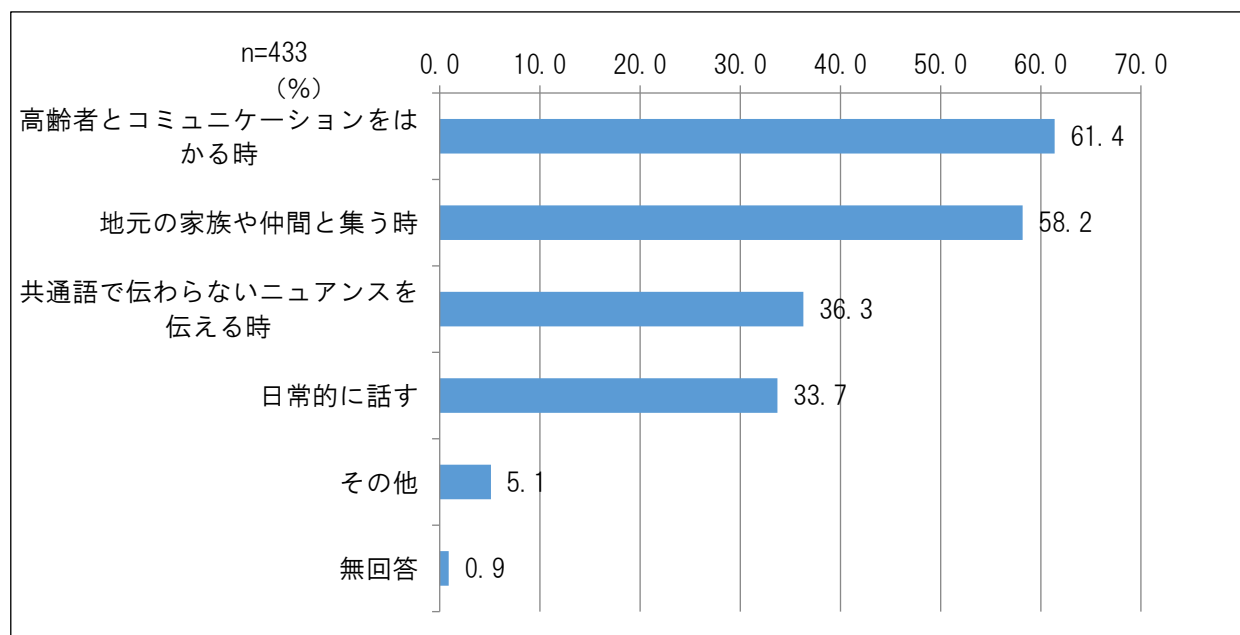
2. 調査結果の詳細

(21) 問 16-1.「しまくとぅば」を話す機会はどのような時ですか。

(○はいくつでも)(問 16で「ある」「たまにある」と回答)

「しまくとぅば」を話す機会はどのような時は、「高齢者とコミュニケーションをはかる時」が61.4%で最も高く、次いで「地元の家族や仲間と集う時」が58.2%、「共通語で伝わらないニュアンスを伝える時」が36.3%である。

図表26. 「しまくとぅば」を話す機会はどのような時か



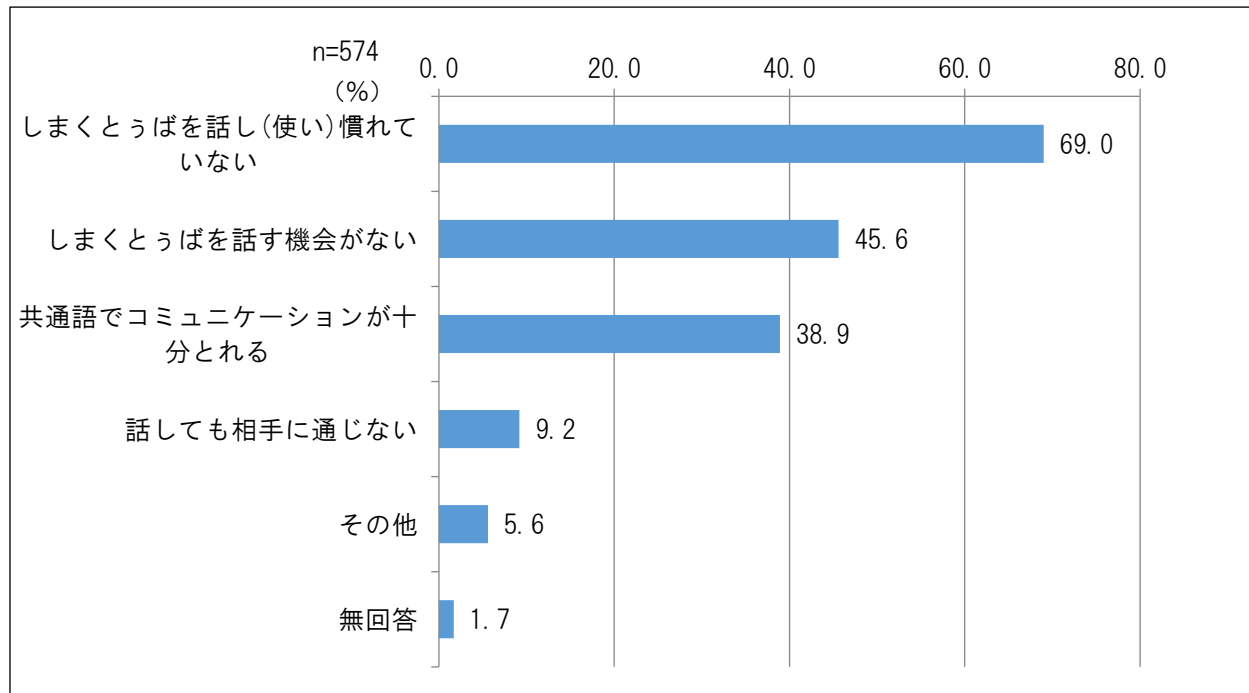
		(%)					
		日常的に話す	高齢者とコミュニケーションをはかる時	共通語で伝わらないニュアンスを伝える時	地元の家族や仲間と集う時	その他	無回答
性別	男性 n=144	36.1	62.5	28.5	63.2	4.9	1.4
	女性 n=147	28.6	67.3	44.9	53.7	3.4	-
年齢	10代 n=7	28.6	71.4	28.6	85.7	-	-
	20代 n=21	47.6	52.4	28.6	76.2	4.8	-
	30代 n=41	24.4	46.3	46.3	58.5	7.3	-
	40代 n=55	36.4	61.8	29.1	50.9	7.3	-
	50代 n=90	27.8	68.9	36.7	57.8	3.3	1.1
	60代 n=111	32.4	65.8	41.4	53.2	5.4	0.9
	70歳以上 n=99	40.4	56.6	35.4	61.6	5.1	2.0
地域別	北部 n=75	37.3	54.7	37.3	64.0	5.3	-
	中部 n=108	30.6	57.4	37.0	55.6	6.5	-
	南部 n=150	31.3	62.7	40.7	56.0	2.0	2.0
	宮古 n=20	50.0	80.0	30.0	55.0	5.0	-
	八重山 n=36	33.3	63.9	25.0	63.9	13.9	2.8
	その他の離島 n=39	38.5	74.4	30.8	61.5	5.1	-

(22) 問 16-2.「しまくとうば」を話さない理由について教えてください。

(○はいくつでも)(問 16 で「あまりない」「ない」と回答)

「しまくとうば」を話さない理由は「しまくとうばを話し(使い)慣れていない」が 69.0%で最も高く、次いで「しまくとうばを話す機会がない」が 45.6%、「共通語でコミュニケーションが十分とれる」が 38.9%である。

図表27. 「しまくとうば」を話さない理由



(%)

		しまくとうばを話す機会がない	しまくとうばを話し(使い)慣れていない	話しても相手に通じない	共通語でコミュニケーションが十分とれる	その他	無回答
性別	男性 n=141	45.4	69.5	12.8	36.9	3.5	2.1
	女性 n=285	44.9	72.6	7.4	41.8	7.7	1.1
年齢	10代 n=22	45.5	86.4	-	45.5	-	-
	20代 n=53	43.4	79.2	13.2	49.1	1.9	1.9
	30代 n=85	41.2	87.1	9.4	47.1	7.1	-
	40代 n=115	40.9	66.1	5.2	29.6	7.8	1.7
	50代 n=108	48.1	68.5	11.1	38.9	4.6	0.9
	60代 n=119	46.2	61.3	10.1	35.3	5.9	3.4
	70歳以上 n=70	55.7	52.9	11.4	40.0	5.7	2.9
地域別	北部 n=68	42.6	60.3	8.8	47.1	7.4	-
	中部 n=152	48.7	69.7	9.2	37.5	4.6	2.6
	南部 n=275	49.5	70.9	10.9	38.9	4.4	1.8
	宮古 n=14	14.3	78.6	-	28.6	14.3	7.1
	八重山 n=31	25.8	64.5	6.5	25.8	16.1	-
	その他の離島 n=27	37.0	66.7	3.7	44.4	3.7	-

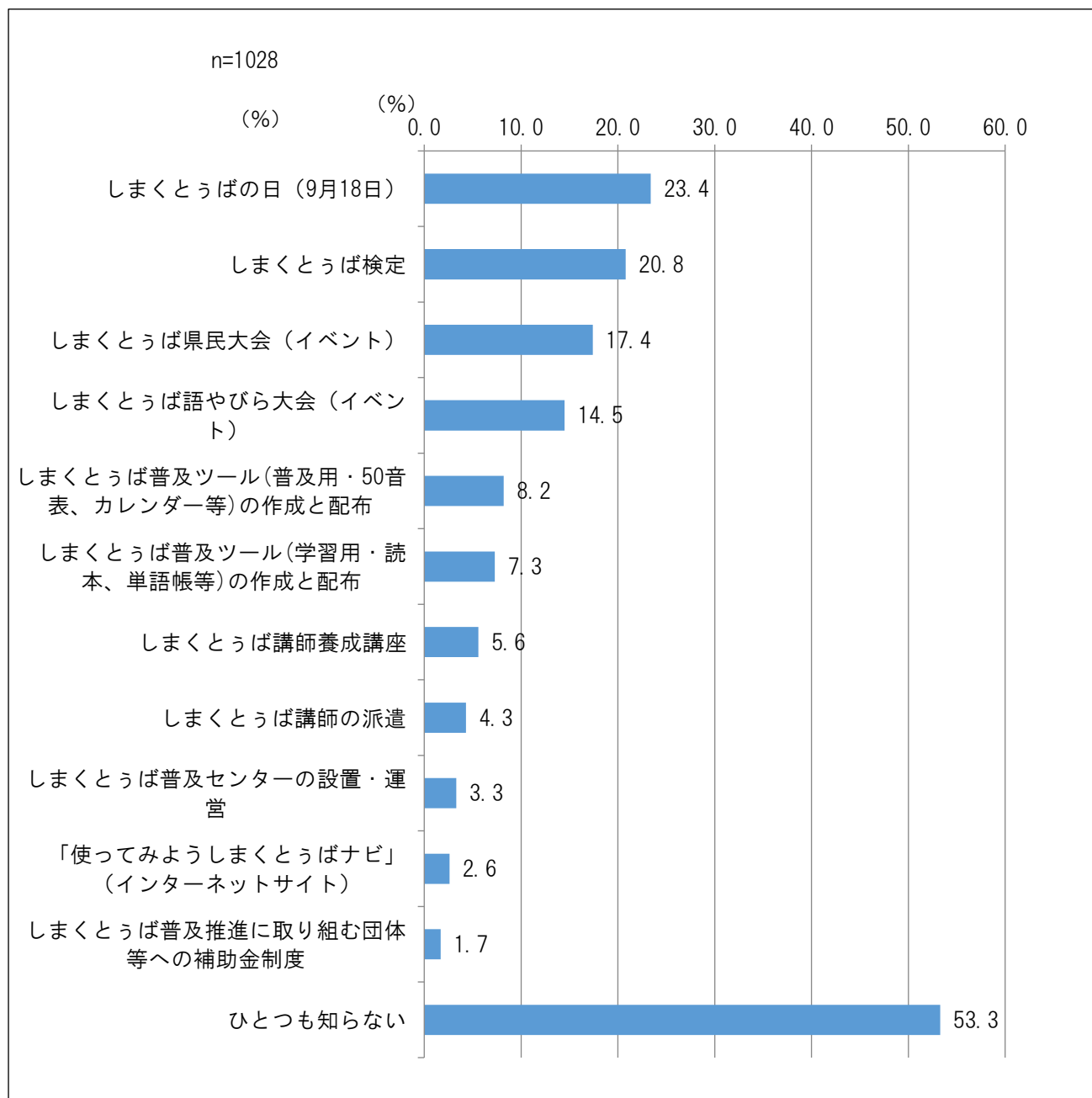
2. 調査結果の詳細

(23) 問 17. 今後、普及継承していくため取組で「知っている」ものをお答えください。

(○はいくつでも)

取組みの認知度は「しまくとうばの日(9月18日)」が23.4%で最も高く、次いで「しまくとうば検定」が20.8%、「しまくとうば県民大会(イベント)」が17.4%である。

図表28. 取組の認知度



2. 調査結果の詳細

(%)

		しまくとうばの日 (9月18日)	しまくとうば県民 大会 (イベント)	しまくとうば語や びら大会 (イベン ト)	しまくとうば普及 推進に取り組む団 体等への補助金制 度	しまくとうば普及 センターの設置・ 運営	しまくとうば講師 養成講座
性別	男性 n=290	25.2	17.2	14.5	2.4	5.9	4.8
	女性 n=438	24.7	18.7	15.5	1.4	2.7	6.4
年齢	10代 n=29	41.4	31.0	6.9	-	-	6.9
	20代 n=76	27.6	18.4	11.8	-	5.3	1.3
	30代 n=129	24.8	20.9	13.2	3.1	5.4	4.7
	40代 n=173	23.7	17.3	14.5	1.2	2.3	4.6
	50代 n=202	24.3	16.3	11.4	2.0	2.5	6.4
	60代 n=231	21.2	17.3	14.7	0.9	3.0	6.1
	70歳以上 n=174	18.4	13.8	21.3	2.3	3.4	6.3
地域別	北部 n=148	21.6	20.3	18.2	0.7	3.4	5.4
	中部 n=264	26.9	17.0	18.6	0.8	2.3	3.4
	南部 n=432	20.6	14.8	11.1	2.3	3.2	6.3
	宮古 n=35	20.0	28.6	17.1	2.9	2.9	5.7
	八重山 n=68	36.8	23.5	10.3	-	2.9	8.8
	その他の離島 n=66	22.7	16.7	15.2	1.5	6.1	4.5

(%)

		しまくとうば講師 の派遣	しまくとうば検定	「使ってみようし まくとうばナビ」 (インターネット サイト)	しまくとうば普及 ツール(普及用・50 音表、カレンダー 等)の作成と配布	しまくとうば普及 ツール(学習用・読 本、単語帳等)の作 成と配布	ひとつも知らない
性別	男性 n=290	4.1	20.3	2.8	6.6	6.6	51.4
	女性 n=438	5.0	23.7	2.1	10.5	9.8	46.1
年齢	10代 n=29	3.4	24.1	-	6.9	17.2	34.5
	20代 n=76	-	19.7	3.9	11.8	10.5	47.4
	30代 n=129	1.6	22.5	3.1	7.0	8.5	45.7
	40代 n=173	4.6	26.0	2.3	11.0	8.7	49.1
	50代 n=202	5.4	21.8	2.5	6.9	7.9	55.0
	60代 n=231	5.2	19.9	2.2	6.1	5.2	54.1
	70歳以上 n=174	4.6	14.4	2.9	8.6	4.6	65.5
地域別	北部 n=148	2.7	20.3	0.7	6.1	4.7	54.1
	中部 n=264	2.7	21.2	1.5	7.6	4.2	50.0
	南部 n=432	4.2	20.6	3.7	6.9	8.1	55.8
	宮古 n=35	2.9	8.6	2.9	5.7	8.6	51.4
	八重山 n=68	10.3	35.3	4.4	14.7	14.7	44.1
	その他の離島 n=66	7.6	13.6	-	13.6	12.1	54.5

2. 調査結果の詳細

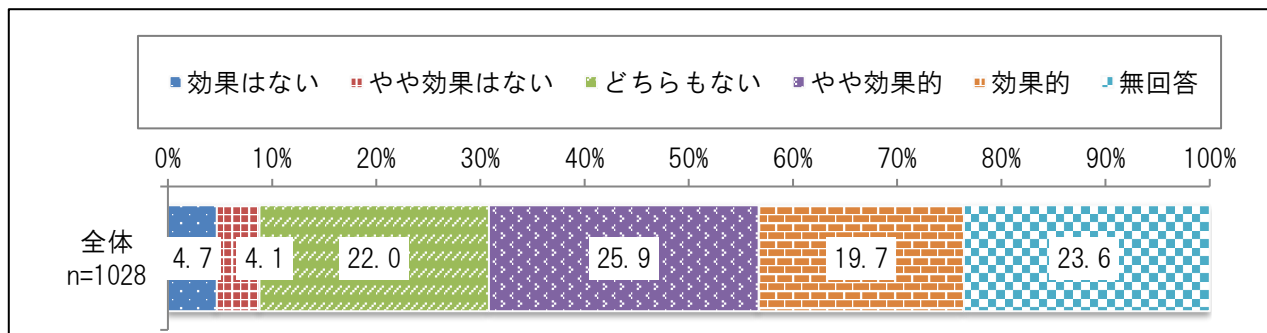
[1] 問 17. 取組みの効果度

① しまくとうばの日（9月18日）

しまくとうばの日（9月18日）は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が45.6%である。

年代では、30代の「やや効果的」が31.8%と他年代よりも高い。

図表29. しまくとうばの日（9月18日）



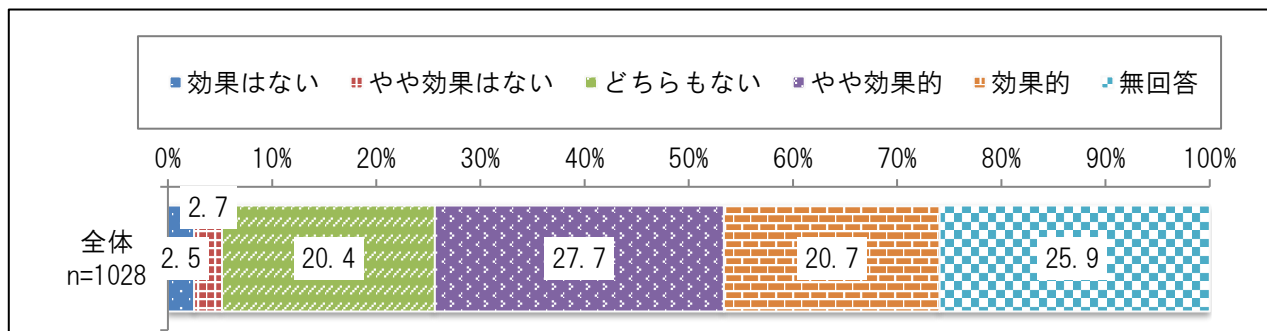
		(%)					
		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	7.2	3.4	25.2	24.8	18.6	20.7
	女性 n=438	4.8	5.9	21.7	27.6	20.5	19.4
年齢	10代 n=29	-	6.9	27.6	13.8	34.5	17.2
	20代 n=76	6.6	6.6	25.0	26.3	19.7	15.8
	30代 n=129	7.0	7.8	23.3	31.8	20.2	10.1
	40代 n=173	6.4	2.3	30.1	25.4	16.8	19.1
	50代 n=202	5.9	5.4	19.3	30.7	17.8	20.8
	60代 n=231	3.0	1.7	21.2	20.8	21.6	31.6
	70歳以上 n=174	2.3	3.4	14.9	25.3	19.5	34.5
地域別	北部 n=148	4.7	3.4	23.0	24.3	20.3	24.3
	中部 n=264	6.1	5.7	17.8	26.9	20.8	22.7
	南部 n=432	4.4	3.9	23.4	26.2	19.2	22.9
	宮古 n=35	5.7	8.6	22.9	14.3	20.0	28.6
	八重山 n=68	2.9	2.9	23.5	27.9	22.1	20.6
	その他の離島 n=66	3.0	-	24.2	31.8	16.7	24.2

② しまくとぅば県民大会（イベント）

しまくとぅば県民大会（イベント）は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が48.4%である。

年代では、10代の「効果的」が34.5%と高い。

図表30. しまくとぅば県民大会（イベント）



(%)

		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	4.5	2.4	24.8	26.9	16.2	25.2
	女性 n=438	2.5	2.5	19.2	31.5	23.5	20.8
年齢	10代 n=29	-	-	13.8	31.0	34.5	20.7
	20代 n=76	2.6	3.9	21.1	26.3	22.4	23.7
	30代 n=129	3.9	3.9	21.7	34.1	22.5	14.0
	40代 n=173	4.0	2.3	27.2	29.5	15.6	21.4
	50代 n=202	3.0	3.0	21.8	32.7	17.8	21.8
	60代 n=231	1.7	0.9	20.8	23.4	23.4	29.9
	70歳以上 n=174	1.1	4.6	10.9	22.4	22.4	38.5
地域別	北部 n=148	1.4	2.7	23.6	27.7	20.3	24.3
	中部 n=264	3.8	3.8	19.3	28.4	20.1	24.6
	南部 n=432	2.5	1.6	20.6	28.7	20.8	25.7
	宮古 n=35	-	8.6	8.6	25.7	28.6	28.6
	八重山 n=68	1.5	1.5	19.1	26.5	22.1	29.4
	その他の離島 n=66	3.0	4.5	21.2	25.8	19.7	25.8

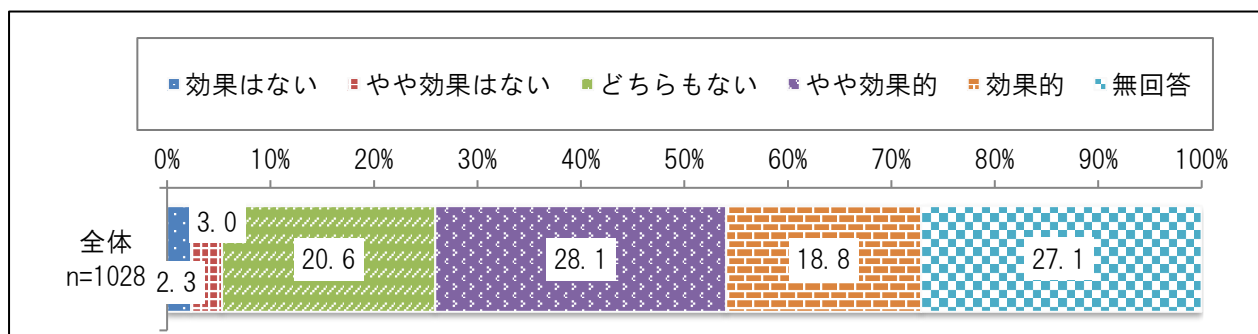
2. 調査結果の詳細

③ しまくとうば語やびら大会（イベント）

しまくとうば語やびら大会（イベント）は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が33.3%である。

年代では、50代の「やや効果的」が32.7%と高い。

図表31. しまくとうば語やびら大会（イベント）



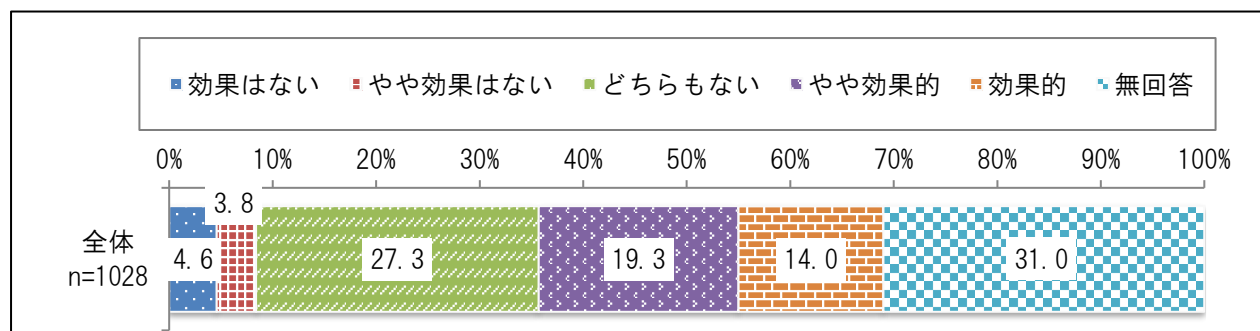
		(%)					
		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	3.4	3.8	24.1	28.3	15.5	24.8
	女性 n=438	2.5	2.7	19.4	31.7	21.2	22.4
年齢	10代 n=29	-	-	24.1	20.7	27.6	27.6
	20代 n=76	2.6	3.9	22.4	28.9	21.1	21.1
	30代 n=129	3.1	5.4	28.7	27.1	20.2	15.5
	40代 n=173	2.3	2.3	24.3	30.6	16.8	23.7
	50代 n=202	3.5	3.0	17.8	32.7	17.3	25.7
	60代 n=231	1.3	2.2	19.5	26.0	17.7	33.3
	70歳以上 n=174	2.3	3.4	14.4	26.4	20.7	32.8
地域別	北部 n=148	2.0	4.1	16.2	27.7	20.9	29.1
	中部 n=264	3.0	3.4	21.2	29.5	18.2	24.6
	南部 n=432	2.3	1.9	20.4	31.0	19.0	25.5
	宮古 n=35	-	5.7	20.0	17.1	22.9	34.3
	八重山 n=68	-	2.9	19.1	20.6	19.1	38.2
	その他の離島 n=66	4.5	6.1	28.8	22.7	15.2	22.7

④ しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が36.2%である。

年代では、30代の「やや効果的」が26.4%と最も高い。

図表32. しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度



(%)

		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	6.6	3.1	30.3	16.2	16.2	27.6
	女性 n=438	4.3	4.6	27.9	25.1	12.6	25.6
年齢	10代 n=29	6.9	-	24.1	24.1	17.2	27.6
	20代 n=76	3.9	2.6	28.9	21.1	17.1	26.3
	30代 n=129	6.2	6.2	31.8	26.4	14.0	15.5
	40代 n=173	5.8	4.6	36.4	17.3	11.6	24.3
	50代 n=202	5.0	3.5	25.7	23.3	12.9	29.7
	60代 n=231	2.6	4.3	27.3	14.7	13.9	37.2
	70歳以上 n=174	4.6	2.3	17.2	16.1	16.7	43.1
地域別	北部 n=148	6.1	4.1	23.0	16.9	14.9	35.1
	中部 n=264	4.5	4.5	25.0	22.0	13.6	30.3
	南部 n=432	4.6	4.2	29.6	21.1	13.9	26.6
	宮古 n=35	5.7	-	34.3	8.6	14.3	37.1
	八重山 n=68	-	1.5	26.5	11.8	16.2	44.1
	その他の離島 n=66	6.1	3.0	28.8	18.2	13.6	30.3

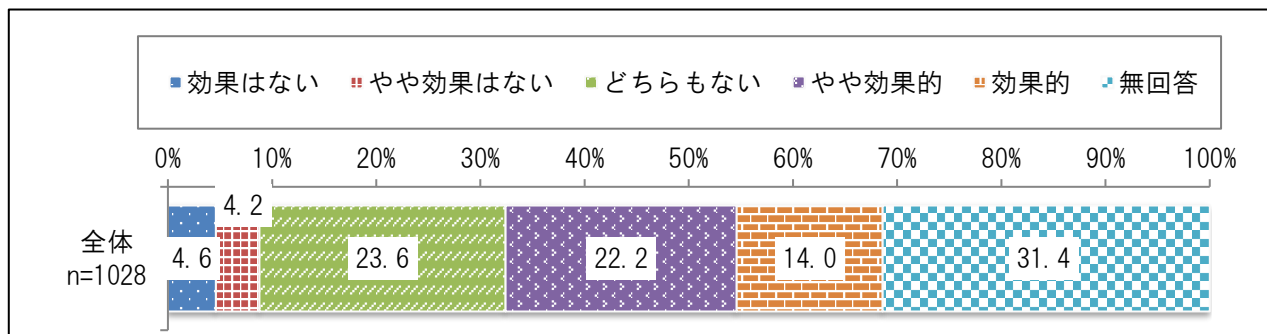
2. 調査結果の詳細

⑤ しまくとうば普及センターの設置

しまくとうば普及センターの設置は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が36.2%である。

地域別では、南部が『効果がある』の割合が40.3%高い。

図表33. しまくとうば普及センターの設置



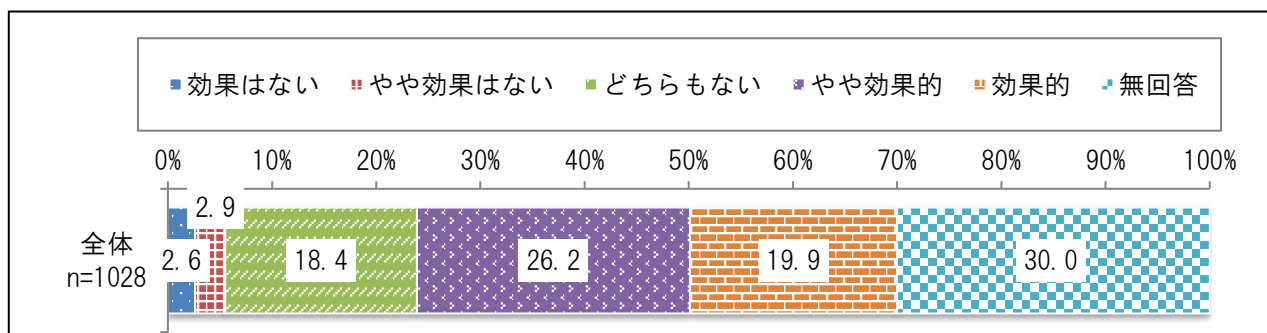
		(%)					
		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	7.2	4.5	23.8	21.7	15.9	26.9
	女性 n=438	4.3	4.3	26.3	24.4	13.9	26.7
年齢	10代 n=29	6.9	-	24.1	10.3	31.0	27.6
	20代 n=76	2.6	6.6	21.1	27.6	19.7	22.4
	30代 n=129	7.0	5.4	28.7	28.7	14.0	16.3
	40代 n=173	6.4	5.8	31.8	21.4	9.8	24.9
	50代 n=202	4.5	4.0	21.3	25.2	14.9	30.2
	60代 n=231	3.9	1.7	24.7	19.9	12.1	37.7
	70歳以上 n=174	2.9	5.2	14.4	19.0	13.8	44.8
地域別	北部 n=148	8.8	2.7	24.3	16.9	13.5	33.8
	中部 n=264	3.4	5.3	26.5	20.8	13.3	30.7
	南部 n=432	4.2	4.9	22.0	26.2	14.1	28.7
	宮古 n=35	5.7	-	28.6	17.1	11.4	37.1
	八重山 n=68	-	4.4	16.2	19.1	17.6	42.6
	その他の離島 n=66	7.6	1.5	25.8	22.7	15.2	27.3

⑥ しまくとうば講師養成講座

しまくとうば講師養成講座は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が46.1%である。

年代では、30代の『効果がある』は56.6%と他年代より高い割合である。

図表34. しまくとうば講師養成講座



(%)

		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	3.1	2.8	22.1	25.9	18.6	27.6
	女性 n=438	2.3	3.0	18.9	29.0	22.4	24.4
年齢	10代 n=29	-	3.4	17.2	24.1	27.6	27.6
	20代 n=76	2.6	2.6	17.1	30.3	21.1	26.3
	30代 n=129	3.9	2.3	21.7	31.0	25.6	15.5
	40代 n=173	2.3	1.7	24.3	30.6	17.9	23.1
	50代 n=202	2.5	2.0	17.8	32.2	17.8	27.7
	60代 n=231	1.7	3.9	17.3	21.2	19.0	36.8
	70歳以上 n=174	4.0	4.0	13.2	17.8	19.5	41.4
地域別	北部 n=148	4.1	2.7	17.6	21.6	20.3	33.8
	中部 n=264	2.3	2.3	16.3	29.9	19.3	29.9
	南部 n=432	2.1	3.5	18.3	27.5	22.0	26.6
	宮古 n=35	2.9	2.9	31.4	11.4	14.3	37.1
	八重山 n=68	-	4.4	13.2	26.5	19.1	36.8
	その他の離島 n=66	7.6	1.5	25.8	24.2	12.1	28.8

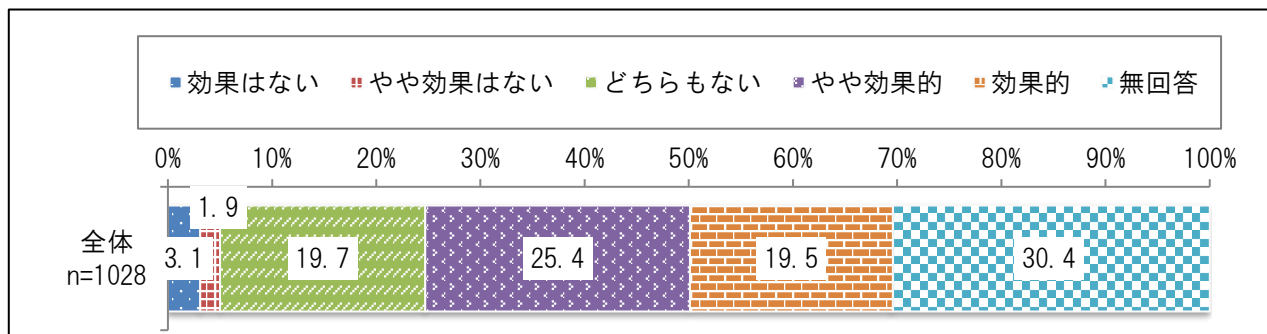
2. 調査結果の詳細

⑦ しまくとうば講師の派遣

しまくとうば講師の派遣は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が44.9%である。

地域別では、南部の『効果がある』が48.9%と半数を超えている。

図表35. しまくとうば講師の派遣



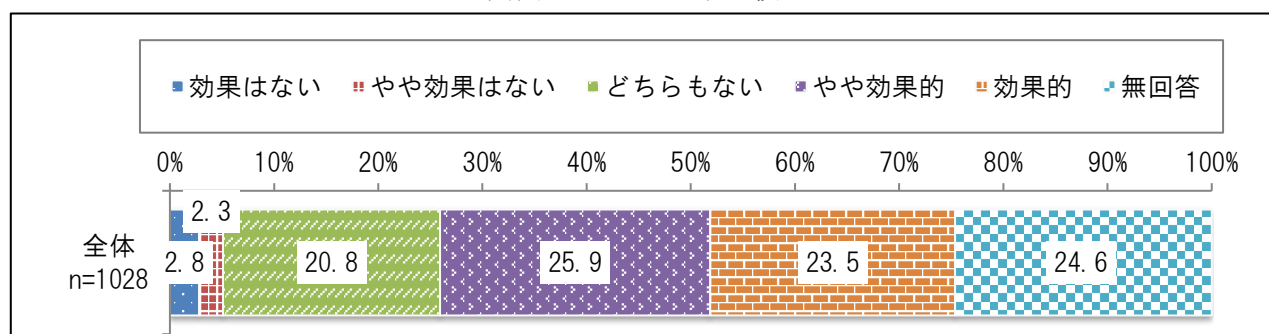
		(%)					
		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	3.4	3.1	19.7	27.6	19.0	27.2
	女性 n=438	3.0	1.8	20.3	28.8	21.9	24.2
年齢	10代 n=29	3.4	-	13.8	24.1	31.0	27.6
	20代 n=76	2.6	2.6	17.1	32.9	18.4	26.3
	30代 n=129	3.1	1.6	18.6	36.4	24.8	15.5
	40代 n=173	2.3	1.2	24.9	29.5	18.5	23.7
	50代 n=202	2.5	2.5	19.8	27.7	20.8	26.7
	60代 n=231	3.0	1.7	19.5	20.3	17.3	38.1
	70歳以上 n=174	5.2	2.3	18.4	15.5	16.7	42.0
地域別	北部 n=148	5.4	0.7	18.2	22.3	18.2	35.1
	中部 n=264	3.0	1.5	19.3	29.9	17.4	28.8
	南部 n=432	2.3	2.3	19.0	26.2	22.7	27.5
	宮古 n=35	2.9	2.9	34.3	14.3	8.6	37.1
	八重山 n=68	-	4.4	17.6	22.1	20.6	35.3
	その他の離島 n=66	7.6	1.5	21.2	24.2	15.2	30.3

⑧ しまくとうば検定

しまくとうば検定は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が49.4%である。

地域別では、南部の『効果がある』が54.4%と半数を超えている。

図表36. しまくとうば検定



(%)

		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	3.4	3.8	22.8	26.9	21.0	22.1
	女性 n=438	2.5	0.9	21.2	29.0	26.7	19.6
年齢	10代 n=29	-	6.9	24.1	24.1	27.6	17.2
	20代 n=76	2.6	1.3	19.7	31.6	27.6	17.1
	30代 n=129	3.9	1.6	18.6	30.2	33.3	12.4
	40代 n=173	1.7	2.3	23.7	28.9	25.4	17.9
	50代 n=202	3.5	2.0	18.8	32.2	22.3	21.3
	60代 n=231	2.2	1.7	22.9	21.6	19.9	31.6
	70歳以上 n=174	4.0	3.4	19.0	16.1	20.1	37.4
地域別	北部 n=148	4.1	4.1	16.9	20.9	25.0	29.1
	中部 n=264	3.4	2.7	20.8	28.0	21.2	23.9
	南部 n=432	2.3	1.4	20.1	28.9	25.5	21.8
	宮古 n=35	2.9	5.7	31.4	11.4	14.3	34.3
	八重山 n=68	-	1.5	22.1	17.6	33.8	25.0
	その他の離島 n=66	4.5	1.5	27.3	25.8	15.2	25.8

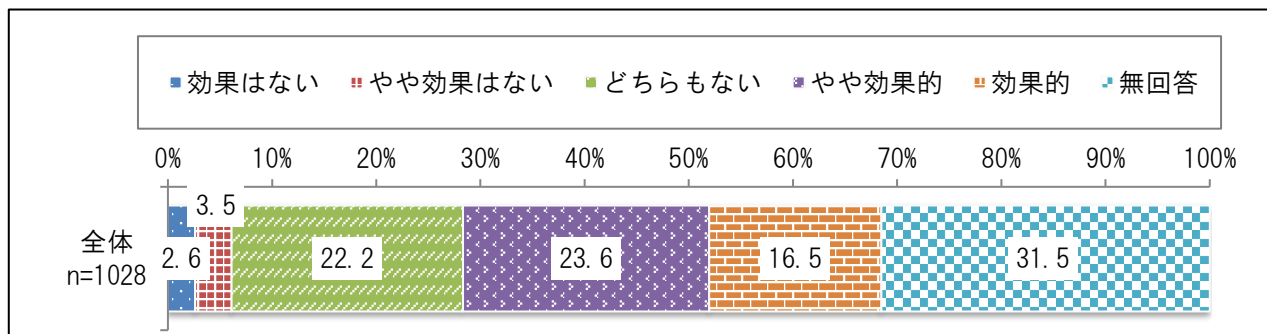
2. 調査結果の詳細

⑨ 「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)

「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)は『効果がある』(「やや効果的」+「効果的」)の割合が40.1%である。

年代では、30代の『効果がある』は52.0%と他年代より高い。

図表37. 「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)



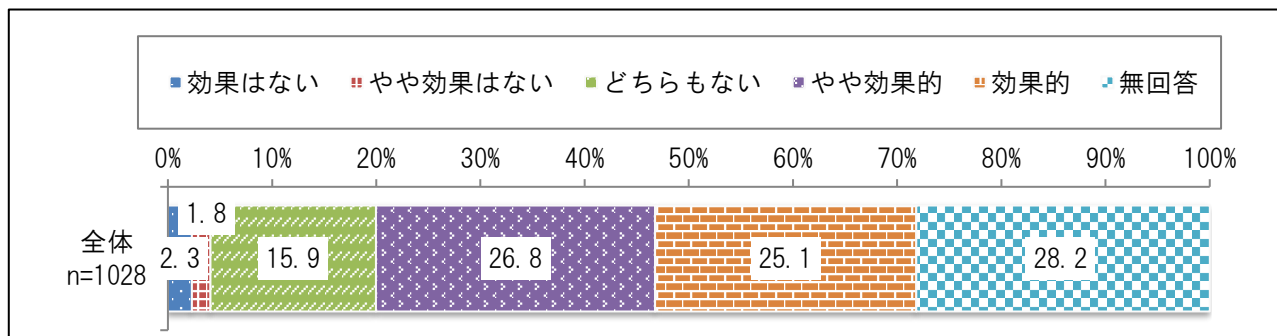
		(%)					
		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	3.8	4.8	24.5	21.4	17.6	27.9
	女性 n=438	2.1	2.7	22.4	27.9	18.7	26.3
年齢	10代 n=29	-	10.3	17.2	17.2	27.6	27.6
	20代 n=76	3.9	6.6	18.4	19.7	25.0	26.3
	30代 n=129	3.9	3.1	25.6	29.5	22.5	15.5
	40代 n=173	2.3	2.3	28.3	27.2	16.8	23.1
	50代 n=202	2.0	3.0	23.3	29.7	14.4	27.7
	60代 n=231	2.2	1.3	20.3	20.8	16.9	38.5
	70歳以上 n=174	3.4	6.3	17.2	16.7	8.6	47.7
地域別	北部 n=148	3.4	4.1	22.3	18.9	14.9	36.5
	中部 n=264	3.4	2.7	19.7	29.5	14.4	30.3
	南部 n=432	2.1	4.4	23.8	23.4	18.8	27.5
	宮古 n=35	-	5.7	22.9	25.7	8.6	37.1
	八重山 n=68	-	2.9	17.6	19.1	20.6	39.7
	その他の離島 n=66	6.1	-	22.7	19.7	16.7	34.8

⑩ しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布は『効果がある』
 (「やや効果的」+「効果的」)の割合が51.9%である。

年代では、30代の『効果がある』が6割以上と他年代より高い。

図表38. しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布



(%)

		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	2.8	1.7	18.3	29.0	21.0	27.2
	女性 n=438	1.8	1.6	17.4	26.7	30.1	22.4
年齢	10代 n=29	3.4	-	10.3	17.2	41.4	27.6
	20代 n=76	2.6	2.6	15.8	26.3	30.3	22.4
	30代 n=129	3.1	2.3	20.2	28.7	31.8	14.0
	40代 n=173	1.2	2.3	17.3	33.5	24.3	21.4
	50代 n=202	1.5	1.5	17.3	33.2	21.3	25.2
	60代 n=231	1.7	0.9	16.5	22.5	22.5	35.9
	70歳以上 n=174	4.6	1.7	10.3	19.0	24.7	39.7
地域別	北部 n=148	3.4	0.7	16.9	23.0	23.0	33.1
	中部 n=264	2.3	3.4	13.6	29.5	24.2	26.9
	南部 n=432	2.3	1.4	16.2	27.8	26.9	25.5
	宮古 n=35	-	-	22.9	17.1	22.9	37.1
	八重山 n=68	-	-	16.2	25.0	27.9	30.9
	その他の離島 n=66	4.5	-	15.2	25.8	24.2	30.3

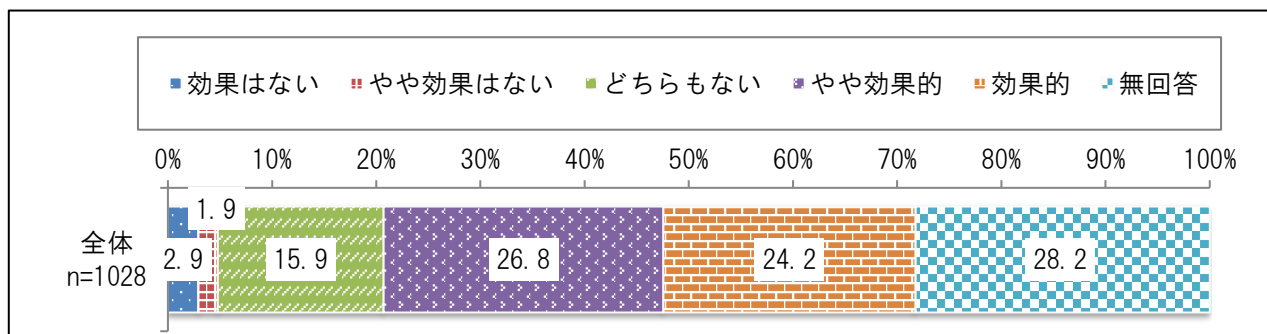
2. 調査結果の詳細

⑪ しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布は『効果がある』(「やや効果的」+「効果的」)の割合が51.0%である。

地域別では、南部の『効果がある』(「やや効果的」+「効果的」)が、54.1%と他地域より高い。

図表39. しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布



(%)

		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	3.1	2.8	16.6	27.6	23.1	26.9
	女性 n=438	2.7	2.1	16.4	29.0	27.4	22.4
年齢	10代 n=29	3.4	6.9	10.3	20.7	41.4	17.2
	20代 n=76	2.6	1.3	11.8	28.9	30.3	25.0
	30代 n=129	3.9	3.1	17.1	31.8	31.0	13.2
	40代 n=173	1.7	1.2	17.9	35.3	23.1	20.8
	50代 n=202	2.0	1.5	17.3	32.2	22.3	24.8
	60代 n=231	3.0	0.9	17.7	19.5	22.5	36.4
	70歳以上 n=174	4.6	2.9	11.5	19.5	20.1	41.4
地域別	北部 n=148	4.1	1.4	12.8	23.0	25.0	33.8
	中部 n=264	2.7	2.3	14.8	29.5	23.9	26.9
	南部 n=432	3.0	2.3	15.0	28.2	25.9	25.5
	宮古 n=35	-	2.9	20.0	25.7	17.1	34.3
	八重山 n=68	-	-	27.9	17.6	25.0	29.4
	その他の離島 n=66	6.1	-	15.2	28.8	19.7	30.3

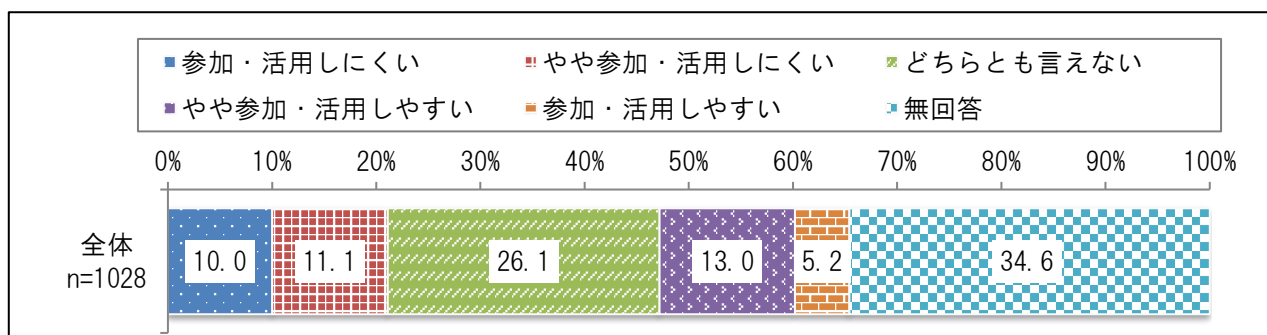
[2] 問 17. 取組みの参加・活用のしやすさ

① しまくとぅば県民大会（イベント）

しまくとぅば県民大会（イベント）は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が18.2%である。

年代では、10代の『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）が、31.0%と他年代より高い。

図表40. しまくとぅば県民大会（イベント）



		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	10.3	10.3	30.0	13.1	3.1	33.1
	女性 n=438	12.1	11.6	27.9	13.9	7.5	26.9
年齢	10代 n=29	3.4	20.7	17.2	20.7	10.3	27.6
	20代 n=76	10.5	18.4	28.9	11.8	1.3	28.9
	30代 n=129	17.8	15.5	26.4	17.1	6.2	17.1
	40代 n=173	14.5	13.3	28.9	11.6	2.9	28.9
	50代 n=202	9.4	10.4	30.2	16.3	4.5	29.2
	60代 n=231	6.5	6.1	26.8	10.4	6.1	44.2
	70歳以上 n=174	5.7	8.0	19.0	10.9	6.9	49.4
地域別	北部 n=148	12.2	9.5	28.4	10.1	6.1	33.8
	中部 n=264	9.5	11.7	28.0	13.6	3.8	33.3
	南部 n=432	10.0	12.3	25.2	13.7	4.4	34.5
	宮古 n=35	2.9	8.6	28.6	11.4	11.4	37.1
	八重山 n=68	13.2	7.4	16.2	14.7	7.4	41.2
	その他の離島 n=66	9.1	9.1	30.3	12.1	9.1	30.3

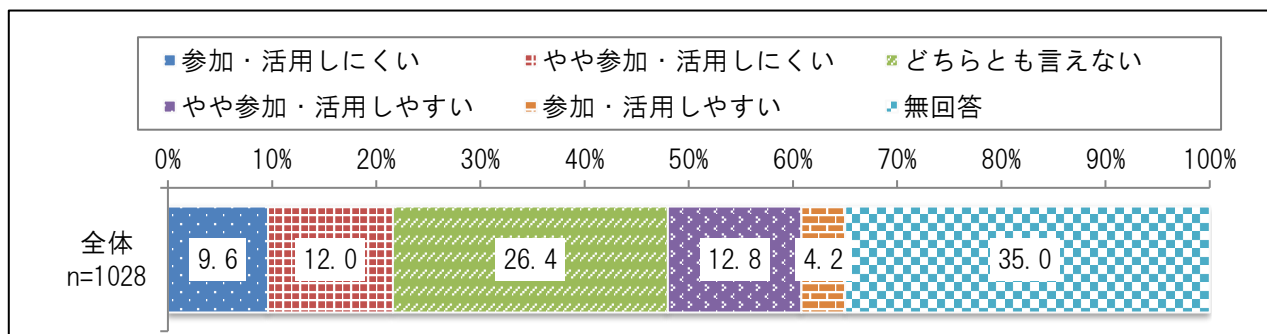
2. 調査結果の詳細

② しまくとうば語やびら大会（イベント）

しまくとうば語やびら大会（イベント）は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」）の割合が17.0%である。

年代では、10代の『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」）が、27.5%と他年代より高い。

図表41. しまくとうば語やびら大会（イベント）



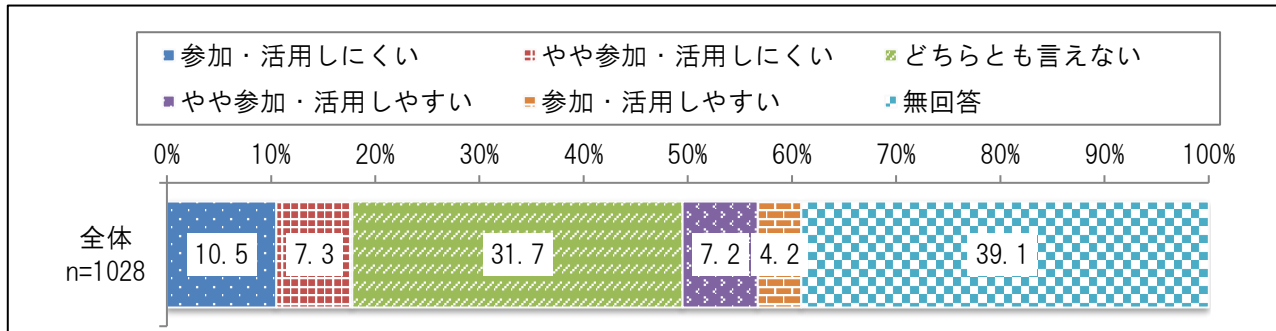
		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	9.3	11.7	30.0	11.4	4.5	33.1
	女性 n=438	12.6	13.2	28.3	14.4	5.3	26.3
年齢	10代 n=29	-	17.2	24.1	17.2	10.3	31.0
	20代 n=76	11.8	18.4	32.9	6.6	3.9	26.3
	30代 n=129	18.6	18.6	30.2	10.9	5.4	16.3
	40代 n=173	13.3	13.3	28.9	11.6	2.3	30.6
	50代 n=202	8.4	10.4	30.7	16.3	3.0	31.2
	60代 n=231	5.6	6.5	23.4	13.9	4.8	45.9
	70歳以上 n=174	6.9	10.9	19.5	12.6	4.6	45.4
地域別	北部 n=148	12.8	10.1	25.7	9.5	4.7	37.2
	中部 n=264	8.7	13.6	29.9	12.9	3.0	31.8
	南部 n=432	9.7	11.8	26.4	14.4	3.9	33.8
	宮古 n=35	2.9	8.6	28.6	11.4	8.6	40.0
	八重山 n=68	8.8	8.8	19.1	10.3	4.4	48.5
	その他の離島 n=66	10.6	12.1	24.2	16.7	7.6	28.8

③ しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が11.4%である。

年代では、10代の『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）が、17.2%と他年代より高い。

図表42. しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度



(%)

		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	12.1	7.6	32.4	7.6	4.5	35.9
	女性 n=438	12.6	8.4	36.3	8.2	3.4	31.1
年齢	10代 n=29	6.9	13.8	31.0	10.3	6.9	31.0
	20代 n=76	11.8	10.5	31.6	9.2	5.3	31.6
	30代 n=129	19.4	12.4	38.0	9.3	3.9	17.1
	40代 n=173	15.6	8.7	36.4	5.2	2.9	31.2
	50代 n=202	10.4	6.9	35.1	9.9	2.0	35.6
	60代 n=231	7.4	3.0	28.1	6.9	5.2	49.4
	70歳以上 n=174	4.0	5.2	24.7	4.0	5.7	56.3
地域別	北部 n=148	13.5	4.1	28.4	7.4	4.7	41.9
	中部 n=264	9.8	8.0	35.2	6.8	2.3	37.9
	南部 n=432	11.1	8.3	33.8	6.9	3.7	36.1
	宮古 n=35	2.9	5.7	37.1	5.7	5.7	42.9
	八重山 n=68	7.4	4.4	20.6	5.9	8.8	52.9
	その他の離島 n=66	9.1	7.6	24.2	13.6	9.1	36.4

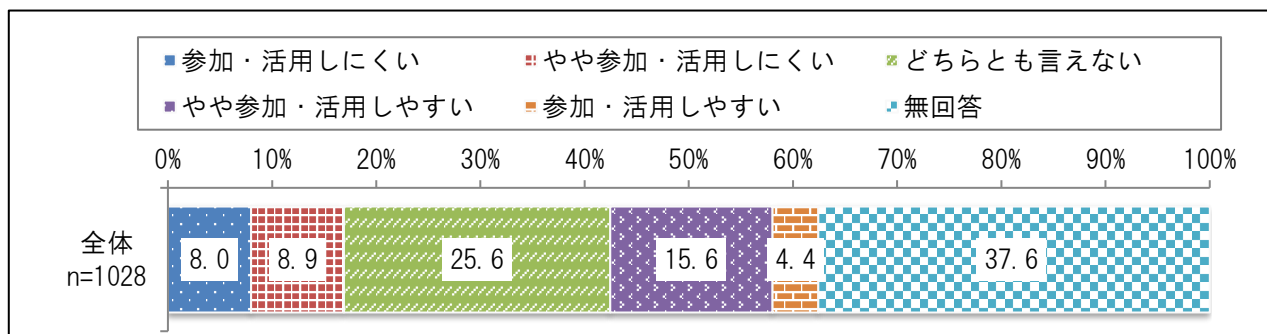
2. 調査結果の詳細

④ しまくとうば講師養成講座

しまくとうば講師養成講座は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が20.0%である。

地域別では、その他の離島の『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）が、28.8%と他地域より高い。

図表43. しまくとうば講師養成講座



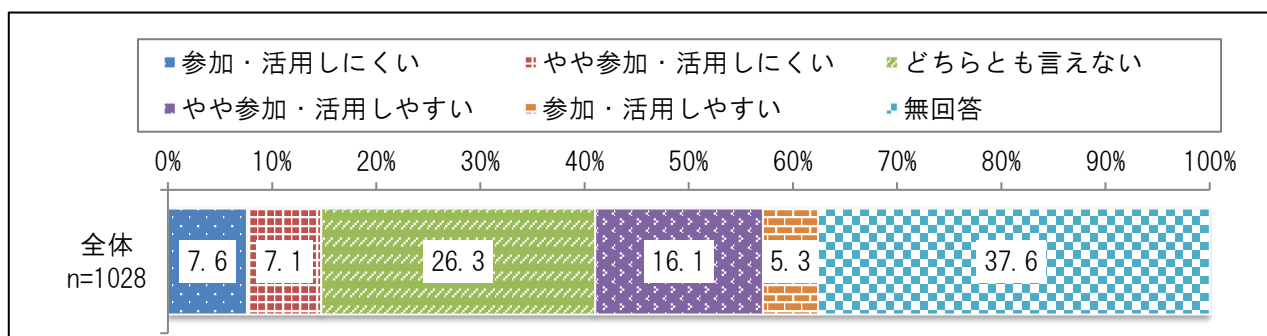
		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	9.0	8.3	27.2	13.8	6.9	34.8
	女性 n=438	9.6	10.0	29.9	18.7	2.7	29.0
年齢	10代 n=29	6.9	17.2	17.2	24.1	6.9	27.6
	20代 n=76	10.5	15.8	22.4	17.1	2.6	31.6
	30代 n=129	15.5	10.1	34.9	19.4	3.1	17.1
	40代 n=173	9.2	12.1	30.6	15.0	3.5	29.5
	50代 n=202	6.9	9.4	27.7	19.8	3.0	33.2
	60代 n=231	4.3	3.9	23.8	13.0	6.5	48.5
	70歳以上 n=174	6.9	5.7	17.8	9.8	5.2	54.6
地域別	北部 n=148	9.5	9.5	19.6	14.9	6.1	40.5
	中部 n=264	8.0	9.5	28.0	14.4	3.8	36.4
	南部 n=432	8.6	9.3	27.3	16.4	3.0	35.4
	宮古 n=35	2.9	8.6	34.3	2.9	5.7	45.7
	八重山 n=68	1.5	4.4	19.1	17.6	10.3	47.1
	その他の離島 n=66	9.1	6.1	22.7	22.7	6.1	33.3

⑤ しまくとうば講師の派遣

しまくとうば講師の派遣は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が21.4%である。

地域別では、その他の離島の『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）が、27.3%と他地域より高い。

図表44. しまくとうば講師の派遣



		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	7.6	5.2	32.1	15.2	5.9	34.1
	女性 n=438	9.4	9.6	28.3	19.4	4.6	28.8
年齢	10代 n=29	13.8	3.4	20.7	27.6	6.9	27.6
	20代 n=76	10.5	13.2	28.9	13.2	2.6	31.6
	30代 n=129	13.2	8.5	32.6	24.0	4.7	17.1
	40代 n=173	6.9	9.8	34.1	16.2	2.9	30.1
	50代 n=202	6.9	9.4	29.2	17.8	4.5	32.2
	60代 n=231	5.6	3.5	20.3	13.9	8.7	48.1
	70歳以上 n=174	5.7	2.9	20.1	10.9	5.2	55.2
地域別	北部 n=148	8.1	6.1	23.0	15.5	6.1	41.2
	中部 n=264	8.3	8.3	26.1	17.0	4.5	35.6
	南部 n=432	7.9	7.2	28.7	16.4	4.4	35.4
	宮古 n=35	2.9	5.7	31.4	11.4	2.9	45.7
	八重山 n=68	2.9	4.4	19.1	16.2	10.3	47.1
	その他の離島 n=66	9.1	4.5	25.8	18.2	9.1	33.3

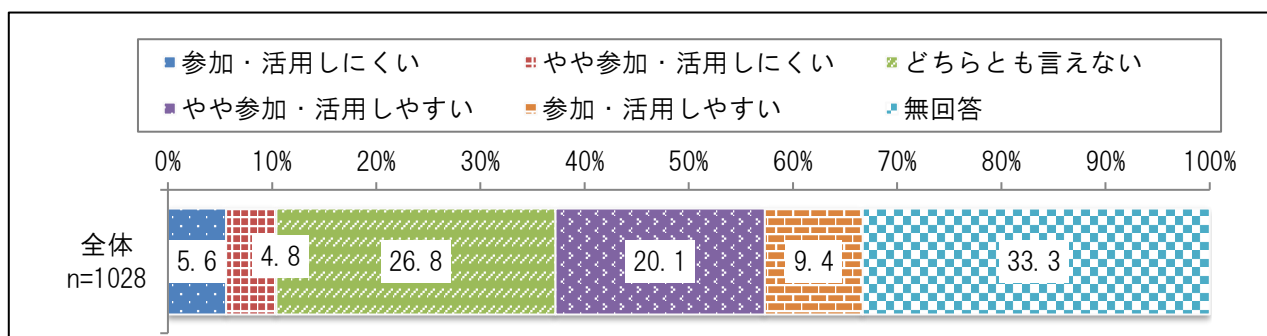
2. 調査結果の詳細

⑥ しまくとぅば検定

しまくとぅば検定は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が29.5%である。

地域別では、その他の離島の『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）が、33.4%と他地域より高い。

図表45. しまくとぅば検定



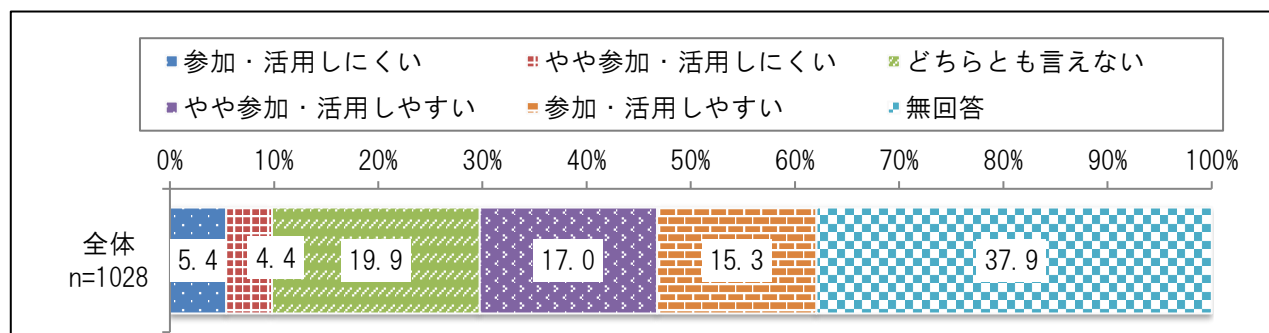
		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	4.8	6.6	32.1	17.9	9.3	29.3
	女性 n=438	7.3	3.4	28.1	23.7	12.3	25.1
年齢	10代 n=29	6.9	6.9	17.2	27.6	24.1	17.2
	20代 n=76	5.3	3.9	28.9	23.7	11.8	26.3
	30代 n=129	9.3	4.7	31.8	22.5	17.8	14.0
	40代 n=173	5.8	3.5	27.7	25.4	11.6	26.0
	50代 n=202	5.0	7.4	27.7	26.2	5.9	27.7
	60代 n=231	4.8	2.6	27.7	14.3	7.4	43.3
	70歳以上 n=174	5.2	5.2	21.8	10.9	5.2	51.7
地域別	北部 n=148	7.4	6.1	25.0	16.9	8.8	35.8
	中部 n=264	4.5	5.3	26.5	22.3	9.1	32.2
	南部 n=432	6.9	3.9	27.5	22.2	8.3	31.0
	宮古 n=35	2.9	-	37.1	8.6	8.6	42.9
	八重山 n=68	-	5.9	23.5	16.2	14.7	39.7
	その他の離島 n=66	4.5	4.5	27.3	18.2	15.2	30.3

⑦ 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)

「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)は『参加・活用のしやすさ』(「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」)の割合が32.3%である。

年代では、10代の「参加・活用しやすさ」が48.3%と他年代より高い。

図表46. 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)



		(%)					
性別		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	6.2	3.4	25.5	16.9	13.4	34.5
	女性 n=438	5.9	4.6	19.2	19.9	20.5	29.9
年齢	10代 n=29	6.9	-	17.2	20.7	27.6	27.6
	20代 n=76	6.6	9.2	15.8	19.7	18.4	30.3
	30代 n=129	7.0	3.9	25.6	14.7	31.8	17.1
	40代 n=173	4.6	4.6	18.5	23.7	19.7	28.9
	50代 n=202	5.0	5.0	22.8	21.3	12.9	33.2
	60代 n=231	3.9	2.6	19.9	14.7	10.0	48.9
	70歳以上 n=174	6.9	4.0	17.2	9.2	5.7	56.9
地域別	北部 n=148	9.5	2.0	19.6	14.9	12.2	41.9
	中部 n=264	3.8	5.3	18.9	20.5	14.8	36.7
	南部 n=432	6.0	4.2	20.8	17.6	16.7	34.7
	宮古 n=35	2.9	-	25.7	17.1	8.6	45.7
	八重山 n=68	1.5	2.9	19.1	5.9	22.1	48.5
	その他の離島 n=66	3.0	9.1	19.7	19.7	12.1	36.4

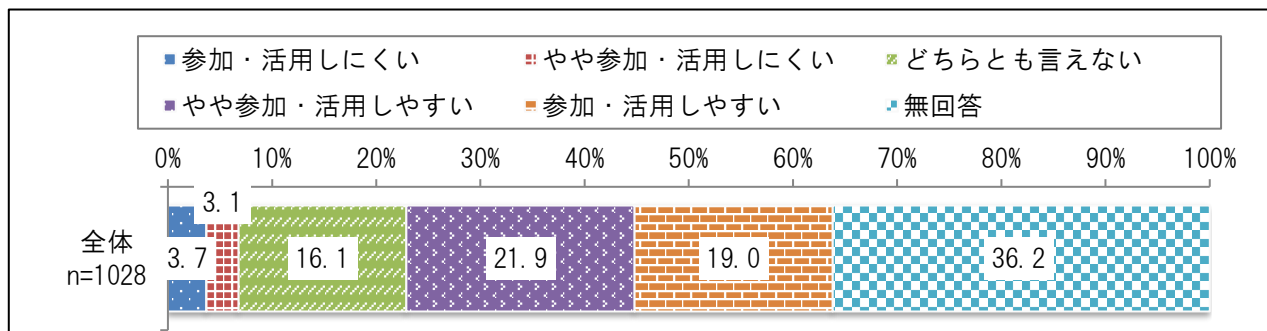
2. 調査結果の詳細

⑧ しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布は『参加・活用のしやすさ』(「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」)の割合が40.9%である。

年代では、10代の「参加・活用しやすさ」が65.5%で他年代より高い。

図表47. しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布



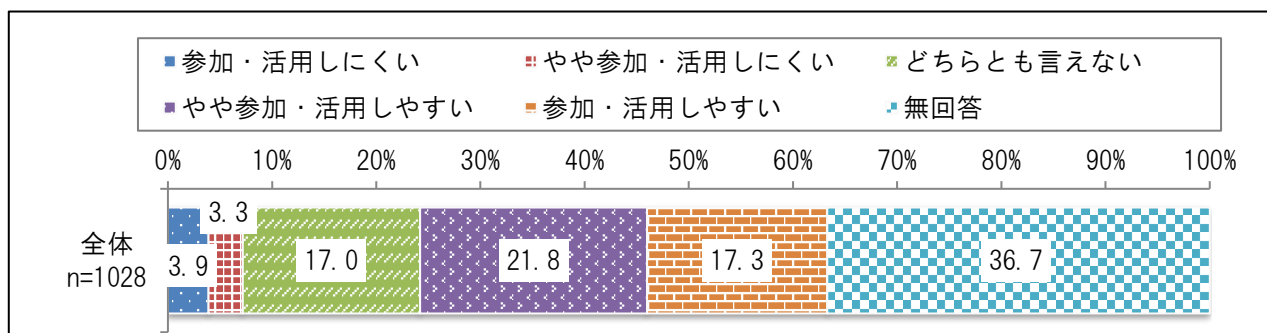
		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	3.4	3.1	21.7	22.1	14.5	35.2
	女性 n=438	3.7	3.0	15.3	25.1	26.3	26.7
年齢	10代 n=29	-	-	10.3	27.6	37.9	24.1
	20代 n=76	5.3	5.3	15.8	21.1	23.7	28.9
	30代 n=129	4.7	3.9	21.7	20.9	33.3	15.5
	40代 n=173	1.7	4.0	17.3	27.7	20.8	28.3
	50代 n=202	4.0	3.0	20.3	24.3	16.3	32.2
	60代 n=231	3.0	2.2	12.1	22.9	12.1	47.6
	70歳以上 n=174	5.7	1.7	13.8	13.2	13.2	52.3
地域別	北部 n=148	4.1	2.0	17.6	18.9	18.2	39.2
	中部 n=264	3.8	3.8	14.8	23.9	18.9	34.8
	南部 n=432	3.9	3.7	15.7	22.9	19.7	34.0
	宮古 n=35	-	-	22.9	17.1	14.3	45.7
	八重山 n=68	2.9	-	14.7	17.6	20.6	44.1
	その他の離島 n=66	3.0	1.5	19.7	22.7	19.7	33.3

⑨ しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布は『参加・活用のしやすさ』(「やや参加・活用しやすい」+「参加・活用しやすい」)の割合が39.1%である。

地域別では、その他の離島の「参加・活用しやすさ」が42.4%と他地域より高い。

図表48. しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布



		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	3.8	2.4	22.8	22.1	14.1	34.8
	女性 n=438	4.1	3.2	16.2	25.8	23.1	27.6
年齢	10代 n=29	-	-	13.8	37.9	31.0	17.2
	20代 n=76	3.9	6.6	15.8	22.4	21.1	30.3
	30代 n=129	5.4	3.1	20.2	24.0	31.8	15.5
	40代 n=173	2.3	2.9	20.2	27.7	19.1	27.7
	50代 n=202	4.5	4.5	18.3	25.7	15.3	31.7
	60代 n=231	3.5	1.3	14.7	20.3	12.1	48.1
	70歳以上 n=174	5.2	2.9	15.5	10.3	9.8	56.3
地域別	北部 n=148	4.1	2.0	18.2	20.3	14.9	40.5
	中部 n=264	4.2	4.2	15.2	22.0	19.3	35.2
	南部 n=432	3.9	3.5	16.4	24.8	16.9	34.5
	宮古 n=35	-	2.9	22.9	20.0	11.4	42.9
	八重山 n=68	2.9	1.5	20.6	10.3	20.6	44.1
	その他の離島 n=66	4.5	-	19.7	22.7	19.7	33.3

2. 調査結果の詳細

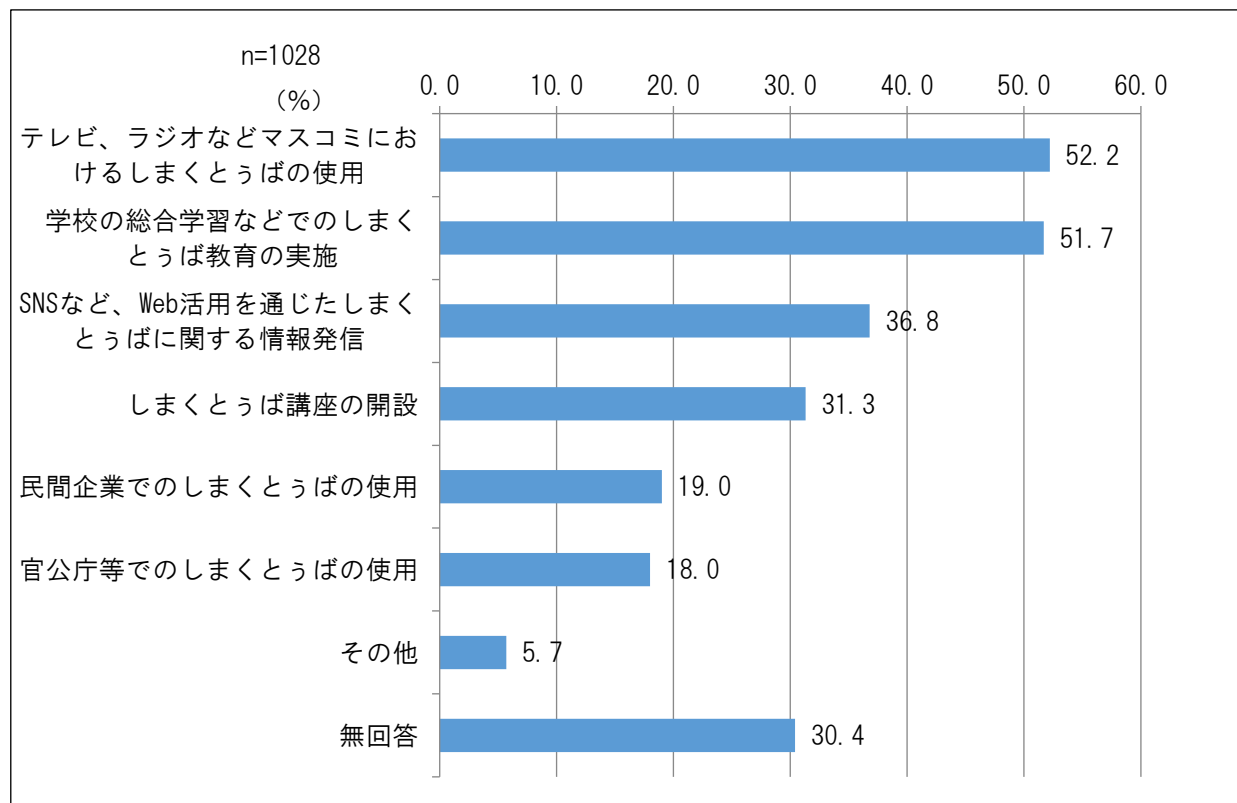
(24) 問 18. 今後、普及継承していくため取組で「すべきと思うもの」をお答えください。

(○はいくつでも)

取組の認知度は「テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用」が52.2%で最も高く、次いで「学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施」が51.7%、「SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信」が36.8%である。

年代では、「テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用」が40代64.7%高い。

図表49. 普及継承・各取組について



		学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施	しまくとうば講座の開設	官公庁等でのしまくとうばの使用	民間企業でのしまくとうばの使用	テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用	SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信	その他	無回答
性別	男性 n=290	56.2	32.8	23.4	24.8	54.1	37.9	5.5	23.8
	女性 n=438	58.0	33.8	16.0	16.2	59.1	45.0	7.5	21.9
年齢	10代 n=29	75.9	37.9	27.6	37.9	62.1	58.6	13.8	13.8
	20代 n=76	65.8	28.9	19.7	25.0	61.8	52.6	7.9	13.2
	30代 n=129	65.1	34.9	14.0	17.1	63.6	58.9	9.3	13.2
	40代 n=173	61.3	35.8	16.8	18.5	64.7	51.4	4.0	18.5
	50代 n=202	50.5	33.2	21.3	20.3	52.5	34.2	5.0	31.7
	60代 n=231	43.7	30.3	17.3	17.3	43.7	28.1	5.2	38.5
	70歳以上 n=174	34.5	24.1	17.2	16.1	37.9	11.5	4.6	50.6
地域別	北部 n=148	45.9	27.7	12.2	14.2	47.3	29.1	3.4	37.8
	中部 n=264	56.4	32.6	14.8	17.0	55.3	37.5	6.4	26.9
	南部 n=432	51.6	31.3	22.2	22.5	53.2	39.4	6.5	28.7
	宮古 n=35	48.6	28.6	14.3	17.1	42.9	34.3	8.6	40.0
	八重山 n=68	48.5	45.6	20.6	20.6	57.4	45.6	4.4	32.4
	その他の離島 n=66	54.5	24.2	16.7	15.2	47.0	31.8	4.5	24.2

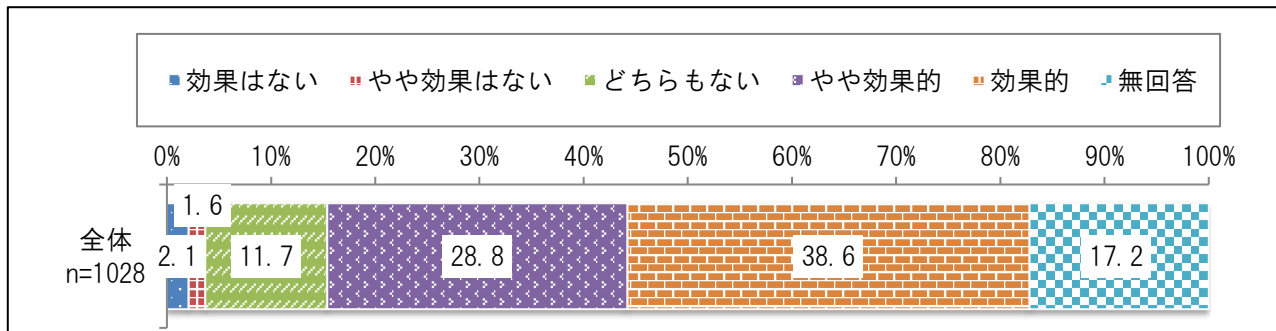
[1] 問 18. 普及継承していくため各取組の効果度

① 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施

学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が 67.4%である。

年代では、「効果的」が 10 代から 30 代で 5 割を超える。

図表50. 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施



(%)

		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	2.4	1.7	10.7	30.3	40.3	14.5
	女性 n=438	2.3	1.1	11.2	28.8	42.9	13.7
年齢	10代 n=29	-	6.9	3.4	31.0	51.7	6.9
	20代 n=76	1.3	-	9.2	28.9	52.6	7.9
	30代 n=129	3.1	-	11.6	27.1	50.4	7.8
	40代 n=173	1.2	2.3	9.2	34.1	40.5	12.7
	50代 n=202	2.5	1.0	14.9	28.2	35.6	17.8
	60代 n=231	2.2	1.7	13.4	28.1	33.3	21.2
	70歳以上 n=174	2.9	1.7	11.5	26.4	30.5	27.0
地域別	北部 n=148	3.4	-	14.9	26.4	35.8	19.6
	中部 n=264	1.5	1.5	11.4	29.2	42.0	14.4
	南部 n=432	1.9	2.1	11.8	29.2	38.2	16.9
	宮古 n=35	2.9	-	11.4	25.7	31.4	28.6
	八重山 n=68	1.5	-	10.3	25.0	39.7	23.5
	その他の離島 n=66	4.5	1.5	6.1	37.9	40.9	9.1

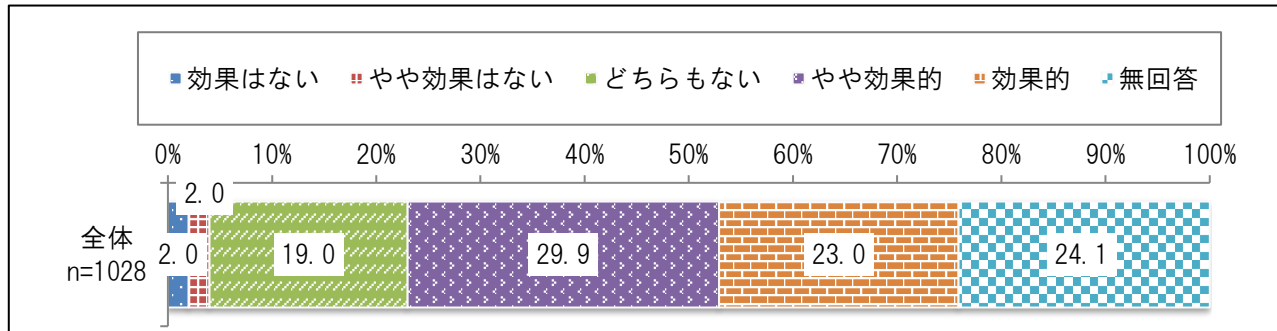
2. 調査結果の詳細

② しまくとうば講座の開設

しまくとうば講座の開設は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が52.9%である。

地域別では、八重山の『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）が、60.3%と他地域より高い。

図表51. しまくとうば講座の開設



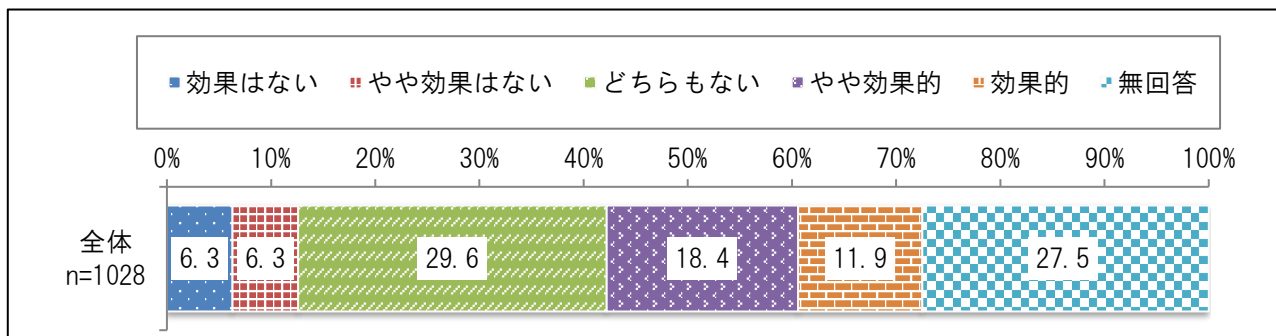
		(%)					
		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	2.4	2.4	20.0	26.2	26.2	22.8
	女性 n=438	1.8	1.4	21.5	34.2	22.1	18.9
年齢	10代 n=29	-	-	17.2	24.1	37.9	20.7
	20代 n=76	2.6	2.6	11.8	27.6	31.6	23.7
	30代 n=129	2.3	2.3	21.7	33.3	27.1	13.2
	40代 n=173	0.6	1.2	29.5	34.1	19.7	15.0
	50代 n=202	1.5	3.5	16.8	32.7	23.3	22.3
	60代 n=231	2.2	0.9	18.6	28.6	21.2	28.6
	70歳以上 n=174	4.0	2.3	13.8	25.3	19.0	35.6
地域別	北部 n=148	2.7	2.0	16.2	29.1	24.3	25.7
	中部 n=264	2.7	2.3	14.4	34.5	22.3	23.9
	南部 n=432	1.2	2.3	21.8	28.7	22.5	23.6
	宮古 n=35	-	2.9	25.7	31.4	17.1	22.9
	八重山 n=68	1.5	-	13.2	27.9	32.4	25.0
	その他の離島 n=66	6.1	-	27.3	25.8	21.2	19.7

③ 官公庁等でのしまくとうばの使用

官公庁等でのしまくとうばの使用は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が30.3%である。

年代では、10代の『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）が41.3%で他年代より高い。

図表52. 官公庁等でのしまくとうばの使用



(%)

		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	8.6	5.5	26.6	21.4	14.1	23.8
	女性 n=438	6.2	5.9	35.4	17.4	11.9	23.3
年齢	10代 n=29	6.9	3.4	20.7	24.1	17.2	27.6
	20代 n=76	11.8	5.3	18.4	23.7	14.5	26.3
	30代 n=129	10.9	9.3	36.4	15.5	11.6	16.3
	40代 n=173	7.5	6.4	38.2	16.2	11.0	20.8
	50代 n=202	3.5	5.9	30.7	22.8	11.9	25.2
	60代 n=231	5.6	5.2	28.1	16.0	13.0	32.0
	70歳以上 n=174	4.0	5.7	25.3	17.2	10.3	37.4
地域別	北部 n=148	11.5	5.4	23.0	19.6	8.8	31.8
	中部 n=264	6.1	7.2	32.6	16.7	12.1	25.4
	南部 n=432	4.9	5.3	31.3	20.1	13.0	25.5
	宮古 n=35	2.9	2.9	40.0	20.0	2.9	31.4
	八重山 n=68	2.9	7.4	25.0	19.1	10.3	35.3
	その他の離島 n=66	12.1	9.1	24.2	12.1	18.2	24.2

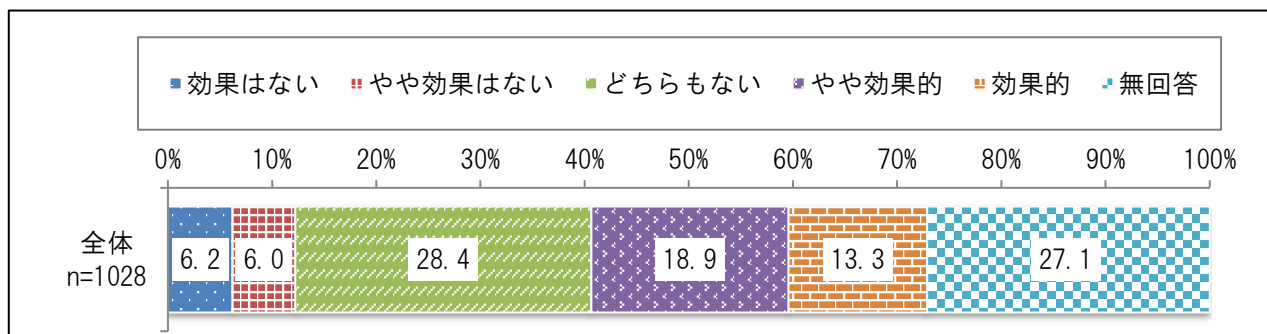
2. 調査結果の詳細

④ 民間企業でのしまくとうばの使用

民間企業でのしまくとうばの使用は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が32.2%である。

地域別では、南部の『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）が34.3%で他地域より高い。

図表53. 民間企業でのしまくとうばの使用



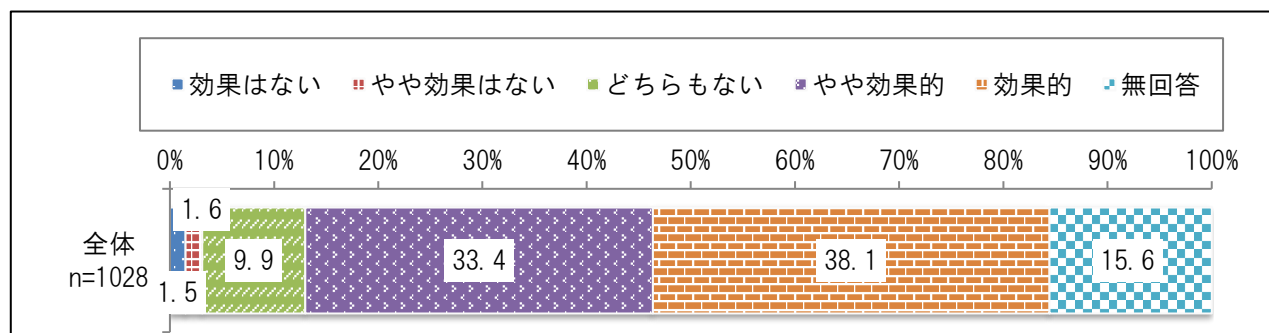
		(%)					
		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	7.6	5.5	27.2	20.3	15.5	23.8
	女性 n=438	6.2	5.5	33.1	18.7	12.8	23.7
年齢	10代 n=29	6.9	-	13.8	27.6	24.1	27.6
	20代 n=76	10.5	9.2	15.8	22.4	17.1	25.0
	30代 n=129	7.0	6.2	34.1	20.9	16.3	15.5
	40代 n=173	8.7	4.6	35.8	17.9	12.1	20.8
	50代 n=202	3.5	6.4	31.7	18.3	14.4	25.7
	60代 n=231	5.6	5.2	29.9	16.9	10.4	32.0
	70歳以上 n=174	5.7	6.3	20.7	19.0	12.6	35.6
地域別	北部 n=148	10.8	2.7	26.4	18.9	10.8	30.4
	中部 n=264	4.9	6.8	30.7	18.6	14.4	24.6
	南部 n=432	5.3	6.3	28.2	20.6	13.7	25.9
	宮古 n=35	5.7	-	40.0	17.1	8.6	28.6
	八重山 n=68	2.9	8.8	22.1	22.1	10.3	33.8
	その他の離島 n=66	12.1	7.6	27.3	9.1	19.7	24.2

⑤ テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用

テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が71.5%である。

年代では、40代の『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）が、81.5%と8割を超える。

図表54. テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用



		(%)					
		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	1.4	0.3	10.7	36.6	37.2	13.8
	女性 n=438	1.6	1.8	8.2	35.8	40.6	11.9
年齢	10代 n=29	-	3.4	10.3	24.1	51.7	10.3
	20代 n=76	1.3	2.6	6.6	40.8	38.2	10.5
	30代 n=129	1.6	0.8	8.5	34.1	45.7	9.3
	40代 n=173	-	0.6	7.5	41.0	40.5	10.4
	50代 n=202	0.5	1.5	12.9	31.7	37.6	15.8
	60代 n=231	1.7	1.3	10.8	33.8	34.2	18.2
	70歳以上 n=174	4.0	2.3	9.2	26.4	35.1	23.0
地域別	北部 n=148	2.7	1.4	11.5	28.4	40.5	15.5
	中部 n=264	0.4	1.1	9.1	35.2	40.2	14.0
	南部 n=432	1.4	2.3	9.3	32.9	38.4	15.7
	宮古 n=35	2.9	-	14.3	34.3	22.9	25.7
	八重山 n=68	1.5	-	7.4	39.7	35.3	16.2
	その他の離島 n=66	3.0	-	12.1	33.3	39.4	12.1

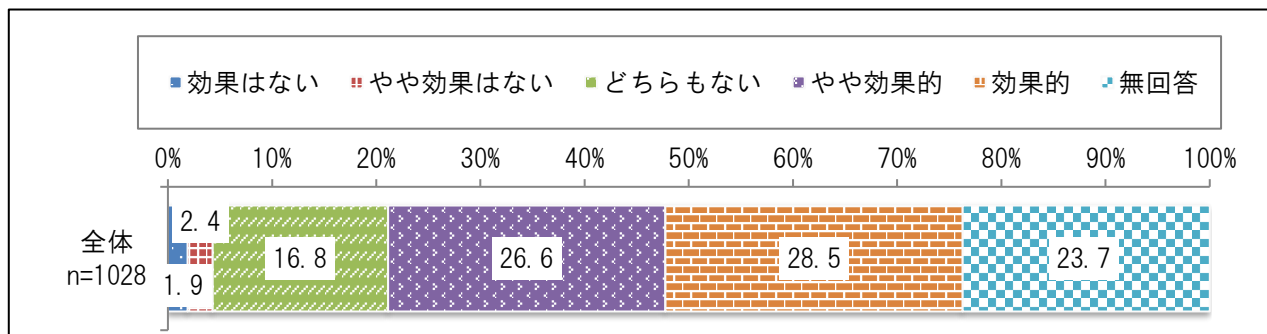
2. 調査結果の詳細

⑥ SNS など、Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信

SNS など Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が 55.1%である。

地域別では、八重山の「効果的」が 63.2%と他地域より高い。

図表55. SNS など Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信



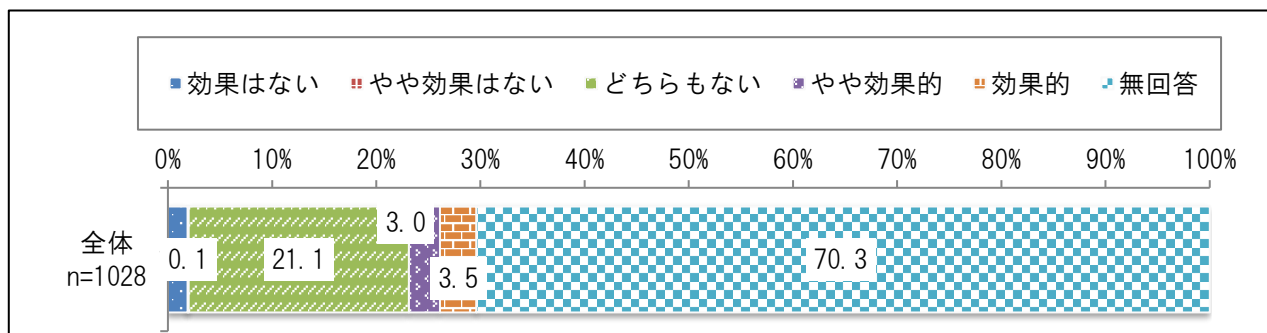
		(%)					
		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	2.8	2.1	19.0	30.3	26.6	19.3
	女性 n=438	1.6	1.6	15.3	26.7	35.6	19.2
年齢	10代 n=29	-	3.4	24.1	20.7	41.4	10.3
	20代 n=76	1.3	-	11.8	27.6	44.7	14.5
	30代 n=129	2.3	1.6	13.2	31.8	41.9	9.3
	40代 n=173	0.6	1.7	14.5	32.4	37.0	13.9
	50代 n=202	1.0	3.0	17.3	29.2	27.7	21.8
	60代 n=231	2.2	1.3	19.0	26.0	21.2	30.3
	70歳以上 n=174	4.6	4.6	19.0	16.1	13.8	42.0
地域別	北部 n=148	4.1	1.4	14.9	26.4	27.0	26.4
	中部 n=264	1.1	3.8	16.3	28.4	28.4	22.0
	南部 n=432	1.9	2.1	18.5	25.2	30.3	22.0
	宮古 n=35	-	2.9	20.0	31.4	17.1	28.6
	八重山 n=68	-	1.5	10.3	35.3	27.9	25.0
	その他の離島 n=66	4.5	-	16.7	19.7	31.8	27.3

⑦ その他

その他は『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）の割合が6.5%である。

年代では、30代の『効果がある』（「やや効果的」＋「効果的」）が、14.7%と他年代より高い。

図表56. その他



		(%)					
		効果はない	やや効果はない	どちらもない	やや効果的	効果的	無回答
性別	男性 n=290	2.1	0.3	26.2	3.1	3.8	64.5
	女性 n=438	3.0	-	31.1	4.6	5.0	56.4
年齢	10代 n=29	-	-	37.9	-	10.3	51.7
	20代 n=76	2.6	-	36.8	3.9	9.2	47.4
	30代 n=129	3.9	-	41.9	8.5	6.2	39.5
	40代 n=173	4.6	0.6	29.5	4.0	4.6	56.6
	50代 n=202	1.0	-	21.3	3.0	1.5	73.3
	60代 n=231	0.9	-	10.8	0.9	2.2	85.3
	70歳以上 n=174	0.6	-	2.9	1.1	1.1	94.3
地域別	北部 n=148	2.0	-	18.2	3.4	1.4	75.0
	中部 n=264	1.9	0.4	19.7	2.3	4.9	70.8
	南部 n=432	2.3	-	24.3	3.9	3.2	66.2
	宮古 n=35	-	-	20.0	2.9	2.9	74.3
	八重山 n=68	-	-	13.2	-	5.9	80.9
	その他の離島 n=66	3.0	-	24.2	3.0	3.0	66.7

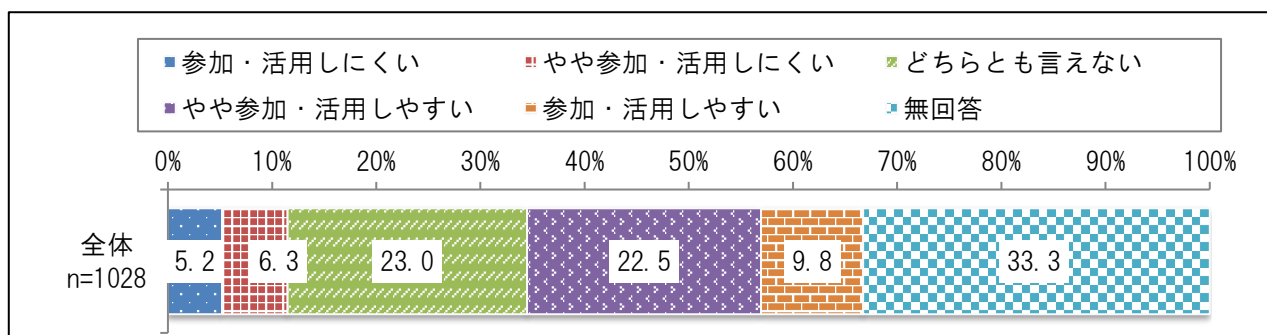
[2] 問 18. 取組みの参加・活用のしやすさ

⑧ しまくとうば講座の開設

しまくとうば講座の開設は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が32.3%である。

地域別では、八重山の『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）が、45.6%と他地域より高い。

図表57. しまくとうば講座の開設



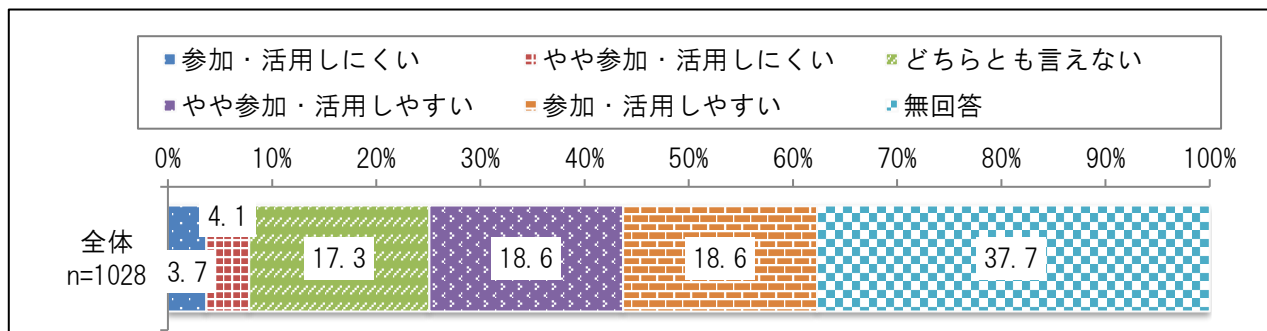
		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	4.8	5.5	30.0	22.4	9.7	27.6
	女性 n=438	5.3	7.3	22.6	26.0	11.0	27.9
年齢	10代 n=29	3.4	3.4	24.1	20.7	31.0	17.2
	20代 n=76	5.3	10.5	19.7	28.9	6.6	28.9
	30代 n=129	7.0	7.0	24.0	29.5	15.5	17.1
	40代 n=173	5.8	8.1	30.1	22.0	8.7	25.4
	50代 n=202	3.5	6.4	27.2	25.2	8.4	29.2
	60代 n=231	4.8	3.5	20.8	18.6	8.7	43.7
	70歳以上 n=174	6.3	5.7	15.5	18.4	8.0	46.0
地域別	北部 n=148	6.1	3.4	24.3	15.5	10.8	39.9
	中部 n=264	5.3	6.4	20.5	25.8	10.6	31.4
	南部 n=432	5.3	7.6	26.2	22.0	7.9	31.0
	宮古 n=35	2.9	2.9	20.0	34.3	8.6	31.4
	八重山 n=68	1.5	2.9	14.7	30.9	14.7	35.3
	その他の離島 n=66	7.6	9.1	21.2	16.7	13.6	31.8

⑨ SNS など、Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信

SNS など Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が37.2%である。

性別では「参加・活用しやすい」が、女性 26.5%、男性 16.9%より 9.6 ポイント高い。

図表58. SNS など Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信



		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	3.1	3.1	22.8	21.4	16.9	32.8
	女性 n=438	3.2	4.1	15.8	21.5	26.5	29.0
年齢	10代 n=29	3.4	-	20.7	20.7	41.4	13.8
	20代 n=76	2.6	1.3	9.2	30.3	31.6	25.0
	30代 n=129	2.3	2.3	17.8	24.0	37.2	16.3
	40代 n=173	2.9	2.9	17.9	20.2	24.3	31.8
	50代 n=202	1.5	5.4	23.8	17.3	16.3	35.6
	60代 n=231	4.8	3.9	16.0	17.7	9.1	48.5
	70歳以上 n=174	6.9	6.9	14.4	11.5	5.7	54.6
地域別	北部 n=148	5.4	2.7	16.9	16.2	16.9	41.9
	中部 n=264	3.4	7.6	15.2	20.1	17.8	36.0
	南部 n=432	3.7	3.0	19.0	19.7	19.9	34.7
	宮古 n=35	-	-	22.9	22.9	11.4	42.9
	八重山 n=68	-	4.4	8.8	17.6	25.0	44.1
	その他の離島 n=66	7.6	1.5	21.2	13.6	18.2	37.9

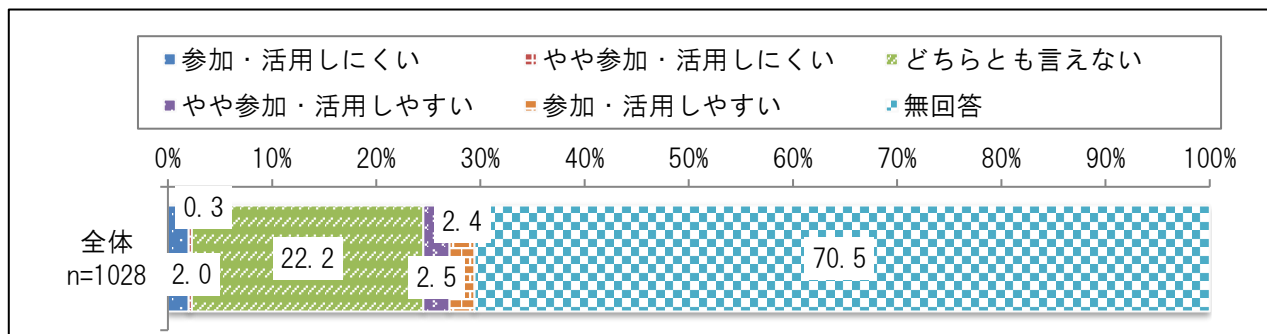
2. 調査結果の詳細

⑩ その他

その他は『参加・活用のしやすさ』（「やや参加・活用しやすい」＋「参加・活用しやすい」）の割合が4.9%である。

年代では、30代の「参加・活用しやすい」が11.7%で他年代より高い。

図表59. その他



		(%)					
		参加・活用しにくい	やや参加・活用しにくい	どちらとも言えない	やや参加・活用しやすい	参加・活用しやすい	無回答
性別	男性 n=290	2.1	0.7	27.6	2.8	2.8	64.1
	女性 n=438	2.7	0.2	32.4	3.9	3.7	57.1
年齢	10代 n=29	-	-	41.4	-	10.3	48.3
	20代 n=76	3.9	1.3	35.5	5.3	5.3	48.7
	30代 n=129	3.9	-	44.2	7.0	4.7	40.3
	40代 n=173	3.5	0.6	31.8	2.9	3.5	57.8
	50代 n=202	2.0	0.5	23.3	2.5	0.5	71.3
	60代 n=231	0.9	-	10.8	0.4	1.7	86.1
	70歳以上 n=174	0.6	-	2.9	1.1	0.6	94.8
地域別	北部 n=148	1.4	-	16.9	3.4	2.0	76.4
	中部 n=264	3.4	0.4	21.2	1.9	2.7	70.5
	南部 n=432	2.1	0.5	25.9	3.0	2.1	66.4
	宮古 n=35	-	-	17.1	5.7	-	77.1
	八重山 n=68	-	-	13.2	-	5.9	80.9
	その他の離島 n=66	1.5	-	30.3	1.5	3.0	63.6

(25) 問 19. 意見・感想

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（10代）

-	10代	うるま市	学校内で授業に取り入れること
女性	10代	宜野湾市	カレンダーや五十音表があれば、家でもいつでも見て勉強になると思います
女性	10代	八重瀬町	しまくとうばを話せる人が学校に来て子どもたちに教える機会を増やしたらもっと良いと思う
女性	10代	那覇市	自分の出身地は自分の個性になると思います。しまくとうばを使えるだけで県外に出た時にも自身のアピールに繋がります。しまくとうばが私たち沖縄県民にとって必要で有効なものである理由を一人一人が考えれば、使いたい、使えるようになりたいと思う人が増えるのではないのでしょうか。そして、現代のZ世代と呼ばれる若者は自分がやりたいと思っている事に対して奥手な傾向にあるため、しまくとうばにもっと簡単にすぐ関わりやすい環境整備が必要だと思います
女性	10代	西原町	学校で学ぶ場を作る。高齢者を呼んでコミュニケーションを取る
女性	10代	沖縄市	日常的に使うようにする
女性	10代	宜野座村	親世代がしまくとうばを使わないと子どもはしまくとうばをきれいに使うことはできないと思います。若者が使う「しに」は「でーじ」と同じように使いますが、それは正しくないと教わった
女性	10代	嘉手納町	もっと話す場があれば普及継承に繋がると思う
女性	10代	豊見城市	授業でも積極的に取り入れる
女性	10代	北中城村	私の意見としては、年配の方々が多く訪れる施設では方言が日常会話くらいまで話せたらいいと思います。子どもや学生などに方言を教える場合は方言だけの本ではなく、ちょっとした方言と標準語が多めの方が私的には読みやすいです。特に絵本やマンガは若者にとっても効果的です
男性	10代	八重瀬町	大学の講義で学んだが、地域差がありとても難しく感じた
男性	10代	豊見城市	小さい頃から教育することが必要だと思います。また、学校の先生など、子どもの教育に関わる方々が日常的に使うことによって、小さい頃からしまくとうばに親しみを覚えるようになると思います。親が本土人であっても、学校や周りの人たち（友達）が使っていれば使うようになると思うから、親しみを感ぜさせてあげてほしいです。しかし、外国語のような扱いをしてしまうと使う時にためらいや恥ずかしさが生まれると思うので、そのバランスが難しいですがテレビなどでよく放送することも重要だと思います
男性	10代	石垣市	県外から来た人には、とても厳しい言葉に感じてしまうかもしれません。高齢者から命令されているように感じることもあります。若い人が内地に行ってこの言葉使いをすると、失礼に思われることがあり、溶け込めなくなり、島に帰ってくることもあるのではないかと

2. 調査結果の詳細

男性	10 代	那覇市	あいさつをしまくとうばでやってみよう運動をすればいいと思います。簡単ですし、コミュニケーションの第一歩です。普段あまり挨拶をしない関係でも自然と笑顔になれるのではないのでしょうか。楽しそう
----	------	-----	--

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（20代）

-	20代	国頭村	祖母との会話以外で方言はきかなくなりました。簡単な単語程度なら使うことはありますが、会話は非常に難しい。習ったとしても、活用する場が少ない
-	20代	沖縄市	私は沖縄出身で、沖縄が大好きです。小さい頃から、おばあちゃん、おじいちゃんが大好きで、その地域の文化や方言に触れてきました。今の時代、SNSが主となっているので、若い人達に継承していく為に、活用しても良いと思います。SNSは使い方次第ですばらしい事につながると思います。頑張ってください
-	20代	名護市	簡単な方言は知っていますが、祖母や祖父が使うような方言はニュアンスでしか理解できていません。理解できるようになれば楽しいと思うけど、正直なところ、英語よりも難しいと感じる
-	20代	沖縄市	子どもに教えるならば、挨拶と地域特有の面白い方言を教えるに興味を持つと思う
女性	20代	那覇市	私は県外出身で那覇に住み、県外の会社で働いて8年経ちました。しまくとうばは沖縄の伝統でとても誇らしいと思いますが、残念ながらあまり触れる機会がありませんでした。でも沖縄のテレビをつけた時にしまくとうばを聞くと、沖縄にいるという気持ちとほっこりする気持ちになります。もっと聞ける環境を増やしたいと思います
女性	20代	南城市	各地区の方言をぜひ残していきたいです。学校の授業で国語、英語があるように、方言を科目に入れるというのも良いアイデアだと思います。たまに学生が方言でスピーチするのをメディアで見る機会がありますが、単語や文章は方言でも、イントネーションに違和感があります。スピーチは多くの人の前で話すからこそ、イントネーションは大切だと思う
女性	20代	南城市	そもそも県内に住んでいても、今の20代30代の若者たちには知識がない状態です。使ってアウトプットするよりも、インプットが必要だと思います。その点では、この取り組みはとても良いと思う
女性	20代	沖縄市	テレビでも、字幕をつけてうちなぐちで放送したり、積極的に文化についても放送するべきだと思う
女性	20代	浦添市	祖父母と暮らすのが一番良いと思う
女性	20代	那覇市	私は県外出身なのでしまくとうばはあまり耳馴染みがありませんが、沖縄のとても興味深い文化の一つであるため、しまくとうばに関する本を読んだり、簡単な挨拶を覚えたりしています。大切な伝統を守っていくためにも、若い世代を対象としたイベントなどを企画して普及させていくと良いと思います。アンケートに協力させていただき、ありがとうございます
女性	20代	南城市	だんだん使われなくなっている方言ですが、若い子たちにも意味を理解してもらうくらいにはなしてほしいと思います

2. 調査結果の詳細

女性	20 代	那覇市	しまくとうばを継承しなければならない理由を多くの県民は知らないと思います。なぜ継承しなければならないのか、その理由をもっと多くの人に知ってもらう必要があります。それを広めるためには、やはり SNS でどう宣伝するかが重要になると思います。また、エイサーなどの伝統芸能に触れている若者たちはしまくとうばにも馴染みがあり、後継ぎとして育てやすいです。そのような人たちを中心に方言の力を伸ばすことも重要かもしれません
女性	20 代	那覇市	学校での授業で学んでも身につかないことがあります。課外授業や、高齢者の方々との自然な交流があれば良いと思う
女性	20 代	石垣市	県出身のアーティストさんとコラボや共同制作で作ったしまくとうばに関する曲を SNS のツールを使って発信するのはいいと思う
女性	20 代	豊見城市	宮古島生まれです。みやくふつが減っていくのはとても寂しいです。おじいちゃんやおばあちゃんとの方言は切っても切り離せず、方言で場が和やかになるのが大好きです。何年経っても受け継がれてほしい
女性	20 代	那覇市	聞いたことはあっても、使う機会が少ないので、しまくとうばの教育を実施して、若い世代に少しずつ継承していくべきだと感じます
女性	20 代	那覇市	小学校・中学校・高校で、学校で取り組んでほしい
女性	20 代	那覇市	「しまくとうば」「黄金（くがに）くうとば」は非常に大切だと思います。先人たちの言葉にはほぼ間違いはありません。沖縄タイムスの毎月始めに入るチラシにはその月の沖縄の行事のコラムがとてもわかりやすく記載されており、「黄金くうとば」も毎月違うものを掲載しています。琉球、ウチナーンチュの素晴らしさを改めて感じ、ウチナーンチュであることを非常に誇りに思う
女性	20 代	-	ひーじゅーしか知りません
男性	20 代	那覇市	そもそもイベント等を知らないと感じた。若い人向けに SNS を有効活用するのもいいなと思う
男性	20 代	うるま市	しまくとうばという概念は、あまりにも不明確である。官公庁職員には、琉球文化に対する正しい理解、教育をしてほしい。県を含め、しまくとうば、首里城、国立劇場おきなわなど、琉球文化に携わる人材があまりにも無知で、文化に対する敬意と品位に欠けている。他府県における文化行政、古典文学の普及活動を大いに参考にすべき。将来琉球語は、消滅から脱することは不可能であり、それに抗うことは無意味である。琉球文化として美しい言葉を文学や日々の生活の中で、敬意をもって親しむべきである

男性	20代	西原町	ユーザー側が選ぶイベントが多く、結果として興味がある人しか参加しないため費用対効果が薄い。普及を考えているのであればNHKのようにニュース番組内でしまくとうばコーナーを設置するなど、不特定多数が触るきっかけを増やし、かつ県外から来た人など「うちなー」以外も学べる機会を増やすべきである。特に県外から来た人からすれば若手やおじい、おばあが方言でいきなり話されても会話ができないなど排他的な印象を持ってしまいやすい。なので普及のみならず新しく流入してくる人たちのフォローも欠かせない考える
男性	20代	八重瀬町	普段からカレンダーやテレビ、ラジオなどでしまくとうばを目にしたり聞いたりしてとても親近感が湧くようになりました 今後は学校の総合の授業などで低学年のうちから文化に触れていけると、親しみや親近感が湧きやすく大きくなって文化に触れてみたけど難しいから取っ付きにくいという感覚になりづらくなると思います
男性	20代	八重瀬町	普及継承する意義がよくわからない。その理由をもっと発信したら良いと思う
男性	20代	那覇市	集落や地域単位で言葉が違うと思うので、ニュアンスやイントネーションを比較したりできると面白いと思います。もし自分の生まれ育った地元の歴史や文化が気になった時、手軽に調べられるようになったらいいと思います
男性	20代	北谷町	観光のパンフレットや道路標識に英語と一緒に「しまくとうば」を記載するのもいいと思います。「しまくとうば」には荒々しいイメージがあるかもしれませんが、テレビでアナウンサーが使うようになれば、より優しいイメージになると思います
男性	20代	恩納村	テレビやラジオでしまくとうばをもっと使うようにする
男性	20代	竹富町	住んでいれば聞く機会もあるので、あまり難しく考えたことはなかったです。地元民も伝統奉納日以外はほぼ使うのを見たことがないので、資料として残ればいいかなという認識です
男性	20代	那覇市	保育園で高齢者の方々とコミュニケーションを図る行事があると思う。その時にはしまくとうばを使って、子供達に覚えてもらう
男性	20代	渡名喜村	小学校や中学校での取り組みにしまくとうばを取り入れてもいいと思う
男性	20代	南城市	テレビやCM、街中の看板などでしまくとうばを使っているものを見ると嬉しい。こういうのがもっと増えたらいいと思う。若い方々がウチナーヤマトグチではなく本来の正しいうちなーぐちを覚えるために学校の授業で取り入れてほしいと思う。県外の方に、沖縄って標準語だよねと言われたときに寂しくなりました。あんすくとうわったーワカムンがちかていいかなムワ、うむとーいびーん
男性	20代	うるま市	学校でしまくとうばを1つの教科として取り入れるのは良いと思う
男性	20代	那覇市	子供に教えるのが大切だと思う。物心つくころから教えるのがよい。いろんな人があたり前に使っているとよい。20代ではヤンキーの言葉になってしまった。怖いイメージがある

2. 調査結果の詳細

男性	20 代	八重瀬町	地域や学校、職場など、しまくとうばを活用できる環境、時間を作り、日常に普通に利用できるようにしたい
男性	20 代	那覇市	インターネット、ＴＶ、ラジオでの発信は必須かと思います

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（30代）

-	30代	沖縄市	私の世代では学生の頃に少し使っている子もいましたが、大人になると敬語や会社での言葉使いの指導などで、使う機会がとて減るように思います。なので、ラジオやテレビでしまくとうばを使うタレントさんが出ていると、懐かしく嬉しい気持ちになります
-	30代	豊見城市	沖縄・琉球の歴史と一緒に学ぶ機会があればいいと思う。なぜ継承する必要があるのかが伝わると思うので
-	30代	うるま市	高齢者の方と接する仕事をしている方や、目指す人はしまくとうばを聞く機会が多いと思います。むしろ必須ではないかと思っています。流行語のように一言で言いやすいワードがあれば、使う人が増えるかもしれません
女性	30代	沖縄市	うちなーぐちに興味はあるけど、流暢に話せず、祖父母がいないので、父が誰かと会話している時にしか、うちなーぐちを聞かないので、SNSやTVで教えてほしいです
女性	30代	うるま市	個人的にあまり慣れていないため、日常的に使われるとコミュニケーションに支障が出る。英会話と同じく、話し相手がいないければ身につかないと考えている。発音や単語はこれから衰退していくと思う。歌だと残りやすいかもしれない
女性	30代	那覇市	しまくとうばは、大切かもしれないが先生が疲弊している学校に、何もかも任せるのは不適切に思う。時代の変化に合わせてもいいし、興味を持った人に継承していてもいいのではないかな
女性	30代	沖縄市	日常的に使える言葉はポップな印象があって使いやすいと思うけど、周りに使う人がいないとなかなか話す機会がない言葉もある印象です。小さい頃から耳馴染みがあるといいのかなと思います
女性	30代	那覇市	漫画やアニメのキャラが使っていて、カッコいい、いつか自分も学んでみたいという気持ちはありました。同時に地元民なのに何も知らない、馴染めないというコンプレックスも少しあります。現在、県外から沖縄に移住してきている方も多いので、そういった方々のいろんな文化への敬意を持ちながら、押し付けるのではなく共存する形でしまくとうば普及を目指したら長い目で見れば残り続けるじゃないかと、アンケート答えながら思いました。応援しています
女性	30代	沖縄市	子どもの頃から言葉に触れた方が受け継がれやすいと思う。
女性	30代	与那原町	ぜひ、学校で方言の授業をしていただきたいです。病院で勤務をしておりますが、患者さんの方言が理解できない場面が多々あります。方言でコミュニケーションを図っている方をみると、羨ましく思います。また方言を使用する方が、信頼関係の構築になると思います。ぜひ、民間企業(病院や施設含め)講師を呼んでいただきたいなとアンケートを通して感じました。ありがとうございました

2. 調査結果の詳細

女性	30代	宜野湾市	私はほとんどしまくとうばを知らないのですが、沖縄独自の文化としてとても誇らしいと思いますし、機会があればぜひ学んで、残していきたい文化だと思います。でも、そう思いつつも中々学ぶ機会を作れなかったのですが、最近、職場である学童の子供たち（中学生）と『うちなーぐちカルタ』で遊んだことからしまくとうばに触れる機会がありました。元々、『うちなーぐちカルタ』のCMが何度も流れるのを聞き、耳に残ることからとても良い遊具だと思っていたのですが、読み手をしているとアクセントが気になったりして、このしまくとうばの意味は何だろう？と自然に学ぶことができました。子供たちも遊びながら「ちゃーびらさいってどういう意味？」など質問され、読み手として読むことで子供たち自身がうちなーぐちを喋ることに高揚感を持っている様子で、とても素敵だなと思いました。なので、うちなーぐちカルタのような遊具を、一家に一個、学校に各数個普及（もっと手にしやすくする。配布する。）ことで、家族でしまくとうばに触れる機会も増えて継承していけるのではと感じました。一覧表なども良いのですが、子供たちが遊びながら自然と学んでいける遊具を使い、子供の内にしまくとうばに触れる機会があればいいと思います
女性	30代	那覇市	母語としてしまくとうばを使っている方々との交流の場を増やすこと、ただ簡単な挨拶だけではなく深く話を聞くこと、などもできそうです
女性	30代	浦添市	たまにテレビで「しまくとうば」が聞こえてくると、つい見てしまうので、自然に耳に入ってくる事が増えると、こどもや大人みんなが覚え親しみやすいと感じます
女性	30代	南風原町	言葉自体を伝える（教える）だけでなく、しまくとうばの価値、継承することの意義、しまくとうばに関する歴史（方言札など）を同時に伝える必要があると思う。私自身、沖縄で生まれ育って、なんとなく「しまくとうばは大切だよな～、できないけど。」程度に感じていたが、ハワイのウチナーンチュとの出会いを通して、しまくとうばを守り受け継ぐことの価値と重要性を実感し、勉強するようになった。元々は聞いて理解することも話すことも全くできなかったが、ハワイのウチナーンチュに感化されてから数年で少しは聞いて理解できるようになり、話すこともできるようになった。今回のアンケートに同封されていた2/10のイベントのテーマでもあるハワイの言語復興から、しまくとうばの普及継承がどれだけ沖縄の将来（学習力向上、経済効果）に貢献できるか、物事を決める立場のある人達にぜひ理解してほしい
女性	30代	宜野湾市	祖父母の世代はよく話してくれましたが、今の50、60代の世代から方言は汚い話し方と言っている方は多かった（私の周りだけかもしれませんが）。普段耳にすること、目にすることがなくなってきたと感じるので、若い子がよく触っているSNSなどを活用して週や日替わりで、しまくとうばを目に留まるアカウントを作ったりして、広告を出したら良いかなと思います（発音も分からないことが多いので話し方や使い方なども載せると親しみやすいかもしれません）。沖縄独特の伝統を若い子にもっと知ってほしいです

女性	30代	宮古島市	耳から聞くものはだいたいなんと言っているのかは分かるものの、ニュアンスで伝わるだけなのでいざ話すととなると言葉が分からず話せない。話せる人同士は会話のスピードも早いので、親世代が年代的に方言使用の制限や、社会に出る上で本島・本州でのコミュニケーションに苦労したからか、子供世代に積極的に方言を教えるという場面は自分含め周りではあまり見られなかった（祖父母世代も孫世代には共通語で話している）英語と同じで、ヒアリングや読み書きより、お歌や絵本など会話を優先に保育園・幼稚園から取り入れることが近道かなと思います
女性	30代	那覇市	正直しまくとうばの普及にそこまで重要性を感じない。挨拶程度でよいかと感じる。反対に琉歌や古典民謡の三線の唄などの言葉の音の響きは、とても美しく、歌の内容から歴史も感じられ、学ぶことにとても意義があると思う
女性	30代	糸満市	民謡、舞踊、エイサー、アニメ、舞台などで若者もしまくとうばに触れる機会があると興味関心がわきそう。あと、継承して守りたいという気持ちは郷土愛を育てるところから必要かも。言語としていえば、失われた言語なども例に出すと現実味が増すかもしれないなと思います
女性	30代	那覇市	環境によっては触れる機会がまったくないので、まずは機会を増やすところからかと思っています。興味がまったくないわけではないが、環境的に不要でも問題ないために特に学ぼうとも思わなかった
女性	30代	うるま市	方言を本当に使える人から学べる機会、記録、映像
女性	30代	那覇市	論文やコンテストで方言を使っています。沖縄の良さを全国の皆さんに伝えたいです
女性	30代	読谷村	アンケートを通して、「しまくとうば検定」というものがある事が知れたので、チャレンジしてみてもいいかなと思いました
女性	30代	渡嘉敷村	SNS等を活用して動画をUPしたり、人気のアニメを「しまくとうば」で吹き替え動画を増やしたりすると若い世代にも身近に感じられると思う
女性	30代	石垣市	しまくとうばを話しても聞く相手が理解できなければ意味がなく、理解できなかった方の方はしまくとうばを話す人との会話を苦手に思ってしまう。時代と共に人々が話す言葉が変化していく事は仕方がなく話さ、内人に対して話すように強制するものではない。自然に生活の中にとけこんで残っていくものがあれば良いと思います
女性	30代	うるま市	ローカルテレビで「しまくとうばニュース」をする。しまくとうばを使ったニュースを流すことで、社会情勢やお天気予報等、どちらの情報も得られて面白いと思う。観る楽しみ、聴く楽しみがあるかなと思う
女性	30代	宜野湾市	昔の人が使う言葉ではなく、県民話として伝えていく。文化も、食も言葉も歴史を重ねることで変化していく。そこをどう楽しく取り組むかが大事になってくると思います。このアンケートがしっかりと取り組みにつながることを願っています

2. 調査結果の詳細

女性	30代	宮古島市	継承していくためにも、今の子供達を知ることが大事だと思う。学校での学習で取り組んだり家族や、友達との会話で取り入れてみたり、方言を話せる方が、子供たちに対して方話で会話をするのことも必要なのかなと思う。自分の子供が方言を話すと、とても嬉しくなります。ぜひ継承して欲しい
女性	30代	浦添市	以前県は食育についての読本を小中学校に配布しましたが、全くといって良いほど活用されておらず、“配布”だけでは現場との温度差がありもったいないと思っていました。「しまくとうば」を普及するのであれば、様々なツールを活用し、効果的なアプローチで進めて欲しいです。応援しています
女性	30代	南風原町	テレビ番組でしまくとうばを教える（英語や中国語講座みたいに）、テレビ番組でドラマ制作、字幕をつける、子どもとおじいちゃんおばあちゃんの交流（保育園で介護施設の老人にしまくとうばの劇を披露する）、しまくとうば芸人の活用→面白いから子どもたちが入り込みやすい
女性	30代	那覇市	小学校で、「くわっちーさびら」というノートや、方言に関する教科書のようなものを買わされています（1000円くらい）。けっこう高いです。しかし、まったく使用していません。お金の無駄遣いなのでやめてほしいです。子供が多い人ほどお金の負担になるからです。それよりも、方言の話せる人と呼んで、劇や紙芝居、DVDを見せた方が子供は喜ぶし、勉強になります。小中学生からお金を取るのではなく、もっと税金の使い道を考えるべきではないでしょうか。実際、慰霊の日に、ひめゆりの塔の話聞く機会はとても勉強になりますし、ノートを配るより（小学校に教科書を配る、またはお金を徴収する行為）は子供にとっては意味がないと思います。ぜひ考えてください
女性	30代	那覇市	間17にあった「普及用の50音表、カレンダー」などがあれば読みやすく覚えやすくなると思います！お子さんのいる家庭にもぴったりとしまくとうばOnlyのドラマがあったりしたら面白いなと思います
女性	30代	那覇市	おじいちゃん、おばあちゃんと話す時、目上の方と話す時のみに使用、祖父母が亡くなり話すこと、聞くことも減ってしまいました。たまに目上の方と話しますが、感情的で荒々しい（話す相手でも異なる）ので、子供たちや次世代へ教えて継承するなら挨拶程度でも良いのかなと思いました（時代背景など勉強不足ですみません）
女性	30代	恩納村	しまくとうばはほとんど話せないし分かりません。でも、お笑い芸人さん（沖縄出身）のCMに単語を入れたら親しみやすく、覚えやすいと思います
女性	30代	那覇市	学校での授業などでしまくとうばを学べれば普及継承しやすいが、イベント等に参加する程の学習意欲が出るかと言われるばそうではないにしても、イベント等が開催することによりしまくとうばが身近に感じやすくなると思うが、イベント次第だと思う。県民が目立つことはあまりこのまないと思うので、お酒などのイベントにしてみるのはいかがでしょうか

男性	30代	沖縄市	祖母がしまくとうばをよく使用します。とても聞き取りが難しいです。私が学生の時にもしまくとうばを学ぶ機会があったと思いますが、継続的なものではなかったので効果は期待できなかったと思います。子どもたちの学びの機会は継続的にあるべきだと思います。地域とのコミュニケーションとして企画ができないか模索すべきだと思っています
男性	30代	豊見城市	県民側の機運があまり盛り上がっていない気がする。しまくとうば=いわゆるウチナーヤマトグチと思っている人も多そう
男性	30代	本部町	各地域ごとにまとめた固有のしまくとうばを1冊の本等にして、教育機関に配布し、それを教材として使えば、もっと身近に感じる事ができ、継承へつながると思います
男性	30代	浦添市	課外授業で日本語と、しまくとうばを並べた本の読み合わせ等は、関心も高まると思う。高校生は、はずかしがってしまくとうばを話さない。高校生は、恥ずかしがってしまくとうばを話さない。それは、マスコミからの影響もあるが、一歩外へ出ると、県外出身との交流する場面も多く、精神的に萎縮しているのかと考えられる。文化の観劇等では、誇らしくもあるだろうが、その他大勢の人々とのコミュニケーション面では、多少、無理もあるだろう。方言のことをしまくとうばと命名するのも、どうかと思える。沖縄の方言の方が理解しやすく、安心感がある。もしかすると、しまくとうばの意味すら、小学校低学年は知っているのだから
男性	30代	那覇市	しまくとうばは、あったかい気持ちになるから普及は大事だと思う
男性	30代	那覇市	地元を離れると父母、親戚、おじ、おばとも話す機会が減ってきているため、聞くことも少なった。話すことはできないが、昔は周りが話すのが多かったのでだいたい意味は分かっていました。なので、子供たちには祖父母に会う機会、電話を多くして方言を聞く耳を持たせています
男性	30代	南風原町	文化として残すことは大切ですが、普及、継承することは別でその必要は感じません。県内のみの閉鎖的なネットワークではそれも良いかもしれません。言葉は意思を伝えてコミュニケーションを成立させるものだと思います

2. 調査結果の詳細

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（40代）

-	40代	宜野座村	☆学校でしまくとうばを習うのは良いと思います。しまくとうばは講師を招いて月1回実施するなど、子どもたちの体験の場を作っても良いと思います。「しまくとうばの日」として1日だけではなく、「しまくとうば月間」として、各商業施設などでしまくとうばを使うと何かサービスを受けることができるとより身近に感じるかもしれません。「しまくとうばの日」にはTVやラジオなど公共の放送で全てしまくとうばを使用するなど、試してみても面白いかもしれません
-	40代	浦添市	沖縄の子どもはじゃんを使っています。方言を使うといきているといわれるみたいです。それはとても悲しいですね。方言をもっと学校で教えてください
-	40代	うるま市	普及して残していくためには学校での活動が有効だと思うが、学校は学ぶべきことも多く、方言の優先順位は低くなってしまうため、課外活動やクラブなど興味のある子どもたちがたくさん学び触れるチャンスを増やしてほしいです
-	40代	石垣市	県外からの移住者には興味の有無が分かれると思う
-	40代	那覇市	新たな取り組みをするよりも、子どもたちがもっと祖父母やお年寄りと触れ合える機会を増やしてあげることが大切。その方が自然な形で子供にしまことばが継承されてゆく。例）祖父母と参加するイベント→しまことばグッズプレゼント→それをSNSで発信してくれたら抽選で何かプレゼントとか
-	40代	名護市	有名タレントと組み合わせてPOPな感じにすると、方言が取り組みやすくなると思います
-	40代	与那原町	学校で面白く学べる内容であれば、学校活動の時間に取り入れても良いと思う
-	40代	八重瀬町	子供にしまくとうばを使ったり、理解してほしいとは思いますが、自分自身がしまくとうばを知らないため教えることができない。どうしても共通語に頼ってしまうが、学習する機会などがあれば学習し、伝えていきたい。共通語プラスしまくとうばを大事にして生活していきたいと思う
-	40代	豊見城市	仕事によっては、しまくとうばを使うとお客さんとコミュニケーションが取りやすくなる事が多いので、沖縄ならではのツールとして、頑張ってください
-	40代	石垣市	お年寄りと話せる機会が減って、なかなか話す・聞くことがなくなったので、子どもたちがそういう機会が増えてほしい
-	40代	那覇市	元のラジオ・テレビ番組でいろんな所がロケするRBCのiラジオの八木さんと仲村アナの番組は面白い
-	40代	竹富町	島のお年寄りから聞くことはよくあり、単語や会話等は、少しだが理解はできるが、自分で話そうとするとできず、はがゆい気持ちになっている。文章などでは残っていて読めるが、インターネット上については、映像がないので分からない事もある。「あの時間聞いておけばよかった」と後悔しないように、島の言葉を残していきたいと思います。（録音や撮影などで）

-	40 代	名護市	LINEスタンプで沖縄方言と標準語（これがないとナイチャーこどもは使えない）が併記されているものが使いやすいです。私が持っているのは「おきにやわのにゃんこ」というスタンプ。各市町村のゆるキャラスタンプが無料で配布されると、地域のPRになり、観光客にも良いのではないのでしょうか。また、「まいにち沖縄」というスタンプも良いと
-	40 代	恩納村	芸人などの面白いYouTubeを発信すれば効果がありそう
-	40 代	糸満市	テレビやラジオなどで、しまくとうばを使用する人たちは、正しいしまくとうばを使用してほしいです
-	40 代	石垣市	言葉に触れる機会を多くすることが重要だと思います
女性	40 代	伊是名村	私の場合、私の世代で方言を話していた人はヤンキーやヤンちゃな人ばかりだったので、そのイメージが強く、使う方言もきれいな言葉よりはマイナスイメージな（はごー、ふらーふーじー、やなはーめー、どうーちゅいむにーあびーとーしえー…？）ばかり聞いていたのであまり良いイメージはなかった。ご年配のおばあちゃんが意味はよくわからないが、丁寧なしまくとうばを話されているのを聞いていいなと思った。しまくとうばは美しい、カッコいいというポジティブなイメージの普及活動をしてほしい
女性	40 代	竹富町	沖縄の言葉が全国的に広まるといいですね
女性	40 代	那覇市	学校の課外授業で親子で参加できる講座があると良い。夏休みなど
女性	40 代	那覇市	しまくとうばが自然に取り入れられる環境があれば良いと思う、しまくとうばを使った商品（Tシャツ、お菓子、雑貨など）スーパーのコーナー至る所で島くとうばを馴染ませるなど。学校や講演会などで教わったところで、社会で使えないと教わった意味がない
女性	40 代	豊見城市	沖縄県でのイベントや普及促進に取り組む団体への補助金制度など、このアンケートに答えるまで知らなかったの、多くの人や団体が参加、利用できる普及をしてほしいと思います
女性	40 代	南城市	組踊、琉球古典音楽などの歌詞解説、わかりやすい字幕などの指導を地謡、舞踊家に指導してほしい
女性	40 代	うるま市	子どもの頃から方言を聞いて育ったかがとても重要に思います。高齢者と気軽に会話ができる環境があれば良いですね。私もほとんどわからないまま大人になっているので夫に教えてもらいながら自分の子どもと勉強中です
女性	40 代	北谷町	とにかく方言を話すことが重要
女性	40 代	南大東村	学校やイベントなどで方言を発信していけば良いと思う
女性	40 代	北中城村	伝統芸能を通して子どもたちが継承していけるように、体育の授業である「ダンス」の中に取り入れてみるのもいいと思います。職業柄、いろいろな音楽を聞くので、週によって民謡を休憩時間等に流すのも効果的かなと思います
女性	40 代	石垣市	地域によってしまくとうばは異なるので、地元愛を育てるのは難しい面もあるがぜひ残して欲しい

2. 調査結果の詳細

女性	40代	名護市	家庭や周囲に日常的にウチナー口を使う人がいないと継承できないと思う。学校教育で英語のように履修するのではなく芸能（芝居、歌、踊り）を素材に沖縄の言葉が伝わっていけば、子どもたちが楽しみながら覚えることができるのではないかなと思う
女性	40代	西原町	しまくとうばを普及継承していくことは、沖縄の文化や芸能を残し、発展させていくために必要だと思う。ただ、その機会をわざわざ持つことがない人もいます。興味がないため。しかし、若い子たちには授業や課外活動で必ず触れる機会を持たせれば、わざわざと思わずに興味を持ちやすくなると思います
女性	40代	石垣市	幼児期に様々なことに興味や関心を持つ時に、簡単な言葉を日常的に耳にし、使うことで、これらの子たちが大人になった時、その地域のしまくとうばが受け継がれていくと思います。県や市、教育現場、それぞれの場所で普及できるような機会を作っていただきたいです
女性	40代	南城市	しまくとうばが失われていくことに非常に危機感を感じています。上記の普及活動はとても大切だと思います！頑張ってください。応援しています
女性	40代	宜野座村	子どもたちに英語と同じように方言も教えてほしいです。また、方言のアニメもあれば良いなと思います。沖縄の伝統文化が消えないようにしていきたい
女性	40代	宜野湾市	私は聞き取ることは多少できても、話すのは挨拶や短い言葉でしか使えませんが、子どもが「でーじ」「あがー」「うり」といった言葉を使っていると、「私も言っているだろうな」と思います。テレビで問題が出たりすると、わかると嬉しいし、やっぱりホッとします。しまくとうばはなくなってはいけなと感じます
女性	40代	宜野湾市	しまくとうばを話す人を見る機会、聞く機会が増えないと、今後、消えてしまうと思います。自分が話せなくても愛着を持っている人が殆どだと思うので、なくなってほしくありません。テレビやYouTubeなどで、しまくとうばを聞く機会が増えるの良いなと思います。芸人さんでしまくとうばでバラエティーしたり、ドラマの再現とかしてみたり、しまくとうば講座などテレビでもっとやって欲しい。しまくとうば講師を職場や学校に派遣するのも良いと思います。高齢者の方と関わりの強い職場は特に必須だと思います
女性	40代	北中城村	黄金くとうばなどのカレンダーを学校に配布したり言葉の意味を分かりやすく短く発信して、いつでも目に付く場所にあるだけでも勉強になります
女性	40代	名護市	民謡を通して、しまくとうばは残っていくのではないかな。生活の中で今使う機会がないため。音楽を通して楽しく学べるようにしてみてもどうでしょう
女性	40代	宜野湾市	しまくとうばの歌等、リズムに乗って学ぶと子どもたちも興味を持っていくように感じます。例えば音楽の時間に取り入れる等。テレビやラジオ番組で、人気タレントの使い歌を流す
女性	40代	宜野湾市	仕事が高齢者介護なので、「しまくとうば」を勉強したいです。講座などがあれば参加したいです

女性	40 代	那覇市	県外出身だけど、夫の母が時々しまくとうばを使うのを聞くと、その独特なニュアンスに憧れます。他県にはない、ゆったりとした言葉で、自分も使ってみたいですが、日常的には使用する機会があまりなく、日々忙しく、ほとんどの方は、立ち止まって、しまくとうばの事を学んだり、調べたりしようと自主的にできる人は少ないのではないのでしょうか。テレビで「うちな一昔話」などを通して自然に触れることができるのは良いと思います。子どもたちがテレビや学校で自然にしまくとうばを学べるようになるといいなと思います
男性	40 代	八重瀬町	沖縄の YouTuber で【rain@沖縄方言で歌ってみた】さんみたいに歌やアニメのアフレコみたいに表現すると面白く覚えやすいし継承していけるのかなと思います
男性	40 代	那覇市	話題性を持たせることが大切で、年齢層に応じたアピール方法が必要です。10 代から 40 代まではネットでの普及が効果的ですが、それ以上の年齢では異なる手段を考える必要があります。60 代の先輩より、白雪姫のうちな一ぐちバージョンでーじ面白かった。友達からこれみてみて沖縄あるある、上下関係より 横の繋がりが強いのかな、すいません、一般市民の浅はかな意見です
男性	40 代	竹富町	各学校や地域、公民館毎にしまむにをふれあう機会を増やす。それに対して補助金などを出す
男性	40 代	本部町	学校現場で時間を持つことは、子どもたちが興味を持つきっかけとなり、大変良いと思う
男性	40 代	南城市	言い方は悪いかも知れませんが、ある程度、強制で取り入れても良いと思います。深刻な問題ですので
男性	40 代	沖縄市	家族内での会話が 1 番だと思う。授業や講座はその場限りの点数を稼ぐ(良い反応)行為があるため
男性	40 代	那覇市	ラジオでは、しまくとうばのニュースが放送されているので、テレビでも放送すべきなのかなと思います。日常的に聞くようになれば、しまくとうばを話せるようになるのかなと思います
男性	40 代	与那原町	普及させる必要はない。言葉も進化が必要であって、こだわる必要がない
男性	40 代	竹富町	地域毎に異なるしまことばに沿った様々な普及活動が必要 一番の普及、継承は、日常生活の中で使う、話すことが効果的だが、実際のところ、しまことばが話せる両親や祖父母も、子や孫には「どうせ通じない」という事で日常的に話さないのが現状であるが、私も含め、若者が積極的にしまことばの魅力、使用に関心を持ち、少しでも話せるよう努めていきたい
男性	40 代	南風原町	少子化に伴いしまくとうばもいつかは消滅するものだと思います。しまくとうばを公用語にするといった思い切った対策をとる事をしないと普及継承は難しいと思います

2. 調査結果の詳細

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（50代）

-	50代	那覇市	私は県外出身で転勤族です。「しまくとうば」はたまに聞いた りテレビで聞きますが、沖縄の素晴らしい文化だと思います。 カルチャースクールなどで講座もあり、立派な取り組みだと思 います。是非教えることが必要です
-	50代	石垣市	郷土の伝統文化継承
-	50代	糸満市	6年間、糸満市潮平に住んでいましたが、昨年、11月に内地に 戻りました。県外出身者にとって、特に高齢の方の言葉はかな りわかりづらかったですが、沖縄の言葉はとても温かみを感じ ていました。沖縄、大好きです
-	50代	北谷町	保育園や幼稚園に通う頃から、または言葉を発し始める頃か ら、教えていると良いと思います
-	50代	那覇市	誰にでも親しみのある言葉、前向きな言葉、挨拶などは聞きた い。話したいと思うが、乱暴な言葉や到底理解できない言葉は 学ばなくても良い（話せるレベルの人が追求すれば良い。学問 として）。沖縄の方言を話す外国の方（大学の教授）がいた。 どのように学習したのか参考にしてほしい。（離島も含め、全 てマスターしていた）ハイスさん？だったかな。力士のインタ ビューを聞いていると、外国人にもかかわらず、日本語の感情 表現に感心する。スポーツ選手（外国人）の中で最も習得が早 い世界だと思っている。どうやってマスターしているのか解明 しては？相撲界の仕組み。私は20歳から老人ホームで働いて います。覚えようと思わなくても、聞けるようになりました。 スピードラーニングの仕組みと同じかな？と感じています。 （毎日耳から入ってくる）韓国ドラマもよくみているせいか、 聞きなれてきました（同じ原理かと）。漫才師のナイツさんが 簡単な英語で漫才をしていました（和製英語）面白くて何度も 見ました。日常生活の場面を切り取って、漫才にしたら楽しく 見られる（きれいな言葉のみで！）汚いのは聞きたくない せっかく比嘉りゅうたさんが人気あるのだから
-	50代	沖縄市	「しまくとうば」は難しいです。普及する時には、「しまくとう ば」の丁寧語を継承すると高齢者は、関心しますが、日常的 な言葉の使い分けも理解できることが大切だと考えます
-	50代	南城市	施設や商業施設など訪問し伝えていくことが大切です
-	50代	那覇市	日常会話からしまくとうばを使わないと理解や普及継承は難し いと思う。言葉は時代と共に変化するので、各地域ごとに違う 方言は難しい方言を使えそうなお年寄りさえも使う機会は減 っているように思う
-	50代	那覇市	アンケート送付→県外出身には対象外の方が良いかと思いま す。（よく分からないので、回答しても無意味になってしまう かと思われます）参考にならない
-	50代	うるま市	学校などで、特に小学校からの教育が大切ですか
-	50代	那覇市	沖縄の歴史文化を勉強する講座の中にしまくとうばタイムなど を設けると良いと思います。しまくとうばで料理教室など

-	50 代	宮古島市	「しまくとうば」＝本島（南部・中部・北部）宮古（各地域）伊良部島（各部落）多良間島他各島熊で違いがあると思います。宮古島・伊良部島では「すまふつ」（しまくとうば）といいますが。各地域・各部落で異なります。各地域・各部落の人々が、その地域独自の「すまふつ」を日常的に話し（老人・成人・子どもを問わず）続けることが重要だと思います（話せる人は少なくなっていますが）。若い人（40 代以下）、子どもたちが、自分の生まれ育った島・部落の言葉に誇りを持ってくれるようになってほしいですね。言葉は生き物で、少しずつ変化していくものです。私が話す「すまふつ」も、父母の世代・祖父母の世代とは少し変わってきている（単語や表現）のを感じることがあります。発音や単語、表現の仕方を間違えて話すこともあります、やはり自分から話すことが一番いいと思います
-	50 代	八重瀬町	92 歳の母と暮らしていますが、夫は方言で話しています。昔はそれで話が通じていましたが、今、「中 2」の娘に聞かせると、「何言っているの？意味分からない！」とつぶやきます。今の若者に必要なかどうか、世代的にも失われると寂しいですが、子どもたちに教えるにも限界があるのか難しいところです。芝居を見たり、民謡を聴いたり、私たちはあの頃に帰るだけで…残してほしい気持ちです
-	50 代	沖縄市	語られる方も高齢になり、ますます聞いたり話す機会がなくなりつつある。沖縄人だからこそ島愛するのも一部他県より強いと思う。いつの日か環境汚染などで今の沖縄の姿・形も崩れていく可能性もあるが、『しまくとうば』は語る人がいれば絶える事はないと思う。大切にしていきたい
-	50 代	那覇市	私の身近に「しまくとうば」を使う人がいないので、正直よくわかりません。綺麗な言葉だと印象はいいと思いますが、乱暴な方言のような言葉は使ってほしくないです
-	50 代	糸満市	しまくとうばは興味がある方は活用し、逆に興味がない人は使わなくてもいいと思います
-	50 代	西原町	「しまくとうば」ではなく、沖縄の言葉、「ウチナーグチ」として広めてもらうことはできないでしょうか？「しま」とはこの「しま」なのでしょうか？「ウチナーグチ」が沖縄の方言として響きがいい感じがします
-	50 代	那覇市	やはり言語については、幼稚園頃からの教育が必要ではないでしょうか？普段から使う機会があれば、大人社会でも使えるようになるかもしれません（今後に期待しています）。何か、「しまくとうば」を使う機会があれば、トライしてみたいと思うようになりました。沖縄が大好きです。沖縄県全体で取り組むキャンペーン CM をしてみたらいかがでしょうか？企業も賛同（後援、寄付など）してくれると思います（県外（親会社が本土）の企業に勤めています。本土の方は、沖縄のしまくとうばに非常に興味がある方が多いです（文化の違い、歴史、方言）
-	50 代	南風原町	私たちの年代でも、「しまくとうば」を使います。話せる人はだんだん少なくなっていますが、学校や公共の場で聞く・話す機会が増えていけばと思います

2. 調査結果の詳細

-	50 代	八重瀬町	高齢者とのコミュニケーションの場を設けると良いと思います。小さい時から祖父母と暮らしていたので、自然としまくとうばは聞いたり、話したりできるようになりました
女性	50 代	南城市	テレビ、ラジオ等で聞く機会がもっとほしいです
女性	50 代	沖縄市	伝統を残すために日常的に使用したりして、学校でも学び、使用する機会を増やしていくべきです
女性	50 代	南風原町	高齢者と子どもたちとの交流（異年齢交流）を増やす。よくある昔話を方言バージョンにして読み聞かせなどする。今、敬い言葉などが使えず、本来の使い方ではない方言を使うこともあるので、使い分けなども学べるようにしてほしい
女性	50 代	名護市	言葉の継承は文化の継承だと思いますが、日常の言葉としてしまくとうばを継承するのは難しいとも思います。特定の地域の言葉を日常的に使うしまくとうばとして継承するなら、他の地域の言葉は消滅言語になってしまうのではないのでしょうか
女性	50 代	宜野湾市	しまくとうばの本や冊子の配布
女性	50 代	石垣市	しまくとうばは話せませんが、なくなっていくのはもったいないので、普及活動の中でこれからの若い世代の人が継いでいて頂けたらいいと思います
女性	50 代	与那原町	使いやすい環境整備
女性	50 代	名護市	YouTube の活用
女性	50 代	那覇市	普段から何気に耳にする環境が大事だと思います
女性	50 代	名護市	沖縄の伝統であるしまくとうばを残していく取り組みは非常に大切です。しかし、そのために標準語がきちんと使えなくなることは良くありません。理想的なのは、標準語も使えて、しまくとうばも残すことです。沖縄県のマスコミで普通にしまくとうばが使われると良いですね
女性	50 代	渡名喜村	シンガポールはいくつか民族がある中で英語で会話をしています。母語を継承するためなのか、母語の授業があるそうです。その時間は、マレー系はマレー語のクラス、中国系は中国語のクラスへ別れて学習するそうです。つまり、沖縄もしまくとうばの時間を週一ぐらい学習すれば子供たちは使うようになるかも知れませんね。実現可能かはわかりませんが
女性	50 代	南城市	高齢化社会なのに、TVやマスコミは、沖縄の方言を使われる方が少なすぎて、お年寄がゆっくりTVを見られていない。お年寄から直接楽しく学習を自然に頭に入っていけるように、環境作りが必然だと思います。時間がゆったりした空間を設けられたら幸いですね
女性	50 代	宮古島市	親しみやすい方言、「しまくとうば」をたくさん話していった方が良いと思います。共通語が多く、本土の人も増えて、方言を話す機会が減り、寂しくなっています。高齢者も少しずつ自宅から施設に入り、とても寂しく思う
女性	50 代	中城村	民謡とか沖縄の芝居などを広める
女性	50 代	今帰仁村	特に必要性を感じません。高齢者も最近は使わないで話せるようになっている

女性	50 代	与那原町	同封の案内にあった 2/10、琉大での講演は後日まで見る事ができる動画配信がありますか？（仕事のため、聞きに行くことができないので）県民のアイデンティティと思うしまくとうばですが、大人になってからは特に接することが少なくなり（配偶者も県外出身ですし）このような、ハワイやアイヌ民族など、他地域からのディスカッションはとても興味深いです。動画配信されているなら、そのような告知がたくさんされるといいです。YouTube のショート動画で、ディズニーアニメにしまくとうばをあてているものがあってそれはとても面白かったです
女性	50 代	糸満市	（1）身近な各市町村の広報などに、訳付きでもいいので「しまくとうば」を取り入れて、日常の中で目にし、言葉にして欲しい。（2）学校で、イベント時でも良いので、今日は一日「しまくとうばしか使えません」と、訳付きで、先生、生徒たちの間で、しまくとうばが行き交うな—と思います。☆私の母が「しまくとうば」で紙芝居を時々、行っています。学校のクラブ活動の講師もしています
女性	50 代	栗国村	現代的な事の中に取り入れていくことも良いと思います。洋画、例えばシンデレラ、1 度 TV で見ましたが、不思議な感動になりました。私は沖縄伝統的な仕事をしていますが、使うことも、今の言葉に直すこともしています。チャレンジです
女性	50 代	与那原町	50 代であるが、「しまくとうば」をしやべる機会がない（祖父母がいない）というのものもあるのか？！新聞や TV、ラジオなどのメディアでも方言ニュースなどをやっていたりもするが、馴染んでいない自分自身に気づく。方言講座やしやべれる人の育成などが必要なのかなと思う
女性	50 代	読谷村	皆さんテレビは見ますので、一番沖縄のテレビで週 1 回でも「沖縄あげあげめし」TV みたいにしまくとうば講座のテレビがあれば、子供たちから高齢者まで楽しめて、一番参加しやすく、一番効果的で良いと思います。TV だと、録画してでも見たいです。あと以前のような沖縄の方言物語「奥山の牡丹」など、その土地の方言物語も週に 1 回は流してほしいです。お年寄りも喜ぶし、子供から大人まで物語だと見やすく、言葉が入ってきやすく、覚えやすいと思います。私は他のものも良いですが、TV が一番皆さん参加できて良いと思います。私も仕事、子育て、家事で忙しいが、TV だと、録画しておいて時間がある時に見て覚えたいです
女性	50 代	名護市	私はしまくとうばを話すことはほとんどありませんが、昔から祖母や両親の会話を聞いて慣れ親しんでいました。私の息子が小学生の時にしまくとうば大会に出場することがきっかけで興味、関心が 12 年経っても増していくばかりです。きっかけでしまくとうばの大切さや継承していかなくてはと強い思いを持つようになりました

2. 調査結果の詳細

女性	50 代	宜野座村	今後、高齢者の方が（しまくとうばを話せる）いなくなったら、しまくとうばも益々絶滅していく速度が早まると感じます。日常的に必要性を感じず使いこなせないなので、まずは、しまくとうばを知る事からスタートして、それを使える場所があれば、いいのかなと思います。宜野座村にはすばらしい組踊りという文化があるのですが、まったく何を言っているのか分からないので残念です。それが分かると楽しいのになと思います
女性	50 代	恩納村	子どもからお年寄りまで、使って聞くことができるしまくとうばから指導していかないといけない。昔から使われている沖縄の言葉を大切にしたい
女性	50 代	西原町	すでにお年寄りでも「やまとぐち」です。「しまくとうば」は勉強した方が挨拶程度でしか耳にしません。これを挽回するには志をもって言葉を残す人を増やす。小学校の先生や保育園の先生が単語でしまくとうばを話す。二重表記にするとよいと思います
女性	50 代	宜野湾市	しまくとうば使用した童話（白雪姫 YouTube でやっている）知っている内容の物語など分かりやすいから良いと思います
女性	50 代	那覇市	今さら感が…方言を知らない子どもたちに1からしまくとうばを教えていくのはとても大変です。日常で使っていく、それが子どもにとって良いのかと
女性	50 代	南城市	生活環境の違いで使う人、使わない人がいるので興味がないと難しいと思う学校生活で一斉に使う時間があればいいと思う。→方言を使える方を学校に呼んだりして交流を深めてみては？役場の広報誌などで特集をやるとか
女性	50 代	那覇市	しまくとうばを利用したい、理解をしたい。皆んなが心やすらぎ争いのない国にする。方言はとても素晴らしいと思います
女性	50 代	宜野湾市	保育園や幼稚園などでお年寄りとの交流の場を増やすと良いと思います
女性	50 代	石垣市	ほんの少ししかしゃべれないので家族の会話に少しある程度です
女性	50 代	那覇市	祖父母が元気な時は「しまくとうば」が身近にあり、自然に理解していきました。でも祖父母が亡くなり、社会人になってからは「しまくとうば」は遠いものになりました。日常で聞くこと話すことはゼロです。このままでは時代とともに消えていくのは明らかです。継承してほしいと思います。今の子どもの親世代も話せない方が多数なので、学校で学ぶしかないと思います。日本昔話の「しまくとうば」篇とか劇をやったら面白そうです。子どもたちが楽しく「しまくとうば」を覚えていける学習があればいいと思う
女性	50 代	宜野座村	「しまくとうば」を使った若い人たちにも親しみやすい歌などがあったらおもしろいと思います。たぶんあると思うのですが、知らないのです
女性	50 代	那覇市	もっと小学校、中学校で授業として取り入れてほしいです。祖父母から島くとうばを聞かされてきた私たち世代、なくなるのは寂しいです。算数や数学よりも大切だと思います。AI やスマホの時代で人とのコミュニケーションもなくなってくる世の中、ぜひしまくとうばを残してください。
男性	50 代	那覇市	学校での教育が必要

男性	50 代	南城市	言葉（言語）は文化の根源。途絶えさせてはいけないと思います
男性	50 代	宮古島市	若い人たちは、SNS などネットを利用する事が多いと思うので、ネットを通じてしまくとうばを目にする、接する機会を増やすのも有効だと思います
男性	50 代	那覇市	綺麗な方言の使い方を私も勉強したいです
男性	50 代	名護市	学校で教えるのが効果的だと思う
男性	50 代	那覇市	活きた言葉、おじーおばーと話せる機会を設ける。ユーチューバーやインフルエンサーを介した発信。子どもならアニメ、中高生ならお笑い番組など字幕を設けたテレビ番組などのコンテンツ開発
男性	50 代	那覇市	沖縄は離島もありそれぞれ違うので文化継承のため学校教育でも取り組んでほしい
男性	50 代	大宜味村	必要性のある方や興味のある方への情報発信が重要かと感じました
男性	50 代	今帰仁村	言葉が多い、色々な地域言葉図らない
男性	50 代	名護市	方言に触れる機会を増やすことが良いと思う
男性	50 代	沖縄市	行政が進めるものではないと思う
男性	50 代	糸満市	チバリヨー
男性	50 代	沖縄市	古い日本語の発音や表現が残っているウチナーグチの活用・保存は日本文化保存にもつながる
男性	50 代	那覇市	沖縄芸人の島言葉使用とか
男性	50 代	南城市	テレビ、ラジオなどマスコミによる発信
男性	50 代	石垣市	私自身、地域行事に参加して、唄三線、踊りや狂言をしているので、子どもたち家族も小さい頃から一緒に参加して、地域の先輩方から「しまくとうば」を教わっているが、日常的にコミュニケーションで活用するには、一部の人に限っている。子育てをして感じたことは、小さい頃からしまくとうばに親しんでいないと、普及継承は難しいと思う
男性	50 代	那覇市	うちなー芝居や組踊りを TV や YouTube で字幕付でたくさん流してほしい。私自身、YouTube でうちなー芝居を見て、面白さを知って、しまくとうばにより興味を持った
男性	50 代	読谷村	歴史学者や言語学者の解説をテレビやラジオで放映してほしい

2. 調査結果の詳細

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（60代）

-	60代	伊江村	私たちの小学時代は、共通語励行というのがあって、方言が使えなかった時期がありました。だから今の子供たちには自由にしゃべってほしいです。そして大人たちが方言の大切さを子供たちに教えてほしいですね
-	60代	読谷村	色々な所でしまくうばを話せる場所を作っていけば、普及継承につながるのではないのでしょうか。たとえば保育園や学校で祖父母を招いて、楽しい時間を、ばあちゃん、じいちゃんとの触れ合いの中で使ってみてもいいのでは
-	60代	那覇市	尊敬語、丁寧語等の使い方を周知していただくとありがたいです
-	60代	うるま市	沖縄県特にうるま市与勝北区は各字で違います。10字で、ニュアンス、言葉が違う
-	60代	中城村	しまくとうばを普及継承する必要性を感じない。アイヌ民族は1万人前後。アイヌ語を話す人はその中で10%にも満たない希少な民族や言語は消滅危機にあり、後世に残すためにも学者の方々も奮闘してこられればと思うが、しまくとうばを比較にならない。普及される必要があるかは疑問だ。学者の方々が研究し興味のある方が学び日常で使用するのは結構であるが、学校教育の中にそれを取り入れる必要性は感じない。自分たちのルーツを大事にするのはとてもいい事だと思うが各家庭で継承すればいいと思う
-	60代	恩納村	現在、中、小学生の修学旅行の民泊体験の仕事もやっており、その時に簡単なウチナー口（しまくとうば）を生徒に教えています。しかし、教える私自身も完璧なウチナー口を話せない現実が、とてももどかしく思っています。ウチナー口を話せる年配の方々にウチナー口講座を小学校～大人に至るまで開催してほしいです（学校では授業の科目として）。ウチナー口と併せて、沖縄の歴史、文化も教えてほしいです
-	60代	竹富町	しまくとうばをコミュニケーションツールとして残す努力には賛成しない。小コミュニティの無視につながる。学習の対策、伝えられてきた文化として保存することが必要です。ツールではなくレガシーと捉えたい
-	60代	本部町	子供会（地域活動）などで、小学生がしまくとうばを子供たちが中心になって取り組んでもらいたい。デイサービスなどへ出かけて子供たちと触れ合ってほしい
-	60代	沖縄市	とても良い取り組みだと思います。沖縄のためにありがとうございます

-	60代	宜野座村	私は60代です。両親は90代ですが、小さい頃、夫婦と祖母は方言で話しますが、私たち子供には共通語で話していました。また、中城村に住む同年代のいとこたちは、スラスラと方言で話せていて、今思えば、地域によって話す、話さない差はあったと思います。現在では、英会話やその他の外国語を習得するより、沖縄のしまくとうばを覚える方が、もしかしたら難しいのではと思えてなりません（少し遅すぎた感あり）。ですが、これを機会に、子や孫に積極的にしまくとうばで話しかけてみようと思います。沖縄のお笑い芸人さんが方言あるあるなどのテレビ番組もあれば良いですね
-	60代	那覇市	日本国の文化・伝統芸能を継承することが大切なことです。沖縄県の文化・芸能も独特な要素があり、将来の島づくりを価値あるものにするには「しまくとうば」の普及は不可欠です。我々「方言禁止」時代の世代にとっては非常に残念な出来事ですが、将来を担う子どもたちには是非普及・継承してほしいと思います
-	60代	八重瀬町	三味線などを習うことによって民謡を歌い、エイサーに参加することで曲の意味を理解していくことも重要だと思います。方言の歌詞がどのような意味、表現を表しているかを理解すると自然に普及にもつながると思います
-	60代	与那原町	沖縄ドラマの全国放映
-	60代	西原町	沖縄民謡や沖縄芝居の活用が効果的だと思います
-	60代	浦添市	今の時代、家庭でもしまくとうば以外の方言も使わない。友達、同僚とは、方言で話すけど、しまくとうばは、使わないですね。学校、テレビ、ラジオなどで情報発信すると、いいかなと思う。テレビで郷土劇場の番組みたいに、自分よく見てました。曜日を変えて、土曜日、日曜日の夕方5時～6時頃とか
-	60代	浦添市	若い方たちが興味を持ってないのなら、自然になくなっていくのかなと思う。子供の頃は、学校で方言禁止だったのに、今は総合学習をするなんて、時代が変われば何か変わるのだなと、訳がわからない気になる。しかし、本土からの移住者の方が興味を持っているので、なくならないかもしれない
-	60代	那覇市	TVで見る限り、丁寧な方言ではないように感じる。話し言葉として、継承していくなら、尊敬語や、丁寧語もきちんと教えないと、乱暴な言語になってしまうのではないのでしょうか。（自分は話せないのに…すみません）
-	60代	金武町	使える人が少ないです。自身も使えないので文化として残す事はいいです。学校・地域等イベント学習（楽しく）
-	60代	沖縄市	仲田幸子の番組をテレビでしてほしい
-	60代	沖縄市	生活にある程度、密着しないと普及には、厳しいものがある。
-	60代	那覇市	授業の1つとして週一回程度にして子供たちに興味を持たせ、1年に1度「しまくとうば」弁論大会を開き、賞金として与える
-	60代	久米島町	私たちが子供の頃は、父母や兄弟とは方言でした。家庭で方言を使えば自然と話せると思います

2. 調査結果の詳細

-	60代	浦添市	施設に入るお年寄りとの接する機会を増やす事でお年寄りの方も元気をもらい子供たちも沖縄の言葉方言に興味を持ってもらえるかと思う
-	60代	糸満市	使い方を間違えると大変なことになると感じる。やわらかい言葉もあるが時には、ケンカ口調に聞こえるし、とっても嫌な気分になることが多々ある。高齢の方の上品で優しいもの言いは、好意を感じる。県内出身ではないのでとても難しいと感じています。地元の方々は慣れ親しんだしまくとうばなので普及した方がいいと思う気持ちは理解できます
-	60代	中城村	テレビ・ラジオ、マスコミにおけるしまくとうばの使用をしたら耳に馴染んでくるのでは
-	60代	嘉手納町	小学校から、学校で学習できる時間があればいいと思います
-	60代	那覇市	私が3～4歳の頃は、ほとんどの50～60歳の方たちは、方言を上手に使い会話しておりそばでそのお話を聞いていました。特に近所のおばあちゃんに「オキエイ」というウチナー芝居へ、1年に3回～4回くらい連れていってもらい、私は、芝居の主人公たちに憧れを抱いていました。そういう環境で育っていても、おばあちゃんたちが亡くなると、方言を聞く機会がまったくなくなってしまいました。私は、聞くことができて話せることはできません。「でーじまーさん」「にへえでーびる」くらいは話せても、文章（方言で）の長い会話は、まったくできません。いろいろ考えると小さい頃に行った、ウチナー芝居が今の若い方たちには、効果があるのかなと思っています
-	60代	八重瀬町	琉歌を接する
-	60代	那覇市	沖縄の歴史や文化等を学ぶことで郷土への関心が高まりしまくとうばに対する意識も向上するのではないのでしょうか
-	60代	宜野湾市	子供の時から、親や祖母から語り口で覚えた。しまくとうばの教科書はなかった。小、中、学校では、話すと、怒られた
-	60代	宜野湾市	学校では学校の授業（何らかの教科を削って）ではなく総合で楽しく触れ合える程度があればいいと思います
女性	60代	那覇市	観光の一貫として、捉える。地域、環境で自然に継承されるものかと思います
女性	60代	那覇市	しまくとうばは、沖縄の母国だと思いますので、若い方や子どもたちへ積極的に継承出来たらいいなと思います
女性	60代	西原町	敬語を上手く言えるように学習したい
女性	60代	うるま市	65歳で、「しまくとうば」で育った世代ではありません。方言札の話は母に聞きました。両親ともに方言はペラペラと話せましたが、私たち子どもには共通語で話していました。近所に、方言を話す兄弟がいて驚くと同時に、少し憧れ、TVの沖縄芝居の字幕で、少し聞けるようにはなりました。言葉への親しみ、憧れ、歴史を知り、学ぶ機会があれば良いと思います。（お笑いの「じゅん選手」の方言は、若い方でも受け入れやすいかなと思います。私のレベルからすると、彼の方言は、見事だなと思いますながら笑って見えています）
女性	60代	恩納村	うまく沖縄のしまくとうばと共通語を使い分けられるようになればいいと思います。まったくしまくとうばだけだと本土に通用しないし、きれいな共通語と、いいしまくとうばを使えたら文化も残していけるし、時代にもついていけると思います

女性	60 代	国頭村	方言札時代に育った年齢なのでもっと正しいしまくとうばを知りたいので、日常的に耳にすることが多くあると自然と普及するのではないかと思う
女性	60 代	西原町	英語も大事ですが、しまくとばも同じ様に学校で教えてほしいです
女性	60 代	那覇市	親、兄、姉家族で日頃使っていければもっと親しみやすく話すこと、聞くことが出来ると思う
女性	60 代	浦添市	家庭で私の小さいときはあまり方言を使わなかったので、自分自身がよくわからないのですが NHK のニュース 6:30 やラジオで方言を聞くと心温まる、癒されることを強く感じます。なのでそれはとても効果的だと思っています。しかしながら若い人は TV などあり得ないので SNS でも発信してほしいな。方言は素晴らしい言葉なので、官公庁、学校でもぜひ普及されてほしいです。（昔に比べると使ってますよね？すごくいい事だと思います！！ ハイサイとかチューウガナピラとか）乱筆乱文で失礼！（YouTube で沖縄訛りの喜屋武さんとかじゅん選手とか興味深いです、りゅうちえるも方言を使ってくれていましたね…残念ながら発信力ある方だったのに）
女性	60 代	那覇市	私の両親は、父は話さず、母はよく使っていました、早く亡くなったので触れ合える環境がなかった。若い人たちには環境作りが大切だと思います。他方面で共有して広めてほしい
女性	60 代	中城村	悪口や人を傷つける方言がよく聞こえるが（特に小中生）もっと優しく正しい使い方を知ってほしいし、とてもきれいな言葉なので間違えずに使ってほしいと思う
女性	60 代	糸満市	普段の生活で使う機会がないので、もし残すとしたら小さい子供の時から触れ合いの機会を増やす、日常の中で保育園・幼稚園・小学校と何かしら日常で使う。そうしなければ（しまくとうば）は使う事はなくなると思います
女性	60 代	与那原町	64 歳、女性です。35 歳まで那覇で暮らしていました。（生まれも育ちも）同居の祖母（明治生まれ 1941 年生）は、孫の私たちと話す時は、標準語で話し、父母や、親戚の人と話し時は方言で話していました。私は方言は聞くことはある程度聞けるのですが、話すことができません。母（85 歳）が、スラングのような方言を話すのと、目上の人に対して話す方言を使い分けて話しているのに気付き、沖縄の方言って、なんて表現が豊かなんだろうと（自分の思いを的確に表現している）思いました。同年代の人で、祖父母と同居していて、祖父母が方言で話していて方言を思いのまま話せる人がいます。当時は何とも感じなかったのですが、ネイティブなその語り口が羨ましいと思うこの頃です。乱筆乱文すみません。普及継承していくための意見感想でなくてすみません
女性	60 代	北大東村	私自身、しまくとうばを聞く事が出来ても言葉にして使えるのは挨拶程度しか話せないの 60 代になって残念に思います。せめて学校の教育の中であると良いと思います。（親が教える事は今では難しくてできないと思う）

2. 調査結果の詳細

女性	60代	北谷町	現国・古典の授業と結びつけて、(例ワラバー口童)語源、歴史・文化に興味、関心が向くように子どもたちに教えてほしい。単語と短いフレーズは若者の間で多用される場面が多いがそこから長文になっていくプロセスはどう形成されるかな
女性	60代	うるま市	今の子供たちは、右研を知らないと思います。方言に興味を持ってもらうように、各クラスで朝の会の時に単語から始めるのはどうでしょうか。犬は方言で何と言うのか、ネコは、魚は、釣り針はなど2~3個くらいなら少しの時間でできるのではと思います。または、帰りの会に知りたい方言を、おじいちゃん、おばあちゃんに聞いてきてねと話すのはどうでしょうか。地域によって異なる方言にも興味を持ってくれると思います
女性	60代	北大東村	民放等で、5分でも毎日「しまくとうば」を放映するといいいのでは、と思います
女性	60代	糸満市	テレビやラジオ等で、「しまくとうば」を使った民話や物語、伝説等を放送することで、子供も大人も自然と耳に入ってくる。物語と一緒に楽しみながら覚えることでできるので、「しまくとうば」の番組は今後、増やして欲しいと思う
女性	60代	名護市	しまくとうばにしかないニュアンスがあります。しまくとうばは親しみを感じます。沖縄のこゝろばいつまでも残してほしいです
女性	60代	恩納村	私の時代は学校で方言を使ったらダメでした。でも祖父母と一緒にくらしていたので方言を聞く事はできます。なので小さい時から“きれい”な“正しい”“しまくとうば”に触れる機会があると思います
女性	60代	宮古島市	老人と会話の機会をつくる。意識的にしまくとうばをはなす
女性	60代	那覇市	60代の私の場合、首里の方言(しまくとうば)で話すのを聞いてほとんど理解できますが、聞くことはできても話すのは難しいです。話すとしたら共通語(標準語)に、知っている単語(しまくとうば)をところどころ入れて話す感じになります。「しまくとうば」を普及継承していくためには、耳慣れすることが第一歩だと思うので、保育園、幼稚園など小さな頃から歌や手遊び、紙芝居など楽しく触れ合える環境作りが大切だと思います。CDや教材も大切だと思います。(文字や絵だけでなく、英語みたいに発音も。)今では「にがうり」より「ゴーヤー」が全国区で知られているし、単語やあいさつなど短い言葉から広げていく。「にんじんシリシリ」、「キジムナー」etc. エイサーなどのかけ声、パーランクー(大鼓)を叩いて舞うなど、最近は、沖縄だけでなく他県の運動会でやっているのを見たりします。やはり、地元から楽しく盛り上げる。小学校は、総合学習の時間などに、地域のお年寄りや講師を招いて、昔遊び、歌、民話の紙芝居など、楽しく学べるようにする。中・高、大学などは、サークル活動で(例えばサンバサークルみたいに。)自分たちが楽しみながら、エイサーや、島の踊り、音楽・芸能など施設や学校などで交流するなど…地域、学校、施設などから盛り上げていくなど

女性	60代	本部町	しまくとうばは各地域によって違いや高齢化によって次世代につなげるハードルは困難だと思いますが、希望としては子供向けに絵本など常に目や耳に触れる機会をたくさん作れたらと思います
女性	60代	名護市	すばらしい取り組みだと思います
女性	60代	名護市	メディアの方々にもっと勉強してほしい。発音とか、イントネーションとか、地方で異なると思います
女性	60代	那覇市	「しまくとうば」の普及はとても素晴らしいことだと思います。しかし、地域、環境、使う場所、使う人によって柔らかくもなり、乱暴にもなり、時には怖いと感じたりと「しまくとうば」はとても難しい言葉だと思います。生前の母や祖母が話していた流暢な方言は子供心にとっても素敵に聞こえた記憶があり、大人になり習いたいと言った私に、母は「汚い方言や、とってつけた方言ばかりが残ってしまうから習わなくていい」と言われたのを思い出します。たしかにそう思う時もありますが、それでもラジオ番組で聞く「しまくとうば」はとても楽しくずっと聞いていたいと思います。日常の中でゆったり使える「しまくとうば」が普及することを願います
女性	60代	那覇市	丁寧で、柔らかい言葉は、心地よく受け入れられますが、反面、心を鋭く刺すような「たっくるさりんどう」等は、普通以上に感情に打撃を与えるのでは。特に怒ったときや感情の高ぶる時に、そういう言葉を耳にします
女性	60代	南城市	できれば、しまくとうばを知って話せる世代の方々が、家庭内で子や孫に話していくようにしていけば良いと思います
女性	60代	本部町	住んでいる地域によっても違いがあるので全体的な普及は難しいのでは？家族間でも通じない言葉があるのでそれぞれの地域の普及を広めた方がいいのでは？と思う
男性	60代	石垣市	やはり人であり、人材育成が重要。子供たちに早くからしまくとうばに慣れ親しんでもらう環境をどう創出するか。各地域ごとに様々な方言があるので、公民館主体での取り組み強化。学校等で月2回程、しまくとうばを意識的に使用する日を決める。生徒同士が恥ずかしがらずに積極的にコミュニケーションを取れるよう、しまくとうば講師をサポーターとして派遣。しまくとうばの記録保存
男性	60代	浦添市	学校教育に取り入れるのが一番だと思います
男性	60代	竹富町	それぞれの地域で使う言葉が多様であり、地域に密着した講師や講座等が必要になってくると思う。地域の行事への参加や総合学習などの教育の実施で、言葉をよく知っている人たちと触れ合うことが、一番早く身につくのではと思う
男性	60代	嘉手納町	学校教育のカリキュラムに位置づけて、検定試験を受けさせる
男性	60代	糸満市	しまくとうばが良い印象を与えられるようにならないと普及しないと思う
男性	60代	八重瀬町	沖縄の固有の「しまくとうば」の普及継承に取り組んでいることには、敬意を表しますが、各地区の方言との違いが分からないので、なんとも言えません。申し訳ありません
男性	60代	石垣市	伝承会を発足、毎月勉強会や辞典作りを手掛けています
男性	60代	那覇市	「しまくとうば」とは何かという根本的な言語学としての研究を継続すべきではないか

2. 調査結果の詳細

男性	60代	大宜味村	地域によって異なる表現や単語があり、個性的なので、画一的に同じ表現にすることなく、尊重して残してほしいと思います。地域の年配者や堪能な方を公民館レベルで集いを持ち、興味のある地域住民に楽しみながら口頭伝承で裾野を広げるなどはいかがでしょうか
男性	60代	伊江村	沖縄固有の文化であり、残してほしい
男性	60代	うるま市	最近、中年の方でも、段々「しまくとうば」を話さなくなってきたと感じます。いきなり子どもたちに講座とかをすすめるより、まずはそれを継承していく大人たちが積極的に子どもたちに話をするようにしたら、良いと思います。孫が「おじいちゃん、おばあちゃんの話はわからん！」って言われるのをおじいちゃん、おばあちゃんも気を使い、標準語を使っているという話も聞きます。孫に嫌われたくないからですね。また「しまくとうば」しか話せないおじいちゃん、おばあちゃんもいますからね。まずは親子での会話が増えてくれたらいいですね
男性	60代	伊平屋村	県外の方が立ち寄る場所にポスターで方言ー共通語を貼ってみたら、いいと思います。・カレンダーで1～12月まで方言ー共通語を貼ってみては？カレンダーは人がよく見るから覚えやすいし、島の子どもにも自然に覚えられと思います
男性	60代	うるま市	沖縄方言マンガの「わたるがびゅん」を学習で取り入れたら、小学生から、単語の意味と使用方法が理解できると思います。孫で実施しています
男性	60代	金武町	必要ないと思う。テストに弱くなる。受験に勝てない。ノロノロ、じくじくと、時には、乱暴である。したがって学習まで必要ない。共通語に弱くなる気がする
男性	60代	久米島町	私は、沖縄がもう二度と戦争に巻き込まれないようにするためには、沖縄の文化の力をより強くしていくことがとても重要だと考えています。その沖縄文化の土台となるしまくとうばを誇りと尊厳を持ってもっと普及継承していくことの中でウチナーンチュが生き生きと暮らし、この文化と平和を守り抜くという姿勢につなげていってほしいと願っています。私もそのように生きていきます
男性	60代	沖縄市	「しまくとうば」を使った時に相手の顔が疑問符の場合は少し説明や発音を良くする
男性	60代	石垣市	しまくとうばはなくさないようにしてほしい
男性	60代	中城村	親が「しまくとうば」を話せない世代になっているので、家庭での普及は難しい。学校や地域で取り組んでいくことが必要だと思います。例えば、学校内で学んだ「しまくとうば」を発表する機会を与え、弁論大会のような催し物として地域で発表させて、表彰し、子どもたちへの動機付けとする。また、区大会→村大会、町大会、市大会、県大会レベルへと広げていくと盛り上がるのではと考えます
男性	60代	那覇市	年上の方への心遣いに方言で挨拶できたら、沖縄県のイメージアップになると思います。「お疲れはありませんか（くたんでーやねみそうらに）」
男性	60代	南城市	テレビ、ラジオなどマスコミから自然に耳にするようになることが良いと思う

男性	60 代	糸満市	テレビやラジオ、学校や地域行事等で伝えているように今後も継続すると良いと思います
男性	60 代	浦添市	子どもたちが正しいウチナーグチを話せるようになればとても良いと思うので、ラジオ、TV、インターネットなどメディアを活用して番組や講座などがあれば良いと思う
男性	60 代	沖縄市	なるようにしかならない
男性	60 代	伊是名村	学校等においても方言を教えるべきと回答しましたが、肝心の親となる世代が方言を知らない時代であるため、児童生徒に教えても家庭で話せない、話せる場がないため無駄な気がします。その中堅年代から何らかの対策で方言を教えない限り、いずれ消滅するのではと大変危惧しています。折角の県しまくとばの推進課がありますので、連携した各市町村にも方言継承対策担当課等があれば、ある程度地域住民の意識も高まるのではと思います
男性	60 代	うるま市	方言は、発音やイントネーションによって相手に嫌な印象を与える場合もあり、初対面では気をつけなければならない。もっと尊い語、敬語の方言普及をした方がよい。まずは、この様なイベントの告知等をしっかりするべきでは
男性	60 代	那覇市	沖縄芝居をテレビでもっと放送してほしい
男性	60 代	久米島町	日ごろ思うことだけどシマクトゥバとか、ウチナーグチとか言うけど元々は琉球王国の国語であり、どうして堂々と琉球語と言わないのか。アイヌ民族は堂々とアイヌ語と言っている。沖縄という県名も政府の役人が勝手に付けた名前なのでウチナーグチと言わずに、堂々と琉球語と言ってほしい

2. 調査結果の詳細

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（70代）

-	70 歳以上	沖縄市	琉球王国時代独立国としての言語があったので、保在すべきだ。組踊や音楽などの伝統文化失われないようにする為
-	70 歳以上	那覇市	県内に住んで 50 年ですが、沖縄の言葉は難しく、使っても失礼な使い方になると怖いので使いません。聞くことは少しできます
-	70 歳以上	南城市	時々テレビのアナウンサーや一般民のインタビューなどでウチナーグチが聞ける時は嬉しく、顔がすぐにほころびます。日常会話、テレビドラマなどからも日常的に聞けたらいいと思っています。同級生との集まりは、ほとんどが方言（方言札をつけられたことあり）。自身あえて孫たちに方言を使っています。おばあちゃんのは何言っているかわからないと言われても説明はしていますが、私は何言われても平気で過ごしています
-	70 歳以上	那覇市	両親が沖縄県出身で、私は大阪で生まれ、17 歳の時家族皆で沖縄へ移住しました。しまくとうばを話したくても頭では考えていても声として出せない。やっぱりしまくとばを話したいと思いますが、いまだに話せません。気軽に話せる教室などあればと思っています
-	70 歳以上	沖縄市	テレビ、ラジオの CM にどんどん取り入れてほしい
-	70 歳以上	久米島町	市、町、村、字によって方言が違うので難しいと感じます。特に方言札世代には聞くことはできても話すのは難しいので、若者や子どもたちに普及するには良いと思う
-	70 歳以上	那覇市	県民意識を持って良いことだと思います。また「しまくとば」を継承して行ってほしい
-	70 歳以上	渡嘉敷村	学校でも教科に取り入れるべきです。子ども向けのしまくとうばイベントの実施、沖縄のマスメディアがしまくとうばコーナーを設ける。テレビ番組で沖縄芝居、劇を放送する
-	70 歳以上	今帰仁村	若い頃はまわりにお年よりの方が多少いましたが今は皆無です。話す事がなくなりました。話す相手が必要
-	70 歳以上	糸満市	聞くのはできるが、話せないという人が周りに多いです。耳から聞いて話せるところまでできたら良いですね
-	70 歳以上	うるま市	故人の母の首里言葉はやはり良かったです。幼い頃首里劇場も何度か行き、しまくとうばは大切です。今後はテレビ、ラジオでしか見れません。放映をお願いします
-	70 歳以上	那覇市	しまくとうば禁止時代に小中学生でした。学校でも 90%くらいしまくとうばで、よく先生方に叱られていました。普及するにあたりできるだけ丁寧語を中心をお願いします
-	70 歳以上	うるま市	小、中学校での「学習発表会」等で、方言で「おきなわ昔話」を題材にして、話し方などを伝えて行ってほしいと思います。楽しい物語などが良い（明るく）と思います
-	70 歳以上	中城村	島唄、琉球舞踊などで学ぶ
-	70 歳以上	糸満市	自分たちの小学生時代は、週間単位で標準語励行というのがありました。今は逆に月に 1 日でも、しまくとうば励行を作ったらと思います。しまくとうばは沖縄の文化です
-	70 歳以上	竹富町	しまくとうばの日（9 月 18 日）をテレビ、マスコミを通してもっと PR してほしい

-	70 歳以上	南風原町	(方言＝悪)→そうじ当番させられたよ、昔の先生方のご意見を聞きたい。ご存命かな
-	70 歳以上	うるま市	マスコミ、テレビなどでは、きれいな沖縄口を使うこと。そのためには年配の人がアナウンサーやタレントを教育することが必要
-	70 歳以上	恩納村	以前仕事をしていた時ですが修学旅行生の子供たちが「ハイサイ」「ニヘーデビル」などの一片の方言を使うと、こちらもそのことばで返すとお互いに笑顔になりました
-	70 歳以上	那覇市	しまくとうばの記憶は、亡くなった祖父母がしまくとうばを毎日使っていたので自然に覚えた気がします。この毎日使わなければただの言葉です。覚えるのは高度な言葉だけで良いと思います
-	70 歳以上	那覇市	両親は宮古出身で、私は本島生まれ、授業はすべて共通語、親とのコミュニケーションも共通語。宮古方言は少し聞き取れても、話すことはできません。周囲や学校で方言を耳にする時は、たいてい喧嘩の場合でした。印象としては悪い方でした。でも方言は、県民として使えるようになりたいとは思いますが、TV などの方言は字幕を頼りにしています
-	70 歳以上	宜野座村	過去に方言(しまくとうば)は止めて標準語を奨励する展開されていた時代がありました。その後しまくとうばは少しずつ日常から姿を消していきました。特に若者(50 歳以下?)は、しまくとうばを多少聞けても話せる人は少ないと思います。それを近年「しまくとうば」の大切さが再認識され普及継承へと力が注がれていますね。日常生活でしまくとうばを使って生活するのは並大抵ではないと思いますが。大切な「くとうば」をどう継承していくか考えていきたいものですね。まずは、身近からかな
-	70 歳以上	石垣市	地域の方々の方言指導や地域に根差して文化継承などそして各学校での方言での童話大会や学習発表会などで多くに方言を取り入れた方が良いと思います。まずは各家庭にてことわざなど方言で話すことで子供達も聞き慣れて学習することで進展すると思います
-	70 歳以上	那覇市	子どもの頃からしまくとうばに触れる機会があるといいです。家庭では家族間でばらつきがあるので幼稚園～小学校～中学校あたりで学校で(総合学習等)しまくとうば教育の実施が望まれます
-	70 歳以上	本部町	上原直彦・八木政夫・北島スミ子さん等の話の面白い人がラジオ・TV等で話しているのは聞く気になります。“ちゅううがなびら”は面白いのでよく聞いていました

2. 調査結果の詳細

-	70 歳以上	国頭村	しまくとうばを次世代へ、非常に良い試みだと思う。一部に反発はあっても何とか上手く進めて欲しい。知事・市町村長や議員など場面ではそれなりに上手く使って欲しい。一般的にしまくとうばだけでは意味が取りにくいので「主なる所」では時々挿入して欲しい。TV やラジオ番組では、しまくとうば主体の番組ではいいので、それ以外で無理に使う必要はないと思うが、程よく挿入できるような雰囲気を創って「人文・機転」を利かせた話が欲しい時もあるが、無理するとディレクターに怒られて首が飛ぶ…！しまくとうばは話すとも慣れてくるが、黙っていると緊張の連続で結局は共通語に戻ってしまう。手話は、共通語の表現だからなかなか思いがかなわない厳しい側面もあるね。でもよ、しまくとうば普及推進室があるから頑張れるさ～ね！ハマリヨヤー
-	70 歳以上	金武町	「しまくとうば」の継承には、テレビで放映している「うちなぐちで遊ぼ」のような子供向けのテレビ番組を活用することが良いと思います。これは5分程度の放映ですが、毎日のように活用してほしいです。また、ラジオからも「しまくとうば」を活用することが重要です
-	70 歳以上	那覇市	夫婦では良くお話しますが、友達とかにはなかなか話はしにくい。同じ島の人とは話します。私はしまくとうばは普及継承していくべきだと思います
-	70 歳以上	那覇市	言葉はキャッチボールです。相手がいないと忘れてしまいます。同郷どうし「しまくとうば」で会話しているのを耳にすると心が和みます。短いフレーズでも機会を見つけて使うよう心がけたいと思います
-	70 歳以上	糸満市	小学校など、若い時に教えてほしい
-	70 歳以上	国頭村	各地域でしまくとうばは異なっていると思います。学校で教えるとなるとどこの地域のしまくとうばを基準にしますか
-	70 歳以上	那覇市	県内企業の採用試験に取り入れたらいいかなものか。ただし、きれいなしまくとうばが必要
-	70 歳以上	北中城村	昔はしまくとうばが共通語だったはずなのに、方言札によって薄れてきて、寂しくなっています。沖縄県の島くとうばは継承して欲しいです。たまに夕方のラジオから流れてくるしまくとうばのやりとりがとても面白い。私たちでも、表現できない方言がとても勉強になります
女性	70 歳以上	那覇市	奪われた文化（言語）という歴史的背景を踏まえ平和教育と共に育む
女性	70 歳以上	国頭村	伝統文化継承するためにもぜひ必要 高齢者との会話、日常でも必要だと思います
女性	70 歳以上	那覇市	テレビ等で沖縄しばいをしまくとうばで発信（訳字幕付） ・しまくとうばを話せる人の養成普及 ・官公庁、民間企業等で朝のあいさつをしまくとうばで徹底 ・しまくとうば CD、本等の発行
女性	70 歳以上	北谷町	何年前になるのでしょうか。「水曜郷土劇場」という番組がありました。その番組のテープ等があれば再放送してもらいたいです。「見る」「聞く」で方言がより身近になるような気がします

女性	70 歳以上	北谷町	言語は、聞く、話すの繰り返しの環境でしか活きません。故に、公の場、TV、ラジオ、教育の場等、あらゆる機会、「沖縄らしさ」の一つとして、そのような環境を創る工夫も良いのでは
女性	70 歳以上	宜野湾市	沖縄しばいや組踊り、ユーモアをきかせたコント・コマーシャル等、まずはテレビやラジオの力を借りてしまくとうばの魅力に触れさせたい。若い世代には意図的な取り組みが必要です
女性	70 歳以上	南風原町	テレビ、ラジオなどから、しまくとうば講座の放送をしてほしい
女性	70 歳以上	-	日常使いの方言等（あきさみヨー・どうまんぎた・アガー）は、さておき難しい「しまくとうば」等は文献に残すことにして、沖縄全体に無理して広めなくてもいいと思います。時代は流れていきコミュニケーションも様々に変化していくものです。観光県として、これから多言語が必要になってくるでしょう。逆にそういう方面の強化が必要かと思います。それと、行事等も教えてほしいと思います。美男・美女が多く、優しい性格の沖縄県民がこれから世界に誇れる人々として注目されることを切に願っています。乱筆で申し訳ありません
女性	70 歳以上	那覇市	日常の生活の中でしまくとうばを使うようになればいいかなと思います。誇りを持ってしまくとうばを話せたらいいですね。「方言札」を経験しています。
女性	70 歳以上	伊平屋村	できることならお年寄りが子どもたちにしまくとうばを教えていけたら、子どもたちが真似して覚えていくことが良い方法だと思います
女性	70 歳以上	恩納村	私たちの小・中学校当時、週を守るべき事に「共通語を話しましょう」とよく取り上げられていました。友達とはほとんど共通語で、地域のお年寄りから話しかけられるのみで、わずかな単語で受け答えするのみ。聞けても話すことができない。「しまくとうば」が残っている世代が次世代へ受け渡すべきで、講師が必要と思われる
女性	70 歳以上	北中城村	私の年は 73 才です。小学校の 1 年の時、共通語励行というのがありました。まちがって、方言をしゃべると、方言札というのがありまして、首にかけられてしまいます。小学校に入学するまでは普通に方言がまかりとおっていました。私達の年は、B 円～ドル～円と 3 回もお金が変わりました。そのころは、今、振りかえてみると、人生のいちばんの狭間の時だったと思います。今はあまり使わなくなった方言を聞いたりすると懐かしいです。だから、職場では、同年代の仲のいい人と方言を使っています
女性	70 歳以上	石垣市	興味の有る方はしまくとうば使えば良いと思う。私は話せないなので使わない。学校などで強制すべきではないと思う
女性	70 歳以上	石垣市	沖縄県民はまず、日本語をきちんと話せるように（語彙が乏しい）なるべきだと思うので学校教育の場ではなく地域で話せるような場を作ってあげた方が良くと思う

2. 調査結果の詳細

女性	70 歳以上	那覇市	子供の時、清明祭の集りで会ったおばあちゃん（となりの墓の持主の方）が同じ方言なのにとっても惹かれる何とも言えない語り口で私は聞き込んだものです。今となっては子孫にあの話し方が伝っていればなと思います。あんな風に話せたらなと思いますが心の持つ要なのか性格なのか、難しいです。（文化財級の声だったと思う。）コマーシャルの「チャメ！」を見ていた孫に質問されたのですが、「チャメ！」にはニュアンスを変えると、褒めている時とビックリしている時と、ちょっとがっかりの時があるよと言うと「へえー」と聞いていましたよ
女性	70 歳以上	うるま市	日常生活の中で、おじいさん、おばあさんたちが方言、つまり「しまくとうば」で話しかけ、その場で言葉の意味を共通語で教えて話しかけていくことが効果的で「家族の和」も得られていいのではないかと私は思います
女性	70 歳以上	栗国村	地域文化は守り継承していくことは大切です。できれば中学生までの子どもたちが学んで身につけていただきたいと思います
女性	70 歳以上	豊見城市	生活の中や活動の中で、必要性があれば自然に学ぶと思います。広めるために演劇をしまくとうばで行なっている人もいます。必要な人は使用しているのでは
女性	70 歳以上	那覇市	方言と共通語でやってきた世代ですがしまくとうばは沖縄芝居する人、古典音楽や民謡をやっている人、一般の人はあまり必要性は感じません
女性	70 歳以上	那覇市	しまくとうば普及継承はとても素晴らしいことです。しまくとうばは素晴らしい教えがいっぱいあります。「イチャリバチョーデー」「クトゥバジンジケー」などなど多くの人々にわかってもらえたらとても嬉しいです
女性	70 歳以上	八重瀬町	島くとばを使おうと、呼びかけても関心のある大人が私のまわりではほとんど使っていません。私は家でも職場でも全部しまくとばを使っていますが、話しても返ってくる言葉は全部共通語で返ってきます。言葉は使わないとなくなってしまうと思います。しまくとばはあと 10 年もすればなくなってしまうと思います。一度失われると二度と元には戻らないと思います。非常に残念でなりません。年寄りが孫に合わせて共通語で話すのが間違いだったと思います。言葉は毎日使っていると自然にわかってくるようになると思います。まず年配の方から積極的に使った方がいいと思います
女性	70 歳以上	那覇市	「しまくとうば」は「故郷の言葉」とのことですが、この沖縄では地域によって「しまくとうば」は大変異なると思います。北部では「しまくとうば」とは方言であり、その言葉遣いは、大変乱暴で、目上・目下への区別もないと私は思っています。しかし那覇に嫁いでは、お年寄りの目上・目下に言うもの言いはすごくものごしのやわらかく、素敵だと思いました。しかし近くに首里でもまた、違います。このように、育ってきた地域によって育まれた言葉は生活の中から自然に生まれるものだと思います。「しまくとうば」の普及については、英語の教育同様、毎日英語と接している生活から身につくものだと思うので、今後地域性の広い「しまくとうば」をどのように普及継承していくかということについて失礼ながら全く頭に浮かびません

女性	70 歳以上	宜野座村	しまくとうばを失うことは、沖縄独自の文化・特に古典舞踊・組踊、方言による歴史的な劇、郷土劇等が継承されないという危機感があります。若者たちは意味がわからないとほとんど観賞しません。方言で会話する環境がまったくありません（村内の老人の方とだけ方言を使います。）学校で方言の副読本を作り、日常用語に触れる機会を（時間）を作る。発展的にクラブ活動等でかるた作り・民話・島唄に興味を持たせる等…指導者の問題・大きな課題です
男性	70 歳以上	浦添市	島言葉は各地ありますので難しいかもしれませんが宜しくお願いします
男性	70 歳以上	浦添市	県民の日常の生活、活動の中で従来の地沖縄の良かった面の復活をも聞きながら、並行して進めると良いと思う
男性	70 歳以上	那覇市	新聞や、カレンダー、市民の友等、身近にあって、毎日、見るものを使用する
男性	70 歳以上	八重瀬町	民謡、古典音楽等で耳から“しまくとうば”に親しんでいくと良いと思う
男性	70 歳以上	与那原町	沖縄手帳を購入しているが、沖縄手帳等でしまくとうばを紹介したりして、学生に対して島くとうば手帳の配布
男性	70 歳以上	那覇市	ゴーヤーと言う方言がいつの間に日本全県でも通じる様になったのはおもしろい。マスコミの力かな。方言が標準語化している。以前城間那覇市長時代、方言励行として市職員採用試験の面接にも方言による受け答えがなされたと聞いた事があるが現在はどうなっているか、あまり聞こえない気がする。
男性	70 歳以上	宜野湾市	家族で話す機会を増やす。自分がもっとしまくとうばで話すようにする
男性	70 歳以上	浦添市	家庭では親が子供に学校では先生が子供たちに積極的に教える為には、親や教師がしまくとうばを知らないといけないと思います sz
男性	70 歳以上	宜野湾市	故郷のことばがなくならないように、テレビ、ラジオからもっと流してほしいですね
男性	70 歳以上	大宜味村	小さい時から学校現場でしまくとうばの授業を持つことが望ましいと思います
男性	70 歳以上	読谷村	娘（看護師）は職場で年寄りが話をする時、仲間に通訳をお願いされることがあるとのこと。私たち夫婦は日常的に方言をしているので娘は聞いて覚えている。小さい頃から聞いているので方言が上手です
男性	70 歳以上	北中城村	長い間、東京で暮らした者にとって『しまくとうば』を使ってどうしようとは思わない。伝統、文化の継承で考えると大事なことはある。地域それぞれで『しまくとうば』は異なり成り立っているのが普及で考えると難しさもあると思う。それに『しまくとうば』に慣れ親しんでいる環境にある人たちはごく一部で、伝統行事や組踊（役者）、琉球舞踊、島唄などの民謡歌手に関わっている、真ん中にいる人たちのみです。普通の人にとっては特に『しまくとうば』を話せなくても日常生活で困ることはない。あらゆる生活の場面、場面では共通語でのコミュニケーションの方が手っ取り早く、的確だから…ただ学問的にとらえた場合では言葉の形として継承は必要だとは思う

2. 調査結果の詳細

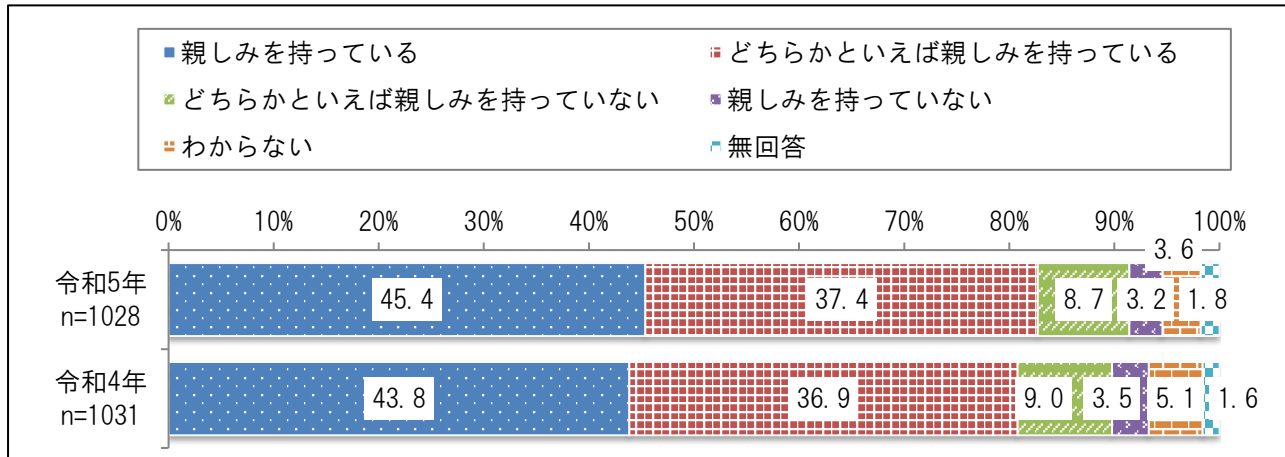
男性	70 歳以上	那覇市	高等学校で学ぶ科目に「古典」があるように「しまくとうば（方言）」もあってしかるべきでは。問17の取組を継続して普及が必要…今回のアンケートで初めて知りました。地域によって「イントネーション」にも違いがあるのか？取組に反映させてほしい
男性	70 歳以上	金武町	各地域で子供のしまくとうば大会をしてほしいです

3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

(1) 問1.「しまくとうば」に親しみを持っていますか。

「しまくとうば」に対する親しみは、「親しみを持っている」の割合が令和5年度 45.4%で、令和4年度の43.8%より1.6ポイント高い。

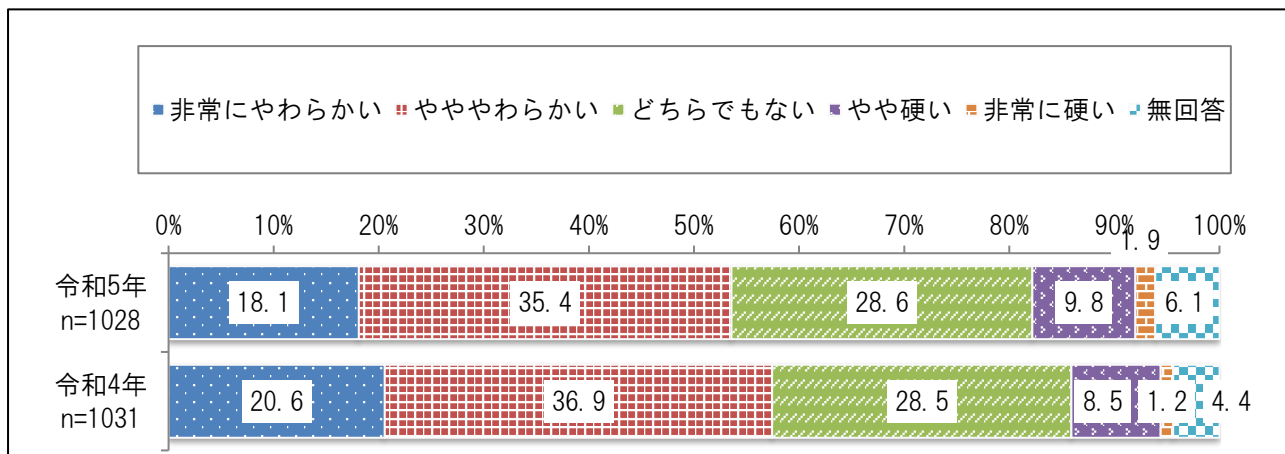
図表60. 「しまくとうば」に対する親しみ



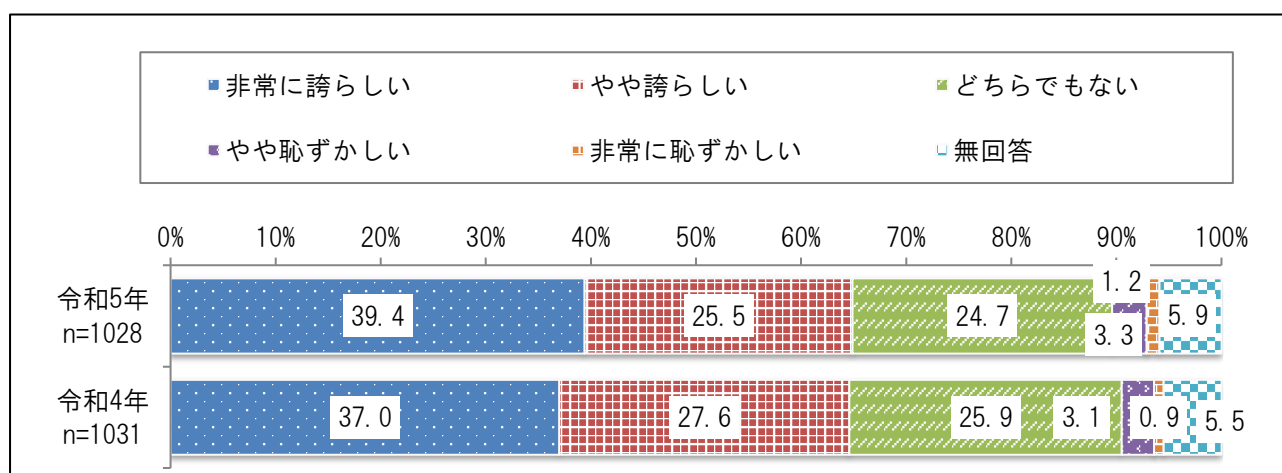
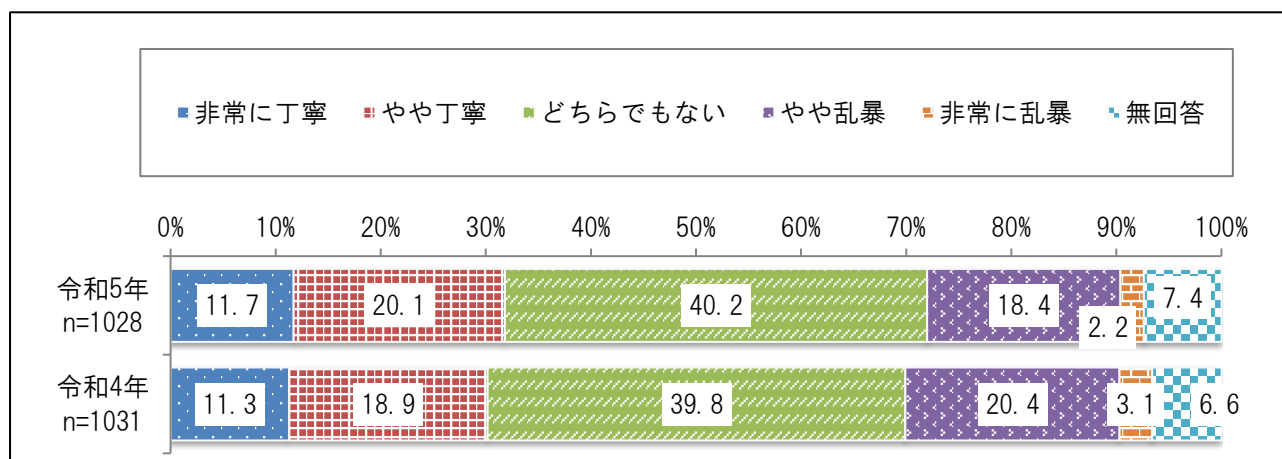
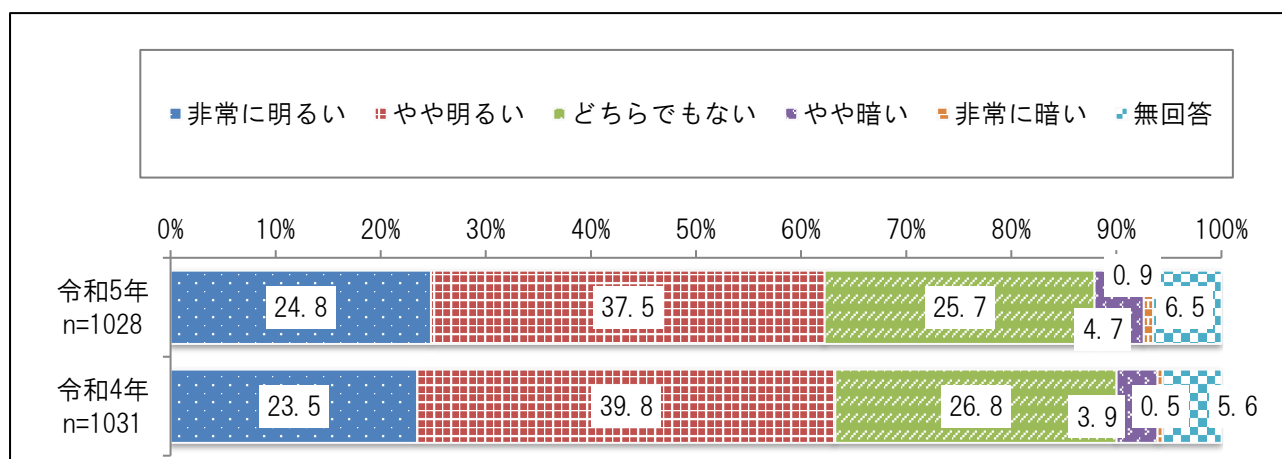
(2) 問2_1.「しまくとうば」にどのようなイメージを持っていますか。

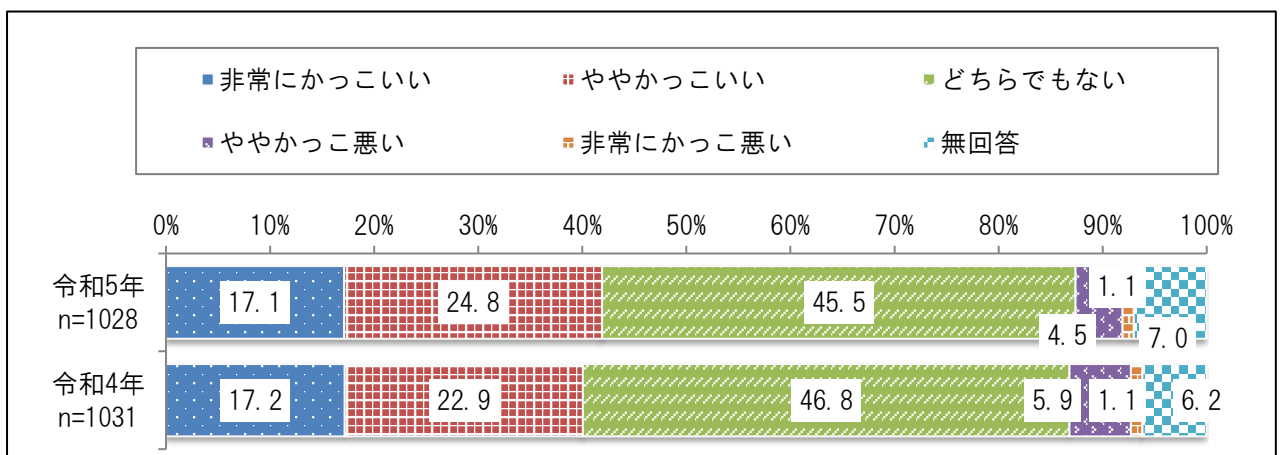
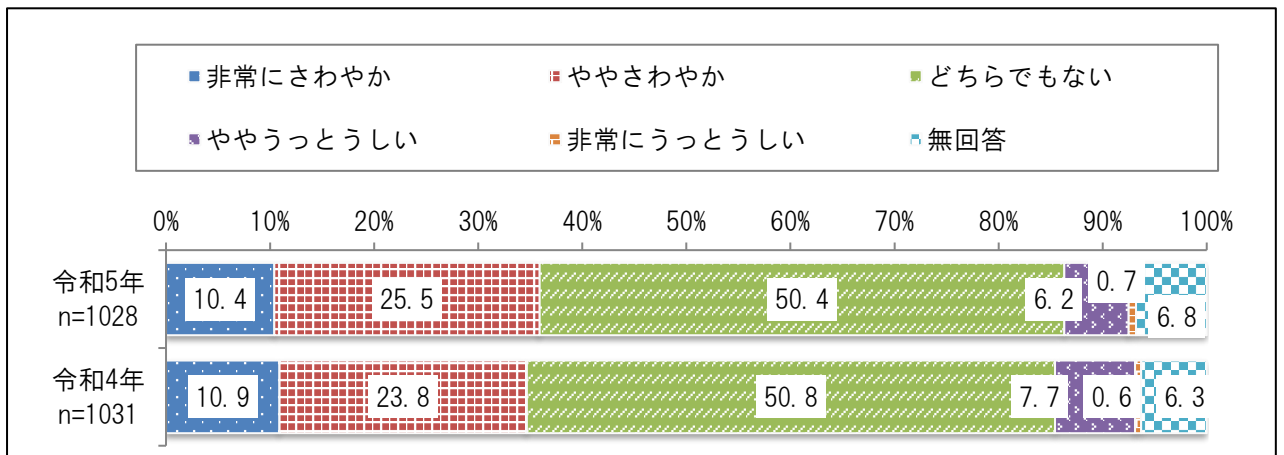
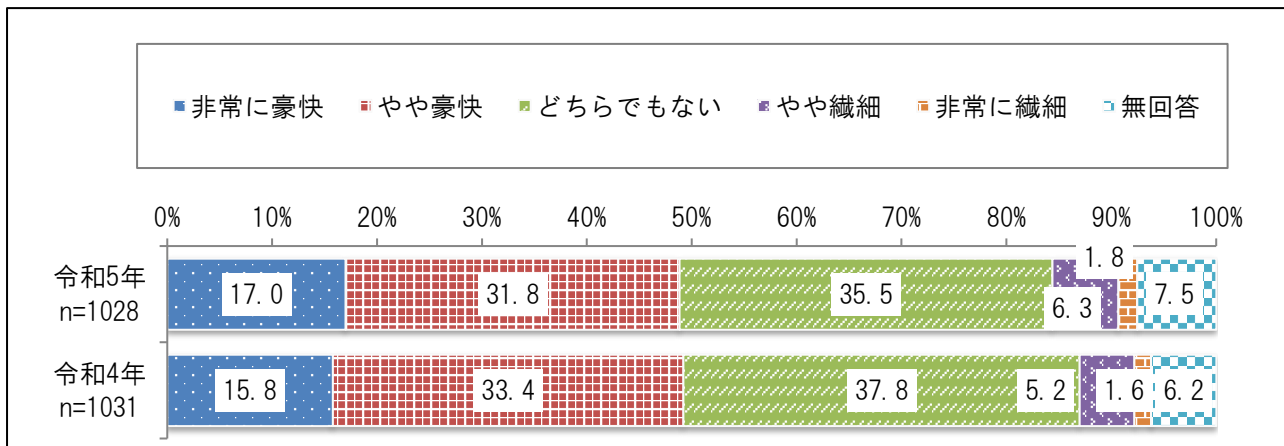
「しまくとうば」に対するイメージは、「非常にやわらかい」の割合が令和5年度 18.1%で、令和4年度の20.6%より2.5ポイント低い。

図表61. 「しまくとうば」に対するイメージ

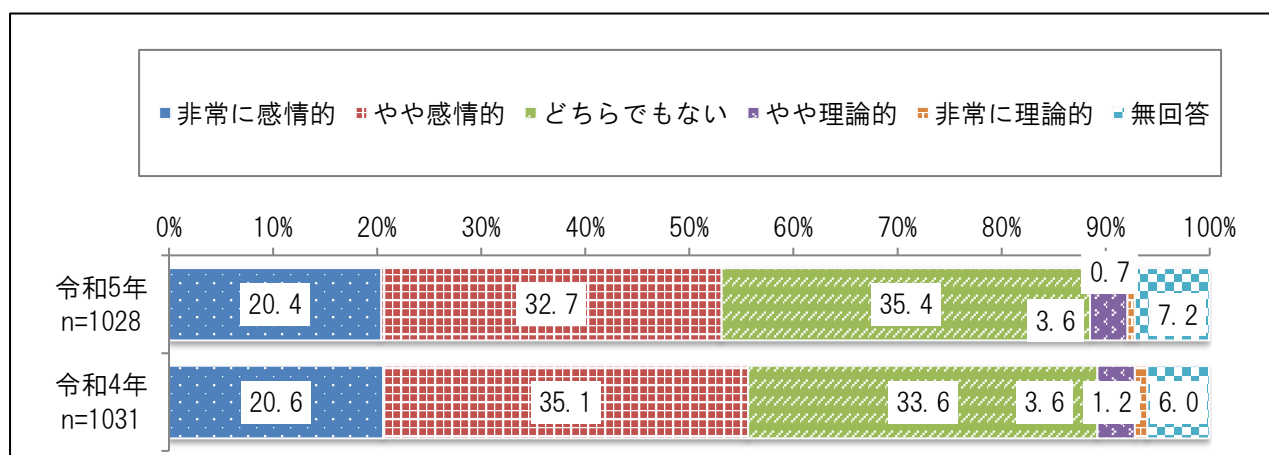
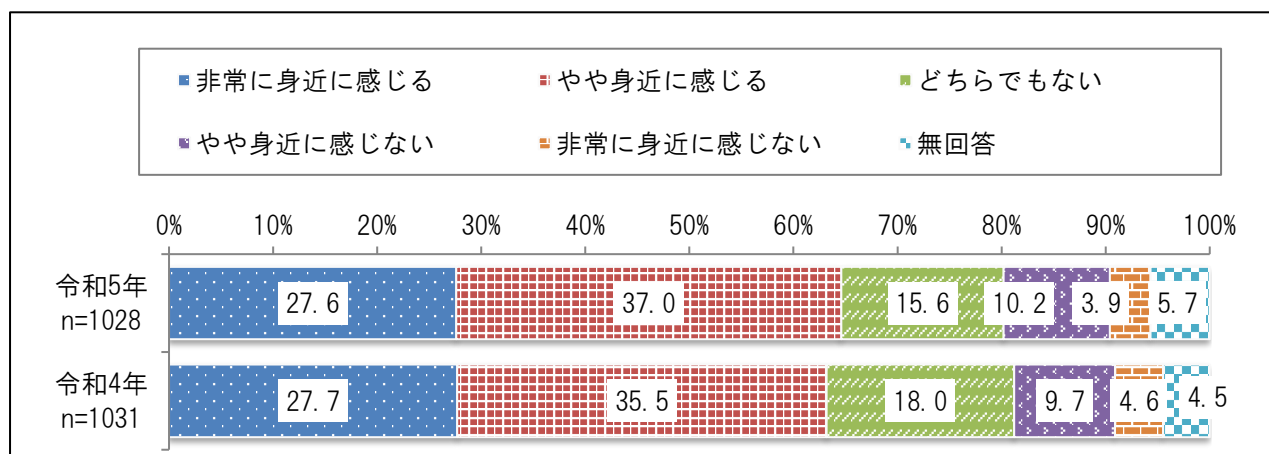
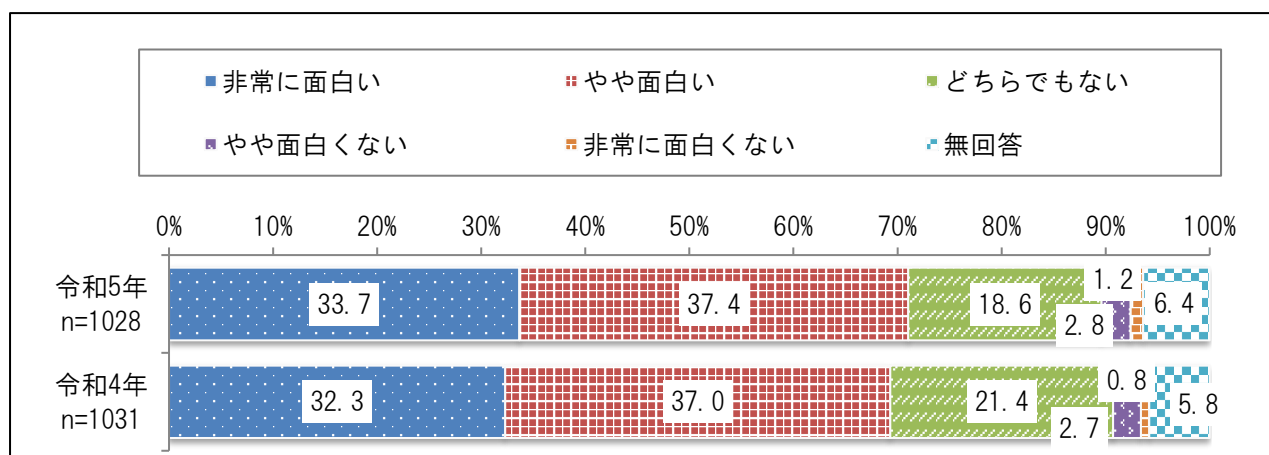


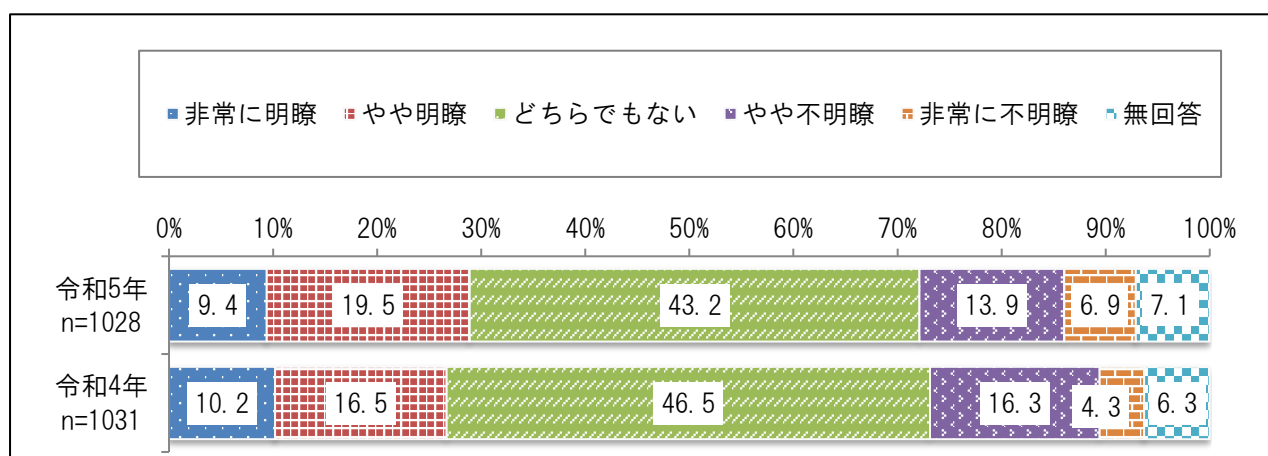
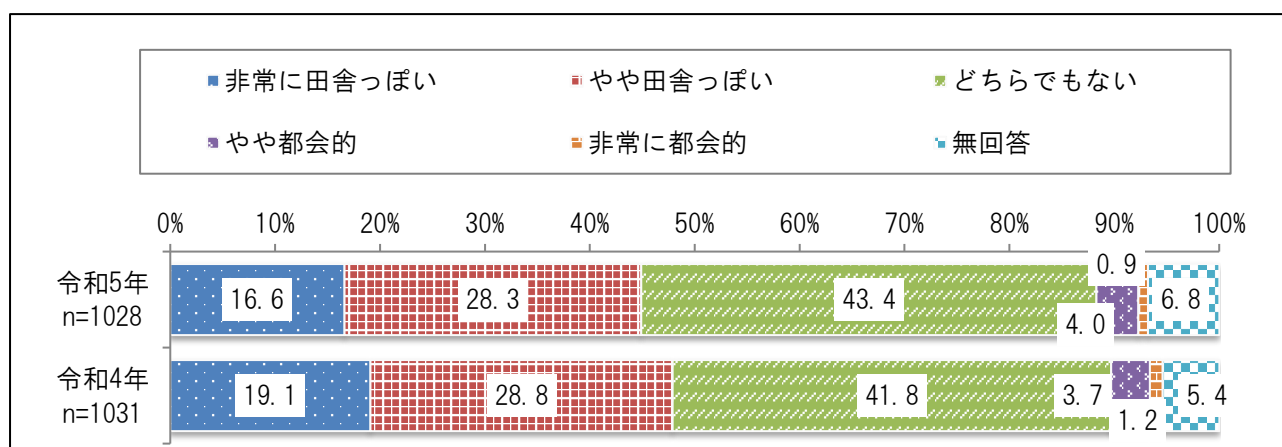
3. 令和4年・令和5年調査結果の比較





3. 令和4年・令和5年調査結果の比較



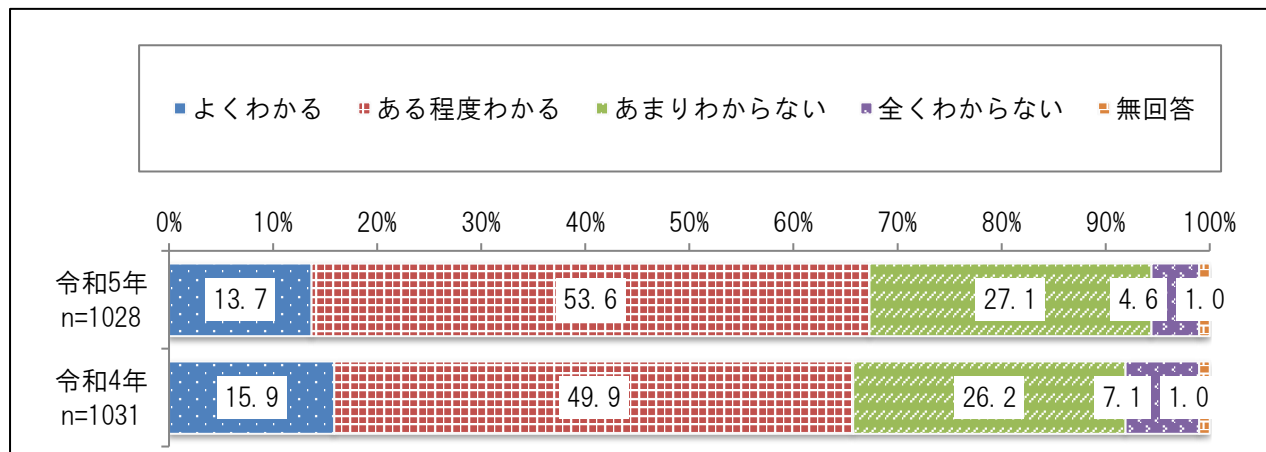


3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

(3) 問3. 「しまくとうば」を聞いて、どの程度わかりますか。

「しまくとうば」に対する理解度は、「よくわかる」の割合が令和5年度 13.7%で、令和4年度の15.9%より2.2ポイント低い。

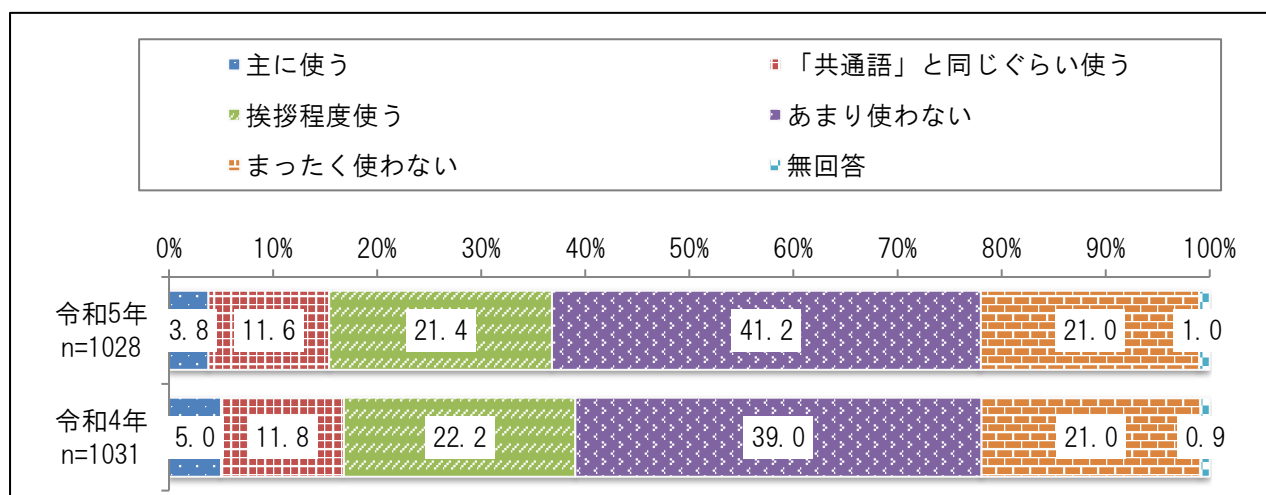
図表62. 「しまくとうば」に対する理解度



(4) 問4. 人と話すとき「しまくとうば」を使いますか。

人と話すとき「しまくとうば」を使うかは、「主に使う」の割合が令和5年度 3.8%で、令和4年度の5.0%より1.2ポイント低い。

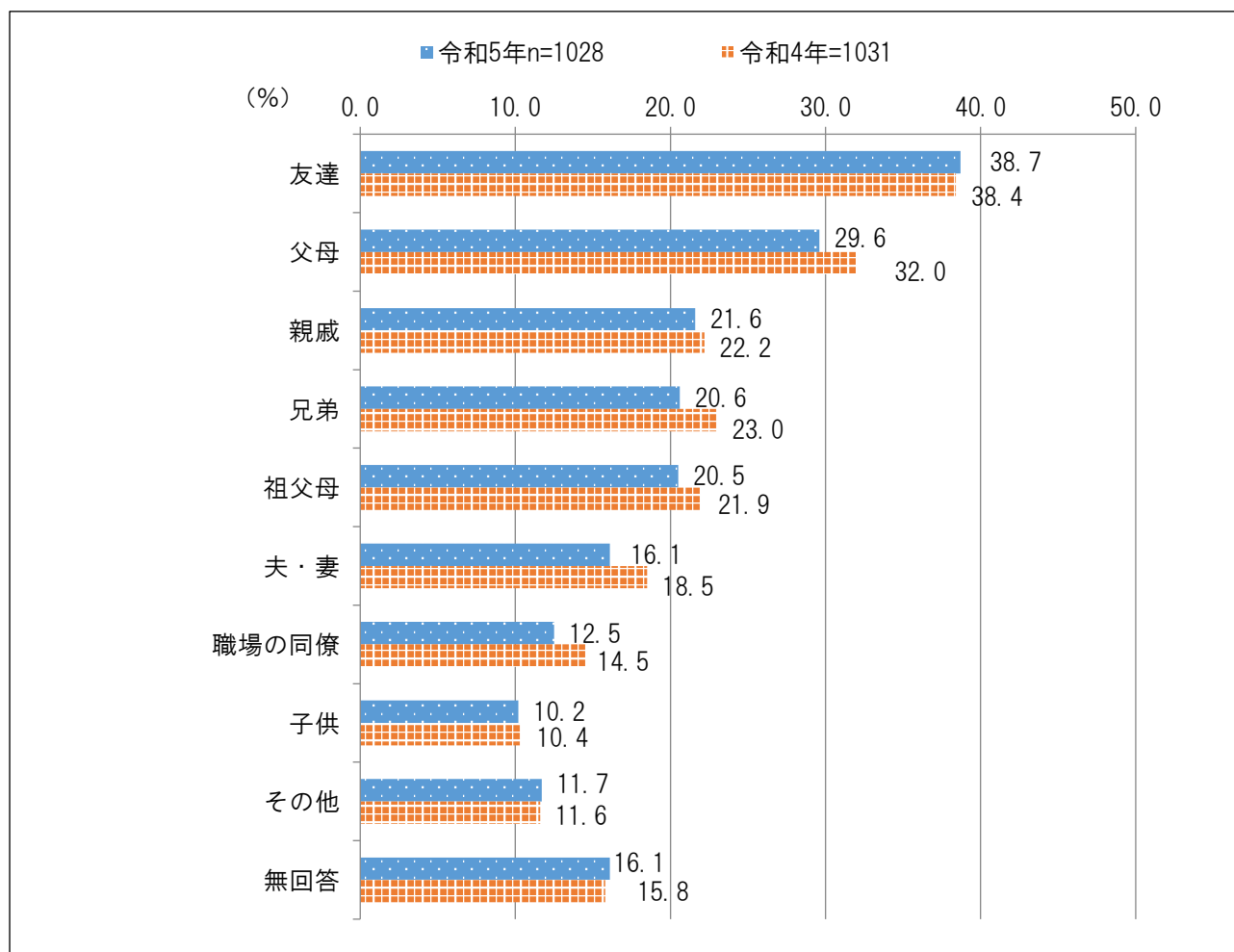
図表63. 人と話すとき「しまくとうば」を使うか



(5) 問5.「しまくとうば」を使う相手は誰ですか。

「しまくとうば」を使う相手は、「友達」の割合が令和5年度38.7%で、令和4年度の38.4%より0.3ポイント高い。

図表64. 「しまくとうば」を使う相手

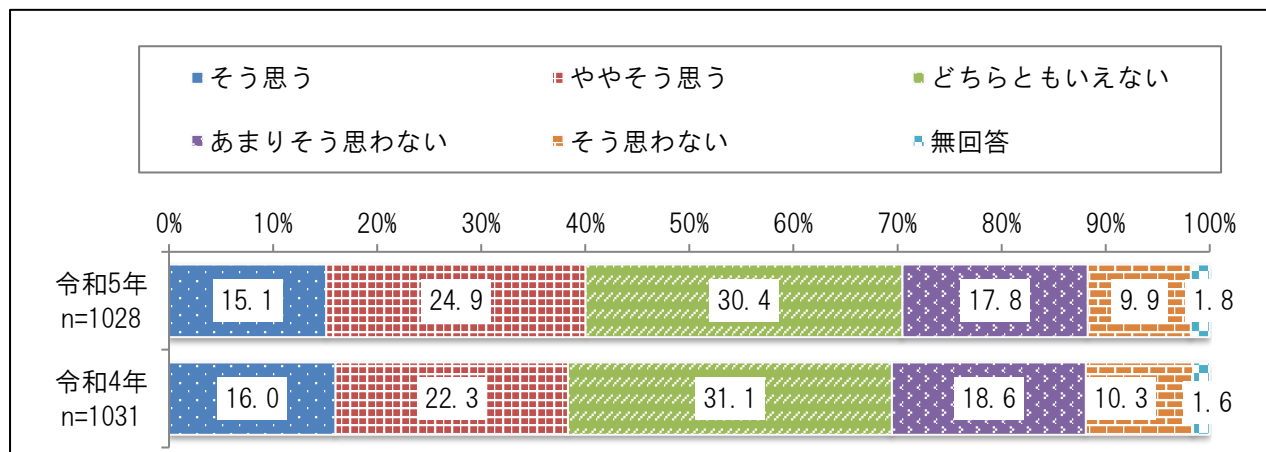


3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

(6) 問 6. ビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思いますか。

ビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思うかは、「そう思う」の割合が令和5年度 15.1%で、令和4年度の 16.0%より 0.9 ポイント低い。

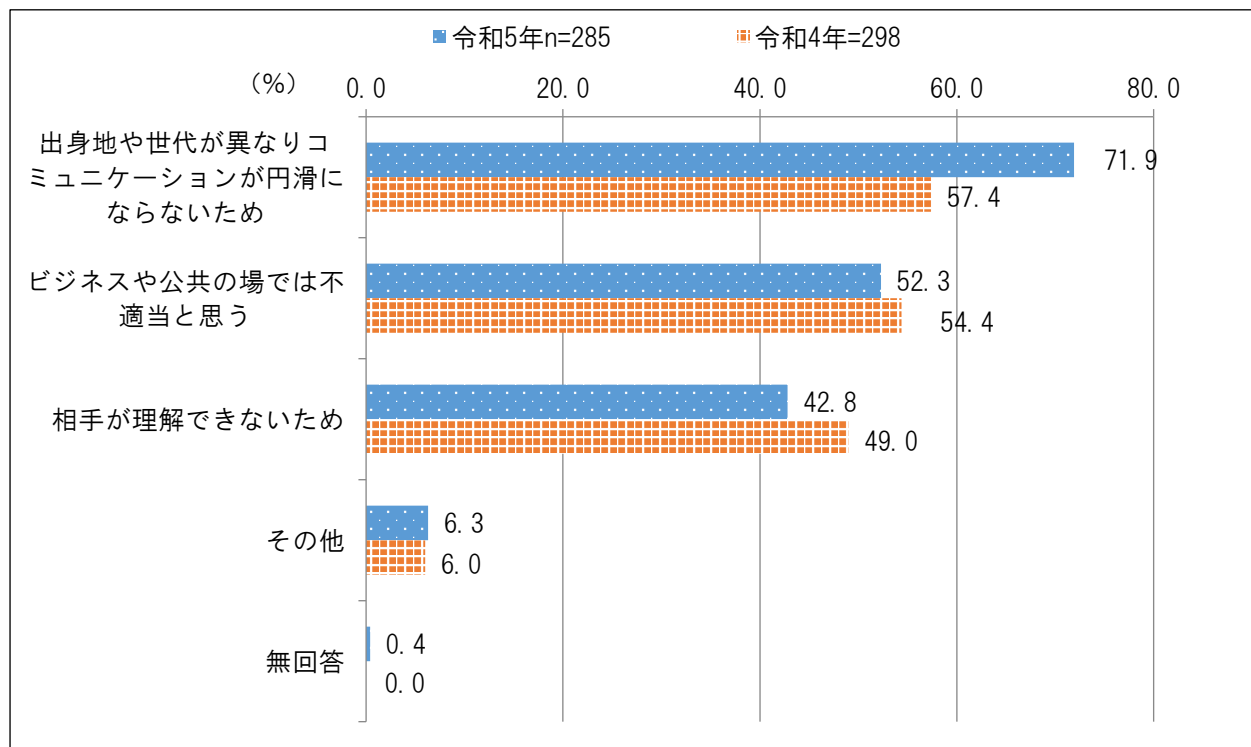
図表65. ビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思うか



(7) 問 6_1. 問 6-1.ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。

ビジネスや公共の場で使うべきでない理由は、「出身地や世代が異なりコミュニケーションが円滑にならないため」の割合が令和5年度 71.9%で、令和4年度の 57.4%より 14.5 ポイント高い。

図表66. 使うべきでない理由

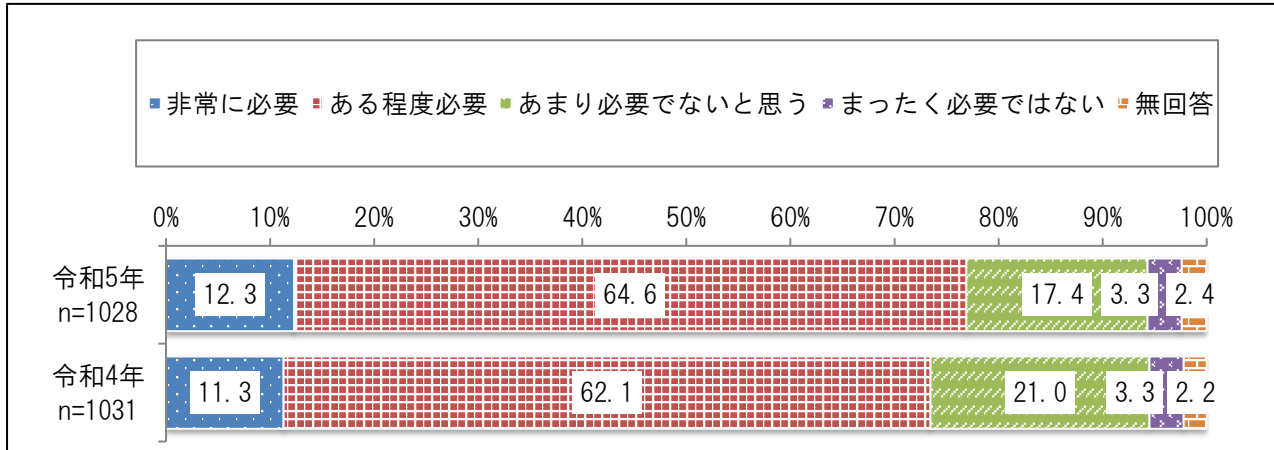


(8) 問 7. 普段の生活の中で「しまくとうば」は必要だと思いますか。

(〇はひとつ)

「しまくとうば」の必要性は、「非常に必要」の割合が令和5年度 12.3%で、令和4年度の 11.3%より 1.0 ポイント高い。

図表67. 「しまくとうば」の必要性

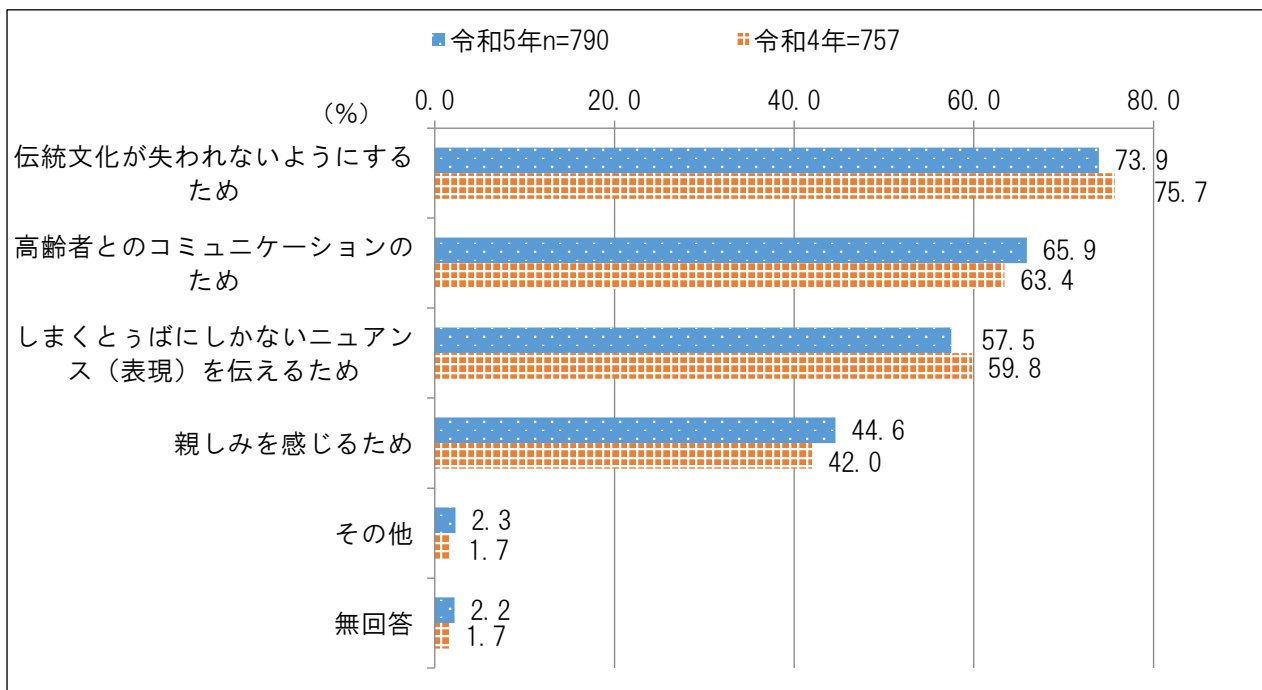


(9) 問 7-1.生活での必要性について、その理由

(〇はいくつでも)

生活での必要性について、その理由は「伝統文化が失われないようにするため」の割合が令和5年度 73.9%で、令和4年度の 75.7%より 1.8 ポイント低い。

図表68. 必要性の理由



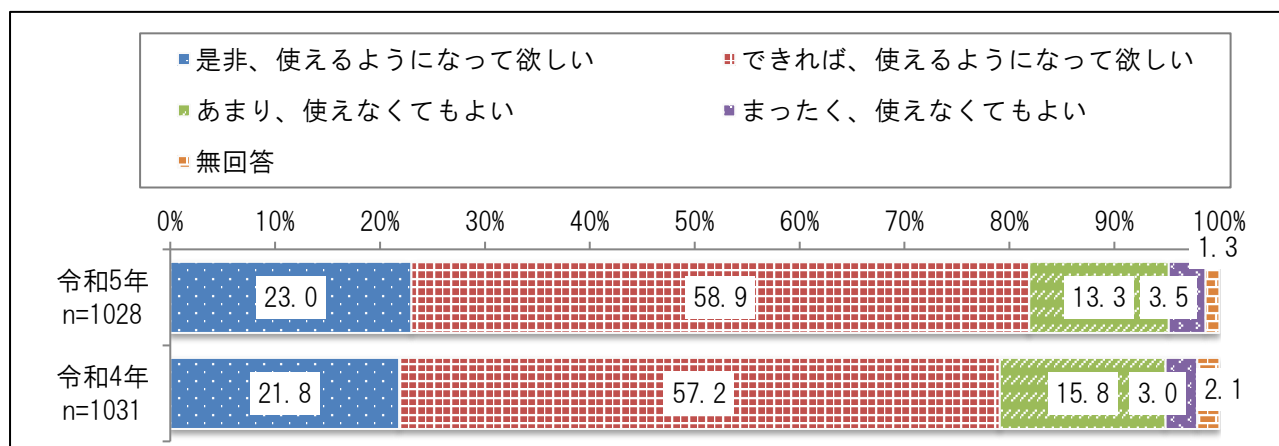
3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

(10) 問 8. 子どもたちに「しまくとうば」を使えるようになって欲しいですか。

(○はひとつ)

子どもたちの「しまくとうば」の使用は、「是非、使えるようになって欲しい」の割合が令和5年度23.0%で、令和4年度の21.8%より1.2ポイント高い。

図表69. 子どもたちの「しまくとうば」の使用

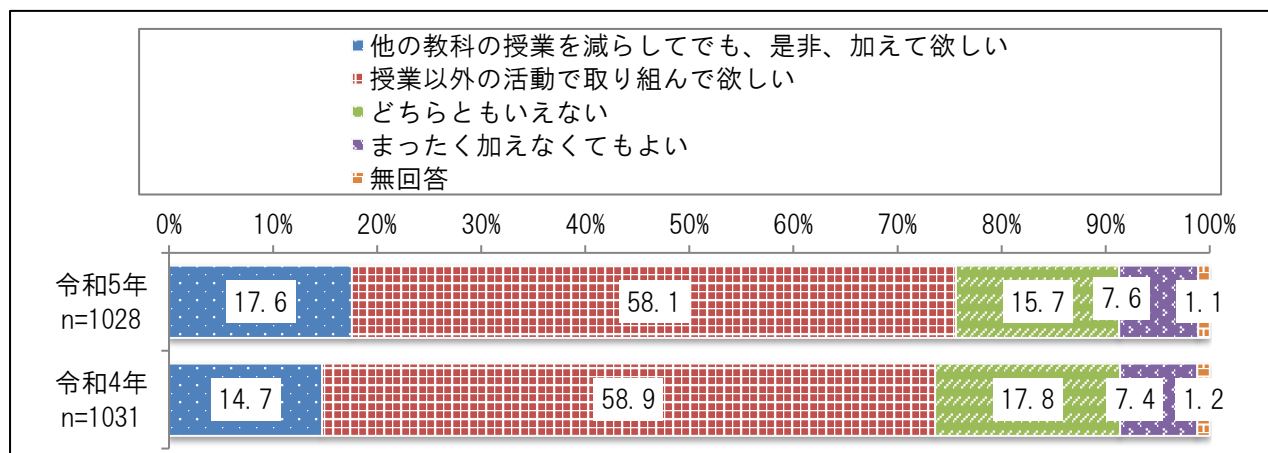


(11) 問 9. 学校の授業科目に「しまくとうば」を加えることをどう思いますか。

(○はひとつ)

「しまくとうば」を学校の授業科目に加えることは、「他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい」の割合が令和5年度17.6%で、令和4年度の14.7%より2.9ポイント高い。

図表70. 学校の授業科目に加えること

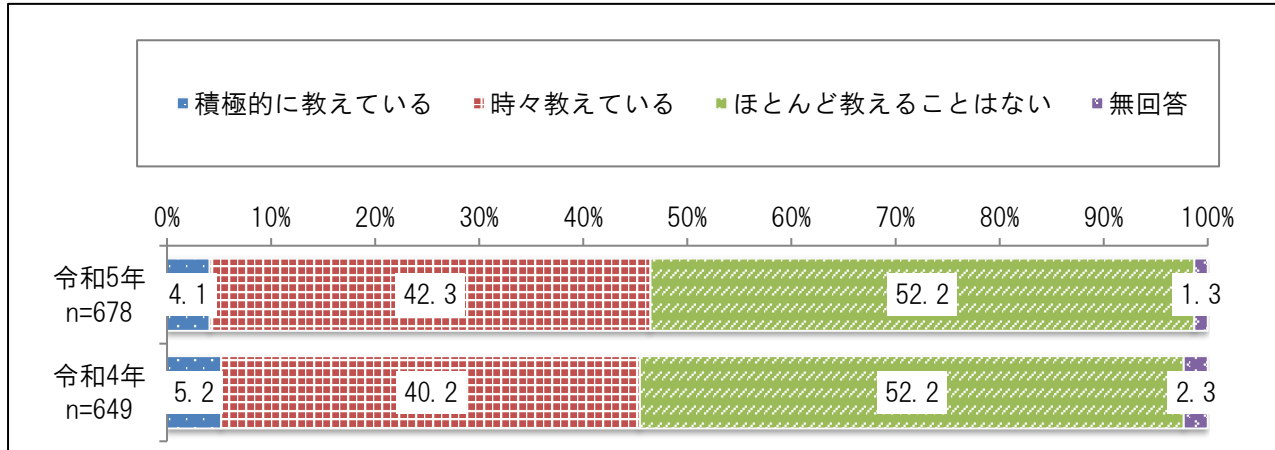


(12) 問 10. 家庭内で子どもに対して「しまくとうば」を教えるようにしていますか。

(○はひとつ) (※お子様がいらっしゃる方のみお答え下さい。)

家庭内で「しまくとうば」を教えるようにしているかは、「時々教えている」の割合が令和5年度42.3%で、令和4年度の40.2%より2.1ポイント高い。

図表71. 家庭内で「しまくとうば」を教えるようにしているか

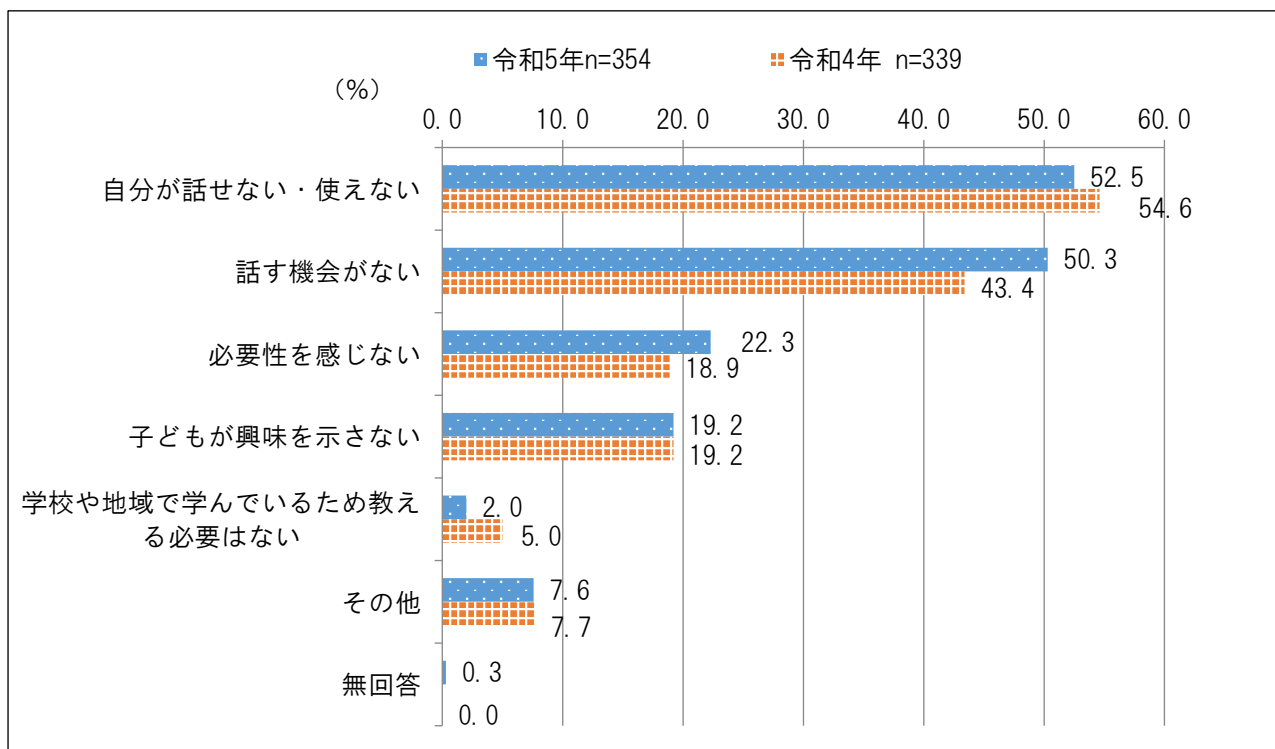


(13) 問 10-1. 家庭内でほとんど教えることはない理由

(○はいくつでも)

家庭内でほとんど教えることはない理由は、「自分が話せない・使えない」の割合が令和5年度52.5%で、令和4年度の54.6%より2.1ポイント低い。

図表72. 教えることはない理由



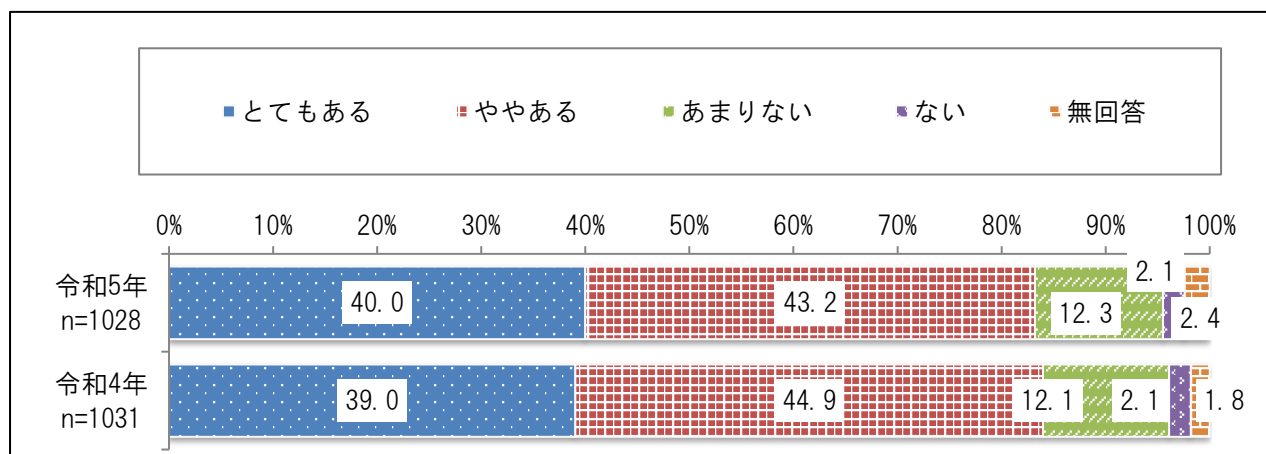
3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

(14) 問 11. ご自身が住んでいる地域(市町村)にどの程度愛着や誇りがありますか。

(〇はひとつ)

地域に対する愛着や誇りは、「とてもある」の割合が令和5年度 40.0%で、令和4年度の 39.0%より 1.0 ポイント高い。

図表73. 地域に対する愛着や誇り

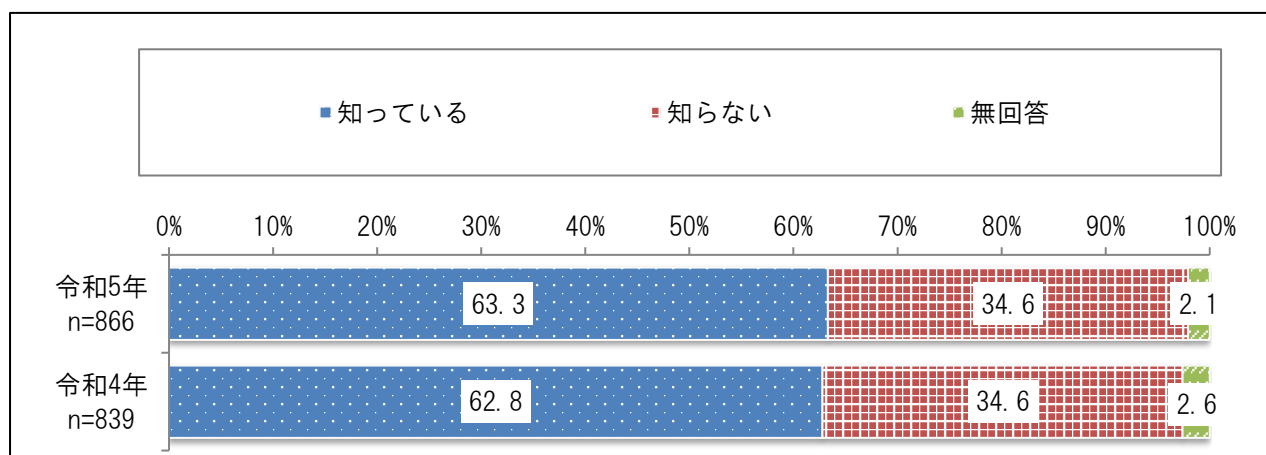


(15) 問 12. ご自身の出身地の「しまくとうば」を知っていますか。

(〇はひとつ)

出身地の「しまくとうば」を知っているかは、「知っている」の割合が令和5年度 63.3%で、令和4年度の 62.8%より 0.5 ポイント高い。

図表74. 出身地の「しまくとうば」

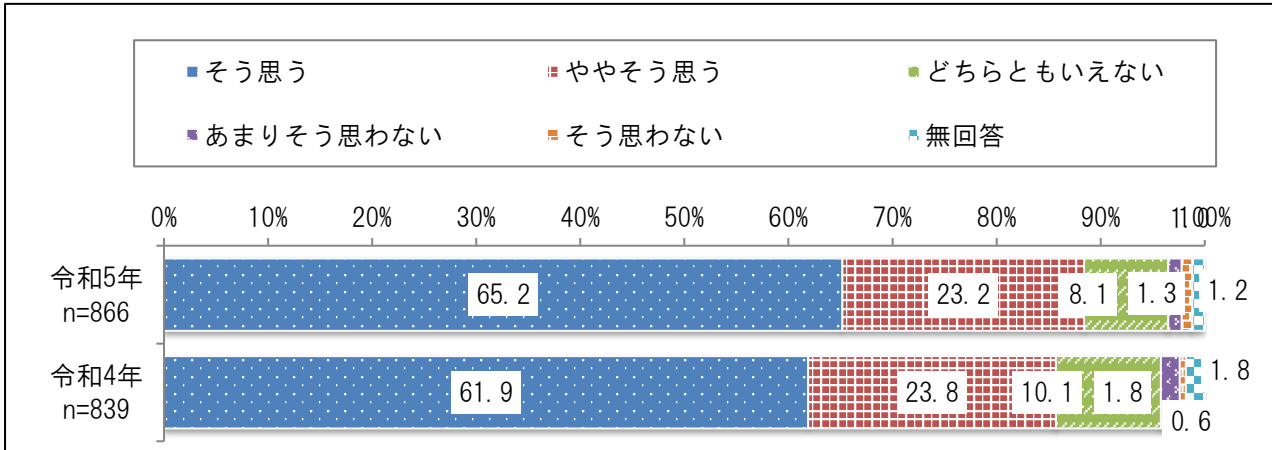


(16) 問 13. ご自身の出身地の「しまくとうば」が将来に渡って残ってほしいですか。

(○はひとつ)

「しまくとうば」の継承は、「そう思う」の割合が令和5年度65.2%で、令和4年度の61.9%より3.3ポイント高い。

図表75. 「しまくとうば」の継承

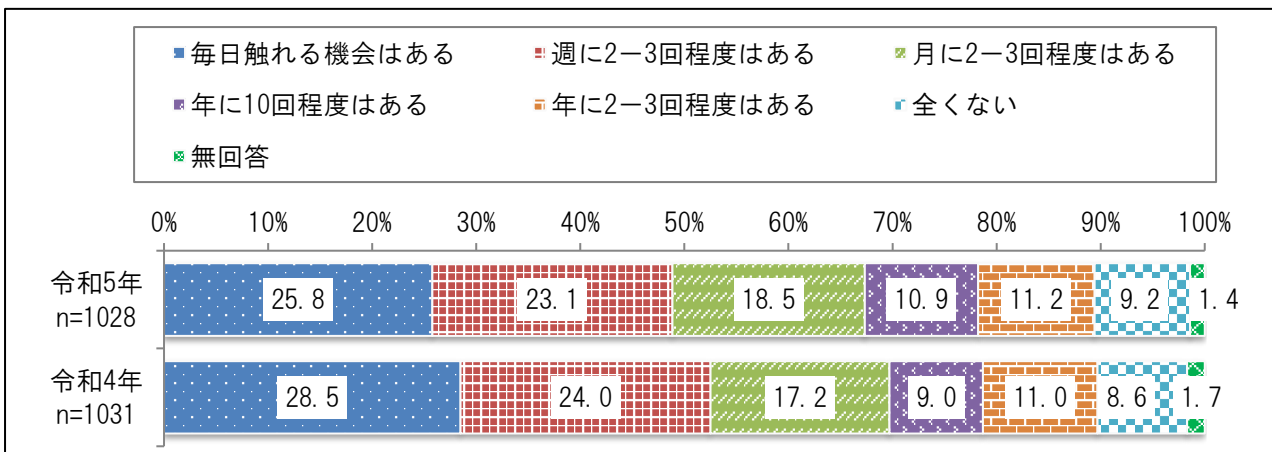


(17) 問 14. 「しまくとうば」に触れる機会(聞く・話す)はどの程度ありますか。

(○はひとつ)

「しまくとうば」に触れる程度は、「毎日触れる機会はある」の割合が令和5年度25.8%で、令和4年度の28.5%より2.7ポイント低い。

図表76. 「しまくとうば」に触れる程度



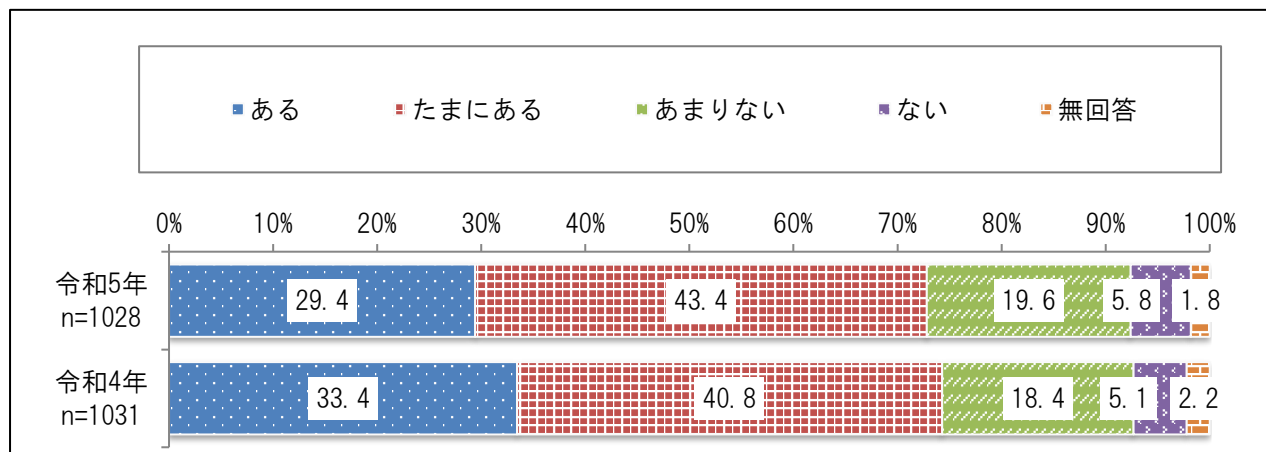
3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

(18) 問 15.「しまくとぅば」を聞く機会は何の程度ありますか。

(○はひとつ)

聞く機会の程度は、「ある」の割合が令和5年度 29.4%で、令和4年度の 33.4%より 4.0 ポイント低い。

図表77. 聞く機会の程度

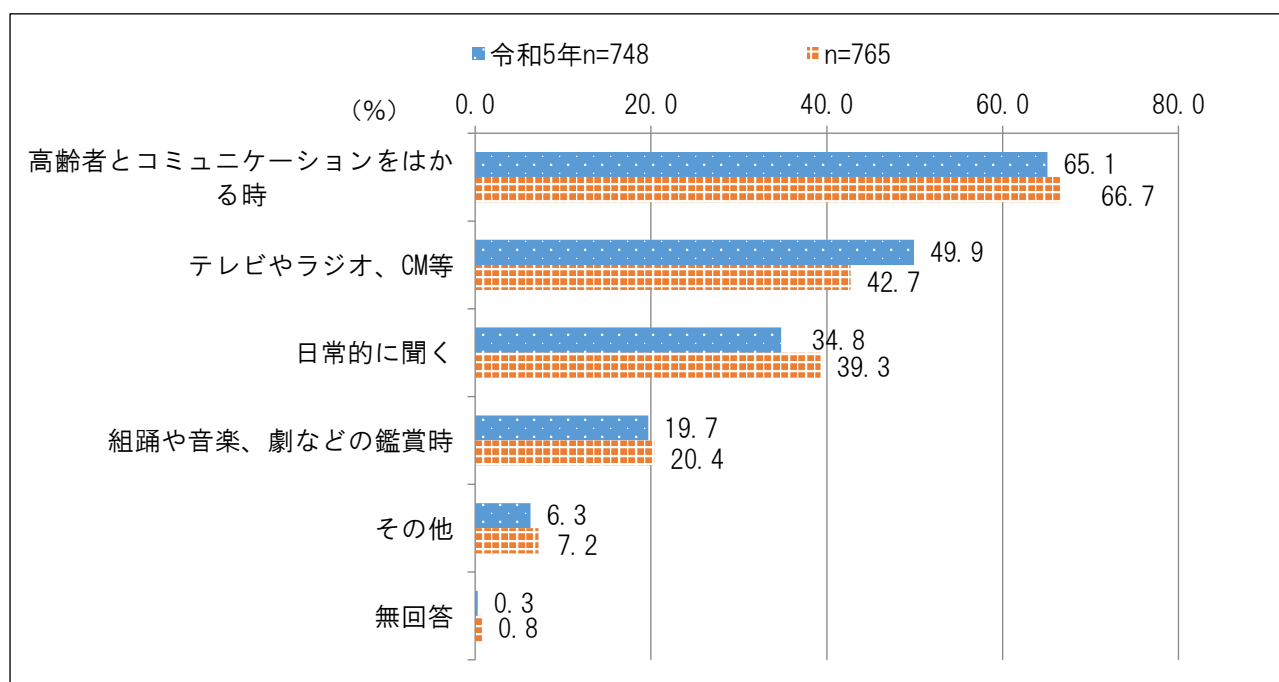


(19) 問 15-1.「しまくとぅば」を聞く機会は何のような時ですか。

(○はいくつでも)

聞く機会のタイミングは、「高齢者とコミュニケーションをはかる時」の割合が令和5年度 65.1%で、令和4年度の 66.7%より 1.6 ポイント低い。

図表78. 聞く機会のタイミング

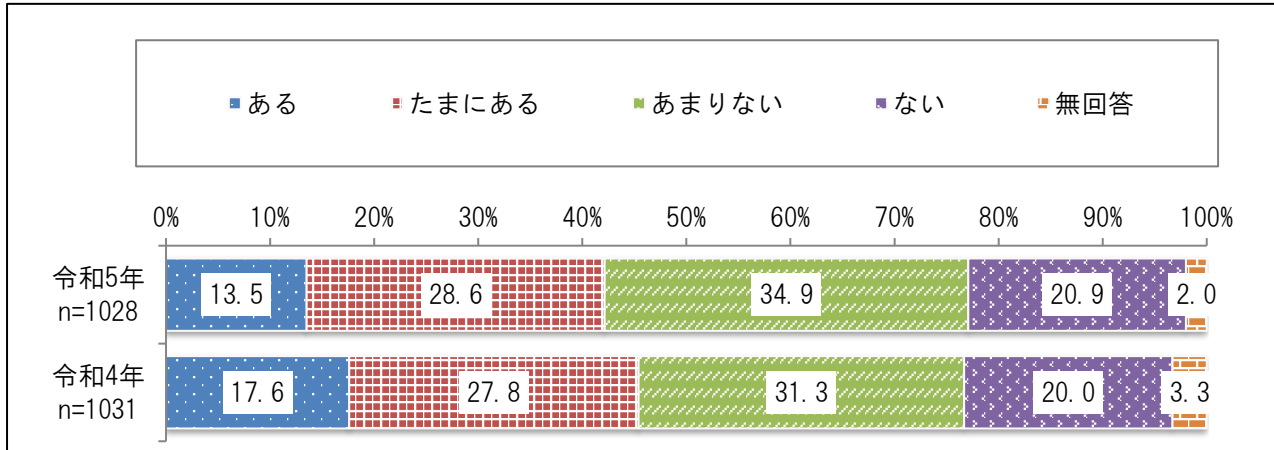


(20) 問 16.「しまくとぅば」を話す機会はどの程度ありますか。

(○はひとつ)

話す機会の程度は、「ある」の割合が令和5年度 13.5%で、令和4年度の 17.6%より 4.1 ポイント低い。

図表79. 話す機会の程度

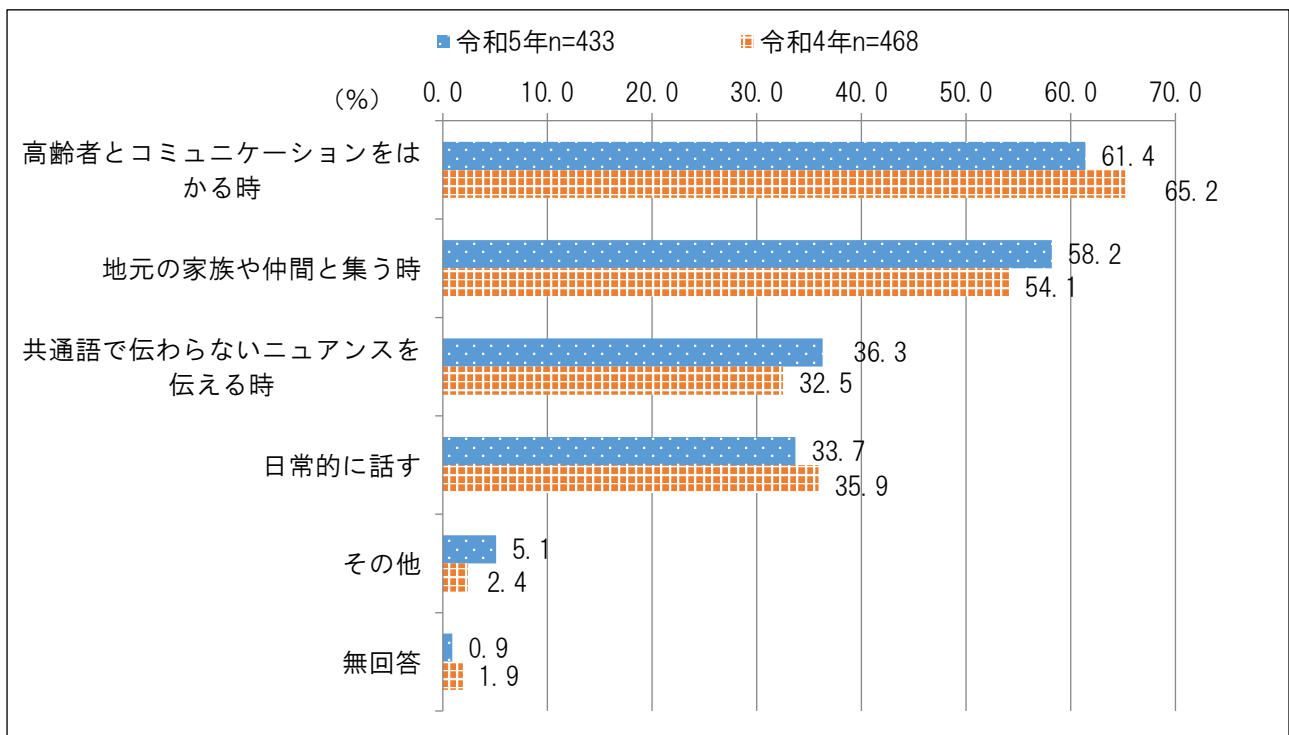


(21) 問 16-1.「しまくとぅば」を話す機会はどのような時ですか。

(○はいくつでも)

話す機会のタイミングは、「高齢者とコミュニケーションをはかる時」の割合が令和5年度 61.4%で、令和4年度の 65.2%より 3.8 ポイント低い。

図表80. 話す機会のタイミング



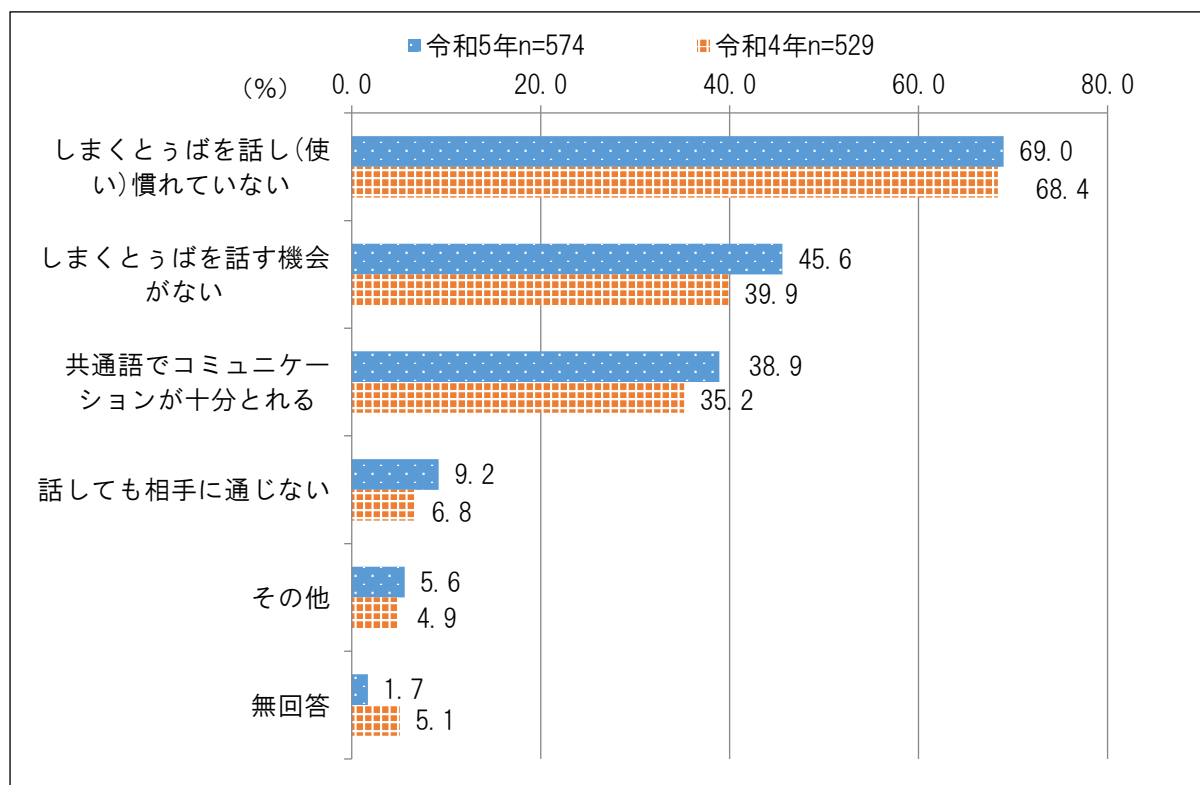
3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

(22) 問 16-2.「しまくとうば」を話さない理由について教えてください。

(○はいくつでも)

話さない理由は、「しまくとうばを話し(使い)慣れていない」の割合が令和5年度 69.0%で、令和4年度の 68.4%より 0.6 ポイント高い。

図表81. 話さない理由

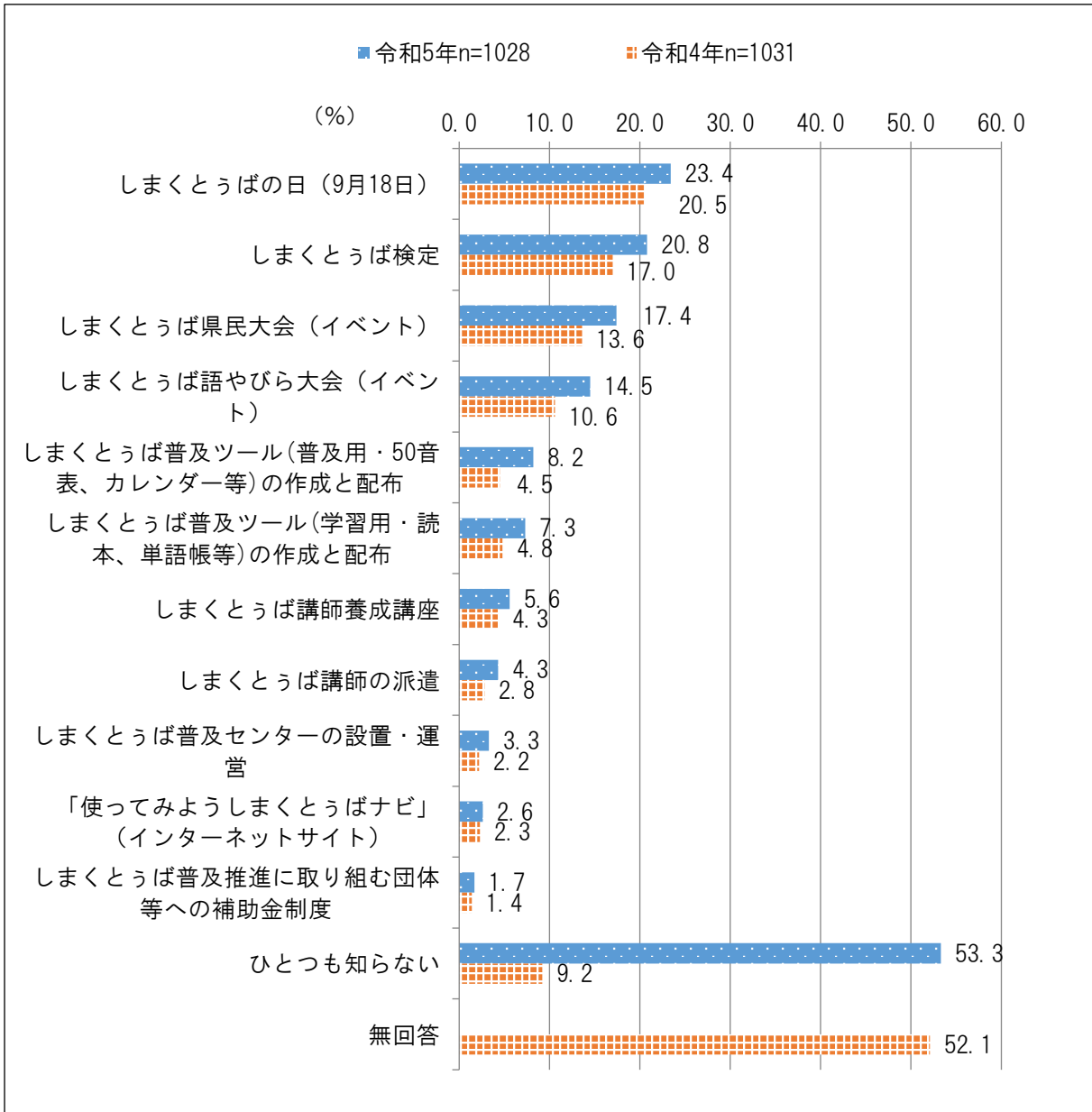


(23) 問 17. 今後、普及継承していくため取組を「知っている」ものをお答えください。

(○はいくつでも)

取組の認知度は、「しまくとうば検定」の割合が令和5年度 20.8%で、令和4年度の 17.0%より 3.8ポイント高い。

図表82. 取組の認知度



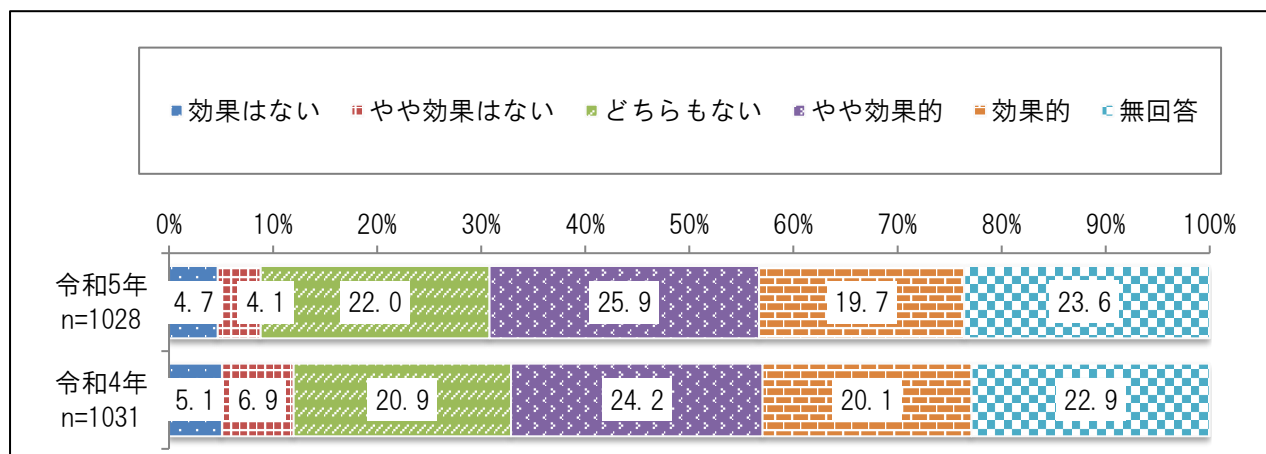
3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

[1] 問 17. 取組みの効果度

① しまくとぅばの日（9月18日）

しまくとぅばの日（9月18日）は、「効果的」の割合が令和5年度 19.7%で、令和4年度の 20.1%より 0.4 ポイント低い。

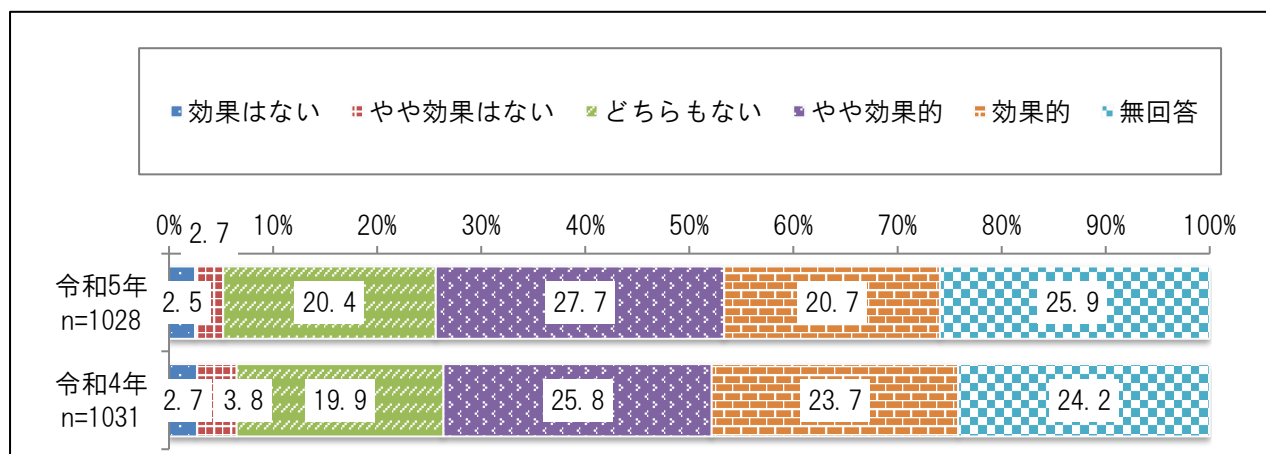
図表83. しまくとぅばの日（9月18日）



② しまくとぅば県民大会（イベント）

しまくとぅば県民大会は、「効果的」の割合が令和5年度 20.7%で、令和4年度の 23.7%より 3.0 ポイント低い。

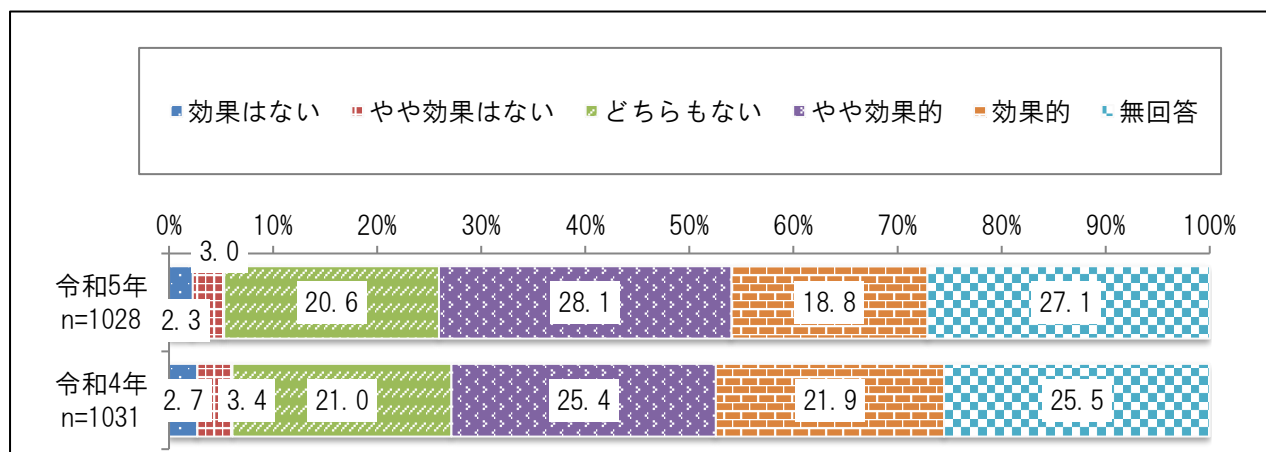
図表84. しまくとぅば県民大会（イベント）



③ しまくとぅば語やびら大会（イベント）

しまくとぅば語やびら大会（イベント）は、「効果的」の割合が令和5年度18.8%で、令和4年度の21.9%より3.1ポイント低い。

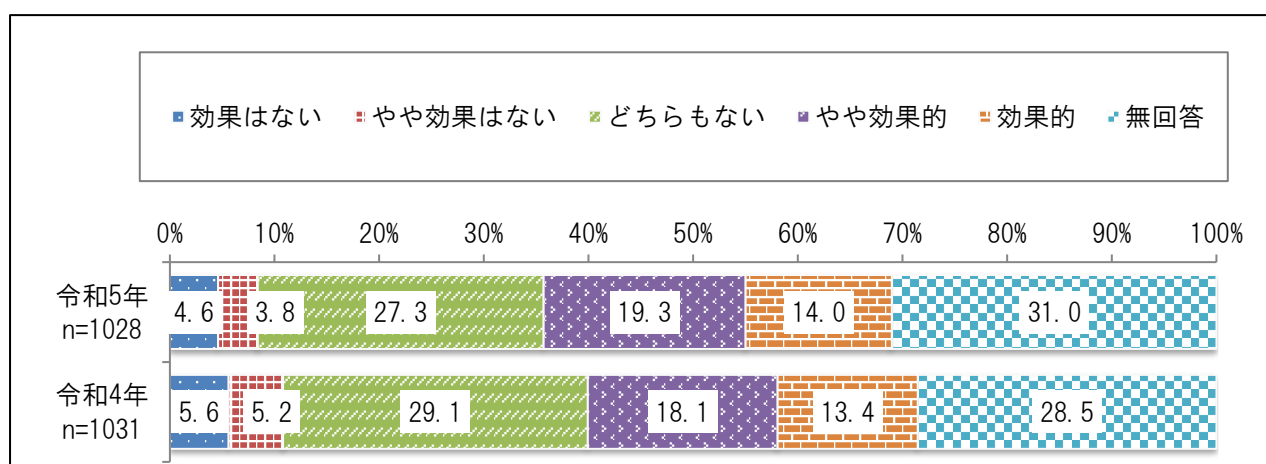
図表85. しまくとぅば語やびら大会（イベント）



④ しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度は、「やや効果的」の割合が令和5年度19.3%で、令和4年度の18.1%より1.2ポイント高い。

図表86. しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

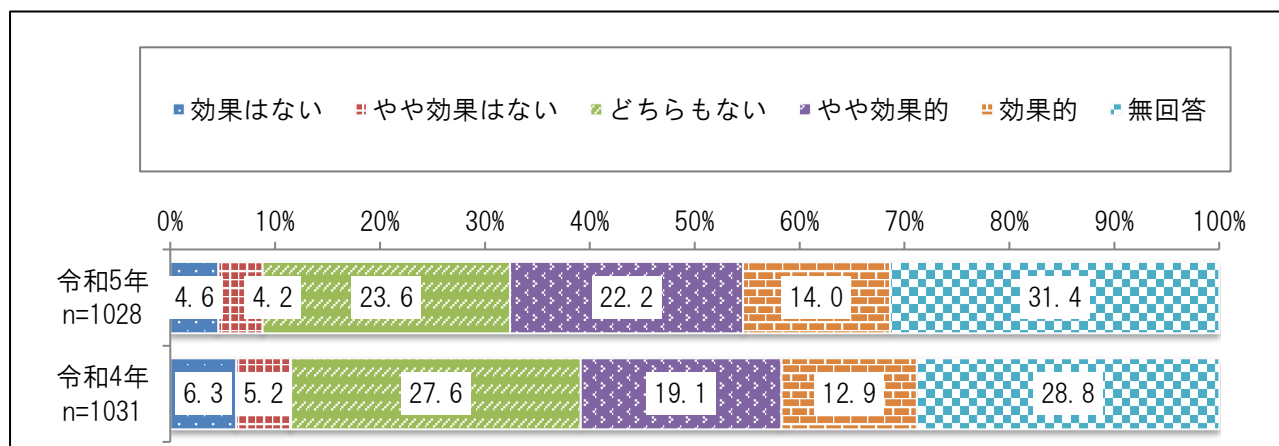


3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

⑤ しまくとぅば普及センターの設置

しまくとぅば普及センターの設置は、「効果的」の割合が令和5年度 14.0%で、令和4年度の 12.9%より 1.1 ポイント高い。

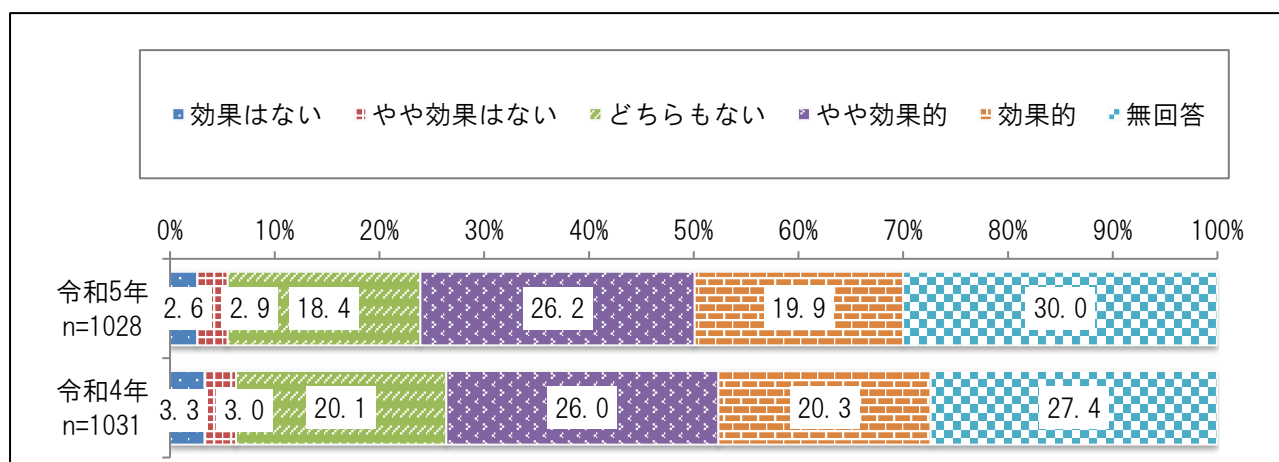
図表87. しまくとぅば普及センターの設置



⑥ しまくとぅば講師養成講座

しまくとぅば講師養成講座は、「効果的」の割合が令和5年度 19.9%で、令和4年度の 20.3%より 0.4 ポイント低い。

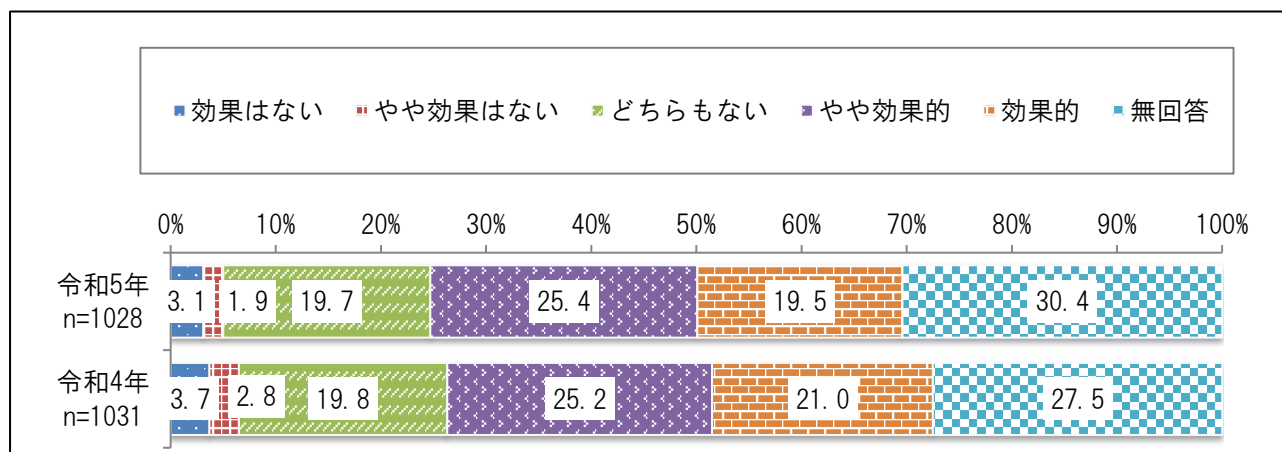
図表88. しまくとぅば講師養成講座



⑦ しまくとうば講師の派遣

しまくとうば講師の派遣は、「効果的」の割合が令和5年度 19.5%で、令和4年度の 21.0%より 1.5 ポイント低い。

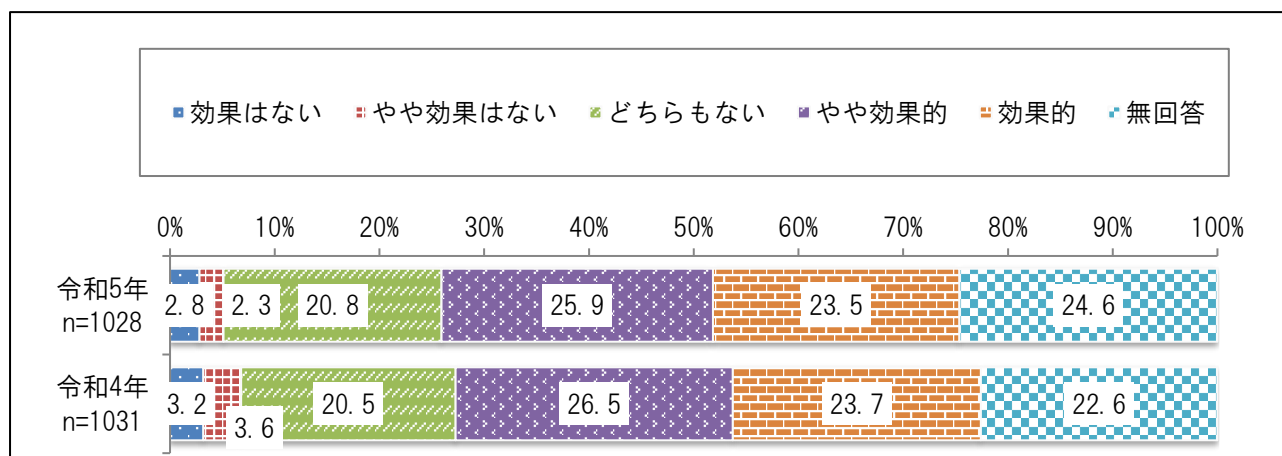
図表89. しまくとうば講師の派遣



⑧ しまくとうば検定

しまくとうば検定は、「効果的」の割合が令和5年度 23.5%で、令和4年度の 23.7%より 0.2 ポイント低い。

図表90. しまくとうば検定

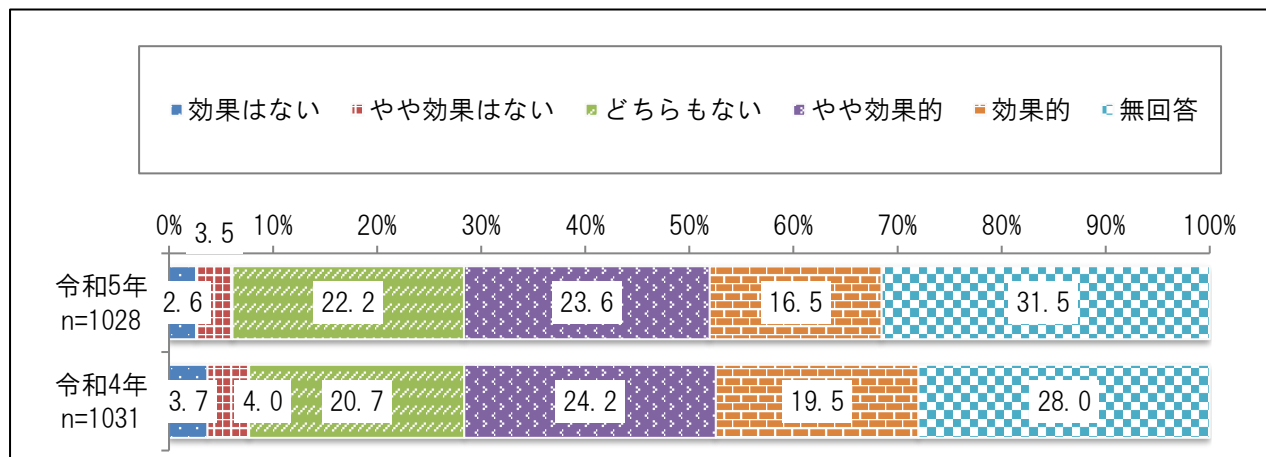


3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

⑨ 「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)

「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)は、「やや効果的」の割合が令和5年度 23.6%で、令和4年度の 24.2%より 0.6 ポイント低い。

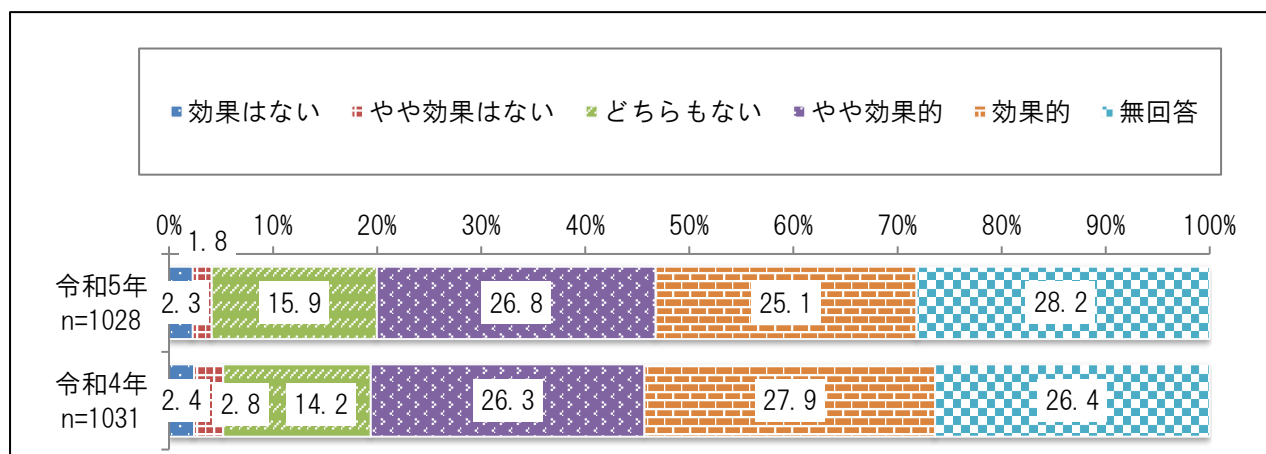
図表91. 「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)



⑩ しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布は、「効果的」の割合が令和5年度 25.1%で、令和4年度の 27.9%より 2.8 ポイント低い。

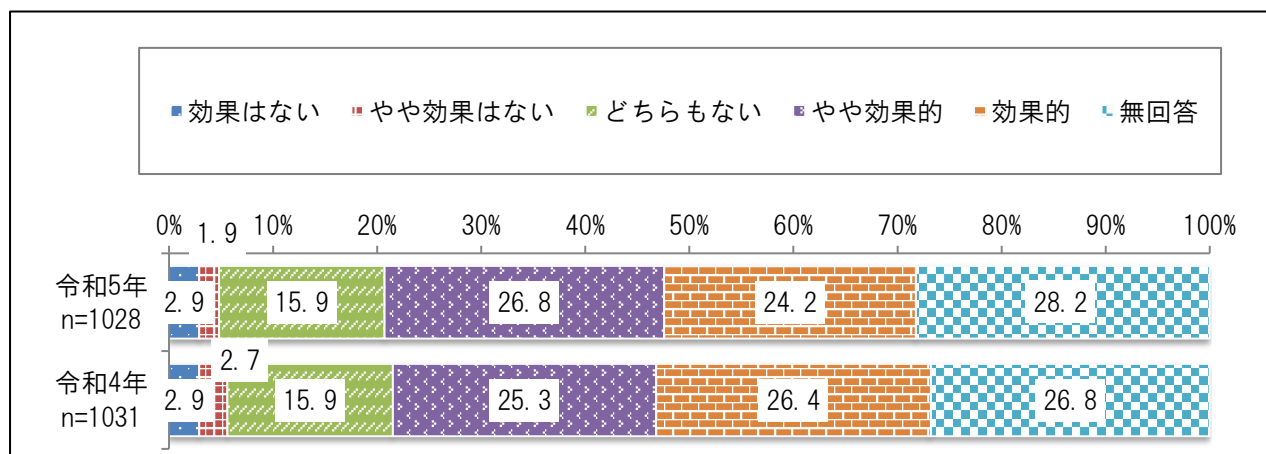
図表92. しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布



⑪ しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布は、「効果的」の割合が令和5年度 24.2%で、令和4年度の 26.4%より 2.2 ポイント低い。

図表93. しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

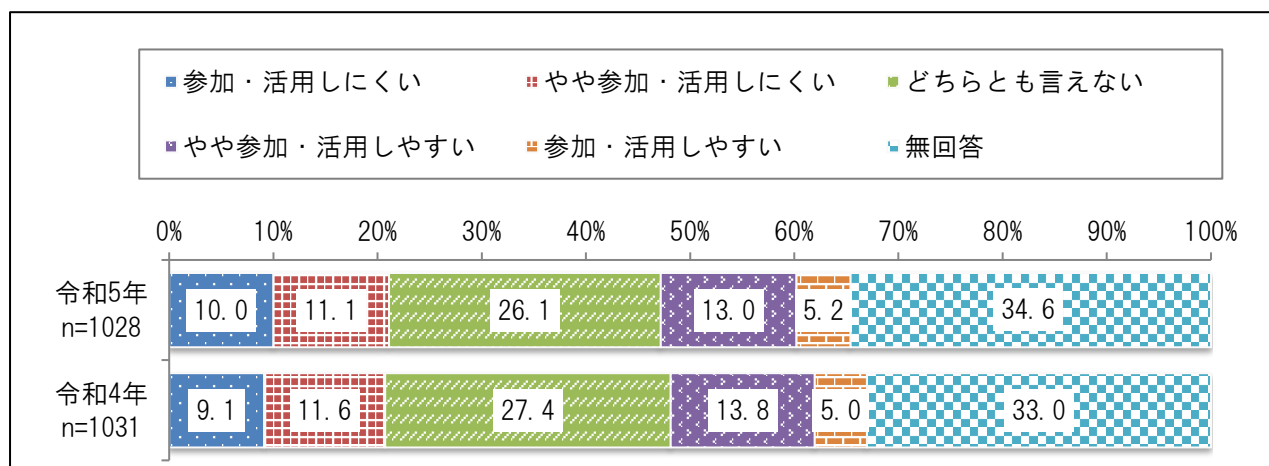


[2] 問 17. 取組みの参加・活用のしやすさ

① しまくとぅば県民大会（イベント）

しまくとぅば県民大会（イベント）は、「やや参加・活用しやすい」の割合が令和5年度13.0%で、令和4年度の13.8%より0.8ポイント低い。

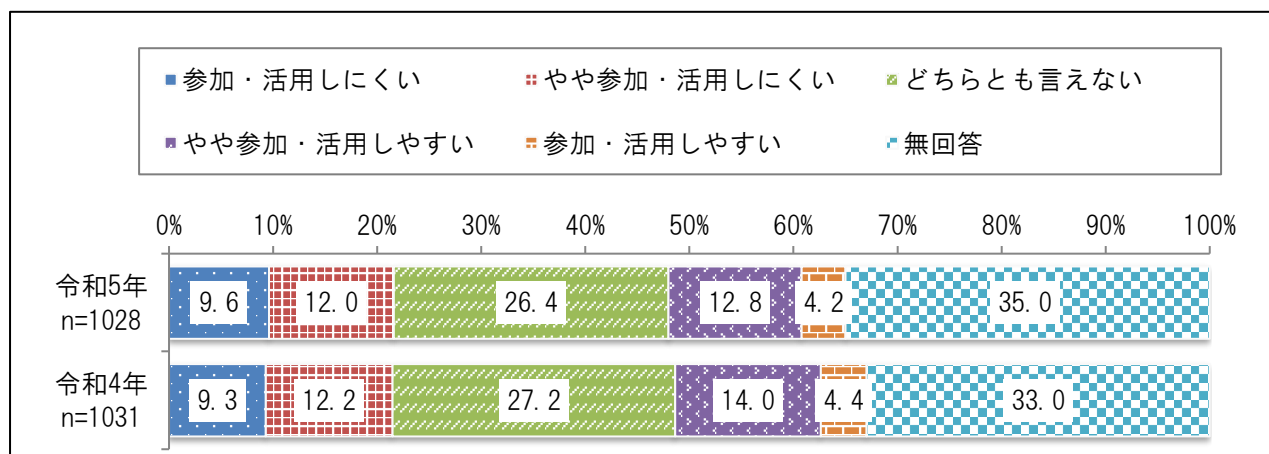
図表94. しまくとぅば県民大会（イベント）



② しまくとぅば語やびら大会（イベント）

しまくとぅば語やびら大会（イベント）は、「やや参加・活用しやすい」の割合が令和5年度12.8%で、令和4年度の14.0%より1.2ポイント低い。

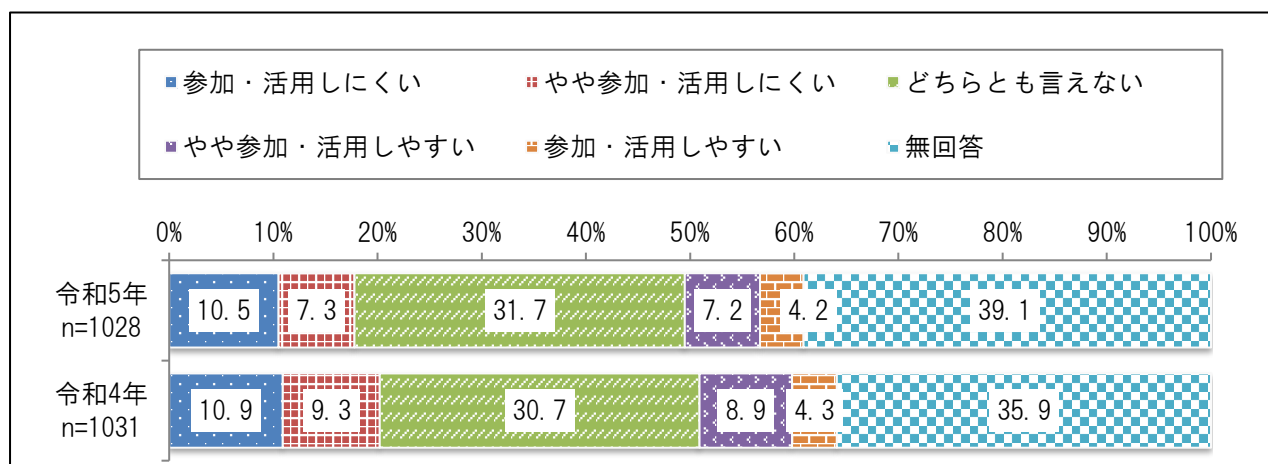
図表95. しまくとぅば語やびら大会（イベント）



③ しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度は、「参加・活用しやすい」の割合が令和5年度 4.2%で、令和4年度の 4.3%より 0.1 ポイント低い。

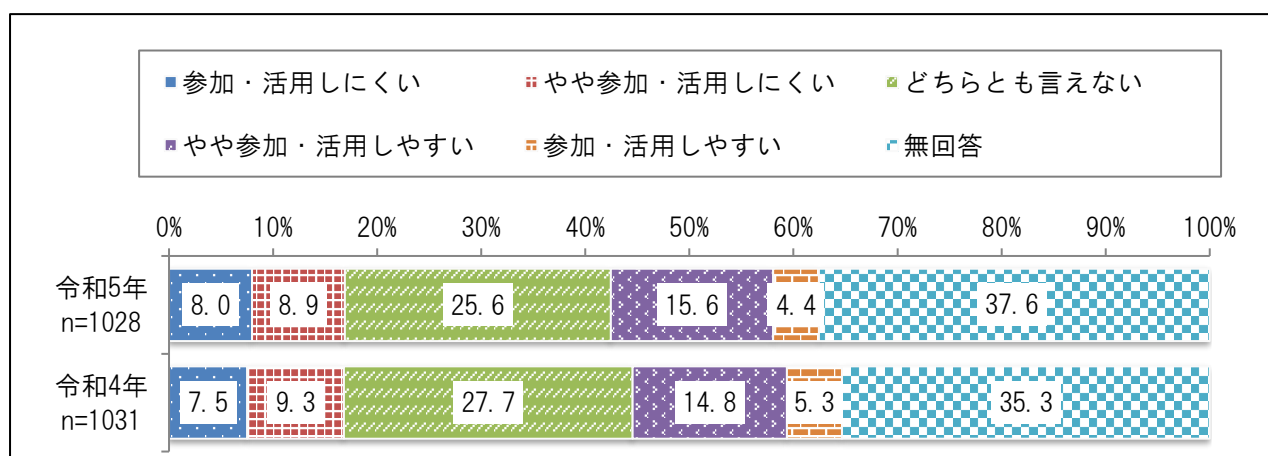
図表96. しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度



④ しまくとぅば講師養成講座

しまくとぅば講師養成講座は、「やや参加・活用しやすい」の割合が令和5年度 15.6%で、令和4年度の 14.8%より 0.8 ポイント高い。

図表97. しまくとぅば講師養成講座

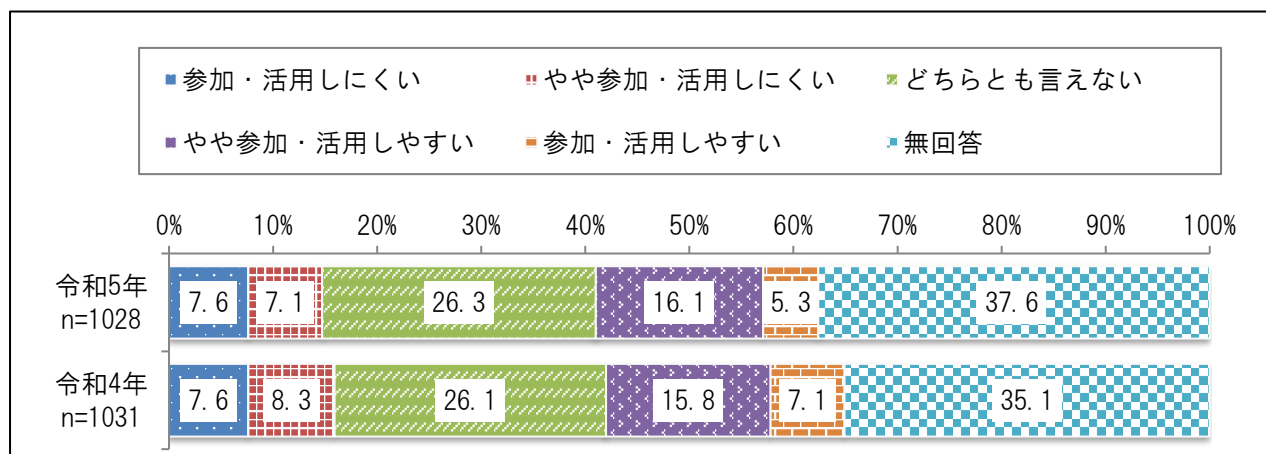


3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

⑤ しまくとぅば講師の派遣

しまくとぅば講師の派遣は、「参加・活用しやすい」の割合が令和5年度5.3%で、令和4年度の7.1%より1.8ポイント低い。

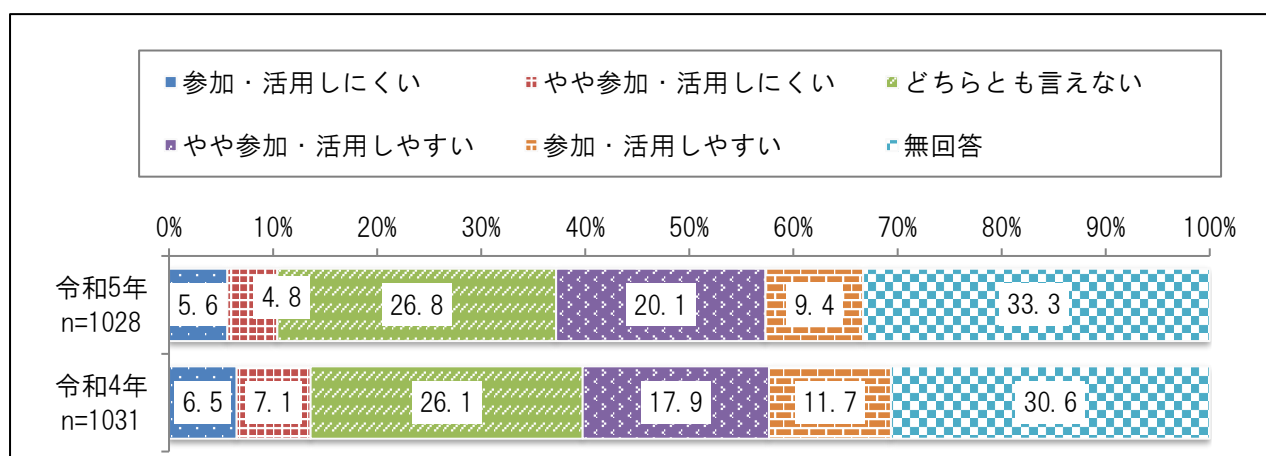
図表98. しまくとぅば講師の派遣



⑥ しまくとぅば検定

しまくとぅば検定は、「参加・活用しやすい」の割合が令和5年度9.4%で、令和4年度の11.7%より2.3ポイント低い。

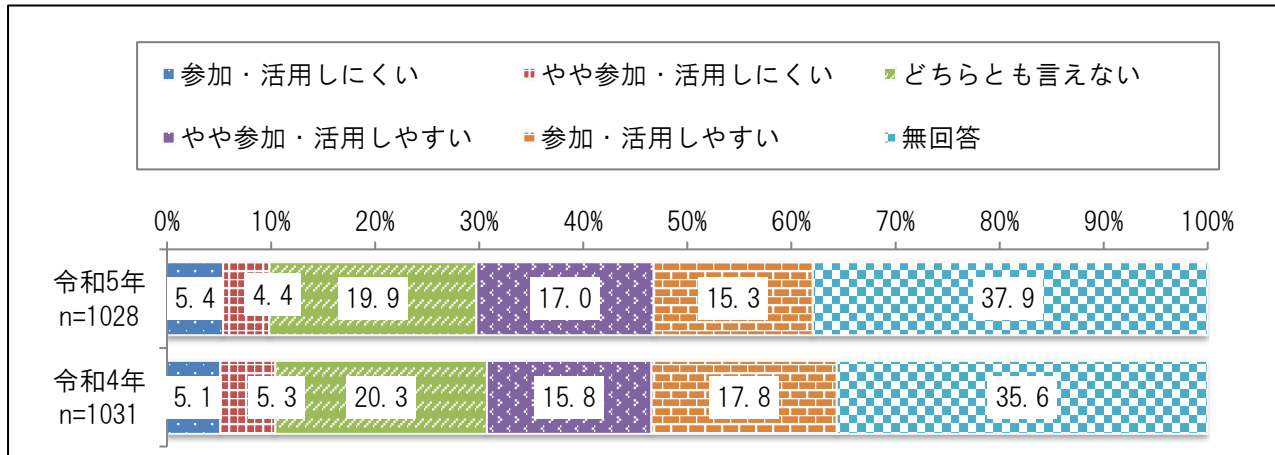
図表99. しまくとぅば検定



⑦ 「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)

「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)は、「参加・活用しやすい」の割合が令和5年度 15.3%で、令和4年度の 17.8%より 2.5 ポイント低い。

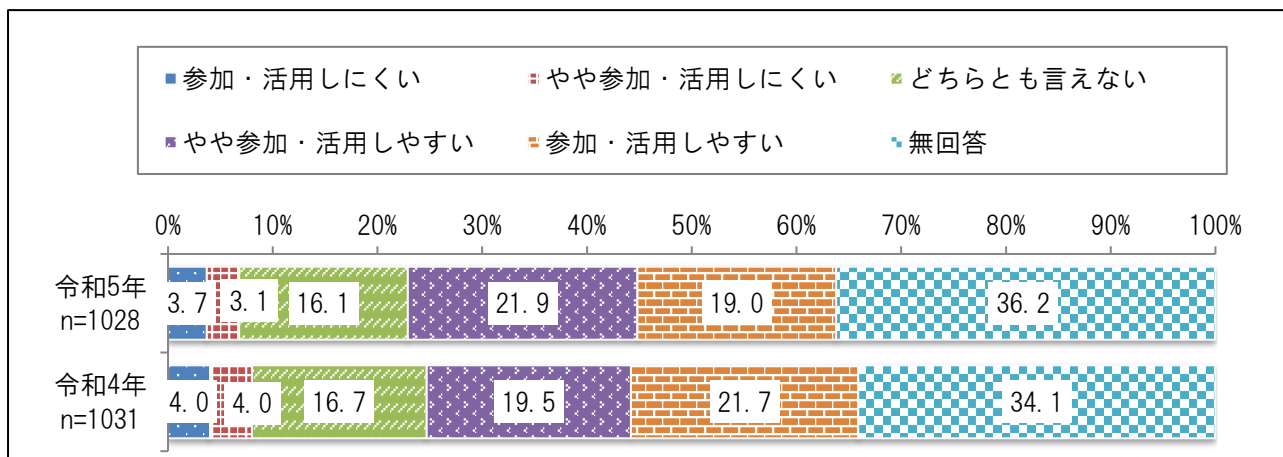
図表100. 「使ってみよう しまくとうばナビ」(インターネットサイト)



⑧ しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布は、「参加・活用しやすい」の割合が令和5年度 19.0%で、令和4年度 21.7%より 2.7 ポイント低い。

図表101. しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

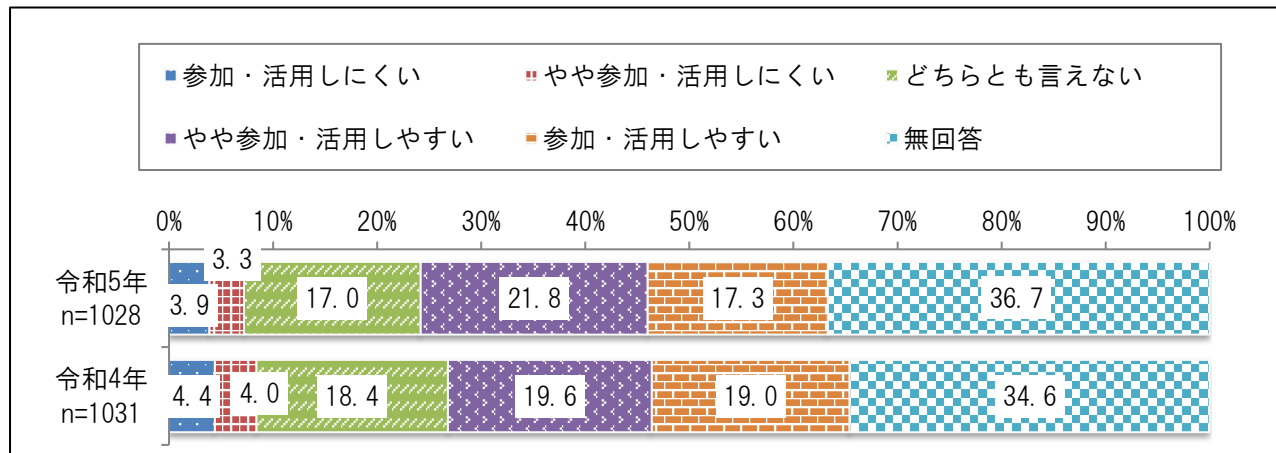


3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

⑨ しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布は、「参加・活用しやすい」の割合が令和5年度 17.3%で、令和4年度の 19.0%より 1.7ポイント低い。

図表102. しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

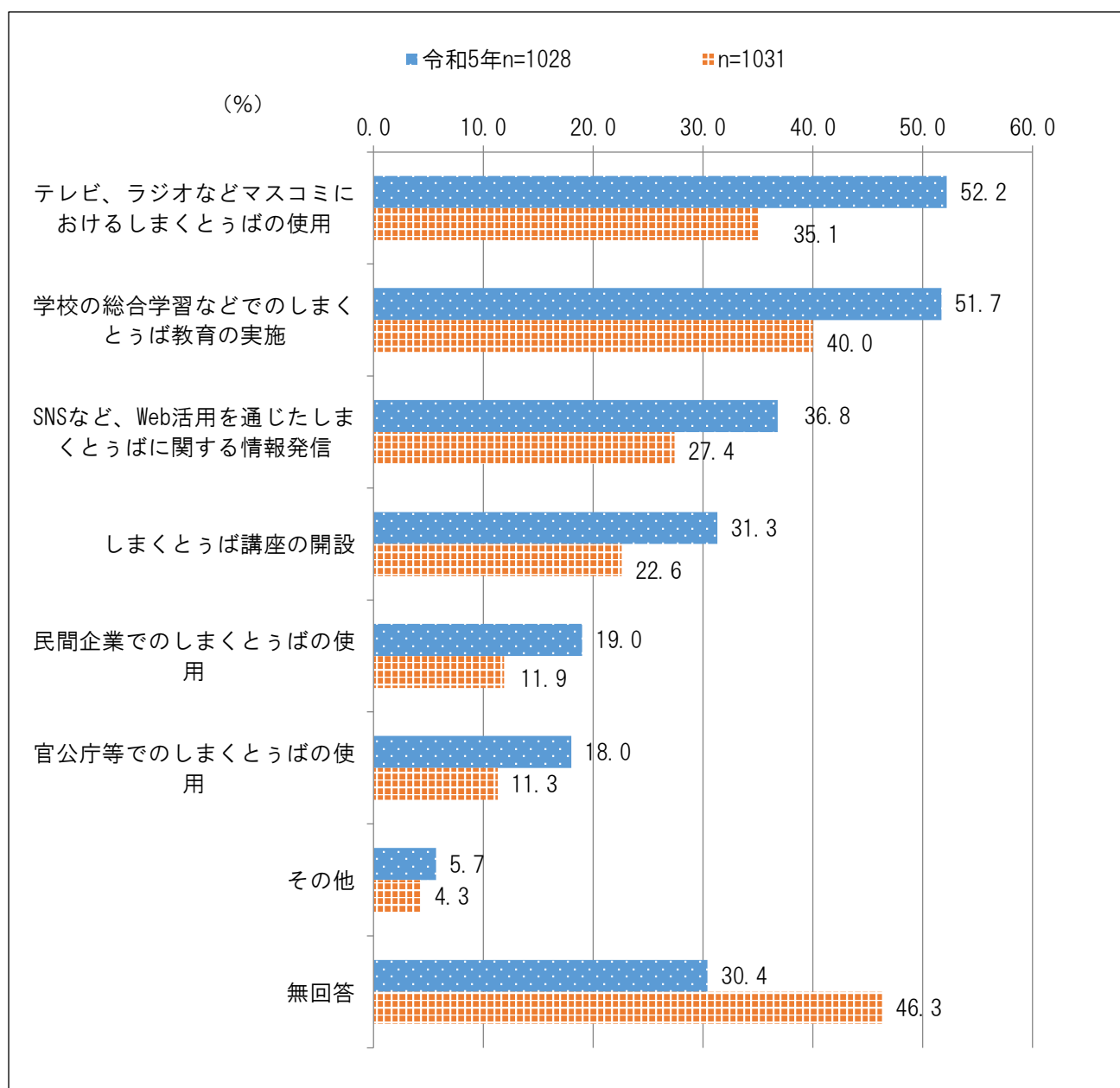


(24) 問 18. 今後、普及継承の取組について「すべきと思うもの」をお答えください。

(○はいくつでも)

普及継承・各取組については、「学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施」の割合が令和5年度 51.7%で、令和4年度の 40.0%より 11.7 ポイント高い。

図表103. 普及継承・各取組について

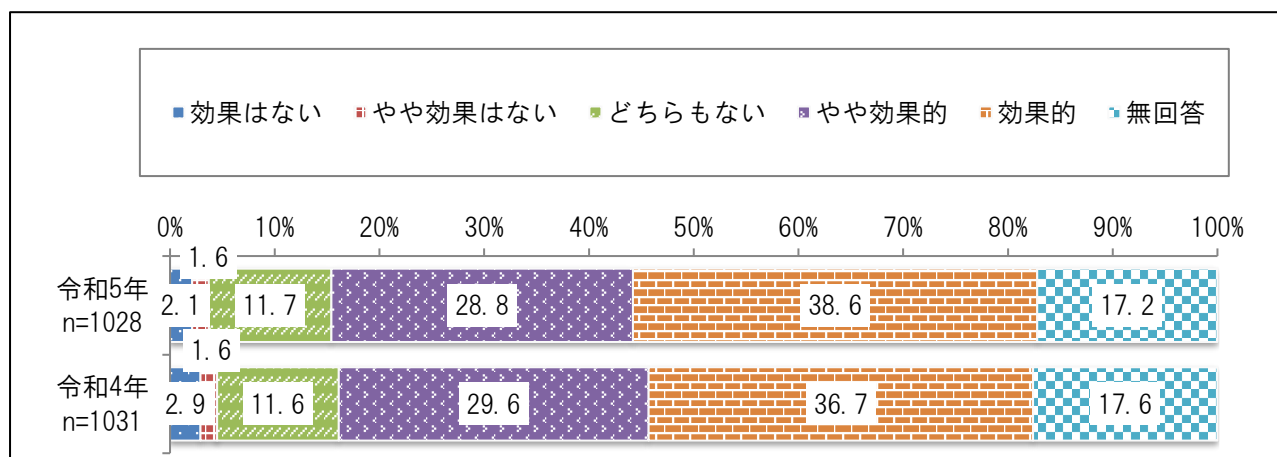


[1] 問 18. 取組みの効果度

① 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施

学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施は、「効果的」の割合が令和5年度 38.6%で、令和4年度の36.7%より1.9ポイント高い。

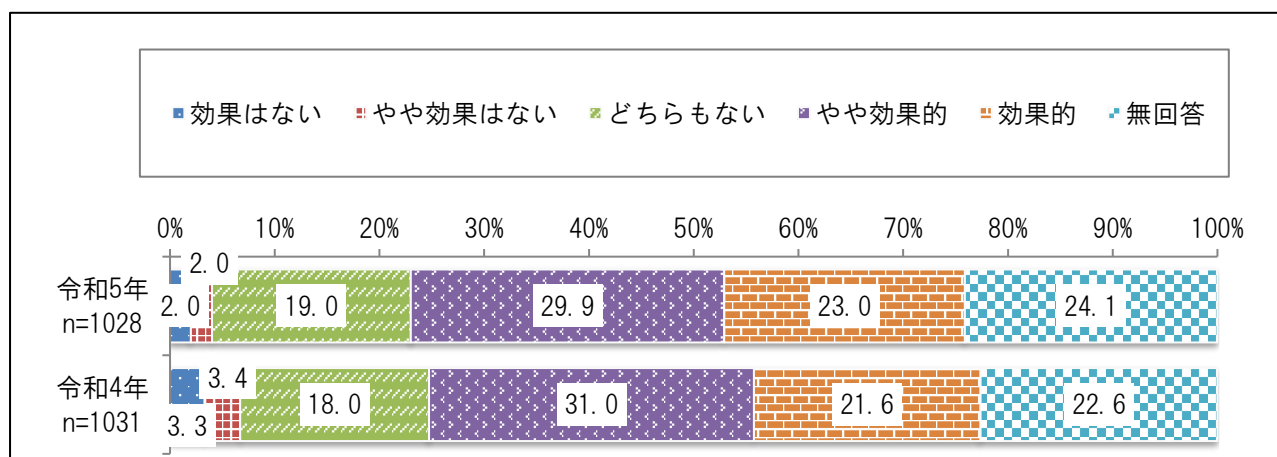
図表104. 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施



② しまくとうば講座の開設

効果度_しまくとうば講座の開設は、「効果的」の割合が令和5年度 23.0%で、令和4年度の21.6%より1.4ポイント高い。

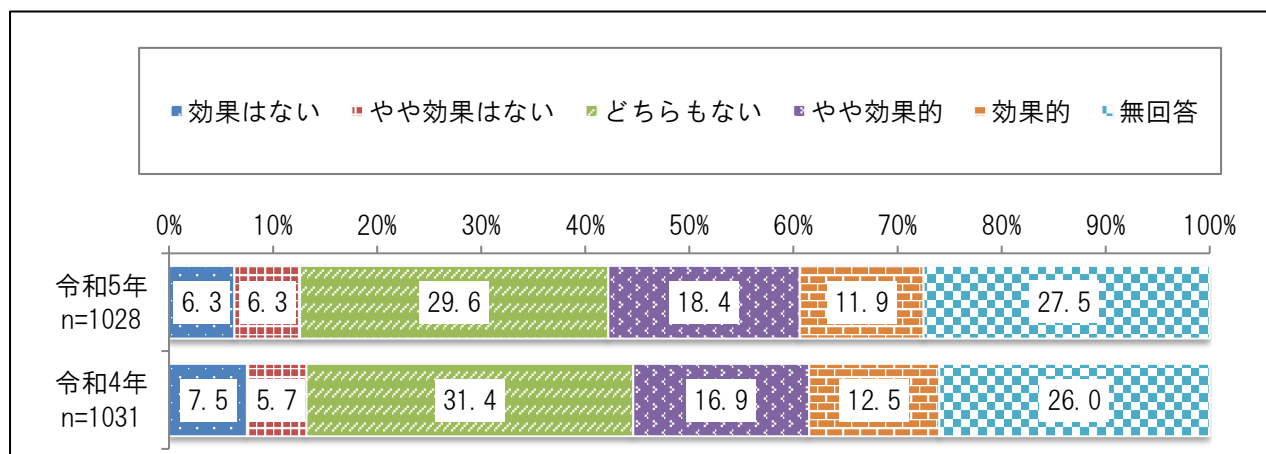
図表105. 効果度_しまくとうば講座の開設



③ 官公庁等でのしまくとうばの使用

官公庁等でのしまくとうばの使用は、「効果的」の割合が令和5年度11.9%で、令和4年度の12.5%より0.6ポイント低い。

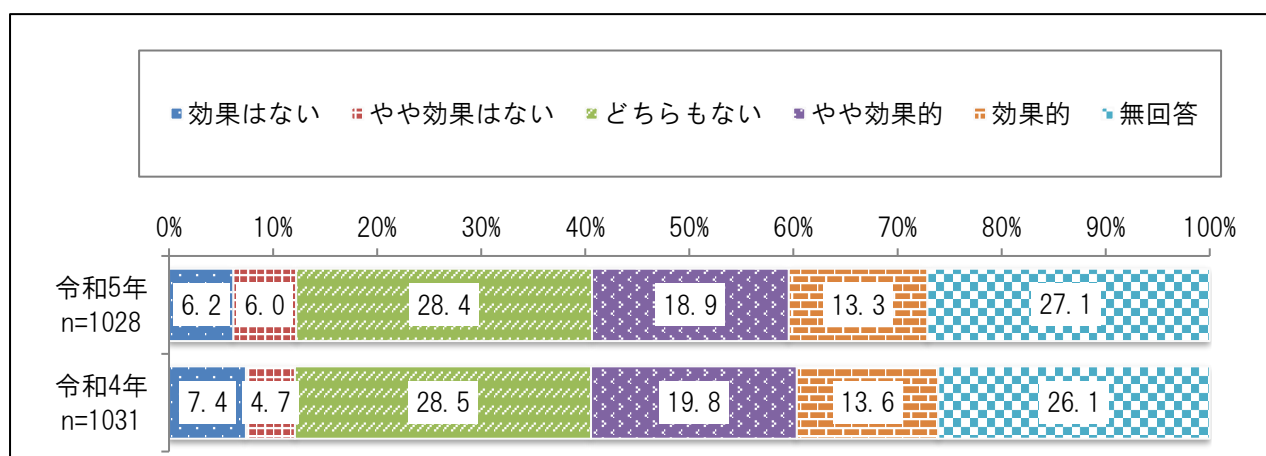
図表106. 官公庁等でのしまくとうばの使用



④ 民間企業でのしまくとうばの使用

民間企業でのしまくとうばの使用は、「効果的」の割合が令和5年度13.3%で、令和4年度の13.6%より0.3ポイント低い。

図表107. 民間企業でのしまくとうばの使用

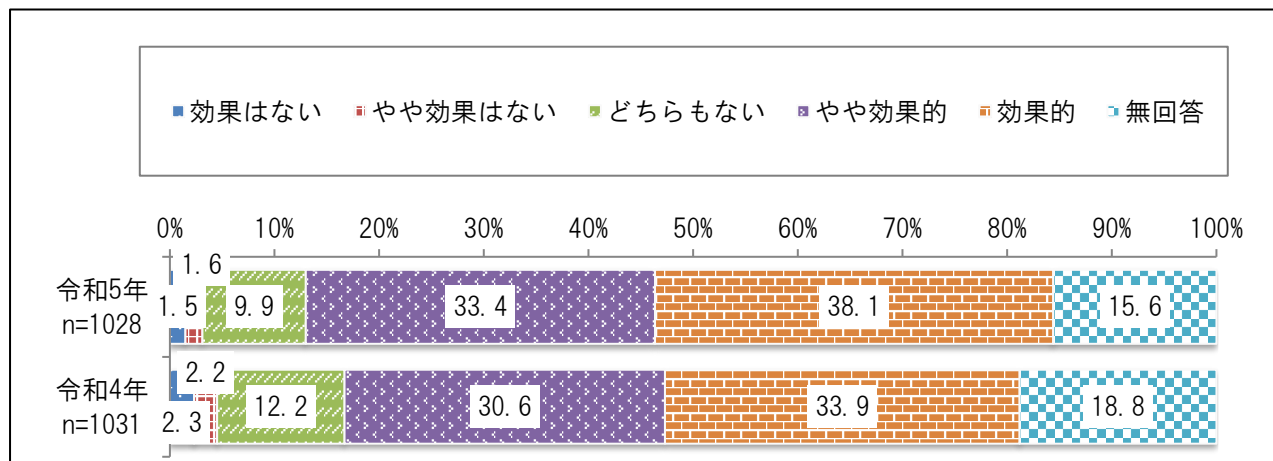


3. 令和4年・令和5年調査結果の比較

⑤ テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用

テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用は、「効果的」の割合が令和5年度38.1%で、令和4年度の33.9%より4.2ポイント高い。

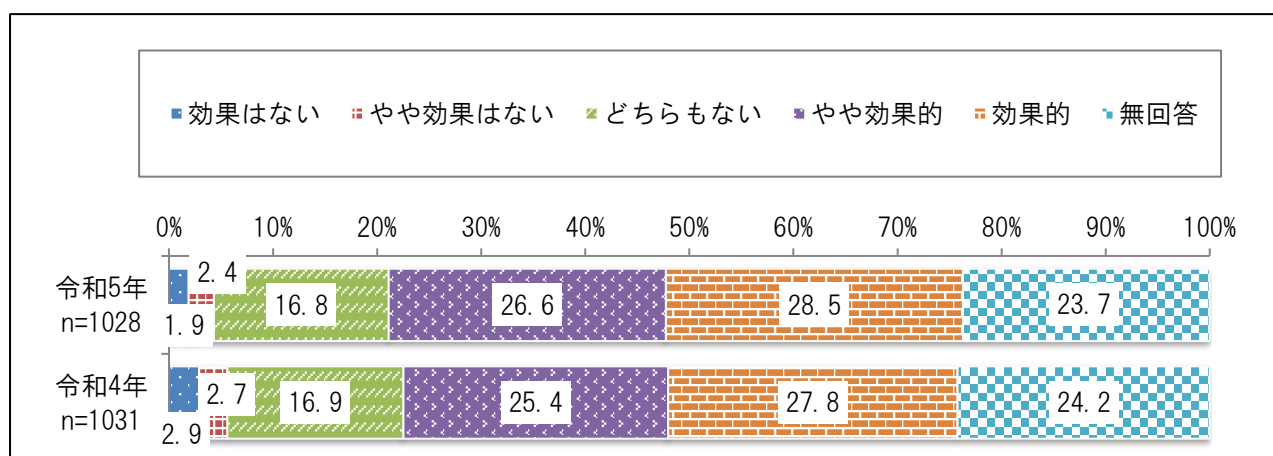
図表108. テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用



⑥ SNS など、Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信

SNS など、Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信は、「効果的」の割合が令和5年度28.5%で、令和4年度の27.8%より0.7ポイント高い。

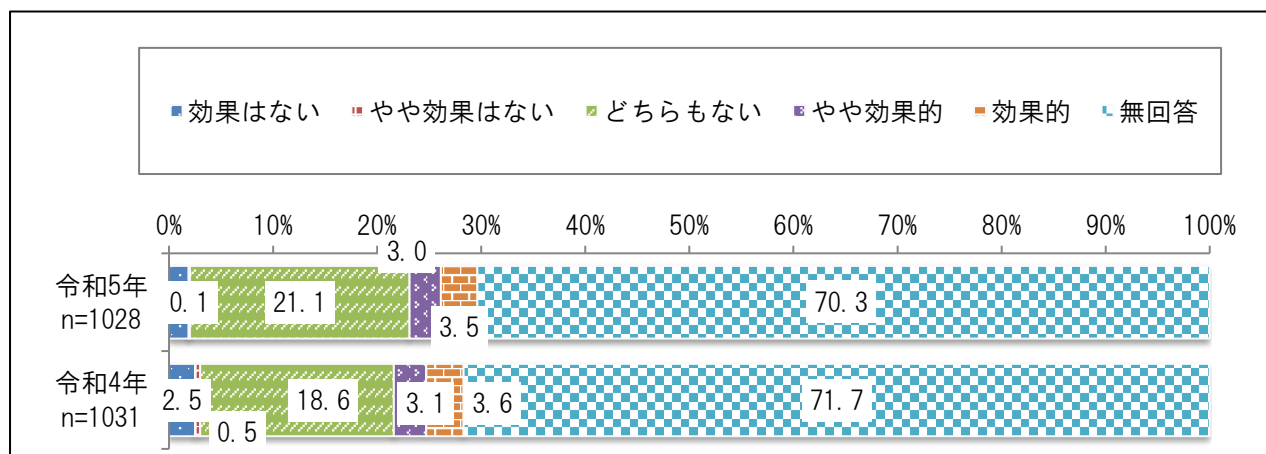
図表109. SNS など、Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信



⑦ その他

その他は、「効果的」の割合が令和5年度3.5%で、令和4年度の3.6%より0.1ポイント低い。

図表110. その他

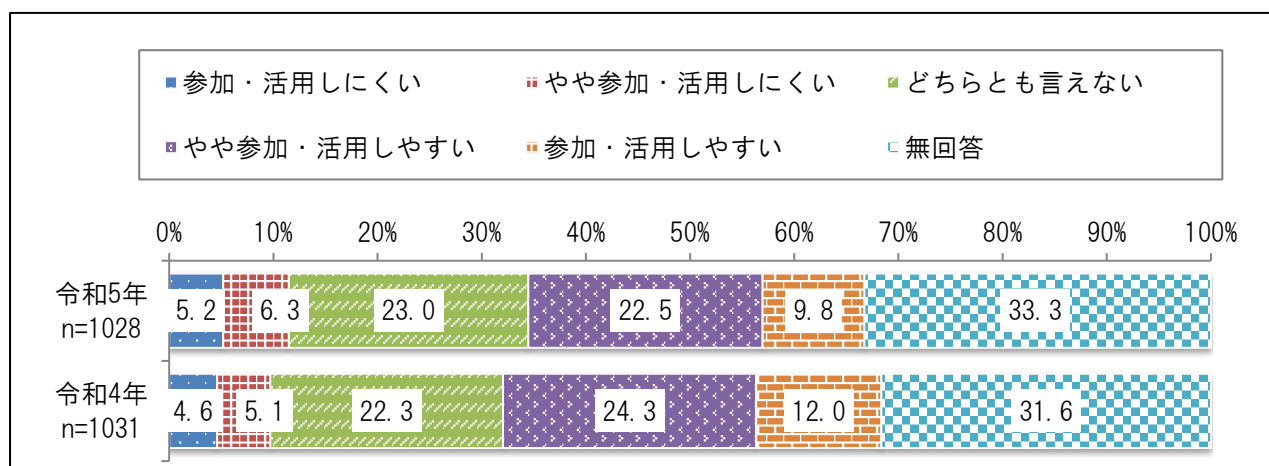


[2] 問 18. 取組みの参加・活用のしやすさ

② しまくとぅば講座の開設

しまくとぅば講座の開設は、「参加・活用しやすい」の割合が令和5年度 9.8%で、令和4年度の 12.0%より 2.2 ポイント低い。

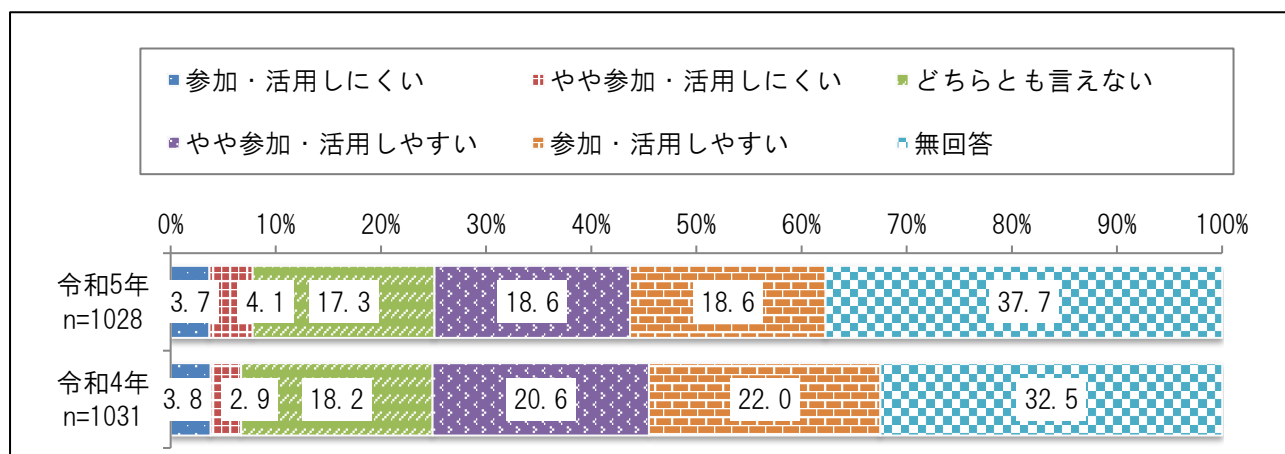
図表111. しまくとぅば講座の開設



⑥ SNS など、Web 活用を通じたしまくとぅばに関する情報発信

SNS など、Web 活用を通じたしまくとぅばに関する情報発信は、「参加・活用しやすい」の割合が令和5年度 18.6%で、令和4年度の 22.0%より 3.4 ポイント低い。

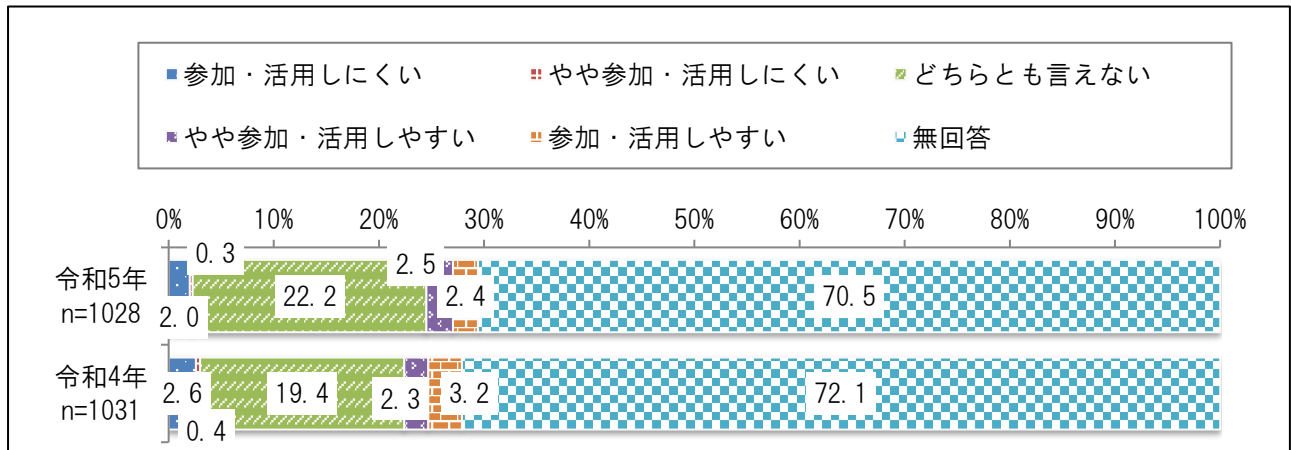
図表112. SNS など、Web 活用を通じたしまくとぅばに関する情報発信



⑧ その他

その他は、「参加・活用しやすい」の割合が令和5年度 2.4%で、令和4年度の 3.2%より 0.8ポイント低い。

図表113. その他



4. 参考資料



しまくとうばに関するアンケート ご協力のお願い

沖縄県では、令和5年度からの「しまくとうば普及推進計画（第2期計画）」に基づき、全県的かつ横断的な県民運動を行うことにより、しまくとうばの普及・継承に取り組んでおります。

この調査は、沖縄文化の基層となる大切な「しまくとうば」に対する県民意識の調査を行うことで、その実態を把握し、今後の「しまくとうば」の普及継承に向けた課題と効果的な施策の検討に資することを目的に実施しております。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力お願い申し上げます。

※本調査は、住民基本台帳から無作為に選ばれた方にお送りしております。

※回答にご協力頂いた方には、抽選で200名にポケット版おきなわ手帳を進呈いたします。

令和6年1月

沖縄県文化観光スポーツ部 しまくとうば普及推進室

— アンケートの回答方法 —

①郵送の場合



調査票は三つ折りにし、同封の返信封筒にてポスト投函ください。

（切手不要）

投函×切



2/25（日）

②インターネット/スマホの場合

下記のURL もしくはQRコードで、アクセスしてください。

【<https://jp.research.net/r/shimakutobar5>】

番号：



WEB 回答×切

2/25（日）

＜アンケート調査内容に関する問い合わせ先＞

【協力事業者】 株式会社サーベイリサーチセンター沖縄事務所
沖縄県那覇市久茂地 3-21-1 國場ビル 9 階

フリーコール：0800-888-5585（平日 10～17 時）

あなたご自身のこと

F1. あなたご自身のことをお知らせください。(○はそれぞれ1つ)

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	
	4. 40代	5. 50代	6. 60代	
	7. 70歳以上			
子供の有無	1. いる		2. いない	
出身地	1. 沖縄県内		2. 沖縄県外	
居住地	1. 那覇市	2. 宜野湾市	3. 石垣市	4. 浦添市
	5. 名護市	6. 糸満市	7. 沖縄市	8. 豊見城市
	9. うるま市	10. 宮古島市	11. 南城市	12. 国頭村
	13. 大宜味村	14. 東村	15. 今帰仁村	16. 本部町
	17. 恩納村	18. 宜野座村	19. 金武町	20. 伊江村
	21. 読谷村	22. 嘉手納町	23. 北谷町	24. 北中城村
	25. 中城村	26. 西原町	27. 与那原町	28. 南風原町
	29. 渡嘉敷村	30. 座間味村	31. 粟国村	32. 渡名喜村
	33. 南大東村	34. 北大東村	35. 伊平屋村	36. 伊是名村
	37. 久米島町	38. 八重瀬町	39. 多良間村	40. 竹富町
	41. 与那国町			

しまくとうばについて

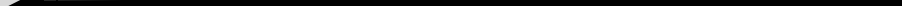
「しまくとぅば」は、県内各地域で世代を超えて受け継がれてきた、地域それぞれで異なり、地域の伝統行事や組踊、琉球舞踊、島唄等の文化の基層となる大切な言葉の総称です。

問 1. あなたは「しまくとうば」に親しみを持っていますか。(○はひとつ)

1. 親しみを持っている	2. どちらかといえば親しみを持っている
3. どちらかといえば親しみを持っていない	4. 親しみを持っていない
5. わからない	

問2.あなたは「しまくとうば」にどのようなイメージを持っていますか。(〇はそれぞれひとつ)

	1 非常に	2 やや	3 どちらでも ない	4 やや	5 非常に	
--	----------	---------	------------------	---------	----------	--



(例)「非常にやわらかい」というイメージの場合

やわらかい	(1)	2	3	4	5	硬い
-------	-----	---	---	---	---	----

やわらかい	1	2	3	4	5	硬い
明るい	1	2	3	4	5	暗い
丁寧	1	2	3	4	5	乱暴
誇らしい	1	2	3	4	5	恥ずかしい

4. 参考資料

豪快	1	2	3	4	5	繊細
さわやか	1	2	3	4	5	うっとうしい
カッコいい	1	2	3	4	5	カッコ悪い
面白い	1	2	3	4	5	面白くない
身近に感じる	1	2	3	4	5	身近に感じない
感情的	1	2	3	4	5	理論的
田舎っぽい	1	2	3	4	5	都会的
明瞭	1	2	3	4	5	不明瞭

問 3. あなたは「しまくとうば」を聞いて、どの程度わかりますか。(○はひとつ)

1. よくわかる	2. ある程度わかる
3. あまりわからない	4. 全くわからない

問 4 あなたは人と話すとき「しまくとうば」を使いますか。(○はひとつ)

1. 主に使う	2. 「共通語」と同じくらい使う
3. 挨拶程度使う	4. あまり使わない
5. まったく使わない	

<挨拶程度の例>

挨拶：ハイサイ、ハイタイ、ハーイ、クヨーンナーラー、ンサイワルカヤ

その他日常会話での表現：クワッチーサビラ、ウサガミソーレー、チャーガンジュー、チバリヨー

問 5. あなたが「しまくとうば」を使う相手は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 祖父母	2. 父母	3. 夫・妻
4. 兄弟	5. 子供	6. 友達
7. 親戚	8. 職場の同僚	9. その他 ()

問 6. あなたはビジネスや公共の場で「しまくとうば」を使ってもいいと思いますか。(○はひとつ)

1. そう思う →問 7 へ	2. ややそう思う →問 7 へ
3. どちらともいえない →問 7 へ	
4. あまりそう思わない →問 6-1 へ	5. そう思わない →問 6-1 へ

(問 6 で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答)

問 6-1. ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. ビジネスや公共の場では不適當と思う
2. 相手が理解できないため
3. 出身地や世代が異なりコミュニケーションが円滑にならないため
4. その他 ()

問 7. 普段の生活の中で「しまくとうば」は必要だと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 非常に必要 →問 7-1 へ | 2. ある程度必要 →問 7-1 へ |
| 3. あまり必要でないと思う →問 8 へ | 4. まったく必要ではない →問 8 へ |

(問 7 で「非常に必要」「ある程度必要」と回答)

問 7-1. 生活での必要性について、その理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 伝統文化が失われないようにするため | 2. 高齢者とのコミュニケーションのため |
| 3. しまくとうばにしかないニュアンス(表現)を伝えるため | 4. 親しみを感じるため |
| 5. その他() | |

問 8. あなたは子どもたちに「しまくとうば」を使えるようになって欲しいですか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 是非、使えるようになって欲しい | 2. できれば、使えるようになって欲しい |
| 3. あまり、使えなくてもよい | 4. まったく、使えなくてもよい |

問 9. 英語や国語、算数・数学などの授業を減らして、学校の授業科目に「しまくとうば」を加えることをどう思いますか。(○はひとつ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい |
| 2. 授業以外の活動で取り組んで欲しい |
| 3. どちらともいえない |
| 4. まったく加えなくてもよい |

問 10. あなたは家庭内で子どもに対して「しまくとうば」を教えるようにしていますか。
(○はひとつ)(※お子様がいたら回答した方のみお答え下さい。)

- | |
|---------------------------|
| 1. 積極的に教えている →問 11 へ |
| 2. 時々教えている →問 11 へ |
| 3. ほとんど教えることはない →問 10-1 へ |

(問 10 で「ほとんど教えることはない」と回答)

問 10-1. 家庭内でほとんど教えることはない理由(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------|
| 1. 自分が話せない・使えない |
| 2. 話す機会がない |
| 3. 必要性を感じない |
| 4. 子どもが興味を示さない |
| 5. 学校や地域で学んでいるため教える必要はない |
| 6. その他() |

4. 参考資料

問 11. あなたはご自身が住んでいる地域（市町村）にどの程度愛着や誇りがありますか。（○はひとつ）

- | | |
|----------|---------|
| 1. とてもある | 2. ややある |
| 3. あまりない | 4. ない |

問 12. 沖縄県出身の方にお聞きします。沖縄には地域ごとに様々な「しまくとぅば」があります。あなたはご自身の出身地の「しまくとぅば」を知っていますか。（○はひとつ）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 13. 沖縄県出身の方にお聞きします。あなたはご自身の出身地の「しまくとぅば」が将来に渡って残ってほしいと思いますか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. どちらともいえない | |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |

問 14. あなたが「しまくとぅば」に触れる機会（聞く・話す）はどの程度ありますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 毎日触れる機会はある | 2. 週に 2-3 回程度はある |
| 3. 月に 2-3 回程度はある | 4. 年に 10 回程度はある |
| 5. 年に 2-3 回程度はある | 6. 全くない |

問 15. あなたが「しまくとぅば」を聞く機会はどの程度ありますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. ある →問 15-1 へ | 2. たまにある →問 15-1 へ |
| 3. あまりない →問 16 へ | 4. ない →問 16 へ |

（問 15 で「ある」「たまにある」と回答）

問 15-1. あなたが「しまくとぅば」を聞く機会はどのような時ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 日常的に聞く | 2. 高齢者とコミュニケーションをはかる時 |
| 3. テレビやラジオ、CM 等 | 4. 組踊や音楽、劇などの鑑賞時 |
| 5. その他（ | ） |

問 16. あなたが「しまくとぅば」を話す機会はどの程度ありますか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. ある →問 16-1 へ | 2. たまにある →問 16-1 へ |
| 3. あまりない →問 16-2 へ | 4. ない →問 16-2 へ |

（問 16 で「ある」「たまにある」と回答）

問 16-1. あなたは「しまくとぅば」を話す機会はどのような時ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 日常的に話す | 2. 高齢者とコミュニケーションをはかる時 |
| 3. 共通語で伝わらないニュアンスを伝える時 | 4. 地元の家族や仲間と集う時 |
| 5. その他（ | ） |

問 16-2. (問 16 で「あまりない」「ない」と回答)

あなたが「しまくとうば」を話さない理由について教えてください。(〇はいくつでも)

1. しまくとうばを話す機会がない	2. しまくとうばを話し(使い)慣れていない
3. 話しても相手に通じない	4. 共通語でコミュニケーションが十分とれる
5. その他 ()	

問 17. 以下に挙げるもので、今後、普及継承していくため、各取組を「知っている」ものであてはまるものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

また、「効果的であると思うか」「参加・活用しやすいと思うか」について、5段階でお答えください。

(各項目、〇はそれぞれひとつ)

取組内容	知っているものに〇を付けてください	効果度					参加・活用のしやすさ				
		効果的と思う	やや効果的と思う	どちらとも言えない	やや効果はないと思う	効果はないと思う	参加・活用しやすい	やや参加・活用しやすい	どちらとも言えない	やや参加・活用しにくい	参加・活用しにくい
例：(知っていて、効果的と思うが、やや参加・活用しにくい)	⇒ ○	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとうばの日(9月18日)	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	/				
しまくとうば県民大会(イベント)	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとうば語やびら大会(イベント)	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとうば普及推進に取り組む団体等への補助金制度	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとうば普及センターの設置・運営	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	/				
しまくとうば講師養成講座	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとうば講師の派遣	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとうば検定	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1
「使ってみようしまくとうばナビ」(インターネットサイト)	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとうば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとうば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1

4. 参考資料

問 18. 以下に挙げるもので、今後、普及継承していくため、各取組について「すべきと思うもの」あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

また、「効果的であると思うか」「参加・活用しやすいと思うか」について、5段階でお答えください。
(各項目、○はそれぞれひとつ)

取組内容	すべきと思うものに○を付けてください	効果度					参加・活用のしやすさ					
		効果的と思う	やや効果的と思う	どちらとも言えない	やや効果はないと思う	効果はないと思う	参加・活用しやすい	やや参加・活用しやすい	どちらとも言えない	やや参加・活用しにくい	参加・活用しにくい	
例：(知っていて、効果的と思うが、やや参加・活用しにくい)	⇒ ○	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1	
学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒					
しまくとうば講座の開設	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1	
官公庁等でのしまくとうばの使用	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1	
民間企業でのしまくとうばの使用	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1	
テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒					
SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1	
その他 ※ご意見があれば、自由にお書きください。 ()	⇒	⇒ 5	4	3	2	1	⇒ 5	4	3	2	1	

問 19. 沖縄の固有の「しまくとうば」を普及継承していくために、ご意見ご感想をお聞かせ下さい。

【謝礼のご要望】

回答にご協力頂いた方には、抽選で200名にポケット版おきなわ手帳を進呈いたします。
謝礼の抽選応募をご希望の方は、以下のいずれかにチェックを入れてください。

☐

おきなわ手帳（2024年版）希望

☐

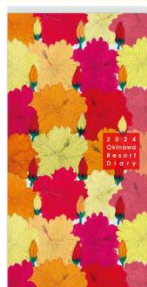
希望しない

2種類のうちのどちらか好きな仕様にチェックを入れてください。

沖縄リゾートダイアリー
（リバーシブルタイプ）

☐

うりずん手帳

☐

アンケートに答えて
手帳を当てよう！

住所宛先： 〒

ご氏名：

※抽選でのご提供となりますので、ご了承ください。

※「謝礼のご要望」にチェックがない場合は、謝礼をご希望されないものとして、取り扱わせていただきます。

※好きな仕様にチェックがない場合は、どちらか一方をお送りいたします。ご希望に添えないこともありますのでご了承ください。

【個人情報の取り扱い】

本調査で使用する個人情報は、本調査委託会社である株式会社サーベイリサーチセンターにて「個人情報保護方針」に則り厳重に管理し、本調査の依頼、回収、謝礼等のみで使用させて頂き、収集した個人情報を第三者への提供及び他用途での使用はいたしません。

個人情報の取り扱いについてご理解頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

本調査結果は、しまくとぅばの普及継承に係る施策の検討にあたり、参考とさせていただきます。
調査へのご協力ありがとうございました。